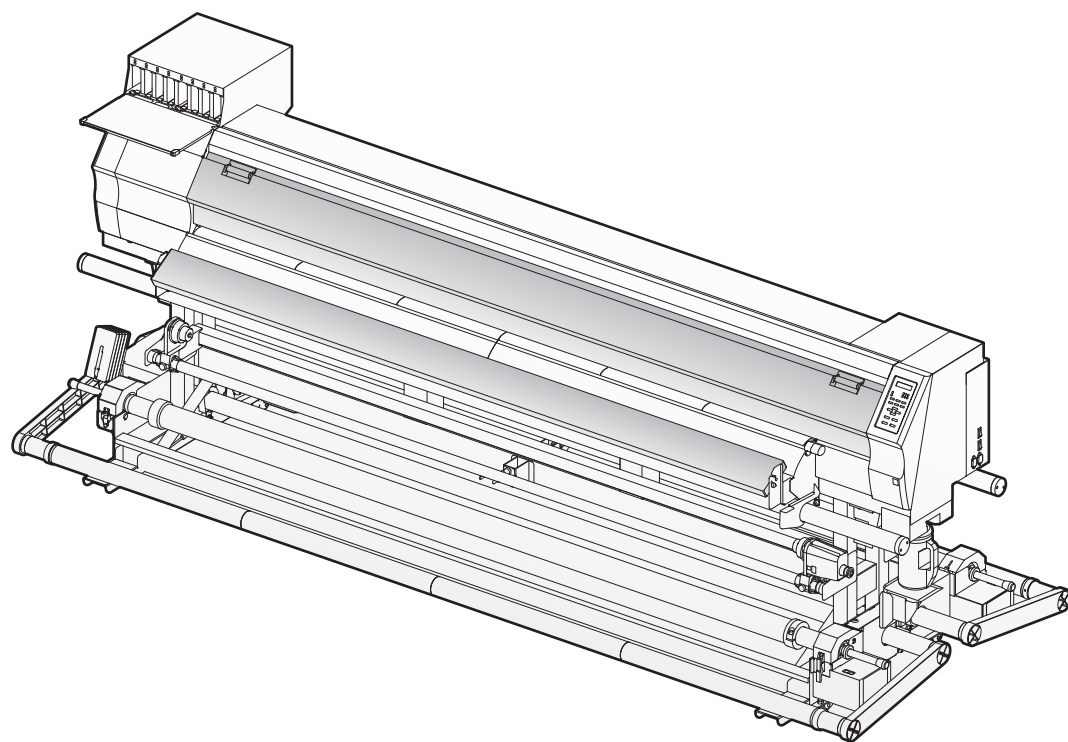


カラーインクジェットプリンタ

# JV34-260

取扱説明書



OPERATION MANUAL

# 目次

ご注意	v
ご注意	v
おねがい	v
電波障害自主規制	v
テレビ/ラジオの受信障害について	v
はじめに	vi
使用できるインクについて	vi
取扱説明書について	vi
安全にお使いいただくために	vii
マーク表示について	vii
安全インターロックについて	x

## 第1章 ご使用の前に

本装置の移動	1-2
設置場所について	1-2
使用環境温度について	1-2
本装置の移動	1-3
各部の名称とはたらきについて	1-4
装置前面	1-4
装置背面/側面	1-5
操作パネル	1-6
ヒーター	1-7
メディアセンサー	1-7
キャリッジ	1-8
カッター刃とカット溝	1-8
キャッピングステーション	1-9
ピンチローラーとフィードローラー	1-9
ケーブルを接続する	1-10
USB2.0 インターフェイスケーブルを接続する	1-10
電源ケーブルを接続する	1-11
インクカートリッジを入れる	1-12
インクカートリッジ取り扱い上のご注意	1-13
メディアについて	1-14
使用可能メディアサイズ	1-14
メディア取り扱い上の注意	1-14
メニューモードについて	1-15

## 第2章 基本的な使い方

ユーザータイプについて	2-2
ユーザータイプに登録できる設定内容	2-2
登録したユーザータイプを使用する	2-2
作業の流れ	2-3
電源を入れる/切る	2-4
電源を入れる	2-4
電源を切る	2-5

メディアをセットする .....	2-6
ヘッド高さを調整する .....	2-6
メディアセットに関するご注意 .....	2-8
重量ロールメディアをセットする .....	2-9
小幅ロールメディアをセットする .....	2-20
小幅巻取装置について .....	2-25
リーフメディアをセットする .....	2-26
原点を変更する場合は .....	2-28
ヒーターの準備をする .....	2-30
ヒーターの温度設定を変更する .....	2-30
ヒーターの温度を確認する .....	2-31
テストプリントをする .....	2-32
テストプリントを行う .....	2-33
ヘッドクリーニング .....	2-34
ヘッドクリーニングについて .....	2-34
テストプリントの結果に合わせてヘッドクリーニングを行う .....	2-34
データをプリントする .....	2-35
プリントを開始する .....	2-35
プリントを中止する .....	2-36
受信したデータを消去する(データクリア) .....	2-36
メディアをカットする .....	2-37

### 第3章 便利な使い方

ユーザータイプについて .....	3-2
プリント条件をまとめて登録する(タイプ登録) .....	3-2
タイプ登録のしかた .....	3-2
メディア補正の設定をする .....	3-4
メディア補正の設定 .....	3-4
ドットの位置がずれたら .....	3-6
ヒーターの設定値を変更する .....	3-8
ヒーターの温度設定を変更する .....	3-8
適温調整(ソルベントインクをご使用の場合) .....	3-10
ヒーター温度が設定温度に達していないと .....	3-11
プリント方式の設定をする .....	3-12
パス(プリント品質)の設定 .....	3-12
スキャン速度の設定 .....	3-13
スキャン方向の設定 .....	3-14
ロジカルシークの設定 .....	3-15
乾燥時間の設定をする .....	3-16
マージンの設定をする .....	3-17
カラーパターンの設定をする .....	3-18
昇華転写インク以外のインクをお使いの場合 .....	3-18
昇華転写インクをお使いの場合 .....	3-19
オートクリーニングの設定をする .....	3-20
プリント中クリーニングの設定をする .....	3-22
クリーニングの設定をする .....	3-22
ワイピングの設定をする .....	3-23
メディア検出の設定をする .....	3-25
パス間のシマを軽減する設定をする .....	3-26
その他の設定 .....	3-28
設定した内容を初期状態に戻す .....	3-29

マシン設定 .....	3-30
カンソウファンの設定をする .....	3-31
クリダシ&マキトリの設定をする .....	3-32
カンソウフィードの設定をする .....	3-34
カクニンフィードの設定をする .....	3-35
ジコクの設定をする .....	3-36
タンイの設定をする .....	3-37
スタンプの設定をする .....	3-38
マシンメイショウの設定をする .....	3-39
キーブザーの設定をする .....	3-40
カンキョウオンドの動作条件を変更する .....	3-41
インクの有効期限を延長する .....	3-42
インクの有効期限を延長する .....	3-42
インク供給経路の切替設定 .....	3-44
装置情報を確認する .....	3-46
情報を表示させる .....	3-46

## 第4章 両面印刷機能

両面印刷をする .....	4-2
両面印刷の流れ .....	4-2
両面印刷時の印刷範囲について .....	4-3
表面を印刷する .....	4-5
両面モードの設定をする .....	4-8
裏面を印刷する .....	4-10

## 第5章 お手入れ

日常のお手入れ .....	5-2
お手入れ上のご注意 .....	5-2
メンテナンス洗浄液について .....	5-2
外装のお手入れ .....	5-3
プラテンの清掃 .....	5-3
アフターヒーターカバー・プリヒーターカバーの清掃 .....	5-3
メディアセンサーの清掃 .....	5-4
メディア押えの清掃 .....	5-4
キャッピングステーションのメンテナンス .....	5-5
ワイパーとキャップの清掃 .....	5-5
ワイパーを交換する .....	5-7
ヘッドノズルの洗浄 .....	5-8
インク排出路の洗浄 (PUMP チューブ洗浄) .....	5-10
長期間使用しない場合 (ホカンセンジョウ) .....	5-12
ヘッド周辺の清掃 .....	5-14
ノズル詰まりが復旧しない場合 .....	5-16
インクを充填する .....	5-16
ハイシュツ&センジョウ .....	5-17
インクの初期充填を行う .....	5-19



オートメンテナンス機能 .....	5-20
リフレッシュ間隔を設定する .....	5-20
チューブ洗浄間隔を設定する .....	5-21
クリーニング間隔を設定する .....	5-22
その他のメンテナンス機能 .....	5-23
ワイパー交換の警告時期を変更する .....	5-23
ヘッド選択の設定をする .....	5-24
メディア残量表示の設定をする .....	5-25
廃インクタンク確認メッセージが表示されたら .....	5-27
Sb52 インクのインクカラーを変更したいとき .....	5-31
昇華転写インクをより安定した品質でお使いいただくために .....	5-32
ワーニングメッセージの表示時期を設定する .....	5-33
カッター刃の交換 .....	5-34

## 第6章 困ったときは

故障?と思う前に .....	6-2
電源が入らない .....	6-2
プリントできない .....	6-2
メディア詰まり/メディアが汚れる .....	6-3
[HEAT] ランプ,[CONSTANT] ランプが点灯しない .....	6-3
画質不良が発生したときは .....	6-4
ノズル詰まりを解消したいとき .....	6-4
カートリッジ異常が発生したら .....	6-5
メッセージを表示するトラブル .....	6-6
ワーニングメッセージ .....	6-6
エラーメッセージ .....	6-9

## 第7章 付録

仕様 .....	7-2
本体仕様 .....	7-2
インク仕様 .....	7-3
インク種によるセットの違いについて .....	7-4
ヒーターの温度設定値の目安 .....	7-4
インクカートリッジのセット順 .....	7-4
オートメンテナンス機能のメンテナンス間隔 .....	7-4
お問い合わせシート .....	7-5
警告ラベルについて .....	7-6
機能フローチャート .....	7-8

## ご注意

株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない）に関して一切の責任を負わないものとします。

また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。

一例として、本製品を使用したメディア等の損失や、作成された物によって生じた間接的な損失等の責任負担もしないものとします。

本装置を使用したことによる金銭上の損害および逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## おねがい

- この取扱説明書は、内容について十分注意しておりますが、万一ご不審な点などがありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- この取扱説明書は、改良のため予告なく変更する場合があります。

## 電波障害自主規制

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭で使用すると、電波妨害を引き起こすことがあります。

この場合は、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

本装置の接続に於いて、当社指定のケーブルを使用しない場合は、VCCI ルールの限度を超えることが考えられます。必ず、当社指定のケーブルを使用してください。

## テレビ/ラジオの受信障害について

本装置は、使用時に高周波が発生します。このため、本装置が不適切な条件下で設置または使用した場合、ラジオやテレビの受信障害を発生する可能性があります。したがって特殊なラジオ/テレビに対しては保証しておりません。

本装置がラジオ/テレビ受信の障害原因と思われましたら、本装置の電源を切り、ご確認ください。電源を切り受信障害が解消すれば、本製品が原因と考えられます。

次の手順のいずれか、またはいくつかを組み合わせるをお試しください。

- テレビやラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置をさがしてください。
- この製品から離れた場所にテレビやラジオを設置してください。
- この製品とは別の電源供給路にあるコンセントにテレビやラジオを接続してください。

この度は、カラー インクジェットプリンタ JV34-260 をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。「JV34-260」は、2.6m 幅のメディア (ターポリン /FF/ 塩ビフィルムなど) にソルベントインク (4 色) または水性インク (4 色 /6 色) でプリントする、高画質に対応したカラーインクジェットプリンタです。

## 使用できるインクについて

本機で使用できるインクは、SS21 インク (4 色モデル) と Sb52 インク (4 色 /6 色モデル) になります。SS21 インクは 4 色、Sb52 インクは 4 色と 6 色があります。

- **4 色モデル** : シアン・マゼンタ・イエロー・ブラックの各インクカートリッジを 2 本ずつ使用可能
- **6 色モデル** : ブルー・マゼンタ・イエロー・ブラック・ライトブルー・ライトマゼンタの各インクカートリッジを 1 本使用可能 (ただし、ブルー・マゼンタは 2 本)



- 6 色モデルは Sb52 インク使用時にのみ使用できます。



- 使用するインク種によって、ヒーターの温度設定などの推奨値が異なります。インク種に合わせて、最適な条件で本機をお使いください。(P.7-4 「インク種によるセットの違いについて」)

## 取扱説明書について

- 本書は、「カラーインクジェットプリンタ JV34-260」(以後本装置と称します) の操作やメンテナンスなどの取り扱いについて説明いたします。
- 本書をお読みになり、十分理解してからお使いください。また、本書をいつも手元に置いてお使いください。
- 本書は、本装置をお使いになる担当者のお手元に確実に届くようお取りはからいください。
- 本書は、内容について十分注意して作成していますが、万一不審な点がありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- 本書は、改良のため予告なく変更する場合があります。ご了承ください。
- 本書が焼失 / 破損などの理由により読めなくなった場合は、新しい取扱説明書を弊社営業所にてお買い求めください。
- 取扱説明書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

本書の内容を無断で転載することは禁止されています。









© 株式会社ミマキエンジニアリング  
All Rights Reserved. Copyright

# 安全にお使いいただくために

## マーク表示について

本書では、マーク表示により操作上の注意内容を説明しています。注意内容により表示するマークは異なります。各マーク表示の持つ意味をご理解し、本装置を安全に正しくお使いください。

### マーク表示の例

内 容	
	「警告」マークは、指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。必ずよくお読みになり、正しくお使いください。
	「注意」マークは、指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
	「重要」マークは、本装置をお使いいただく上で、知っておいていただきたい内容が書かれています。操作の参考にしてください。
	「ヒント」マークは、知っておくと便利なが書かれています。操作の参考にしてください。
	関連した内容の参照ページを示しています。
	△マークは、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。中に具体的な注意事項（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

## 使用上の警告と注意

 警告

- ・換気の悪い部屋、または密閉された部屋で使用しないでください。
- ・換気の悪い部屋、または密閉された部屋で使用する場合は、必ずオプションの後方ファンユニットをお使いください。
- ・付属の電源ケーブルを使用してください。
- ・電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重い物をのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源ケーブルが破損し、火災・感電の原因になります。
- ・湿気が多い場所の使用や、装置に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。
- ・万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常事態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに、電源スイッチをオフにして、その後必ずプラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、販売店または弊社営業所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対に行わないでください。
- ・本装置やインクカートリッジの分解・改造は、絶対にしないでください。感電や故障の原因になります。
- ・プラテンのヒーターにホコリやゴミ等が付着しないようにしてください。発火、火災の原因になります。
- ・湿気が多い場所の使用や、装置に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。



- ・本装置で使用する専用インクは、危険物第4種第2石油類、または危険物第4類第3石油類に該当します。よって、引火する可能性があるため、本プリンターを使用する場所は、火気厳禁としてください。



- ・危険な可動部に、指や体の他の部分を近づけないでください。

## 使用上のご注意

 注意

## 電源供給について



- ・プレーカーは常時 ON にしておいてください。
- ・側面にある主電源スイッチは OFF にしないでください。

## ヒーターについて



- ・プラテン上に液体をかけないでください。ヒーターの故障や発火の原因になります。
- ・プラテンのヒーターが熱いうちに素手で触らないでください。火傷の原因になります。



- ・本装置を移動する場合は、ヒーターの温度が十分下がった状態で行ってください。目安として、ヒーターの電源を OFF にしてから 30 分以上お待ちください。なお、本装置の移動は、段差のない同一フロア内とします。移設の場合は、弊社営業所、または販売店にご連絡ください。

## インクの取り扱い



- ・万一、インクが目に入った場合は、直ちに大量の清浄な水で 15 分以上洗い流し、まぶたの裏まで完全に洗い流してください。また、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- ・誤ってインクを飲み込んだ場合は、安静にして直ちに医師の診断を受けてください。嘔吐物は、飲み込ませないでください。その後、毒物管理センターに連絡してください。
- ・蒸気を大量に吸い込んで気分が悪くなった場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移り、暖かくして安静にしてください。また、直ちに医師の診察を受けてください。



- ・インクには有機溶剤を使用しています。皮膚に付着した場合は、直ちに石けん水で洗った後、水で十分に洗い流してください。（ソルベントインクをお使いの場合）


## メンテナンス上の注意




- ・インクステーションやヘッドを清掃する際は、必ず付属の手袋を着用してください。また、ソルベントインクをお使いの場合は、付属のゴーグルの着用が必要です。



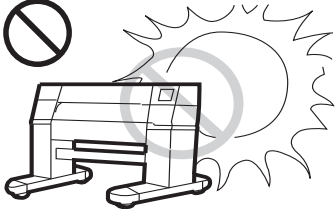
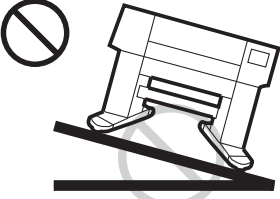

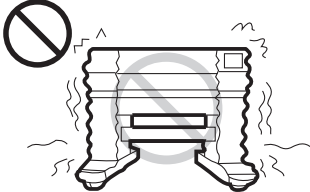
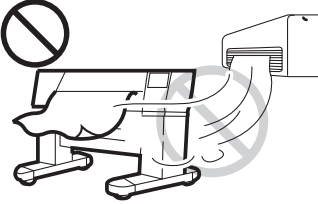
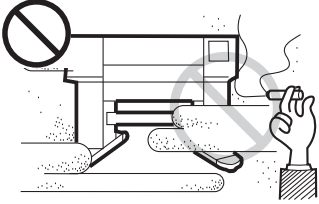
## ご注意とお願い

 <b>警 告</b>	
<b>インクカートリッジの取り扱い</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• JV34 専用インクをお使いください。専用インク以外を使用して故障した場合の修理は、お客様の負担になりますのでご了承ください。</li> <li>• JV34 専用インク以外のインクを使用すると、装置保護のため、動作しません。</li> <li>• JV34 専用のインクは、他のプリンタで使用しないでください。プリンタが壊れます。</li> <li>• カートリッジ内のインクを詰め替えないでください。詰め替えたインクを使用して生じた不具合について、弊社はいっさいの責任を負いかねます。</li> <li>• インクカートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、3時間以上室温環境下に放置してから使用してください。</li> <li>• インクカートリッジは、取付直前に開封してください。開封した状態で長時間放置しておく、正常にプリントできない場合があります。</li> <li>• インクカートリッジは、冷暗所で保存してください。</li> <li>• インクカートリッジや廃インクタンクは、子供の手の届かない場所に保管してください。</li> <li>• インクカートリッジは、開封してから3カ月以内に使い切ってください。開封後、長時間経過したものは、プリント品質が低下します。</li> <li>• インクカートリッジを強くたたいたり、激しく振り回さないでください。カートリッジからインクが漏れる場合があります。</li> <li>• インクカートリッジの基板接点部分は、手で触れたり、汚したりしないでください。基板の故障の原因になります。</li> <li>• 空になったインクカートリッジ・廃インクは、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください</li> </ul>	<b>フロントカバーとレバーについて</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• プリント中にフロントカバーを開けたり、レバーを上げたりしないでください。プリントが終了してしまいません。</li> </ul> <b>メディアの取り扱い</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 推奨メディアをご使用ください。安定した高画質でプリントするには、弊社推奨のメディアをご使用ください。</li> <li>• メディアの特性に合わせ、ヒーター温度を設定してください。メディアの種類や特性に合わせて、プリヒーター、プリントヒーターおよびアフターヒーターの温度を設定してください。また、専用 RIP からプロファイル指定により自動温度設定を操作パネルから指定する方法があります。指定方法は、お使いの RIP の取扱説明書を参照してください。</li> <li>• メディアの伸縮にご注意ください。包装を開けて間もないメディアは、使用しないでください。室内の温度や湿度によって、メディアが伸縮する場合があります。包装を開けて、使用する場所で30分以上さらしてから装置に取り付けてください。</li> <li>• カールしたメディアは使用しないでください。紙詰まりの原因になるだけでなく、画質にも影響を及ぼします。また、カールのきついメディアは、カールを取り除いてから使用してください。コーティングした定型サイズ紙をまるめて保管する場合は、コーティング面が外側になるようにしてください。</li> </ul> <b>メディアとホコリについて</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• メディアは袋に入れて保管してください。メディアに付着したホコリを拭き取ると、静電気により逆効果になります。</li> <li>• 夜帰宅する際は、メディアをロールハンガーに掛けっぱなしにしないでください。メディアの上にホコリが付着してしまいます。</li> </ul>

 <b>警 告</b>	
<b>メンテナンス上の注意</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• できるだけホコリの少ない部屋で利用してください。悪環境下では、リフレッシュレベルを2または3に設定してください。(☞ P.3-28)</li> <li>• プリントしないときも必ずフロントカバーは閉めておいてください。ホコリがヘッドノズルに付着する原因になります。</li> <li>• プリント中に、突然インクの雫がヘッドからメディアに落ちるのもホコリが原因です。この場合は、ヘッドクリーニングを実行してください。(☞ P.3-20 「オートクリーニングの設定をする」)</li> <li>• インクステーションやヘッドをクリーニングする際は、必ず付属の手袋を着用してください。また、ソルベントインクをお使いの場合は、付属のゴーグルの着用が必要です。</li> <li>• キャッピングステーション、およびワイパーの拭き掃除(ホコリ、紙粉)は、こまめに行ってください。</li> </ul>	
<b>定期交換部品</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 本装置には定期的に交換する部品があります。機材を末永くご利用いただくためにも、必ず、年間保守契約にご加入ください。</li> </ul>	
<b>本装置の廃棄処分について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 本装置を廃棄する際は、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。</li> <li>• 各地域の自治体の法律に基づき、適切に処理を行ってください。</li> </ul>	

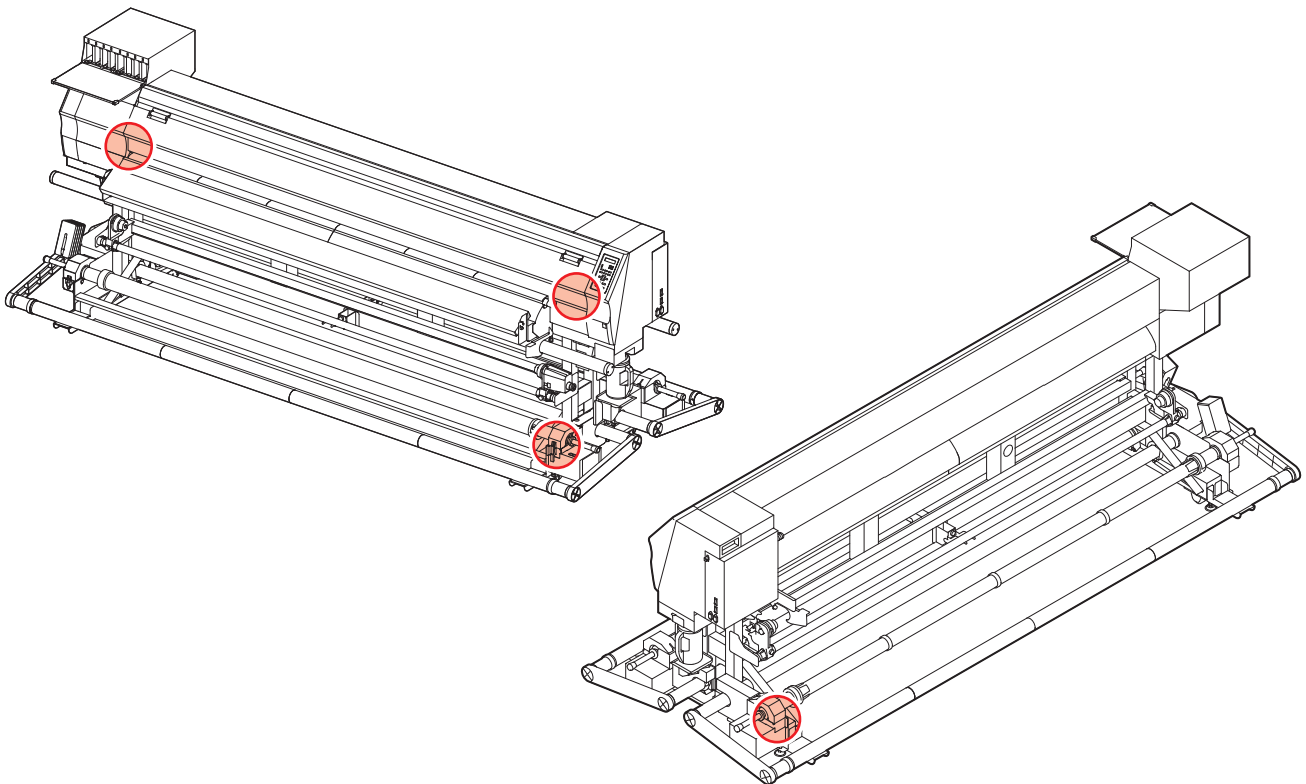


設置上のご注意

<b>⚠ 注意</b>		
直射日光が当たる場所	水平でない場所	温度や湿度の変化が激しい場所
		 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 次の環境下でお使いください。</li> <li>• 使用環境： 20 ~ 35 °C 35 ~ 65 % (Rh)</li> </ul>
振動が発生する場所	エアコンなどの風が直接当たる場所	火を使う場所
		

**安全インターロックについて**

本機は安全のため、プリント中などにカバーが開いた場合に動作を中断させるためのインターロックがついています。(下図の赤丸部分)







# 第1章 ご使用前に



## この章では ...

本装置の各部の名称や設置方法など、ご使用前に知っておいていただきたいことについて説明します。

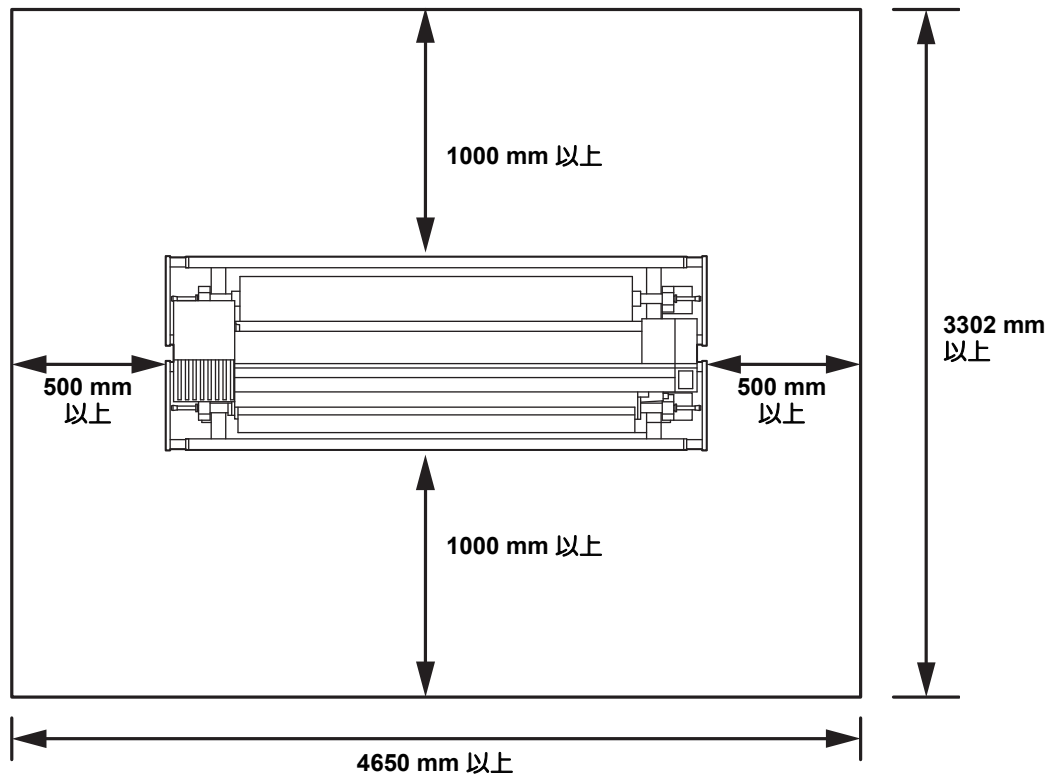
本装置の移動 .....	1-2	ケーブルを接続する.....	1-10
設置場所について .....	1-2	USB2.0 インターフェイスケーブルを	
使用環境温度について .....	1-2	接続する .....	1-10
本装置の移動 .....	1-3	電源ケーブルを接続する .....	1-11
各部の名称とはたらきについて.....	1-4	インクカートリッジを入れる .....	1-12
装置前面 .....	1-4	インクカートリッジ取り扱い上のご注意 ..	1-13
装置背面 / 側面 .....	1-5	メディアについて .....	1-14
操作パネル .....	1-6	使用可能メディアサイズ .....	1-14
ヒーター .....	1-7	メディア取り扱い上の注意 .....	1-14
メディアセンサー .....	1-7	メニューモードについて.....	1-15
キャリッジ .....	1-8		
カッター刃とカット溝 .....	1-8		
キャッピングステーション .....	1-9		
ピンチローラーとフィードローラー .....	1-9		

# 本装置の移動

## 設置場所について

本装置を組み立てる前に、設置するスペースを確保してください。  
本体の大きさとプリントのために必要なスペースを考慮して設置します。

機種	横幅	奥行き	高さ	全体重量
JV34-260	3650mm	1302mm	1424mm	470kg



## 使用環境温度について

本装置は安定したプリントを行うために、20 ~ 35 °Cの環境でご使用ください。  
周囲の温度条件により、ヒーター温度が設定値まで上昇しない場合があります。

## 本装置の移動

本装置をやむを得ず、段差のない同一フロア内で移動する場合は、下記のように行ってください。

**重要!**

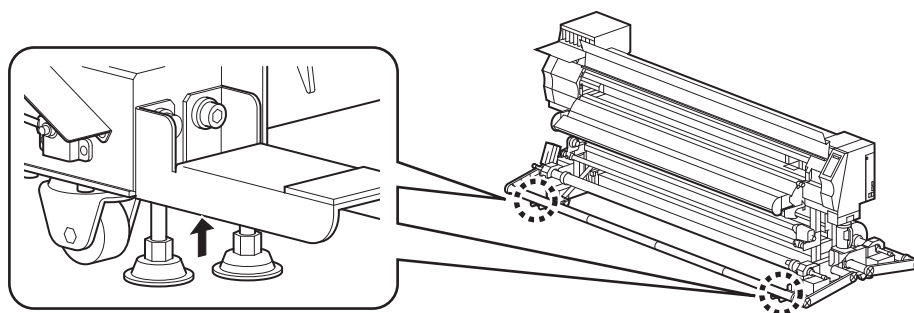
- 本装置の移設の際は、弊社営業所または販売店までご連絡ください。お客様が本装置の移設を行うと、故障や破損の原因になります。本装置の移設は、必ず専門の担当者におまかせください。



- 移動するときは、大きな振動を与えないでください。
- 移動後は、必ずレベルフットを固定してください。レベルフットを固定しないままプリントをすると、装置が動き出す場合があります。

### 1

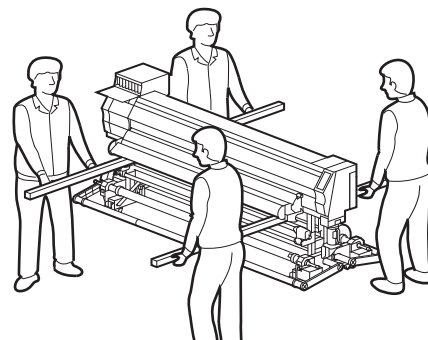
#### レベルフットを上げる



### 2

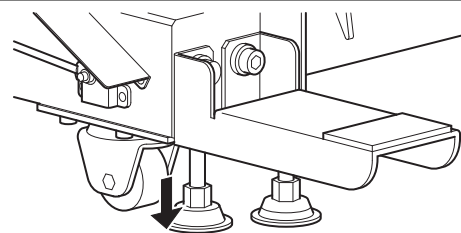
#### 図のようにして、移動する

- 本装置を移動するときは、必ず4人以上で行ってください。
- カバーを押して移動すると、カバーが割れる可能性があります。



### 3

#### レベルフットを下げて装置を固定する



# 各部の名称とはたらきについて

## 装置前面

### メンテナンスカバー

メンテナンス時にカバーを開けます。電源スイッチがオフの場合でも、カバーは閉じておいてください。

### インクカートリッジ

各色のインクが入っています。

### カートリッジ保護カバー

440cc カートリッジの突出によるケガや装置の破損などを防止します。  
(インクカートリッジの下にあります)

### フロントカバー

メディアのセット、メディア詰まりの処置およびステーション内部のメンテナンス時に開けます。電源スイッチがオフの場合でも、カバーは閉じておいてください。

### クランプレバー (前)

ピンチローラを上下して、メディアを保持/解放します。

### 乾燥ファン

### 操作パネル

本装置に必要な設定を行う操作キーや、操作項目を表示するディスプレイがあるパネルです。

### 電源スイッチ \*1

本装置の電源をオン/オフします。

### 廃インクタンク

廃インクを溜めるタンクです。

### 脚

本体を支える部分です。移動するためのキャスタが付いています。

### 小幅巻取装置

幅が小さい (1.6m 未満) ロールメディアでプリントした成果物を自動で巻き取ります。

### 重量メディア巻取装置

重量ロールメディア (メディア幅が 1.6m 以上) でプリントした成果物を自動で巻き取ります。

### プラテン

プラテンに沿って、メディアを出力します。プラテン内の3カ所にヒーターが内蔵されています。

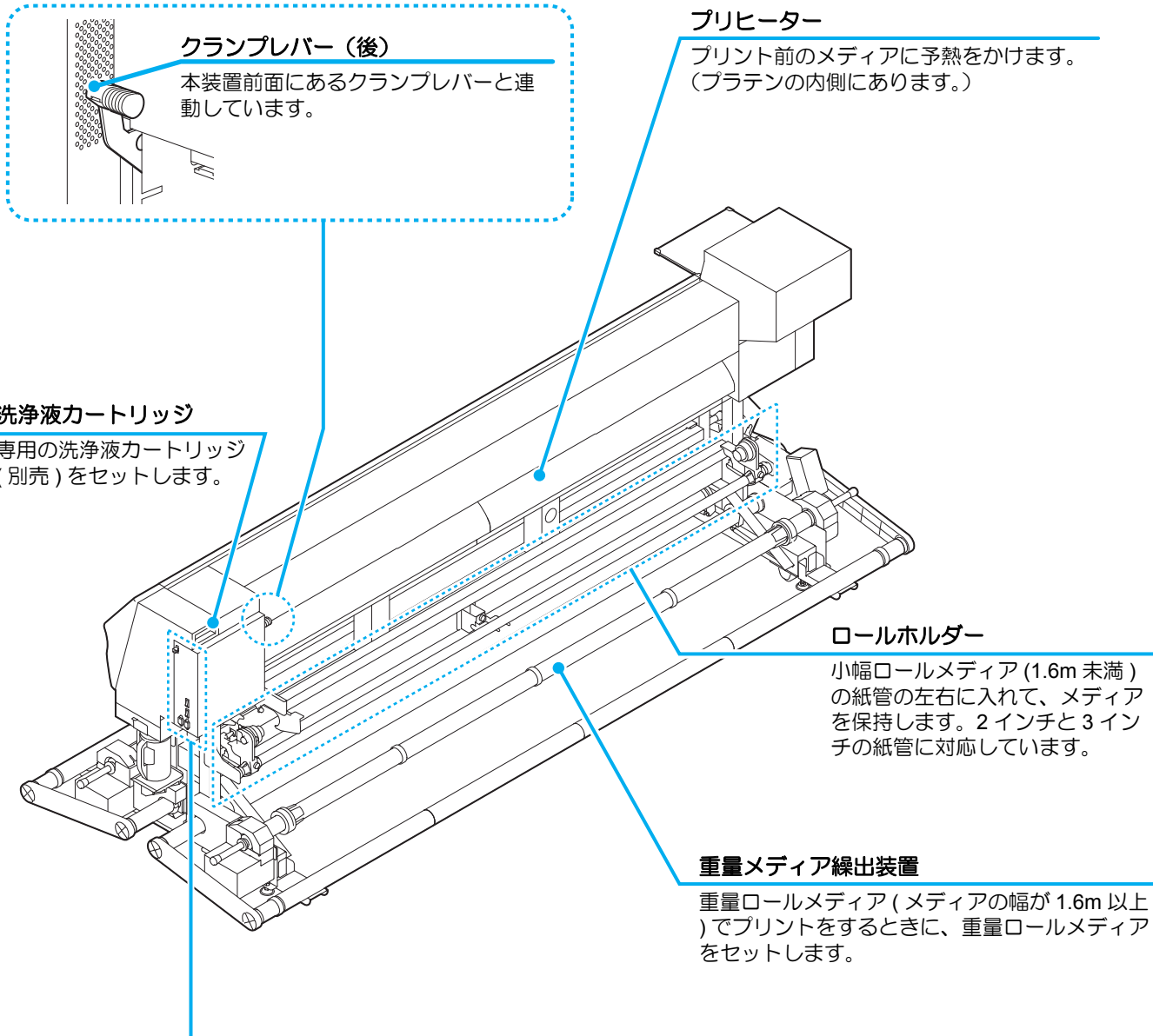
### プリントヒーター/アフターヒーター

印字中のインクの定着と乾燥を行います。(プラテンの内側にあります。)

\*1: 電源スイッチをオンにすると操作パネル下の電源スイッチが緑色に点灯し、オフにすると点滅します。主電源スイッチ (P.1-5) をオンにしておく、電源スイッチをオフにしても定期的にインク詰まり防止動作を行います。(オートメンテナンス機能)

装置背面 / 側面

1  
1 使用前の



**クランプレバー (後)**  
本装置前面にあるクランプレバーと連動しています。

**プリヒーター**  
プリント前のメディアに予熱をかけます。(プラテンの内側にあります。)

**洗剤液カートリッジ**  
専用の洗剤液カートリッジ (別売) をセットします。

**ロールホルダー**  
小幅ロールメディア (1.6m 未満) の紙管の左右に入れて、メディアを保持します。2 インチと 3 インチの紙管に対応しています。

**重量メディア繰出装置**  
重量ロールメディア (メディアの幅が 1.6m 以上) でプリントをするときに、重量ロールメディアをセットします。

**USB コネクタ**  
USB2.0 インターフェイスコネクタです。

**主電源スイッチ**  
本装置の主電源をオン / オフします。インク詰まり防止のため、常に主電源はオンにしてください。

**AC インレット**  
電源ケーブルを接続します。

# 操作パネル

操作パネルは、プリント方法の設定、各種操作に使用します。

## ディスプレイ

本装置の状態、設定項目、エラーなどを表示します。

## ACTIVE ランプ

データ受信中やプリント中に点滅します。

### USER TYPE キー

ユーザータイプを選択するときに使用します。

### CLEANING キー

インク詰まりを起こしている場合のヘッドのクリーニングを実行します。

### DATA CLEAR キー

本装置が受信したデータを消去します。

### FUNCTION キー

各種機能設定メニューに入ります。

### END キー

直前に入力した設定のキャンセルや、設定メニューを1つ前の階層に戻す場合に使用します。

## CONSTANT ランプ

ヒーターの温度が設定温度に達すると緑色に点灯します。

## HEAT ランプ

ヒーター加熱中にオレンジ色に点灯します。("POST" はアフターヒーターを表します。)

### ST.MAINTE キー

ステーションメンテをするときに使用します。

### TEST PRINT キー

インク詰まりなどのプリント不良がないか確認するためにテストパターンをプリントします。

### HEATER キー

プリントヒーター、プリヒーター、アフターヒーターの温度を設定します。現在のプラテンの温度も確認できます。

## ジョグキー

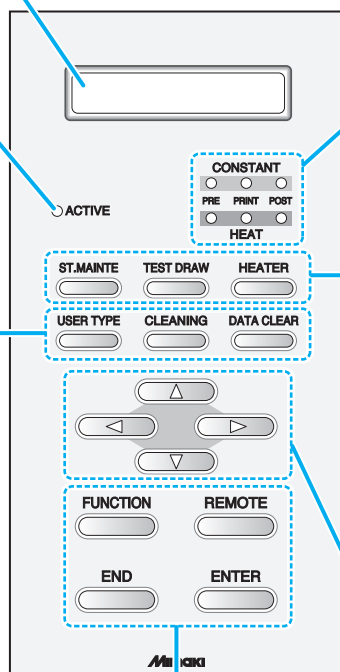
《ローカルモード》でのヘッドやメディアの移動、プリント条件の項目選択に使用します。

### REMOTE キー

《ローカルモード》と《リモートモード》を切り替えます。

### ENTER キー

1段下の階層メニューに移動する場合や、設定値の確定に使用します。

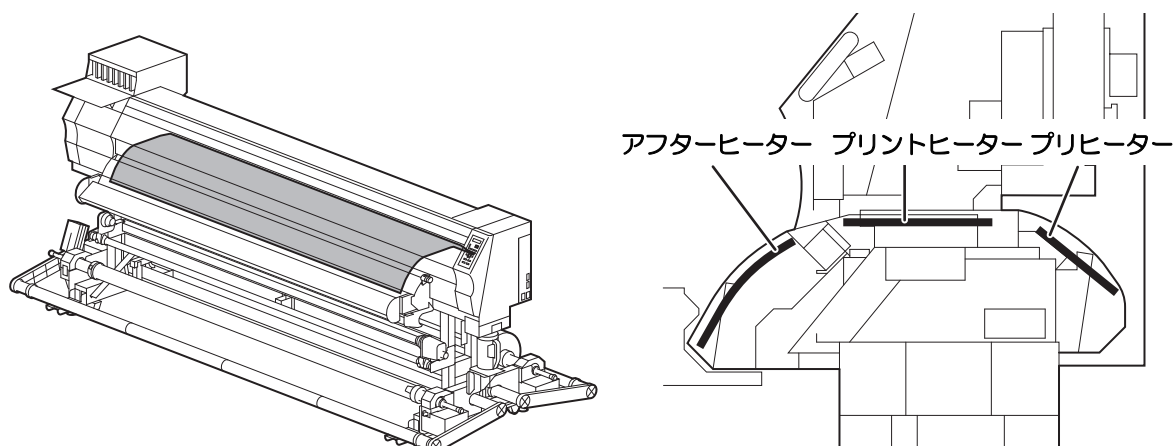


## ヒーター

プラテンには、プリヒーター・プリントヒーター・アフターヒーターが内蔵されています。プリヒーターは、印字前のメディアを予熱し、プリント部での急激な温度変化を抑えます。プリントヒーターは、印字する際の画像品質を上げます。アフターヒーターは印刷後のインクを乾燥させます。



- ヒーターの加熱中は、プラテンが高温になっています。フロントカバーを開ける際やメディアを交換する際は、ヒーターの温度を下げ、プラテンの温度が十分下がってから行ってください。火傷の原因になります。
- 薄手のメディアに交換する際は、ヒーターの温度を下げてプラテンの温度が十分下がってから行ってください。プラテンが高温の状態で行うと、メディアがプラテンに貼り付いたり、シワやカールの原因になります。

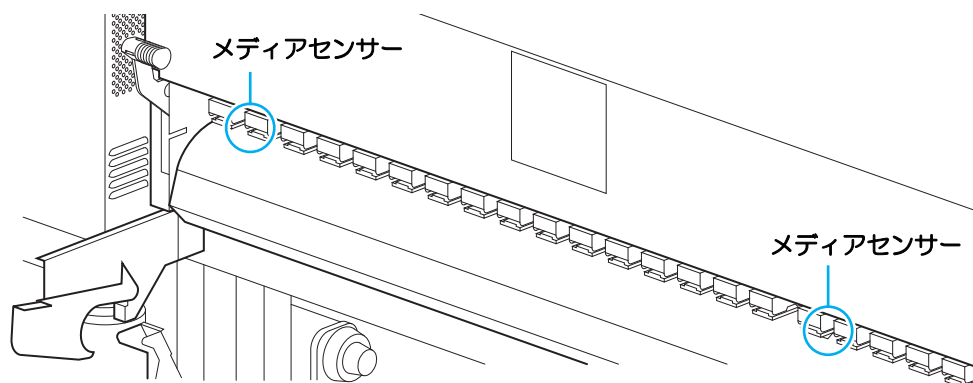


1

1 使用の前に

## メディアセンサー

メディアセンサーは、メディアの有無とメディア長を検出します。プラテン上（背面側）にメディアセンサーが2箇所あります。



**重要!**

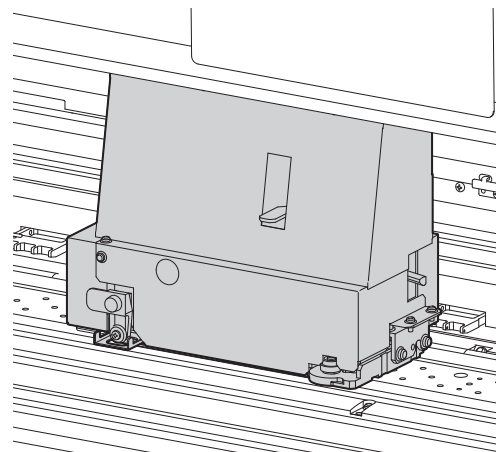
- メディアをセットするときは、プラテン後部側にあるメディアセンサーのうち、どちらか一方を覆い隠すようにセットしてください。センサー上にメディアがないと、メディア検出を実行できません。

## キャリッジ

キャリッジには、プリント用のインクヘッドや、メディアカット用のカッターユニットなどが付いています。

また、メディアの厚さに合わせて、ヘッドの高さを2段階に調整するレバーが付いています。

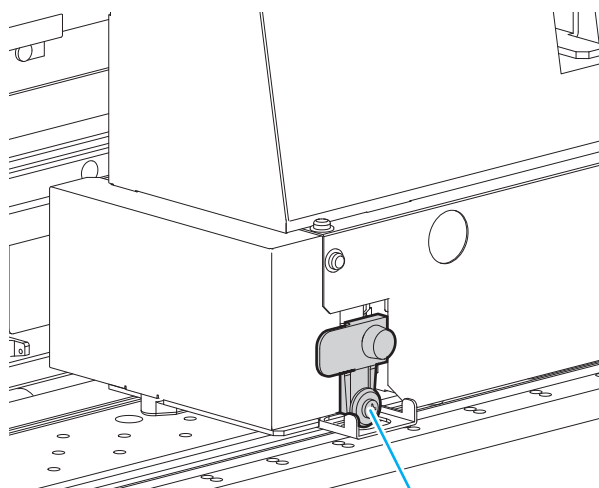
(参照 P.2-6)



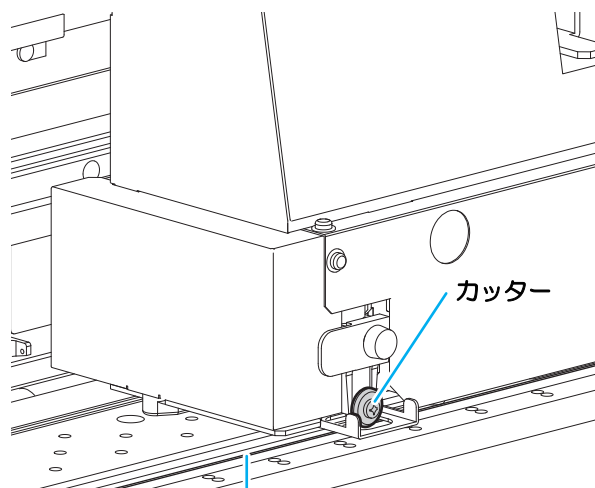
## カッター刃とカット溝

キャリッジにはメディアをカットするカッターユニットが付いています。

プラテンのカット溝に沿ってメディアをカットします。



カッターユニット



カット溝

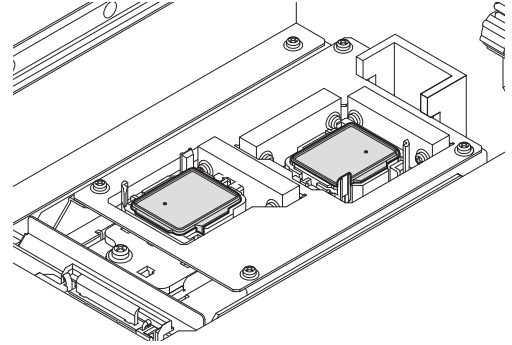


## キャッピングステーション



- キャッピングステーション内をクリーニングする場合は、必ず付属のゴーグルを着用してください。目にインクが入る危険があります。

キャッピングステーションは、インクキャップやヘッドのメンテナンスに必要なワイパなどで構成されています。インクキャップは、インクヘッドのノズル乾きを防ぎます。ワイパは、ヘッドのクリーニングに使用します。ワイパは、消耗品です。ワイパが変形したりメディアが汚れる場合は、新しいワイパに交換してください。

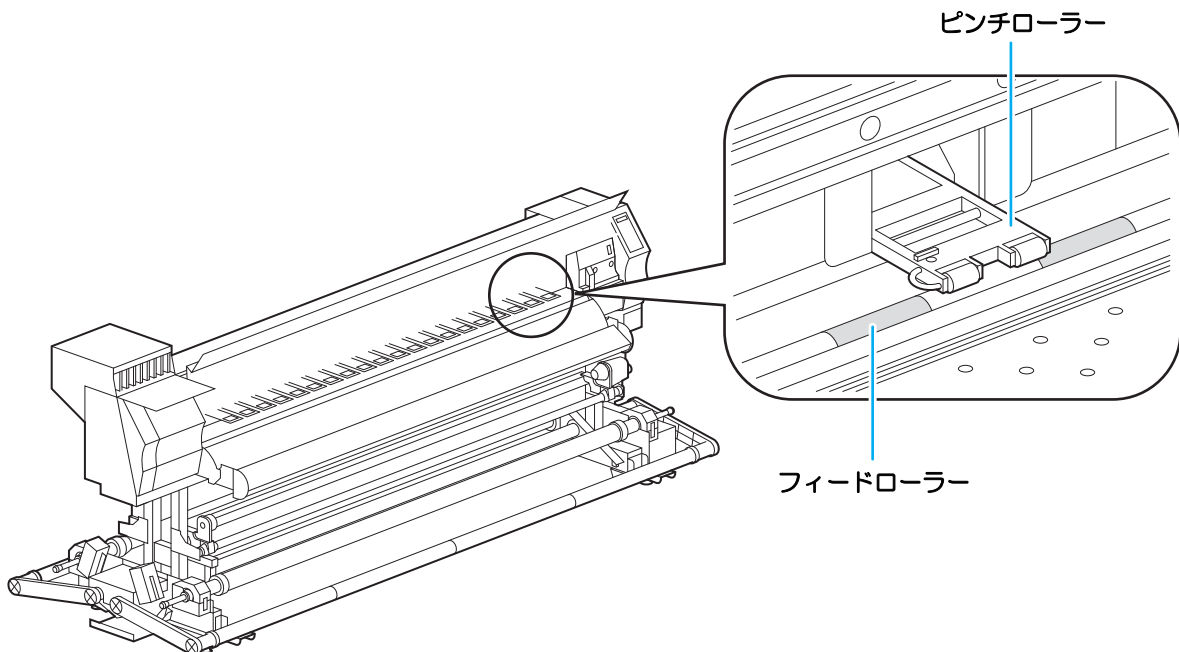


## ピンチローラーとフィードローラー

**重要!**

- 本装置を使用しない時は、ピンチローラーを上げた状態にしておいてください。ピンチローラーを下げたまま長時間放置しておくと、ピンチローラーが変形し、メディアを確実に保持できなくなる場合があります。

本装置は、「ピンチローラー」と「フィードローラー」でメディアを保持し、プリント時にメディアを前側に送り出します。



1

1 使用の前に

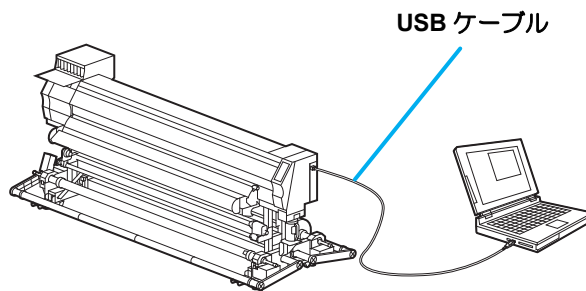
# ケーブルを接続する

## USB2.0 インターフェイスケーブルを接続する

コンピュータと本装置を USB2.0 インターフェイスケーブルで接続します。



- ご使用の RIP が USB2.0 インターフェイスに対応している必要があります。
- USB2.0 インターフェイスがコンピュータに付いていない場合は、お近くの RIP メーカーまたは弊社営業所までお問い合わせください。

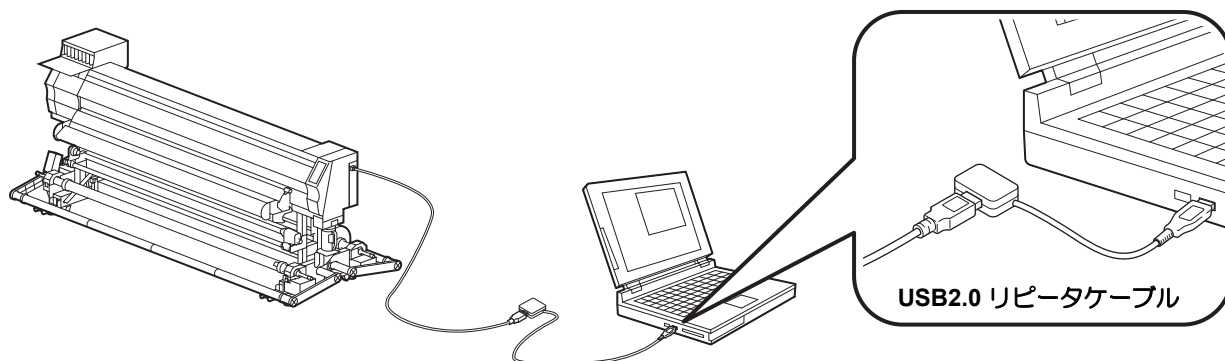


## USB 2.0 インターフェイスについての注意事項

- 重要!** • ご使用の RIP が、USB 2.0 に対応している必要があります。

### ● 1 台のパソコンに複数の JV34 を接続する場合

1 台のパソコンに JV34 を複数台接続する場合、JV34 を正常に認識できない場合があります。複数の USB ポートが付いているパソコンの場合は、他の USB ポートに接続して JV34 を認識できるか確認してください。USB ポートを変えても JV34 を認識しない場合は、市販の USB2.0 リピータケーブルを使用してください。



### ● USB ハイスピードモードの周辺機器について

JV34 と USB ハイスピードモードで動作する周辺機器 (USB メモリ、USB-HDD など) を併用した場合、USB 機器が認識できない場合があります。

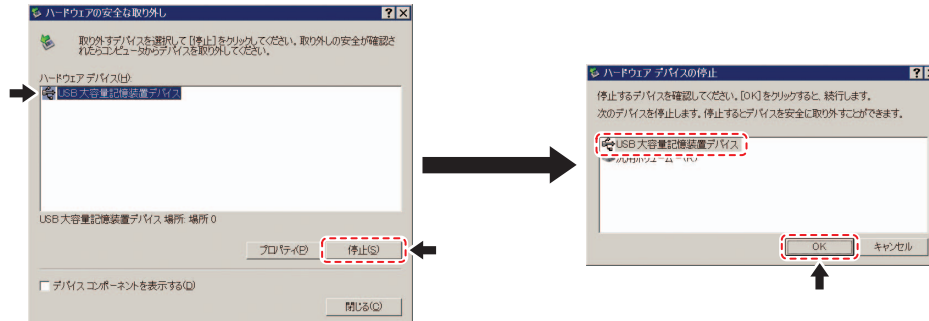
外付けの USB のハードディスクドライブなどを接続したパソコンに JV34 を接続した場合、JV34 へのデータ出力速度が遅くなる場合があります。よって、プリント中にヘッドが右端または左端でいったん停止する原因になります。

● USB メモリの抜きかた

JV34 を接続してあるパソコンに USB メモリを差してある場合は、「ハードウェアの安全な取り外し」により「停止」させてから抜いてください。

[ERROR 10 コマンドエラー] 発生の原因になります。

スプールデータをハードディスクにコピーした後、プリント出力してください。

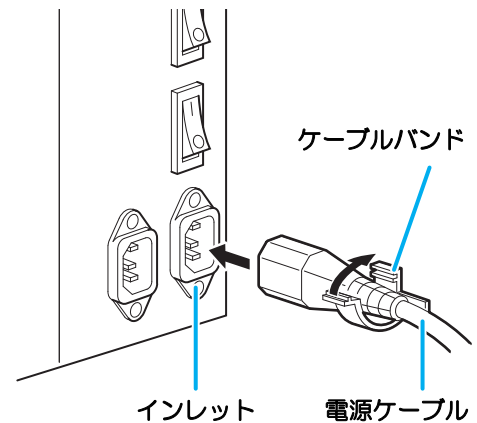


電源ケーブルを接続する

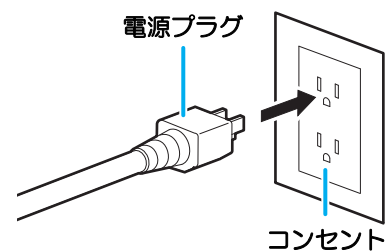
1 電源ケーブルを本装置のインレットに差し込む

2 ケーブルバンドを固定する

- 本装置に備え付けのケーブルバンドでケーブルを固定します。



3 電源プラグをコンセントに差し込む



- 付属品の電源ケーブル以外は使用しないでください。

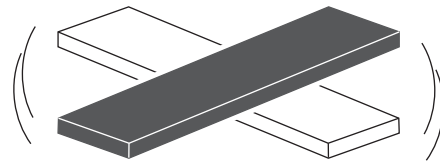


- 必ず本装置の近くにある電源コンセントに接続し、容易に取り外しができるようにしてください。
- 電源ケーブルのプラグは、アース処理したコンセントに接続してください。感電・火災の原因となります。

# インクカートリッジを入れる

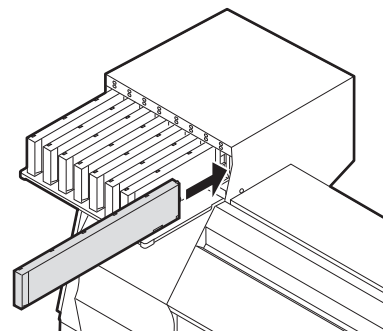
インクカートリッジを挿入します。

## 1 図のようにして、インクカートリッジを振る



## 2 インクカートリッジを差し込む

- IC チップがある方を左側に向けて、縦にして差し込んでください。
- ディスプレイには、次のように色を表示します。  
ブラック : K, シアン : C, マゼンダ : M, イエロー : Y,  
ブルー : B, ライトブルー : b, ライトマゼンダ : m



## インクカートリッジを交換する

ディスプレイに[インクエンド]や[インクニアエンド]などが表示されたときは、次のようにしてください。

### ● [インクエンド]が表示されたとき

- (1) 交換するインクカートリッジを引き抜く
- (2) IC チップの向きに注意して、新しいインクカートリッジを差し込む

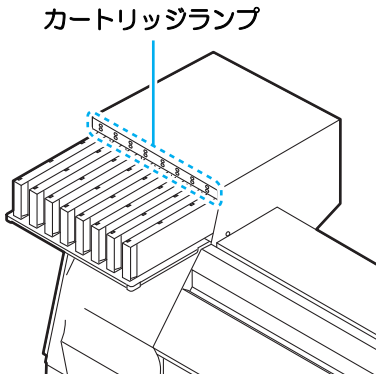
### ● [インクニアエンド]が表示されたとき

インク残量が少なくなっています。続けてプリントをすることはできますが、プリント中にインクがなくなる恐れがあります。早めにインクカートリッジの交換をすることをお勧めします。

- 重要!**
- [インクニアエンド]表示中は、プリント中クリーニングの設定ができなくなります。(P.3-22)
  - 装置設置時に溶剤インクを選択している場合、溶剤インクから昇華転写インクに変更することはできません。

## インクカートリッジランプについて

インクカートリッジの上にあるランプで、セット中のインクカートリッジの状態を確認することができます。



ランプの状態		説明
上段 赤色ランプ	消灯	異常なし
	点滅	次のいずれかのエラーが発生しています。 ・インクニアエンド ・インクエンド ・インク期限切れ(1ヶ月)
	点灯	次のいずれかのエラーが発生しています。 ・インクの残量が0になった ・インクカートリッジが挿入されていない ・その他のインクエラー (☞ P.6-5)
下段 緑色ランプ	消灯	異常なし
	点灯	4色インクセットでお使いのとき、本機はインク残量の少ないインクカートリッジからインク供給を行います。(☞ P.3-44) この場合、使用中のカートリッジのランプが緑点灯します。

## インクカートリッジ取り扱い上のご注意



- ・ソルベントインクには有機溶剤を使用しております。皮膚に付着した場合は、直ちに石けん水で洗った後、水で十分に洗い流してください。万一、インクが目に入った場合は、直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗い流し、まぶたの裏まで完全に洗い流してください。できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- ・本装置には専用のインクカートリッジをお使いください。本装置は、専用のインクカートリッジを認識して動作します。インクカートリッジ等の改造により故障した場合は、保証期間内であっても保証の対象外になります。
- ・インクカートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、3時間以上、室温環境下に放置してから使用してください。
- ・インクカートリッジは開封してから3カ月以内に使い切ってください。開封後、長時間経過したものはプリント品質が低下します。
- ・インクカートリッジは冷暗所で保存してください。
- ・インクカートリッジは、子供の手の届かない場所に保管してください。
- ・空になったインクカートリッジは、産業廃棄物の処理業者に処理を依頼してください。



- ・インクカートリッジを強く振らないでください。強く振ったり、振り回したりすると、カートリッジからインクがもれることがあります。
- ・インクカートリッジのインクを詰め替えないでください。故障の原因になります。また、インクを詰め替えて使用したことによって生じた不具合について、弊社はいっさい責任を負いかねます。
- ・インクカートリッジの基板接点部分は、手で触れたり汚したりしないでください。基板の故障の原因になります。



- ・インクカートリッジは分解しないでください。

# メディアについて

使用可能なメディアサイズと、その取り扱い方法について説明します。

## 使用可能メディアサイズ

機種名		JV34-260	
推奨メディアの種類	ターポリン /FF(Flexible Face)/ 塩ビフィルム	フォトペーパー /PET/ 合成紙 / 転写紙	
最大幅	2642mm		
最小幅	210mm		
最大プリント範囲	2632mm		
ロール メディア	厚さ	1.0mm 以下	
	ロール外径	Φ250mm 以下 (小型メディアホルダー時は 180mm 以下)	
	ロール重量	100kg 以下 (小型メディアホルダー時は 25kg 以下)	
	紙管内径	2 インチまたは 3 インチ	
	プリント面	ロール外側面	
	巻き終り処理	紙管にテープ止めまたは弱粘着	

## メディア取り扱い上の注意

メディアの取り扱いについて、次の点にご注意ください。

- 重要!**
- **推奨メディアをご使用ください。**  
安定した高画質でプリントするには、弊社推奨のメディアをご使用ください。
  - **メディアの特性に合わせ、ヒーター温度を設定してください。**  
メディアの種類や特性に合わせて、プリヒーターおよびプリントヒーターの温度を設定してください。また、専用 RIP からプロファイル指定により自動温度設定を操作パネルから指定する方法があります。指定方法は、お使いの RIP の取扱説明書を参照してください。
  - **メディアの伸縮にご注意ください。**  
包装を開けて間もないメディアは、使用しないでください。室内の温度や湿度によって、メディアが伸縮する場合があります。包装を開けて、使用する場所で 30 分以上さらしてから装置に取り付けてください。
  - **カールしたメディアは使用しないでください。**  
紙詰まりの原因になります。コーティングした定型サイズ紙をまるめて保管する場合は、コーティング面が外側になるようにしてください。
  - **メディアのフチのホコリにご注意ください。**  
ロールによっては、包装に含まれるホコリがロール端面に溜まっていることがあります。そのままお使いになると、ノズル抜けやインクのボタ落ちなどによるプリント品質劣化の原因となりますので、ロール端面についたホコリを取り除いてからセットしてください。

# メニューモードについて

本装置には4つのモードがあります。各メニューモードについて説明します。

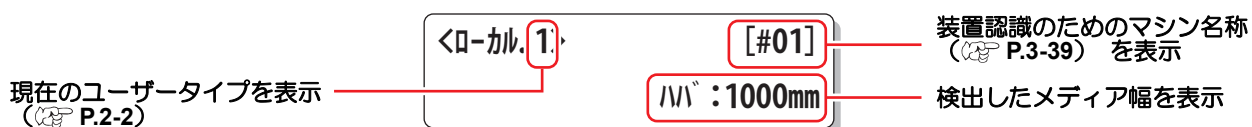
## ノットレディモード

メディアを検出する前のモードです。**(REMOTE)**/**(TEST PRINT)**キー以外のキーが有効です。

## ローカルモード

ローカルモードは、プリント準備状態のモードです。  
全てのキーが有効です。  
コンピュータから、データを受信できます。ただし、プリントは行いません。

### ローカルモード中のディスプレイ表示



ローカルでは以下の操作が可能です。

- ・ ジョグキーを押して、プリント原点やプリント範囲を設定します。
- ・ **(TEST PRINT)** キーを押して、「テストプリント」を行います。
- ・ **(CLEANING)** キーを押して「ヘッドクリーニング」を行います。
- ・ **(FUNCTION)** キーを押して、各種機能を設定します。(→ファンクションモードへ)
- ・ **(HEATER)** キーを押して、ヒーターの温度を設定します。
- ・ **(ENTER)** キーを押して、インク残量、カートリッジエラーの内容、機種名およびファームウェアバージョンなどを確認します。
- ・ **(REMOTE)** キーを押して、「ローカル」モードと「リモート」モードを切り替えます。
- ・ **(DATA CLEAR)** キーを押して、受信したプリントデータを消去します。
- ・ **(USER TYPE)** キーを押して、ユーザータイプを変更します。
- ・ **(ST.MAINT)** キーを押して、メンテナンス機能の[ステーションメンテナンス]をダイレクトに選択します。

## ファンクションモード

ローカルモード時に、**(FUNCTION)**キーを押すとファンクションモードになります。  
各ファンクション機能を設定します。

## リモートモード

受信したデータをプリントします。  
プリント中に**(REMOTE)**キーを押すと、一時停止します。





# 第2章

## 基本的な使い方



### この章では ...

プリントするためのインク／メディアの準備や、プリントまでの手順や設定方法について説明します。

ユーザータイプについて .....	2-2	ヒーターの準備をする .....	2-30
ユーザータイプに登録できる設定内容 .....	2-2	ヒーターの温度設定を変更する .....	2-30
登録したユーザータイプを使用する .....	2-2	ヒーターの温度を確認する .....	2-31
作業の流れ .....	2-3	テストプリントをする .....	2-32
電源を入れる / 切る .....	2-4	テストプリントを行う .....	2-33
電源を入れる .....	2-4	ヘッドクリーニング .....	2-34
電源を切る .....	2-5	ヘッドクリーニングについて .....	2-34
メディアをセットする .....	2-6	テストプリントの結果に合わせて ヘッドクリーニングを行う .....	2-34
ヘッド高さを調整する .....	2-6	データをプリントする .....	2-35
メディアセットに関するご注意 .....	2-8	プリントを開始する .....	2-35
重量ロールメディアをセットする .....	2-9	プリントを中止する .....	2-36
小幅ロールメディアをセットする .....	2-20	受信したデータを消去する (データクリア) .....	2-36
小幅巻取装置について .....	2-25	メディアをカットする .....	2-37
リーフメディアをセットする .....	2-26		
原点を変更する場合は .....	2-28		

# ユーザータイプについて

本装置を使ってプリントをするとき、メディアの特性に合わせたプリント設定を作成（ユーザータイプの設定）することにより、より高画質なプリントを実現することができます。  
本装置では、ユーザータイプ 1～4 の 4 種類のタイプを設定できます。

## ユーザータイプに登録できる設定内容

ユーザータイプ（1～4）への登録方法は、P.3-2 を参照してください。

設定項目	参照ページ	設定項目	参照ページ
メディア補正の設定	P.3-4	カラーパターンの設定	P.3-18
ヒーターの設定	P.3-8	リフレッシュの設定	P.3-28
プリント方式の設定	P.3-12	吸着の設定	
ドット位置補正の設定	P.3-6	フィード速度レベルの設定	
重ね塗りの設定	P.3-28	オートクリーニングの設定	P.3-20
乾燥時間の設定	P.3-16	プリント中クリーニングの設定	P.3-22
オートカットの設定	P.3-28	メディア検出の設定	P.3-25
プリフィードの設定		送り原点の設定	P.3-28
マージンの設定	P.3-17	MAPS の設定	P.3-26

## 登録したユーザータイプを使用する

1

ローカルで、**USER TYPE** キーを押す

```
<ローカル. 1> [ #01 ]  
/\\* ****mm
```

2

**▲** **▼** でユーザータイプ（1～4）を選択する  
・ **USER TYPE** キーを押しても選択できます。

```
ユーザータイプ° ヘンコウ  
タイプ° (1)-> <2> :ent
```

3

**ENTER** キーを押す

```
<ローカル. 2> [ #01 ]  
/\\* : ****mm
```

選択したユーザータイプの番号

### **USER TYPE** を使わないでユーザータイプを選ぶには

**USER TYPE** キーを押さなくても、ローカルモードから **FUNCTION** キーを使ってユーザータイプを選ぶことができます。



# 作業の流れ

1 電源を入れる / 切る

「電源を入れる / 切る」(☞ P.2-4) を参照してください。

2 メディアをセットする

「メディアをセットする」(☞ P.2-6) を参照してください。

3 ヒーターの準備をする

「ヒーターの準備をする」(☞ P.2-30) を参照してください。

4 テストプリントをする

「テストプリントをする」(☞ P.2-32) を参照してください。

5 データをプリントする

「データをプリントする」(☞ P.2-35) を参照してください。

2

基本的な使い方

# 電源を入れる / 切る

## 電源を入れる

本装置には、2つの電源スイッチがあります。

**主電源スイッチ**：本装置の側面にあります。常時「オン」にしておいてください。

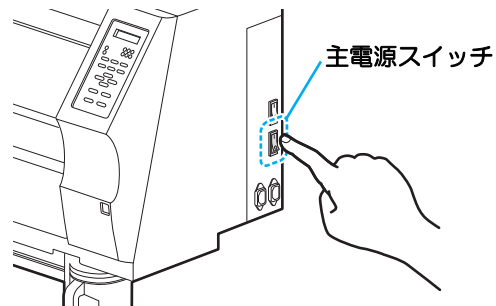
**電源スイッチ**：通常、電源のオン/オフをするときはこのスイッチを使用します。

電源がオンのときは電源スイッチが緑色に点灯し、オフにすると緑色に点滅します。

電源スイッチがオフでも、主電源スイッチがオンになっていれば（電源スイッチが緑色点滅）、定期的に電源が自動的に入り、ノズル詰まり防止機能が動作します。

### 1 主電源スイッチを入れる

- 装置側面にある主電源スイッチを「I」側に倒します。



- 電源をオンにするとファームウェアのバージョンを表示します。
- 初期動作を実行します。

JV34-260 V\*.\*.\*

### 2 ローカルになる

<ローカル.1> [#01]

### 3 接続しているコンピュータの電源をオンにする

**重要!**

- フロントカバー/メンテナンスカバーを閉じてから電源を入れてください。
- 主電源スイッチを「オフ」のまま長時間放置すると、ヘッドのノズル詰まりの原因となります。

## 電源を切る

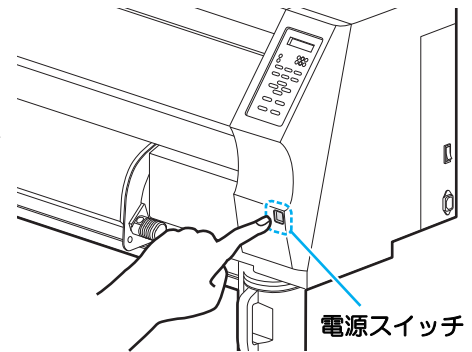
プリンタの使用が終了したら、装置前面にある電源スイッチを押して電源をオフにします。電源を切るときは、次のことを確認してください。

- コンピュータからデータを受信中ではないか、また、未出力のデータが残っていないか。
- ヘッドはキャッピングステーションに戻っているか。
- エラーは発生していないか。(P.6-9「エラーメッセージ」)

### 1 接続してあるコンピュータの電源をオフにする

### 2 電源スイッチを押して、電源を切る

- 電源スイッチが緑色に点滅します。
- 装置側面にある主電源スイッチは、切らないでください。
- 次に、本装置をご使用になるときは、電源スイッチを押して緑色ランプを点灯させてからお使いください。



### 電源を切るときのご注意

#### ● 主電源スイッチは切らないでください。

主電源スイッチが入っていると、定期的に電源が入りノズル詰まり防止機能（フラッシング機能）が働きます。

主電源スイッチを切っていると、フラッシング等のオートメンテナンス機能が働かず、ノズル詰まりの原因となります。

#### ● フロントカバー/メンテナンスカバーは閉めた状態にしてください。

カバーが開いていると、フラッシング等のオートメンテナンス機能が働かなくなります。

#### ● ヘッドの位置を確認してから電源を切ってください。

ヘッドがキャッピングステーションに戻っていない状態で電源を切ると、ヘッドが乾燥してノズル詰まりの原因となります。

このときは、再度、電源を入れ、ヘッドがキャッピングステーションに戻ったことを確認してから電源を切ってください。

#### ● プリント中は電源を切らないでください。

ヘッドがキャッピングステーションに戻らないことがあります。

#### ● 電源スイッチを切ってから、主電源スイッチを切ってください。

装置の移動や装置のエラー対処等で主電源スイッチを切る場合、必ず、装置前面にある電源スイッチを押し、操作パネルのディスプレイ表示が消えていることを確認してから主電源スイッチを切ってください。

# メディアをセットする

本装置では、ロールメディアとリーフメディアをご使用になれます。  
使用できるメディアについては、P.1-14「使用可能メディアサイズ」を参照してください。

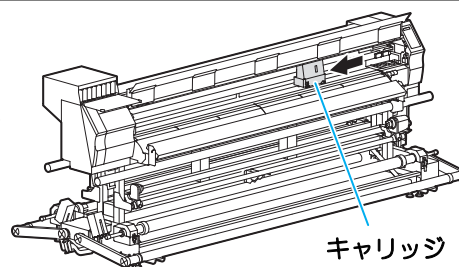
## ヘッド高さを調整する

お使いになるメディアの厚みに合わせて、ヘッド高さを調節してください。

- 重要!**
- ・ヘッド高さの調整は、メディアをセットする前に行ってください。メディアをセットしたあとに調整すると、メディア詰まりやプリント品質の低下、ヘッドの破損の原因となります。
  - ・使用目的に応じ、ヘッド、イニシャル高さのレンジを2段階に調整できます。
  - ・JV34の印刷高さ範囲は、Lレンジ(2mm/3mm)からHレンジ(3mm/4mm)です。(出荷時は、Lレンジ2mmで設定)
  - ・プリント品質を“ソウホウコウ”にセット(☞P.3-14)している場合、ヘッド高さの調整後にメンテナンス機能の「ドット位置補正」をしてください。(☞P.3-6)

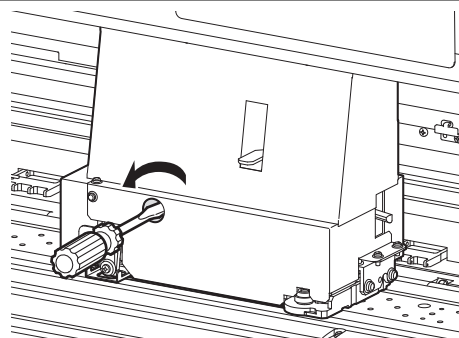
### 1 キャリッジをプラテン上に移動する

- ・電源オン時  
メンテナンス機能の「ステーションメンテナンス-キャリッジアウト」を実行(☞P.5-5 手順1,2)
- ・電源オフ時  
フロントカバーを開け、手でキャリッジを動かす

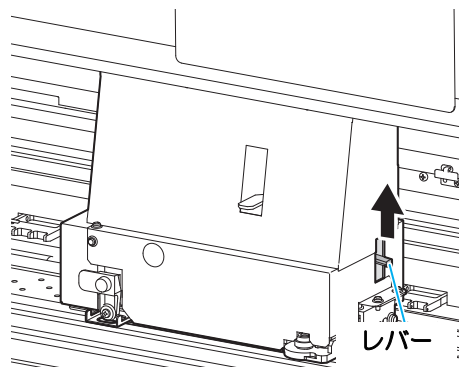


### 2 正面にあるネジを緩める

- ・マイナスドライバー等を使って、1回程度回して緩めます。

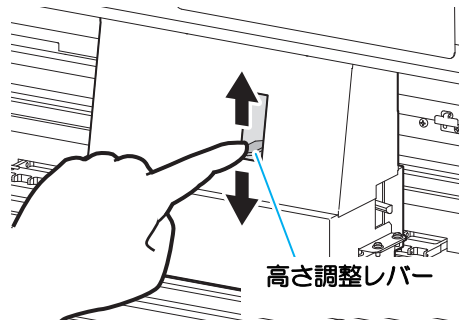


### 3 キャリッジ右側にあるレバーを上上げる



### 4 高さ調整レバーをメディアに応じて調整する

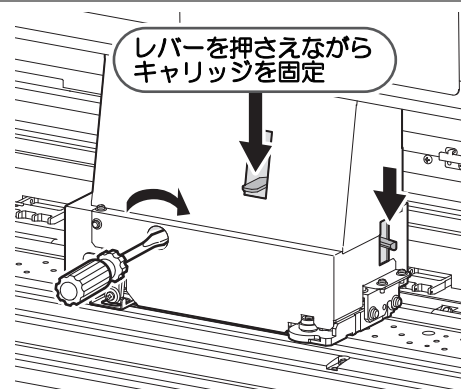
- ・P.2-7「調整レバーとレンジについて」を参照して、レバーの位置を調整してください。
- ・高さ調整レバーは、確実に上か下に設定してください。レバーが中間にあると、プリント異常をおこします。



## 5

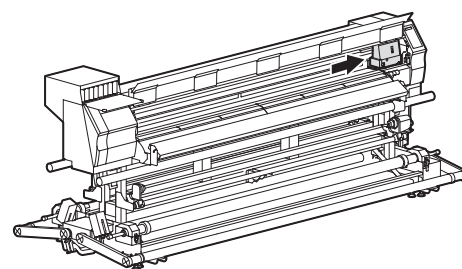
## 高さ調整レバーを押さえたまま、キャリッジを固定する

- キャリッジ右側のレバーを下げ、正面のネジを締めると、キャリッジを固定することができます。
- 必ず、高さ調整レバーを押さえたままキャリッジを固定してください。正常な位置にヘッドを固定できません。
- ネジは緩まないように確実に締めてください。



## 6

## キャリッジをステーションに戻す



## 調整レバーとレンジについて

レンジ	高さ調整レバー	ヘッド高さ	切換エリア	
Lレンジ (一般印刷)	Thin / ウスイ	2mm (出荷時設定位置)	ユーザー切換	サービスマン切換 L ↔ Hの変更に ついては、弊社営業へ お問い合わせください。
	Thick / アツイ	3mm		
Hレンジ (転写系印刷)	Thin / ウスイ	3mm		
	Thick / アツイ	4mm		



- ターポリンやFFのように厚いメディアをお使いになる場合は、レバーを「厚い(Thick)」にセットしてください。
- メディアの種類により、ヘッドにホコリが付着しやすい場合やインクこすれが発生する場合、レバーを「厚い(Thick)」にセットしてください。



- ソルベントインクの場合は、Hレンジでご使用にならないでください。画質の保証ができません。
- 1mm厚以下のメディアとSS21インクの組み合わせでお使いの場合、ヘッド高さはウスイ(Thin)に必ず設定してください。ヘッド高さをアツイ(Thick)で使用すると、ヘッドギャップ(メディアからヘッドノズル面の高さ)が空きすぎてインク滴が飛び散ることがあり、画質の保証ができません。

## メディアセットに関するご注意

メディアをセットする際は、次の注意事項を良くご理解ください。



- ロールメディアをセットするときは、メディアを足などに落とさないように注意してください。メディアの重みで怪我をすることがあります。
- 重量ロールメディアをセットする場合は、2人以上でセットしてください。ロールメディアの重みでコシを傷める可能性があります。
- クランプレバーの操作は、慎重に行ってください。テンションバーを上げたときにレバーを上げると大変危険です。必ずテンションバーをロック位置に固定してから、レバーを操作してください。



- 次のようなときは、正しいメディア検出ができない場合があります。
- 透明なメディアをセットしたとき / メディアに直射日光が当たっているとき
- プリント済みのメディアは使用しないでください。インクがピンチローラーに付着し、メディアが汚れたり、メディアを検出できなくなる場合があります。
- カールがきついメディアや内巻きのメディアは、メディアがプラテンに沿うように、巻きくせをなおしてからご使用ください。
- メディアをセットしたまま放置すると、プリントヒーターの熱でメディアに凹凸が発生します。この状態でプリントすると、ヘッドがメディアをこする原因になります。メディアに凹凸が発生したら、凹凸部分にプリントしないよう(▼)キーでメディアをフィードして、原点を設定し直してください。(P.2-28)
- メディアは、本体中央を基準にセットしてください。本装置は右端を基準にセットしてもプリントできますが、お使いのメディアによっては、メディアが斜めに搬送されたり、メディアがプラテンに貼り付く場合があります。メディアを本体中央を基準にセットすれば、安定した搬送ができます。



## 重量ロールメディアをセットする

ロールメディアには、幅が 1.6m 以上の「重量ロールメディア」と幅が 1.6m 未満の「小幅ロールメディア」があります。

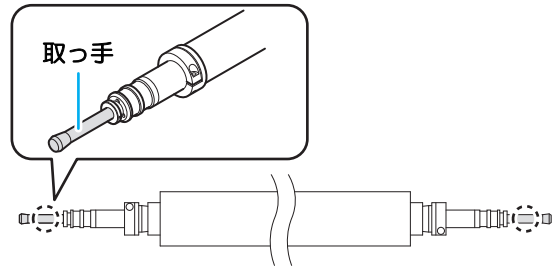
ここでは、幅が 1.6m 以上ある「重量ロールメディア」のセット方法を説明します。

### 最初に、重量メディア巻取装置の準備をする

重量ロールメディアをセットする前に、巻取装置の準備を行ってください。

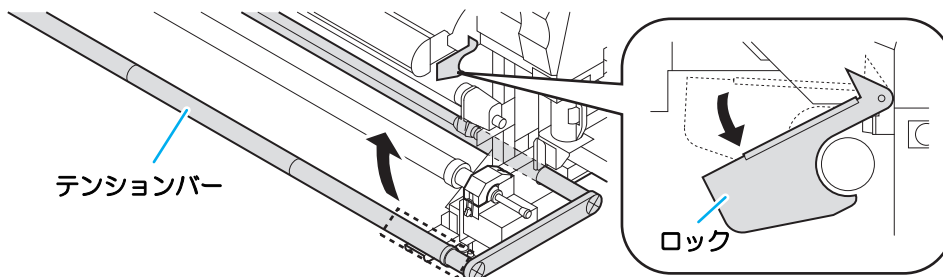


- ロールシャフトはメディアの重量も含めると、とても重くなるため、取り扱いには十分ご注意ください。また、事故やケガ等を防ぐため、ロールシャフトを持つときは、必ず両端の取っ手を持ってください。



### 1 装置前面と背面のテンションバーをロック位置で固定する

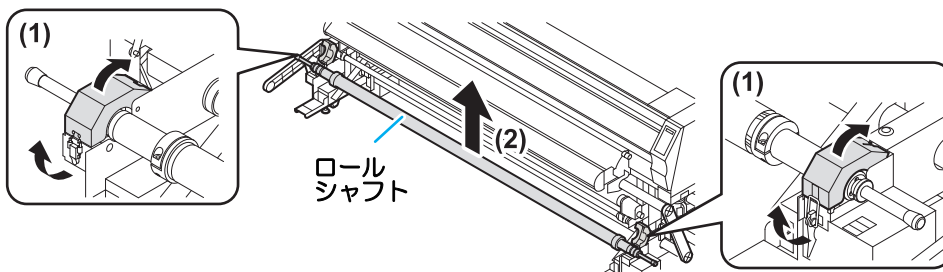
- ロックは装置前面の右側と、装置背面の左側にあります。
- テンションバーを持ち上げ、ロックを使って固定してください。



- テンションバーはロック位置よりも外側の部分を持って操作してください。ほかの箇所を持つと、手を挟む可能性があり、危険です。

### 2 装置前面の重量メディア巻取装置にセットされているロールシャフトを取り外す

- (1) 巻取装置左右のカバーを開ける
- (2) ロールシャフトを取り外す

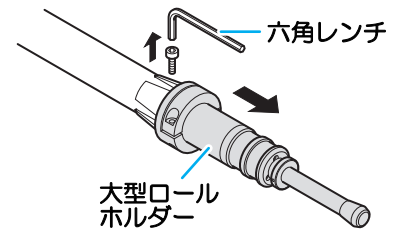


### 3

#### 大型ロールホルダーを外す

・大型ロールホルダーは、左右両方にあります。左右両方とも、下の手順で外してください。

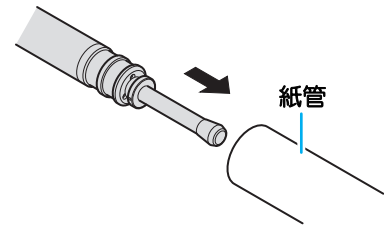
- (1) 付属の六角レンチでネジを緩める
- (2) 大型ロールホルダーを取り外す



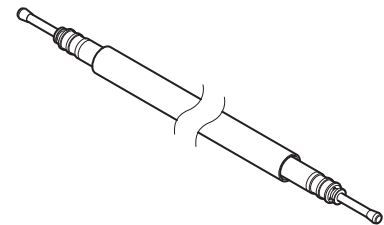
### 4

#### 紙管を取り付ける

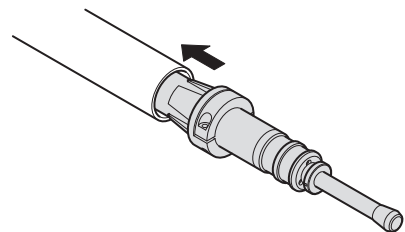
- (1) ロールシャフトを紙管に通す



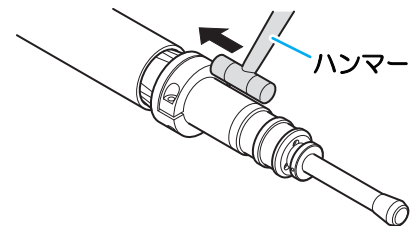
- (2) 紙管がロールシャフトの中央に来るように調整する



- (3) 左右の大型ロールホルダーを紙管に差し込む



- (4) 付属のハンマーで大型ロールホルダーをたたき、紙管に押し込む



### 5

紙管をセットしたロールシャフトを重量メディア巻取装置にセットし、左右のカバーを閉める

## 重量ロールメディアをセットする

装置背面にある重量メディア繰出装置に重量ロールメディアをセットします。  
重量ロールメディアをセットするときは、マシン設定の「マキトリ&クリダシ」を“ON”に設定してください。



- ロールメディアは重いため、2人以上でセットしてください。その際、メディアを足などに落とさないよう注意してください。  
また、腰を痛める可能性がありますので、注意してください。
- クランプレバーの操作は、慎重に行ってください。  
テンションバーを上げたときにレバーを上げると大変危険です。必ずテンションバーをロック位置に固定してから、レバーを操作してください。

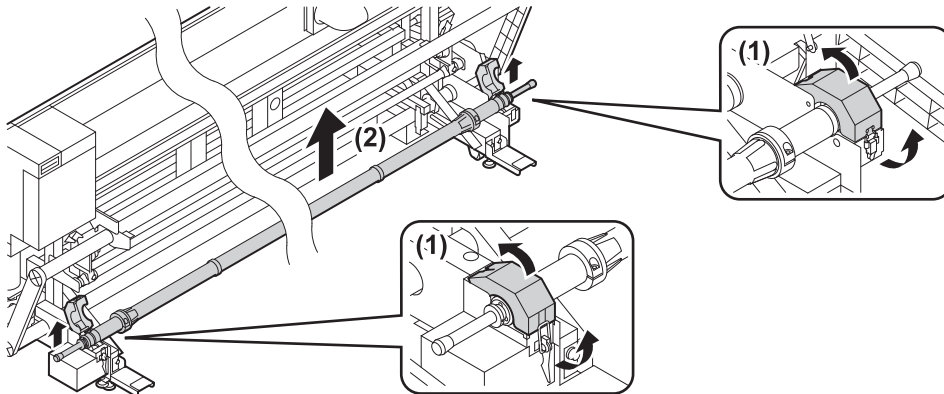
### 1

マシン設定の「マキトリ&クリダシの設定」で“ソウチセンタク”を“ON”にする  
( P.3-32)

### 2

装置背面の重量メディア繰出装置にセットされているロールシャフトを取り外す

- (1) 重量メディア繰出装置左右のカバーを開ける
- (2) ロールシャフトを取り外す

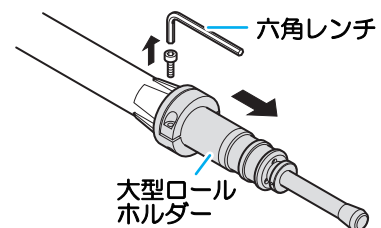


- ロールシャフトを持つときは、必ず両端の取っ手部を持ってください。他の部分を持つと、指が挟まれる恐れがあります。  
また、腰を痛める可能性がありますので、注意してください。
- ロールシャフトを本装置から取り外して紙管やメディアをセットするときは、ホコリ等の付着を防ぐため、台やシートの上などで作業してください。  
紙管やメディアにホコリ等が付くと、プリントの不具合の原因になります。

### 3

大型ロールホルダーを外す

- 大型ロールホルダーは、左右両方にあります。左右両方とも、下の手順で外してください。
- (1) 付属の六角レンチでネジを緩める
- (2) 大型ロールホルダーを取り外す



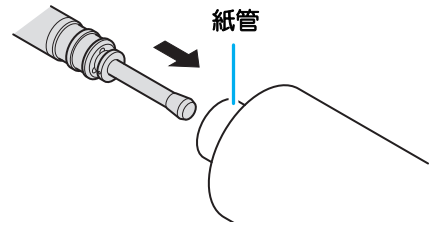
## 2

基本的な使い方

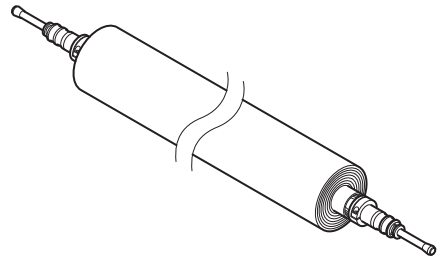
# 4

## ロールシャフトにメディアをセットする

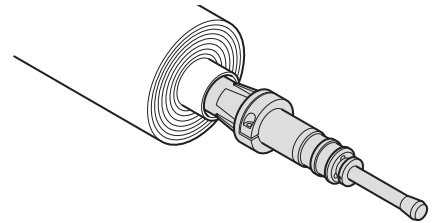
(1) ロールシャフトをメディアの紙管に通す



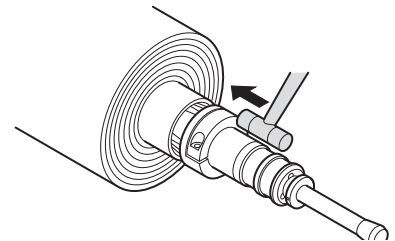
(2) メディアがロールシャフトの中央に来るように調整する



(3) 左右の大型ロールホルダーを紙管に差し込む



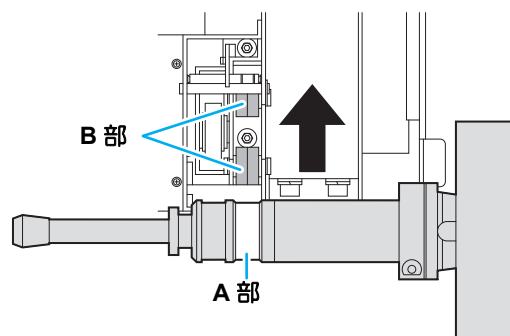
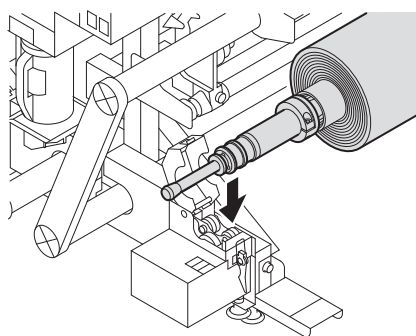
(4) 付属のハンマーで大型ロールホルダーをたたき、紙管に押し込む



# 5

## メディアをセットしたロールシャフトを重量メディア繰出装置にセットする

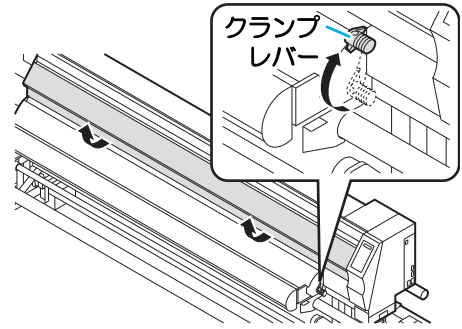
• ロールシャフトのA部を装置B部のベアリングに合わせてセットします。



• シャフトをセットするときは、勢いよく落とさずに静かに置いてください。

6

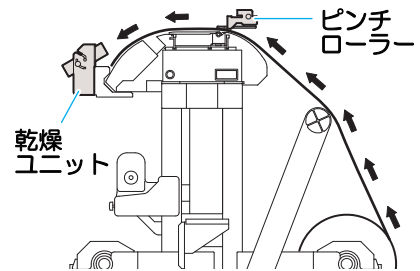
装置前面からフロントカバーを開け、クランプレバーを上げる



7

装置背面から、メディアを前面に送る

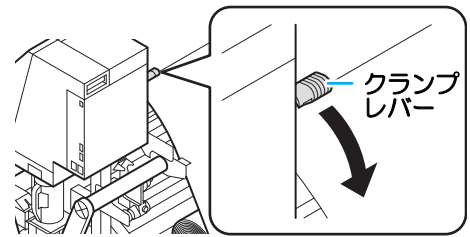
- ロールメディアをプラテンとピンチローラーの間に差し込み、装置の前面までメディアを送ります。
- メディアは乾燥ユニットの下側を通してください。
- このとき、十分な長さのメディアを装置の前面に送り出しておいてください。



8

装置背面からクランプレバーを下げる

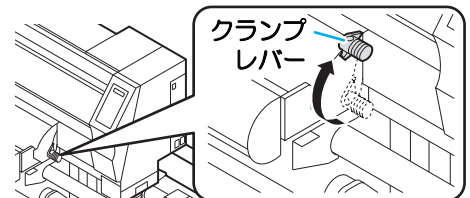
- メディアを仮ロックします。



9

装置前面に回り、クランプレバーを上げる

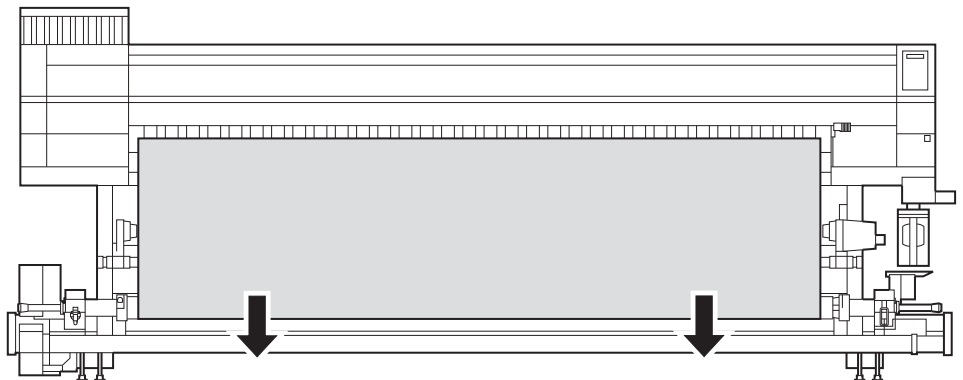
- メディアの仮ロックが解除されます。



10

メディアを引き出す

- 2人でメディアの両端を持ち、メディアの先端が床よりも 50cm くらい長く出るように引き出します。
- まっすぐセットするため、メディアを長めに引き出す必要があります。

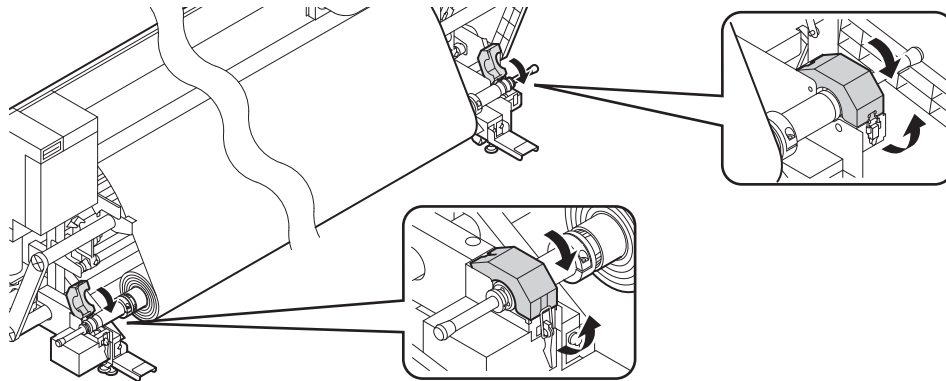


2

基本的な使い方

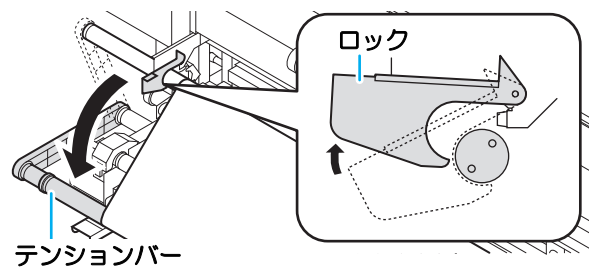
**11**

装置背面に回り、重量メディア繰出装置の左右のカバーを閉める

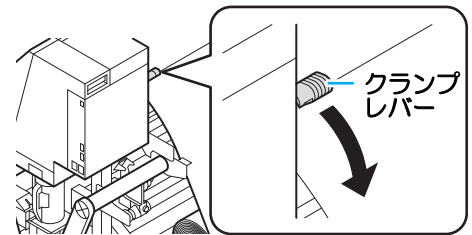
**12**

背面のテンションバーをストッパーまでゆっくり下ろし、メディアを張る

- テンションバーは、ロックを外してから下ろしてください。

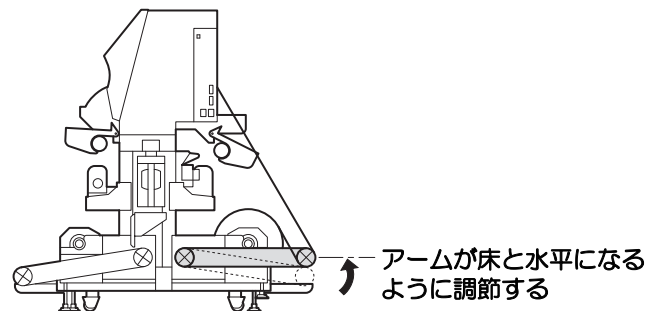
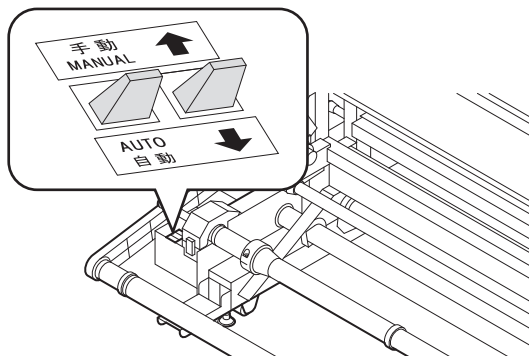
**13**

クランプレバーを下げる

**14**

重量メディア繰出装置の左側にあるスイッチでテンションバーの位置を調整する

- (1) ↑ ↓のスイッチをメディアの巻取方向にセットする
- (2) 左側のスイッチを [手動 / MANUAL] にする
  - メディアを巻き取りながら、テンションバーが上がります。このとき、メディアが繰り出され、テンションバーが上がらない場合は、↑ ↓のスイッチを切り替えてください。
- (3) テンションバーアームが床とほぼ平行になったら、左のスイッチを [AUTO] にして、テンションバーを止める
- (4) ↑ ↓のスイッチを、メディアを繰り出す方向に切り替える



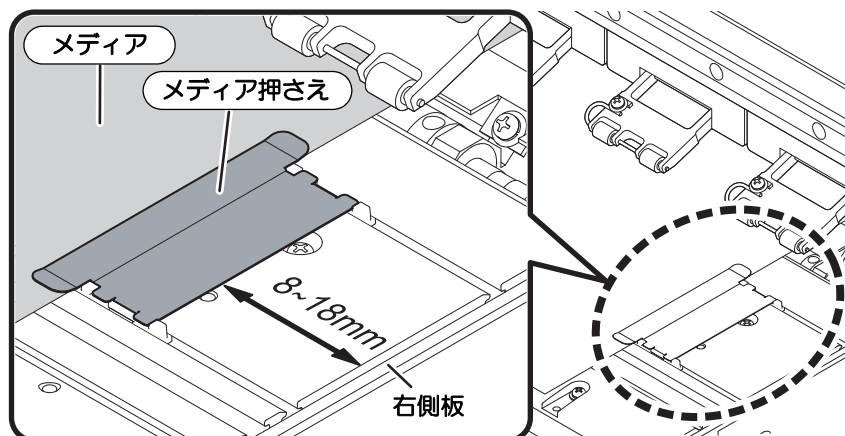
## 15 メディア押えでメディアを軽くはさむ

- 右端のピンチローラーより右側にメディアがはみ出さないようにセットしてください。
- 厚みのあるメディアを使用する場合は、メディア押えをメディアから外してプリントしてください。



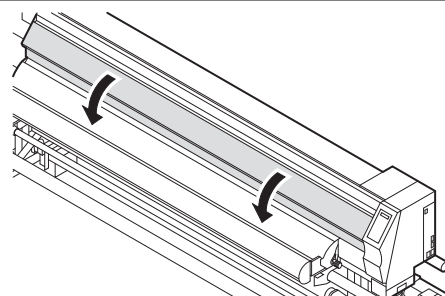
- メディア押えが右側板に接する位置でメディアをセットしないでください。メディアが斜行した場合、メディアが浮き上がりヘッドを破損する原因になります。
- メディアが規定位置より右に寄っていると、メディア検出後、次の警告を表示してお知らせします。メディアをセットし直してください。

\*\*\*\*\* ERROR 50 \*\*\*\*\*  
メディア セット イチ



メディア押さえの位置：右側板から8～18mm  
(メディア紙管の内径ばらつきにより、上記の範囲で変動します。)

## 16 フロントカバーを閉じる




## 17 ◀ を押して、“ロール”を選択する

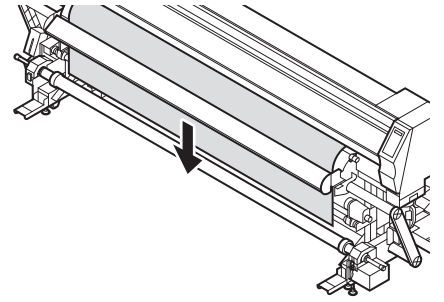
- メディア幅を検出します。
- メンテナンス機能の「メディア残量表示」の設定が“ON”の場合 (P.5-25)、メディア幅の検出後メディア残量入力画面を表示します。(P.2-24)

メディア センタク  
ロール< >リーフ

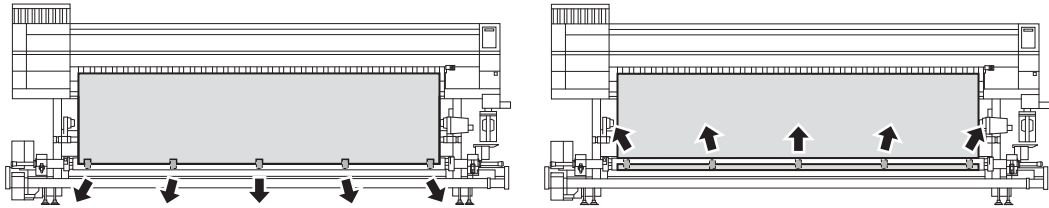




**18****巻き取り装置にメディアを固定する (☞ P.2-25)**

- (1)  を押して、巻き取り装置の紙管に届くまでメディアをフィードする



- (2) 図のようにして、メディアを固定する

**19****  を押して、メディアをたるませる**



- メディアが床に着くくらいまでたるませます。

**20****重量メディア巻取装置のスイッチを使って、紙管にメディアを軽く 1 周ほど巻きつける**

- (1) 左のスイッチを [MANUAL]、右の↑↓スイッチをメディアを巻き取る方向にして、メディアを巻きつける  
 (2) メディアが張る直前で、左のスイッチを [AUTO] にして巻きつけを止める



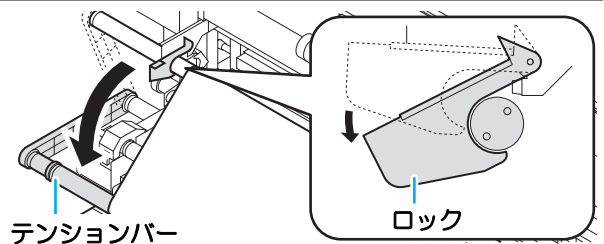
- メディアを巻きつけすぎると、巻取装置の左右のカバーが開き、操作パネルに「カバーオープン」のエラーが表示されます。この場合は巻取装置の右のカバーを開けて、メディアの張りをゆるめるようにほぐします。

**21****再度ジョグキー   を押して、メディアをたるませる**

- メディアが床に着くくらいまでたるませます。

**22****装置前面のテンションバーをゆっくり下ろす**

- テンションバーは、ロックを外してから下ろしてください。





23

### ▲▼を押してテンションバーを上げ、たるんだメディアを張る

- スイッチは「AUTO」にしておいてください。メディアを巻き取りながらテンションバーが上がリ、適切な位置で自動的に止まります。



- ▲▼を押してもテンションバーが上がらない場合は、スイッチを操作してたるんだメディアを張ります。

(1) ↑↓のスイッチをメディアの巻き取り方向にセットして、スイッチを [ 手動 / MANUAL ] にする (テンションバーが上がります)

- このとき、メディアが繰り出され、テンションバーが上がらない場合は、↑↓のスイッチを切り替えてください。

(2) テンションバーアームが床とほぼ平行になったら、スイッチを [ 自動 / AUTO ] にして、テンションバーを止める

(3) ↑↓のスイッチをメディアを巻き取る方向にセットする

- 巻取装置とキャリッジの間のメディアにはプリントできません。

## 巻取 / 操出テンションバーの確認メッセージについて

重量メディア巻取 / 操出装置をより安全にお使いいただくため、テンションバーの位置が通常より高い位置でプリンタの操作を行おうとすると、ディスプレイにテンションバー位置の確認をお願いするメッセージを表示します。

マクトリ テンションバー ヲ カクニン  
:ent

クリタシ テンションバーヲ カクニン  
:ent

1

### メッセージが表示されたら、テンションバーの位置と回転方向スイッチを確認する

- テンションバー位置 / 回転方向スイッチ共に適正に設定されていた場合は、手順 2 の操作をする必要はありません。(ENTER) キーを押して操作を継続してください。

2

### (END) キーを押す

- 実行しようとしていた操作がキャンセルされます。テンションバー位置および回転方向スイッチを適正にセットし直して、再度操作を行ってください。



- 一度、テンションバーの確認を行えば、次回から確認メッセージは表示されなくなります。(一度電源を切ると、再度表示されます。)

**重要!**

- マシン設定の「クリダシ&マクトリの設定をする」(P.3-32) でテンションバーの動作位置を「タカイ」に設定している場合、上記メッセージを表示しても(ENTER) キーを押して操作を継続してください。

現在のテンションバー動作位置よりもさらに高い位置にテンションバーを設定しようとすると、装置に負荷がかかり破損の原因となります。

## 巻取 / 繰出テンションバーの調整について

メディアに合わせて安定した巻取を行うため、巻取 / 繰出テンションバーの調整を行ってください。

### ● 巻取テンションバーの動作位置の設定 (設定方法は、P.3-33 を参照してください)

メディアの性質によって、設定値を変えてください。

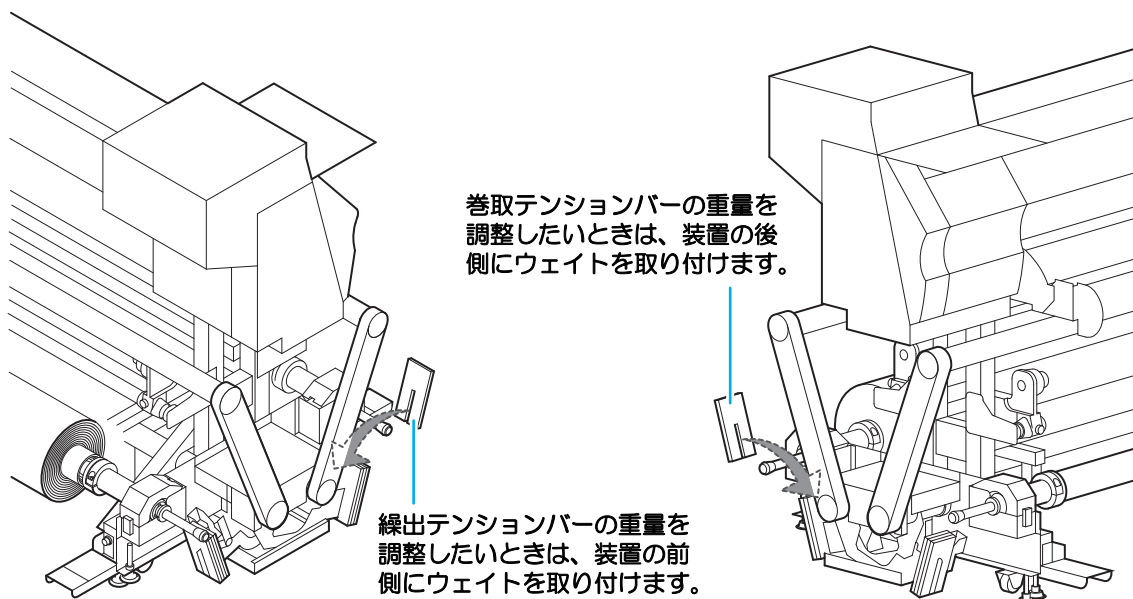
伸縮の大きいメディアをお使いになる場合は、テンションバー動作位置の設定を [タカイ] に設定することをお勧めします。

メディアの種類	設定値	理由
FF	メディアに合わせて任意に設定	
ターポリン / メッシュターポリン	[タカイ]	インクの浸食を受けやすいメディアの場合、膨張等を起こし、メディアの搬送や巻き取りに影響が出る可能性があります。 テンションバーの動作位置を高く設定しておけば、テンションバーでの折り返し角度が緩くなり、スムーズな搬送 / 巻き取りができるようになります。
塩ビ	メディアに合わせて任意に設定	
昇華転写紙	[ヒクイ]	インクにより発生するコックリングを補正するため、巻き取りまでの搬送距離が必要になります。 テンションバーの動作位置を低く設定しておけば、コックリングを補正するのに十分な搬送距離を保つことができますようになります。

## ● 巻取 / 繰出テンションバーの重量調整用カウンターウェイトの取り付け

メディアの性質によって、カウンターウェイトを取り付けてください。  
カウンターウェイトは、最大 14 枚まで取り付けることができます。

メディアの状況	対策
メディアにかかるテンションが強いため、メディアの送り方向にシワが発生する	お使いのメディアに合わせて、取り付けるカウンターウェイトの枚数を増やしてください。
メディアにかかるテンションが弱いため、メディアがたるんでキレイに巻き取れない	お使いのメディアに合わせて、取り付けるカウンターウェイトの枚数を減らしてください。



- ・カウンターウェイトは非常に重いため、取り扱いには十分にご注意ください。誤って指や足を挟むと、怪我の原因になります。



- ・テンションバーを高く上げると、途中からテンションバーが重くなります。(テンションバー本来の重量がかかります)
- ・使用しないカウンターウェイトは、保管箱に入れ紛失しないようにしてください。

## 小幅ロールメディアをセットする

**重要!** ・幅が 1.6m 未満のメディアは、小幅ロールホルダーにセットしてください。

### 1 装置前面と背面のテンションバーをロック位置で固定する

- ・ロックは装置前面の右側と、装置背面の左側にあります。
- ・テンションバーを持ち上げ、ロックを使って固定してください。

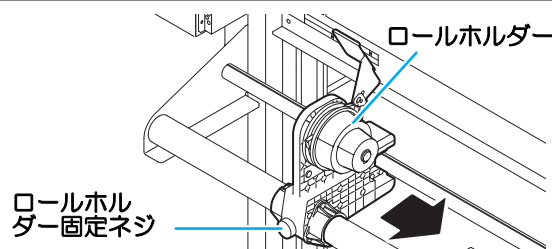


- ・テンションバーはロック位置よりも外側の部分を持って操作してください。ほかの箇所を持つと、手を挟む可能性があり、危険です。

### 2 マシン設定の「マキトリ&クリダシの設定」で“ソウチセンタク”を“OFF”にする (P.3-32)

### 3 装置背面にあるロールホルダーを移動する

- ・ロールホルダー固定ネジを緩めてから移動させます。
- ・メディアが装置の中央付近になる位置にロールホルダーを移動させてください。

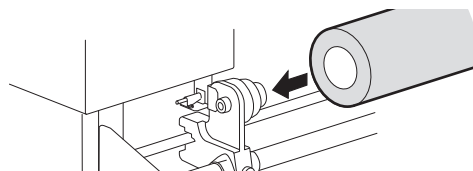


### 4 ロールホルダー固定ネジを締める

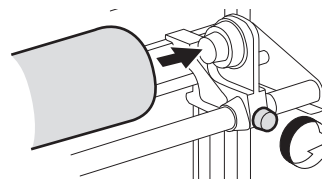
- ・手順 2～3 を、再度確認してください。

### 5 左側のホルダーにロールメディアの紙管を差し込む

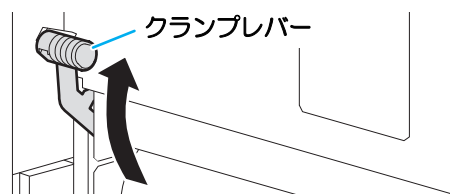
- ・紙管が動かなくなるまで、奥に差し込んでください。



### 6 右側のロールホルダーのネジを緩め、ホルダーに紙管を差し込む

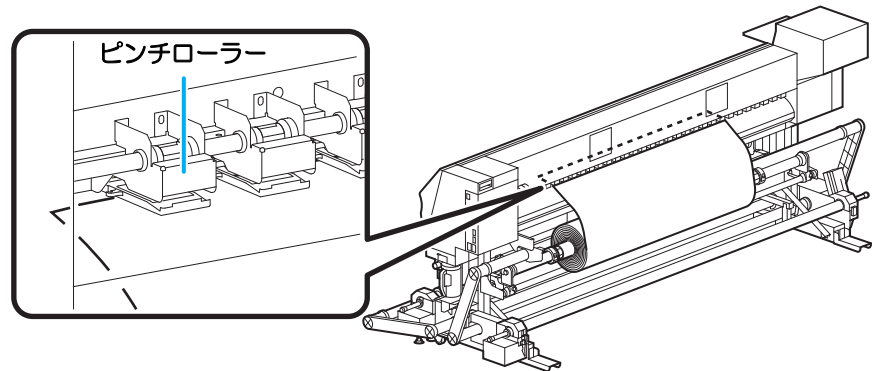


### 7 装置背面のクランプバーを上げる



## 8

## 本装置にロールメディアを差し込む



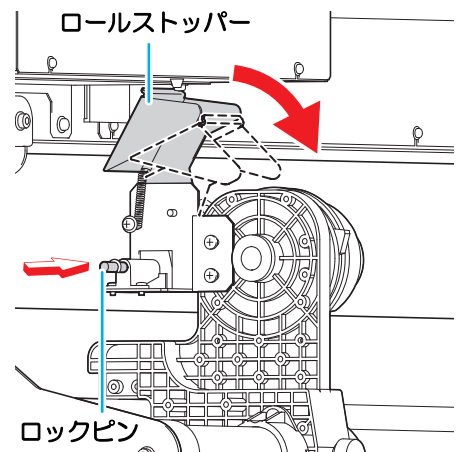
・メディアを斜めにすると、引っ掛かりが少なくスムーズに差し込めます。

- (1) プラテンの先端まで届くくらい、メディアを引き出す
- (2) プラテンとピンチローラーの間にメディアを差し込む
  - ・ 装置前面からメディアをつかめるくらい、メディアを送り出してください。
- (3) 装置背面からクランプレバーを下げる
  - ・ メディアが保持されます。

## 9

## ロールストッパーをロックする

- (1) ロールストッパーを矢印の方向に倒す
- (2) ロックピンを押し固定する



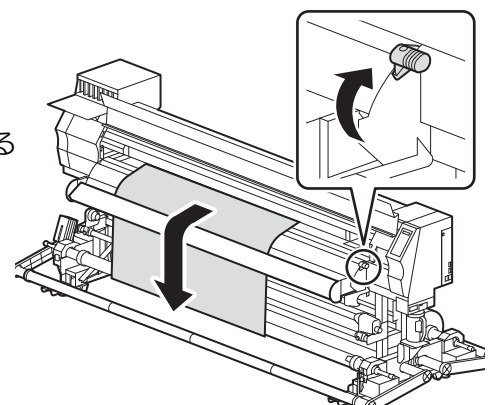
## 2

## 基本的な使い方

## 10

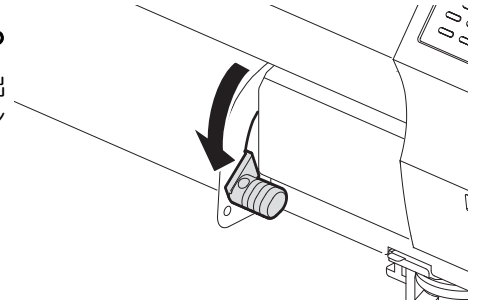
## ロールメディアを引き出す

- (1) フロントカバーを開ける
- (2) 装置前面からクランプレバーを上げる
- (3) ロールメディアを静かに引き出し、軽くロックのかかる位置で止める

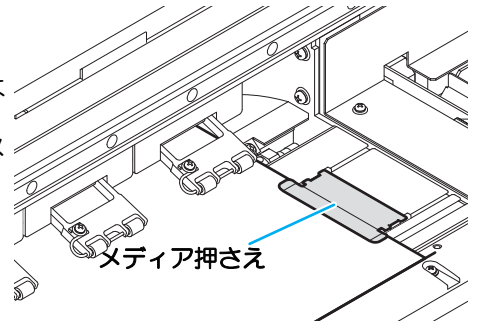


**11****ロールメディアを均等にし、クランプレバーを下げる**

- メディアの数力所を軽く引っ張り、ロールメディアの引き出し量がほぼ均等になっているのを確認してから、クランプレバーを下げてください。

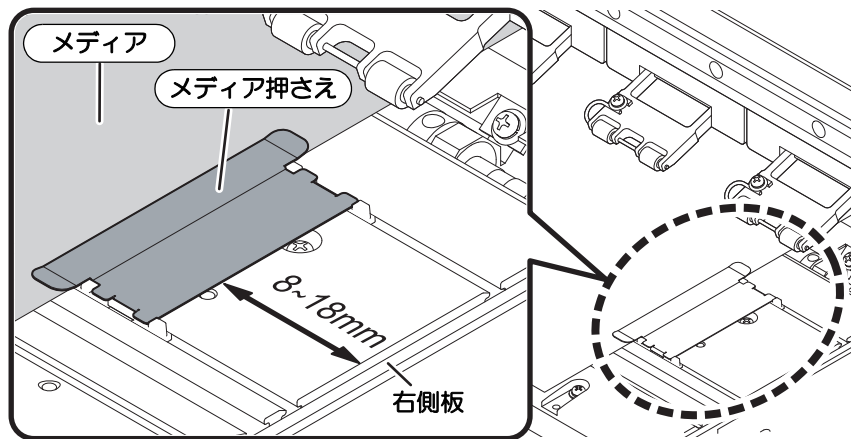
**12****メディア押えでメディアを軽くはさむ**

- 右端のピンチローラーより右側にメディアがはみ出さないようにセットしてください。
- 厚みのあるメディアを使用する場合は、メディア押えをメディアから外してプリントしてください。



- メディア押えが右側板に接する位置でメディアをセットしないでください。メディアが斜行した場合、メディアが浮き上がりヘッドを破損する原因になります。
- メディアが規定位置より右に寄っていると、メディア検出後、次の警告を表示してお知らせします。メディアをセットし直してください。

\*\*\*\*\* ERROR 50 \*\*\*\*\*  
メディア セット イチ

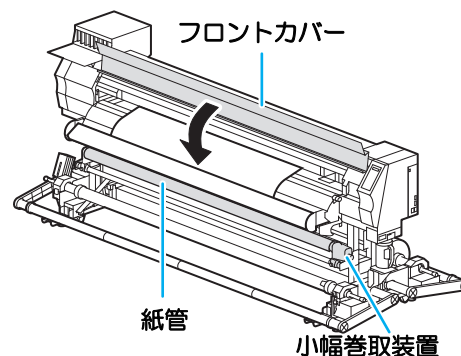


メディア押さえの位置：右側板から8～18mm  
(メディア紙管の内径ばらつきにより、上記の範囲で変動します。)

## 13

## 小幅巻き取り装置を準備する

- (1) 巻き取り装置に空の紙管をセットする
- (2) フロントカバーを閉じる

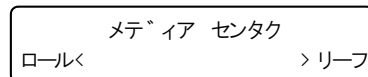


- 幅が 1.6m 未満のメディアをセットするときは、小幅巻取装置を使用してください。
- 長い紙管をセットするとき、ロールホルダーのガイドレール中央にある補助金具が引っかかることがあります。その場合は以下のようにしてください。
  - (1) 補助具の固定ネジを緩め、アームを下げる
  - (2) ロールホルダーをスライドさせる
  - (3) アームを上げ、補助具の固定ネジを締める

## 14

## ◀ を押して、“ロール”を選択する

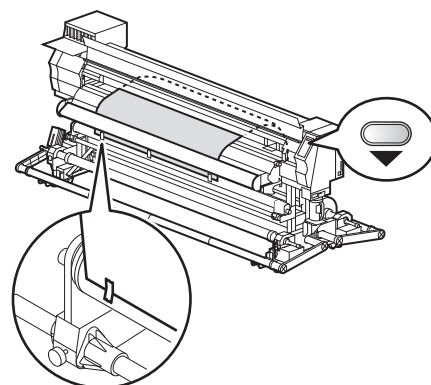
- メディア幅を検出します。
- メンテナンス機能の「メディア残量表示」の設定が“ON”の場合 (P.5-25)、メディア幅の検出後メディア残量入力画面を表示します。(P.2-24)



## 15

## 小幅巻取装置にメディアを固定する (P.2-25)

- (1) ▼ を押して、巻き取り装置の紙管に届くまでメディアをフィードする
  - アフターヒーター上の溝にメディアの先端が入り込んでいないことを確認してから、メディアをフィードしてください。
- (2) 粘着テープでメディアの中央を固定する
- (3) 同様にしてメディアの左右を固定する
  - ロールメディアを左右均等に引っ張り、メディアにタルミ、シワが無いことを確認し、テープを貼ってください。



## メディア残量入力について

メンテナンス機能の「メディア残量表示」の設定を“ON”にしている場合 (☞ P.5-25)、メディア幅の検出が終了すると、メディア残量の入力画面が表示されます。

1

メディア残量入力画面を表示する


メディア ナカ`サ ニュウリョク  
メディア ナカ`サ = x x x . x m

2

  を押して、メディア残量を入力する

メディア ナカ`サ ニュウリョク  
メディア ナカ`サ = 5 0 . 0 m

3

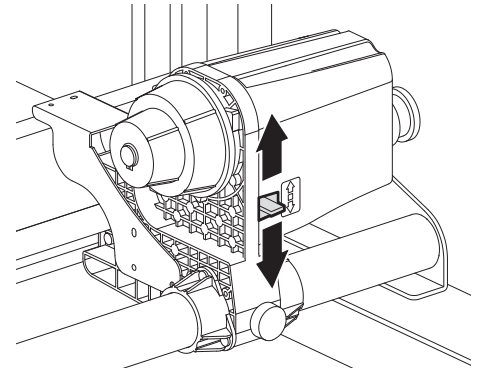
 キーを押す



## 小幅巻取装置について

小幅巻取装置のスイッチを使って、メディアの巻き取り方向の選択などができます。

- レバー上 (REVERSE) : プリント面を内側にして巻き取る
- レバー中 (OFF) : 巻き取り動作をしない
- レバー下 (FORWARD) : プリント面を外側にして巻き取る

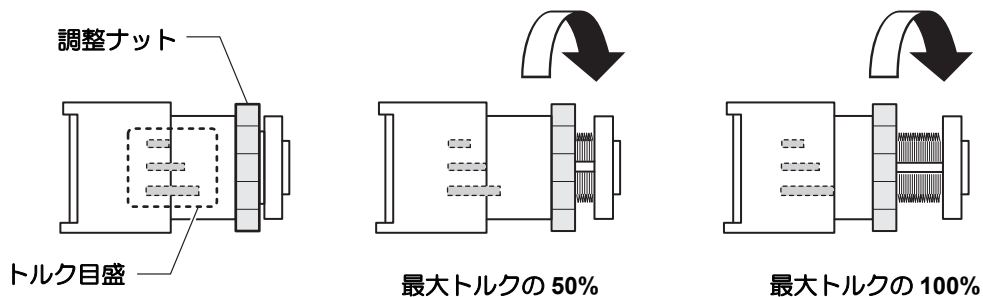


## トルクリミッタを調節する

巻き取り装置には、トルクリミッタが付いています。トルクリミッタを調整して、巻き取りの強さを変更できます。(工場出荷時は、トルクリミッタを最も強く設定してあります。)

薄いメディアを使用してテンションが強すぎる時は、調節を弱めてください。

- 時計回り : テンションが強くなる (ターポリン等の重量のある厚いメディア)
- 反時計回り : テンションが弱くなる (軽いメディア)



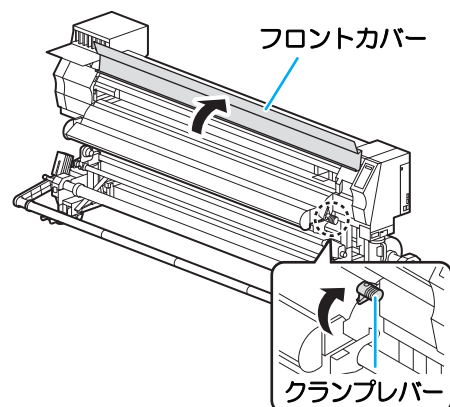
**重要!**

- トルクリミッタの調節が弱すぎるとメディアを確実に巻き取ることができません。
- トルクリミッタの調節が強すぎるとメディアによってはたるんでしまい、画質に影響する場合があります。

## リーフメディアをセットする

リーフメディアは、メディアをロールホルダーに固定する必要はありません。

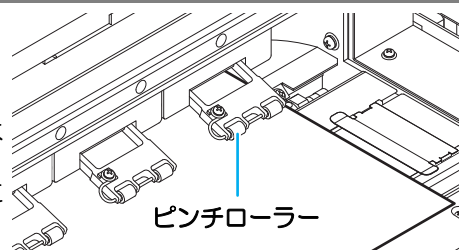
### 1 フロントカバーを開ける



### 2 クランプレバーを上げる

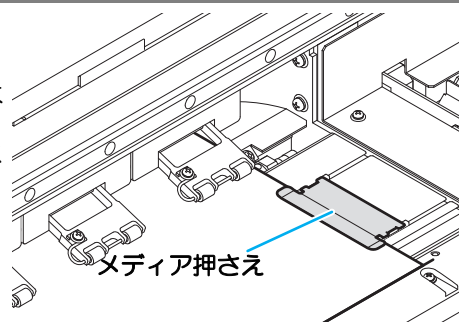
### 3 リーフメディアをピンチローラーとプラテンの間に差し込む

- メディアが右端のピンチローラーより右側にはみ出さないようにセットしてください。
- アフターヒータの溝にメディアの先端がかからない位置にセットしてください。



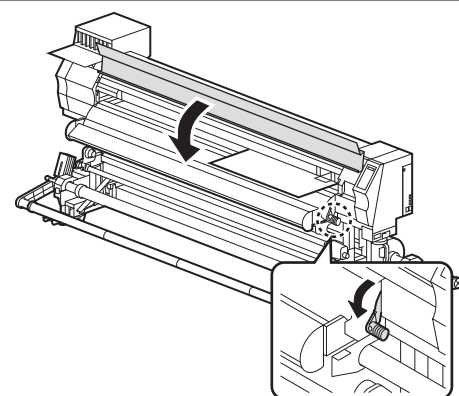
### 4 メディア押えでメディアを軽くはさむ

- 右端のピンチローラーより右側にメディアがはみ出さないようにセットしてください。
- 厚みのあるメディアを使用する場合は、メディア押えをメディアから外してプリントしてください。



### 5 クランプレバーを下げる

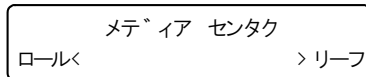
- メディアはまっすぐにセットしてください。



### 6 フロントカバーを閉じる

### 7 **ENTER** キーを押す

### 8 **▶** を押して、“リーフ”を選択する



## 9

## メディアの検出を始める

- (1) メディア幅を検出する
- (2) メディアがフィードし、メディア後端の検出をする
- (3) 検出が終わると、ローカルモードに戻る

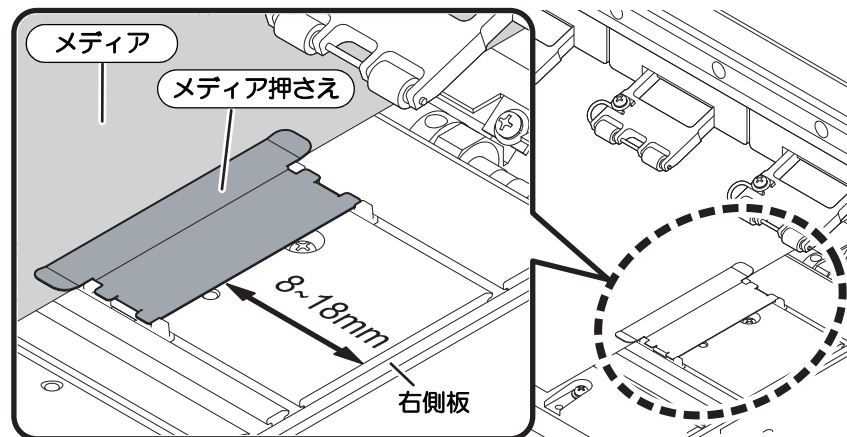
メディア ケンシュツ チュウ  
シハラク オマチクタサイ

## メディア押さえをお使いになるときの注意事項



- メディア押さえが右側板に接する位置でメディアをセットしないでください。メディアが斜行した場合、メディアが浮き上がりヘッドを破損する原因になります。
- メディアが規定位置より右に寄っていると、メディア検出後、次の警告を表示してお知らせします。メディアをセットし直してください。

\*\*\*\*\* ERROR 50 \*\*\*\*\*  
メディア セット イチ



メディア押さえの位置：右側板から8～18mm  
(メディア紙管の内径ばらつきにより、上記の範囲で変動します。)

## 原点を変更する場合は

プリント原点の位置を変更することができます。  
変更したい位置へ LED ポインタを移動させて決定します。



- ここで設定した原点位置は、メディアの送り方向に対して数センチずれています。セッテイモードの「オクリゲンテン」を“ON”にすれば、原点を LED ポインタの光点位置に正確に合わせることができます。(P.3-3)

### 重量メディア繰出 / 巻取装置をご使用でないとき

1

ローカルモードで、 を押す

- 原点設定モードになります。

ゲンテン セッテイ  
0.0 \_\_\_\_\_

2

を押して、LED ポインタの光点を変更したい位置へ合わせる

- でキャリッジとメディアを移動させて選びます。

ゲンテン セッテイ  
0.0 0.0  
原点位置 原点位置  
(長さ) (幅)

3

プリント原点を決定したら、 キーを押す

- 原点が変更されます。

ゲンテン セッテイ  
\*\* ゲンテン \*\*

### 重量メディア繰出 / 巻取装置をご使用のとき

1

ローカルモードで、 を押す

- 原点設定モードになります。

ゲンテン セッテイ  
0.0 \_\_\_\_\_

2

を押して、原点を移動する方向を決定する

- 現在の原点より手前に移動する場合： を押す
- 現在の原点より後方に移動する場合： を押す

原点を手前に移動

メディア オクリ ホウコウ セット  
[FORE FEED]

原点を後方に移動

メディア オクリ ホウコウ セット  
[BACK FEED]

3

再度 を押して、送り方向の原点を決定する

- は手順 2 で決定したキーと同じキーを押してください。異なったキーを押すと、原点の移動方向が切り替わるだけで、原点の変更はできません。

原点を手前に移動

ゲンテン セッテイ: FORE  
0.0 \_\_\_\_\_

原点を後方に移動

ゲンテン セッテイ: BACK  
0.0 \_\_\_\_\_

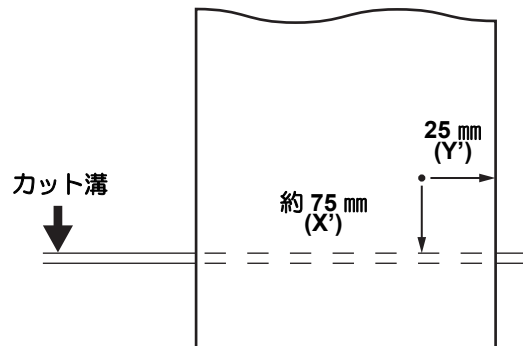
4 ◀▶ を押して、幅方向の原点を決定する

5 プリント原点を決定したら、**ENTER** キーを押す  
 ・原点が変更されます。

ケンテン セッテイ  
 \*\* ケンテン \*\*

## 原点設定位置の目安

プリント原点は、奥行方向 (X') はプラテン上にあるカット溝から奥側約 75 mm の位置になります。横方向 (Y') の値は、メディア右端より 25 mm です。セッテイモードの「マージン」(P.3-3) により変更できます。また、ジョグキーを使って変更することもできます。



# ヒーターの準備をする

## ヒーターの温度設定を変更する

ヒーターの温度設定は、セッテイモードの「ヒーター」で変更・保存できます。(P.3-8)  
ここでは、セッテイモードで設定した温度の変更方法について説明します。

お使いになるメディアに合わせて、ヒーター温度を設定してください。

- お買い上げ時、ヒーターの温度設定は "OFF" になっています。
- プリント中にも温度の調整ができるため、適切な温度調整ができます。
- 周囲の温度により、設定した温度に到達するまでに数分から数十分かかることがあります。



- お使いになるインク種によって、ヒーター設定の最適値は異なります。詳しくは P.7-4 「ヒーターの温度設定値の目安」をご参照ください。

1

**HEATER** キーを押す

- ディスプレイの "AFT" は操作パネル上では "POST" を示します。

PRE	PRT	AFT
35°C	40°C	50°C

ヒーター温度確認画面

2

**HEATER** キーを押す

40°C	40°C	50°C
( OFF	OFF	OFF )

タイプ登録の【ヒーター】  
で設定されている温度

3

▲▼◀▶を押して、各ヒーターの温度を設定する

ヒーターの選択 : ◀▶で選ぶ  
温度の設定 : ▲▼で設定

設定温度 : 20 ~ 50°C

40°C	40°C	50°C
( OFF	OFF	OFF )

- ヒーターの加熱が始まります。( [HEAT] ランプがオレンジ点灯)

4

ヒーターの加熱が終了する

- ヒーターの温度が設定温度に達すると、[HEAT] ランプが消灯し、[CONSTANT] ランプが緑色に点灯します。

5

終了するとき、**ENTER** キーを押す

- ローカルに戻ります。



- あらかじめ、お使いになるメディアに合わせてヒーターの温度を登録しておくことができます。(P.3-2 「プリント条件をまとめて登録する (タイプ登録) 」)
- 上の操作で設定した温度は、タイプ登録のヒーターの設定値には反映されません。電源をオフにするか、次の条件で新しく温度を変更するまで続きます。
  - (1) セッテイモードのタイプを変更する
  - (2) セッテイモードのヒーター温度を変更する
  - (3) コンピューターからヒーターの温度を指定する
- お使いの RIP が、ヒーターの温度をコントロールできる機能を搭載している場合は、RIP 側でコントロールすることができます。(設定方法は、お使いの RIP の取扱説明書をご覧ください。)

**重要!**

- 本装置は、20 ~ 35°C の環境で使用してください。周囲の温度条件により、設定値まで温度が上昇しない場合があります。

## ヒーターの温度を確認する

**1****HEATER** を押す

・現在のヒーター温度が表示されます。

PRE	PRT	AFT
40°C	50°C	35°C

**2**確認が終わるとき、**END** を押す

・ローカルに戻ります。

**2**

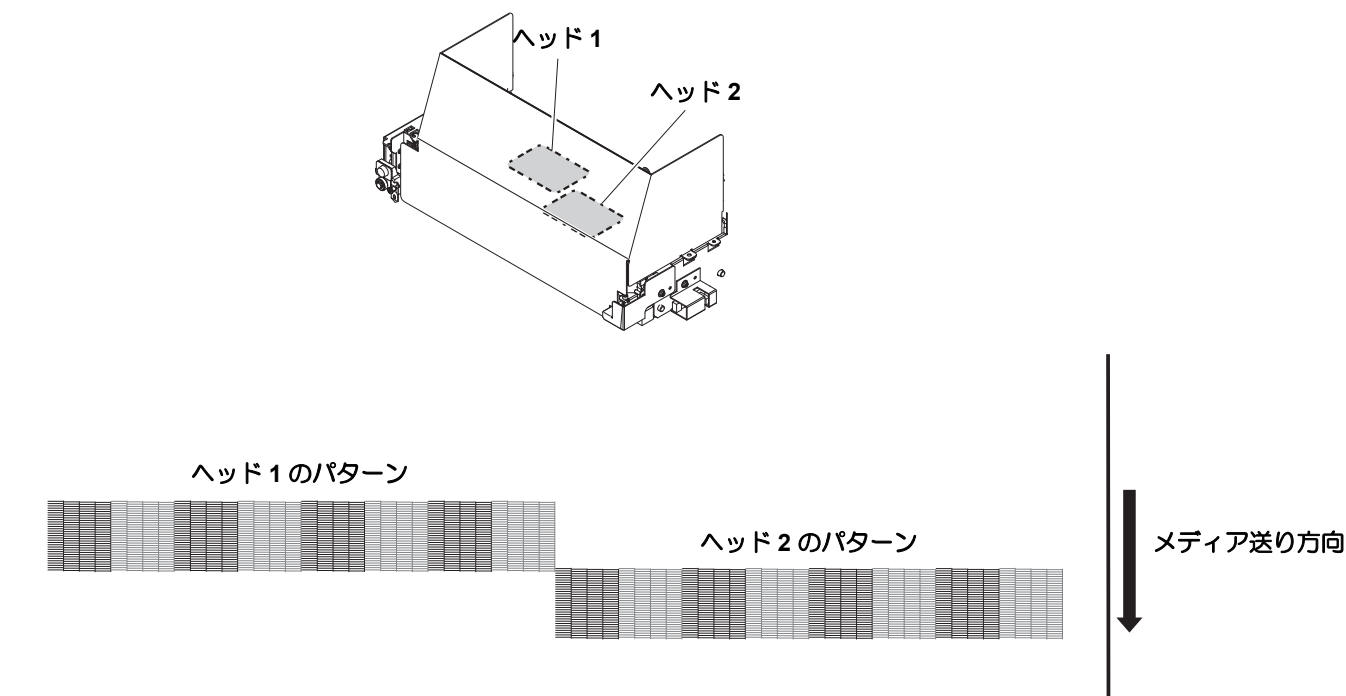
基本的な使い方

# テストプリントをする

テストパターンをプリントして、ノズル詰まりなどの吐出不良（カスレや抜け）がないか確認します。

## ヘッドの配列とテストパターンの関係

ヘッドの配列とプリントしたテストパターンのプリント位置は、下図の通りです。



## テストプリントに関する注意事項

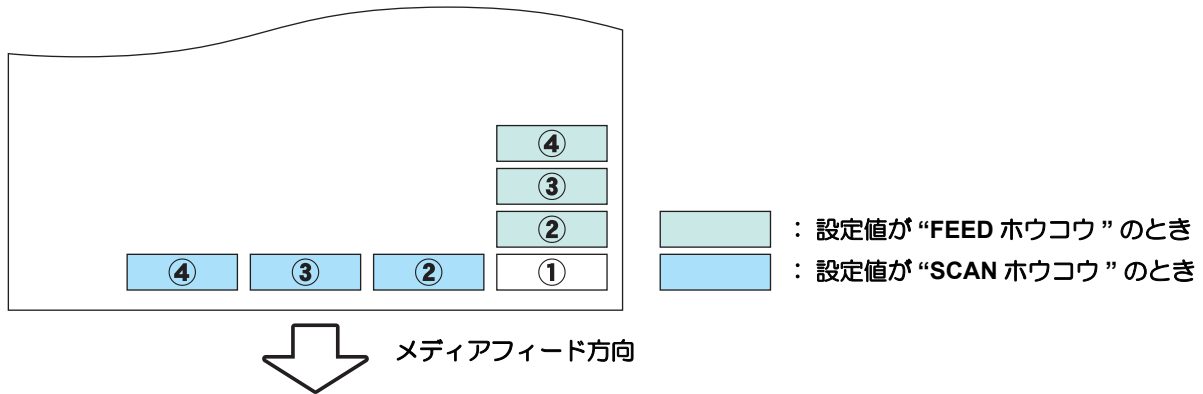
- 重要!**
- ・リーフメディアを使用する場合、A3サイズ横置き以上のサイズのメディアをセットしてください。
  - ・ロールメディアを使用する場合、プリントを開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たわみのない状態にしてください。画質不良の原因になります。



# テストプリントを行う

テストパターンをプリントして、ノズル詰まりなどの吐出不良（カスレや抜け）がないか確認します。

また、テストプリントを繰り返し実行するときのために、プリントするテストパターンの配置方向を次の2種類から選択することができます。使い方に合わせて選択してください。



テストプリントの前に確認してください	• メディアをセットしているか (P.2-6)	• 原点位置をセットしているか
	• ヘッドギャップを調整しているか (P.2-6)	

**1** ローカルで、**TEST PRINT** キーを押す

- **▲** **▼** を押して、テストパターンの配置方向を変更できます。ここで変更した配置方向は、次回プリント時にも反映されます。
- 配置方向を“SCAN ホウコウ”から“FEED ホウコウ”に変更してテストプリントを実行すると、1 つめのテストプリントの位置に改行されます。

テスト サクス  
 (FEED ホウコウ) <ENT>

**2** **ENTER** キーを押す

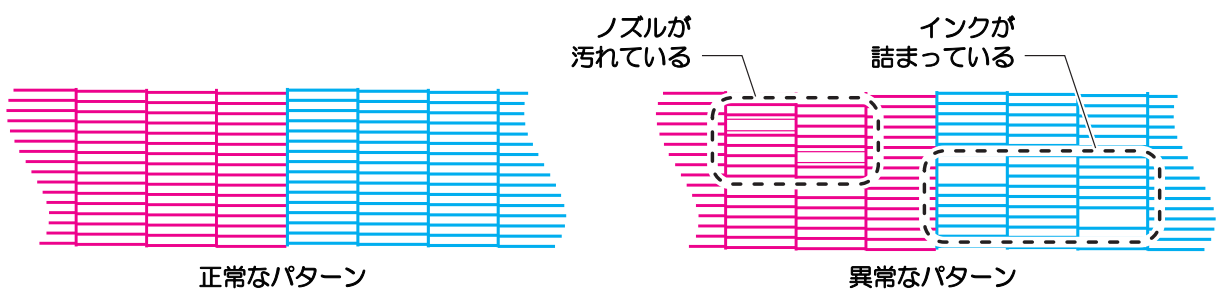
- テストプリントを開始します。
- プリントが終わると、ローカルに戻ります。

\*\* テスト サクス \*\*  
 シハ`ラク オマチクタ`サイ

<ローカル. 1> [#01]  
 ハハ` : \*\*\*\*mm

**3** プリント結果を確認する

- 正常な場合は、操作を終了します。
- 異常があった場合は、ヘッドクリーニングを実行してください。(P.2-34)



# ヘッドクリーニング

## ヘッドクリーニングについて

プリントしたテストパターンの結果を確認して、症状に合わせたクリーニングを行います。次の3種類から選んでください。

- ノーマル : 線の抜けがある時  
ソフト : ヘッドワイブのみ実行したい時 (線の曲がりがある場合)  
ハード : ノーマル、ソフトでクリーニングを実行しても画質不良が改善しない時

## テストプリントの結果に合わせてヘッドクリーニングを行う

ヘッドクリーニングには、3種類あります。パターンプリントの結果によって使い分けてください。

1

ローカルモードで、**CLEANING** キーを押す

クリーニング°  
タイプ° : ノーマル

2

**▲** **▼** を押して、クリーニングタイプを選択する

クリーニング°  
タイプ° : ハート°

- ノーマル : 線の抜けがある時  
ソフト : ヘッドワイブのみ実行したい時 (線の曲がりがある場合)  
ハード : ノーマル、ソフトでクリーニングを実行してもプリント不良が改善しない時

3

**ENTER** キーを押す

クリーニング° チュウ  
00:00

- ・クリーニングの残り時間をディスプレイの下段に表示します。
- ・クリーニングが終わると、ローカルに戻ります。

4

再度テストプリントを実行し、プリント結果を確認する

- ・プリント結果が正常になるまで、クリーニングとテストプリントを繰り返してください。



ヘッドクリーニングを実行しても画質品質が改良されない場合

- ・ワイパーとインクキャップのクリーニングをする (☞ P.5-5)
- ・ヘッドノズルの洗浄をする (☞ P.5-8)
- ・「ノズル詰まりが復旧しない場合」を参照して画質不良を解消する (☞ P.5-16)

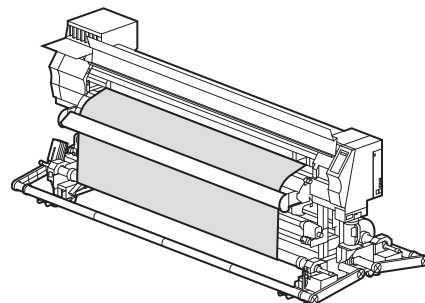
# データをプリントする

## プリントを開始する

**重要!**

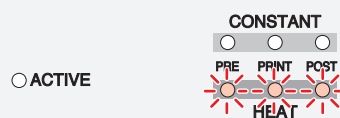
- ロールメディアを使用する場合、プリントを開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たるみのない状態にしてください。画質不良の原因になります。

### 1 メディアをセットする (👉 P.2-6)



### 2 ヒーターの温度を確認する

- ディスプレイ下の [PRE]、[PRINT]、[POST] で CONSTANT ランプが点灯していることを確認してください。
- [POST] はディスプレイ上の "AFT" を示します。



### 3 ローカルで、**REMOTE** キーを押す

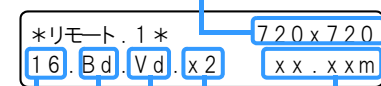
- リモートモードになり、コンピュータからのデータを受信できるようになります。

オント`セイキョ`チュウ  
シハラク オマチクタ`サイ

### 4 コンピュータからプリントするデータを送信する

- ACTIVE ランプが点滅し、プリント条件を表示します。
- データの送信方法については、出力ソフトウェアの取扱説明書をお読みください。

解像度 360 / 540 / 720 / 1440 DPI



プリント終了した  
メディアの長さ

スキャン速度  
x1: 標準速  
x2: 倍速

データタイプ  
Vd: バリアブルデータ  
Nd: ノーマルデータ

スキャン方向  
Ud: 単方向  
Bd: 双方向

パス数

### 5 プリント開始

- 解像度によっては同じデータをプリントしても、セットしたメディアの幅やプリント原点の位置によってプリント速度が変化する場合があります。

2

基本的な使い方

## プリントを中止する

プリントを途中で中止する場合、次の操作をしてください。

1

プリント中に、**REMOTE** キーを押す

<ローカル. 1> [ #01 ]  
/v\^: 1272mm

- プリント動作を中止します。
- コンピュータからデータを送信している場合は、コンピュータ側でデータ送信を止めます。
- 再度**REMOTE** キーを押すと、中断したデータからプリントを再開します。

## 受信したデータを消去する (データクリア)

プリントを中止したいときは、受信済みのデータを消去してください。

1

ローカルで、**DATA CLEAR** キーを押す

データー クリア  
<ENT>

2

**ENTER** キーを押します。

\*\* データー クリア \*\*

- ACTIVE ランプが消灯します。
- 受信データを消去し、ローカルモードに戻ります。

## メディアをカットする

ロールメディアでプリント終了後にメディアをカットするには、次の2つの方法があります。

**重要!**

- メディアをカットしたとき、印刷面が床や他の印刷面に触れないようにお気をつけください。
- 小幅巻取装置をお使いの場合、カットしたメディアは巻取装置のスイッチを使って巻き取ってください。
- 重量メディア巻取装置でテンションバーをお使いの場合は、安全のためカット機能はお使いになれません。

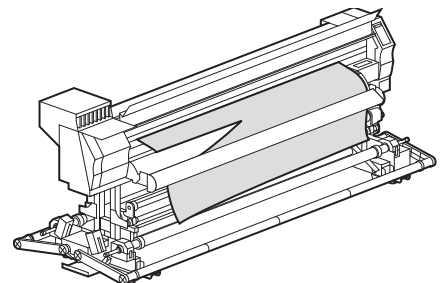
### オートカット

プリント終了後、自動的にメディアをカットします。



- オートカットには設定が必要です。(設定方法の詳細は、P.3-28を参照してください。お買い上げ時は、オートカット機能が“ホスト”になっています。)
- オートカット機能を“オフ”にしているときは、「マニュアルカット」の操作をして、メディアをカットしてください。

#### 1 プリントが終了したら、自動的にメディアをカットする



### マニュアルカット

操作パネル上のキーを使い、任意の位置でメディアをカットします。

#### 1 ローカルで、 を押す

- 原点設定モードになります。
-  を押して、カットする位置までメディアをフィードします。

ケンテン セッテイ  
0.0

#### 2 **FUNCTION** キーを押す

メディア カット

<ENT>

#### 3 **ENTER** キーを押す

- メディアをカットします。
- カットが終了すると、ローカルに戻ります。

メディア カット チュウ  
シバラク オマチクタサイ

2

基本的な使い方



# 第3章 便利な使い方



## この章では ...

本機をより便利に使うための操作方法や、各種設定方法について説明しています。

ユーザータイプについて .....	3-2	プリント中クリーニングの設定をする .....	3-22
プリント条件をまとめて登録する (タイプ登録) .....	3-2	クリーニングの設定をする .....	3-22
タイプ登録のしかた .....	3-2	ワイピングの設定をする .....	3-23
メディア補正の設定をする .....	3-4	メディア検出の設定をする .....	3-25
メディア補正の設定 .....	3-4	パス間のシマを軽減する設定をする .....	3-26
ドットの位置がずれたら .....	3-6	その他の設定 .....	3-28
ヒーターの設定値を変更する .....	3-8	設定した内容を初期状態に戻す .....	3-29
ヒーターの温度設定を変更する .....	3-8	マシン設定 .....	3-30
適温調整 (ソルベントインクをご使用の場合) .....	3-10	カンソウファンの設定をする .....	3-31
ヒーター温度が設定温度に達して いないと .....	3-11	クリダシ&マキトリの設定をする .....	3-32
プリント方式の設定をする .....	3-12	カンソウフィードの設定をする .....	3-34
パス(プリント品質)の設定 .....	3-12	カクニンフィードの設定をする .....	3-35
スキャン速度の設定 .....	3-13	ジコクの設定をする .....	3-36
スキャン方向の設定 .....	3-14	タンイの設定をする .....	3-37
ロジカルシークの設定 .....	3-15	スタンプの設定をする .....	3-38
乾燥時間の設定をする .....	3-16	マシンメイショウの設定をする .....	3-39
マージンの設定をする .....	3-17	キーブザーの設定をする .....	3-40
カラーパターンの設定をする .....	3-18	カンキョウオンドの動作条件を変更する .....	3-41
昇華転写インク以外のインクをお使いの 場合 .....	3-18	インクの有効期限を延長する .....	3-42
昇華転写インクをお使いの場合 .....	3-19	インクの有効期限を延長する .....	3-42
オートクリーニングの設定をする .....	3-20	インク供給経路の切替設定 .....	3-44
		装置情報を確認する .....	3-46
		情報を表示させる .....	3-46

# ユーザータイプについて

## プリント条件をまとめて登録する(タイプ登録)

本装置では、タイプ(1~4)ごとにプリント条件を登録できます。  
お使いになるメディアに合わせたプリント条件をタイプに登録しておけば、違う種類のメディアに交換したとき、タイプを変更するだけで最適のプリント条件を設定できます。

### タイプ登録の例

	ソルベントインクをご使用の場合	昇華転写インクをご使用の場合
タイプ1	ターボリン1用	フォトペーパー
タイプ2	ターボリン2用	PET用1
タイプ3	FF(Flexible Face)用	PET用2
タイプ4	塩ビマット	合成紙

## タイプ登録のしかた

1

ローカルで、**FUNCTION** キーを押す

FUNCTION  
セッテイ <ENT>

2

**ENTER** キーを押す

セッテイ  
センタク :タイプ°1

3

**▲** **▼** を押してタイプ(1~4)を選び、**ENTER** キーを押す

4

設定機能一覧表の各項目を選び、設定する

・詳細な設定方法は「設定機能一覧表」に記載した参照ページをご覧ください。

### 設定機能一覧表

ユーザータイプに登録できる各設定機能の概要と設定値について説明します。  
お買い上げ時は、下線の設定になっています。

**重要!**

- 次の各設定項目については、接続しているホストPCでお使いのRIPソフトウェアからプリント時に指定した設定値に従って動作するように設定できます。

設定項目：プリント方式/重ね塗り/乾燥時間/オートカット/プリフィード/マージン/カラーパターン/リフレッシュ/吸着/フィード速度レベル

- RIPソフトウェアで指定した設定内容に従って動作させたいときは、本機のタイプ登録をするときに各項目を“ホスト”に設定してください。“ホスト”以外に設定した場合は、装置の設定に従って動作します。
- RIPソフトウェアでの指定方法については、RIPソフトウェアの取扱説明書をご参照ください。

機能名称	設定値	RIPから指示がない場合 <sup>*1</sup>	概要
メディアホセイ (P.3-4)	-255 ~ <u>0</u> ~ 255	————	メディアの送り量を補正するためのパターンをプリントし、補正します。
ドットイチホセイ	-40.0 ~ <u>0</u> ~ 40.0	————	往復プリントにおける、着弾位置の調整を行います。



機能名称			設定値	RIP から指示がない場合 *1	概要
ヒーター (☞ P.3-8)	オンド セッテイ	プリ ヒーター	OFF/ 20 ~ 50 °C (OFF/ 68 ~ 122 °F)	————	ヒーターの状態を設定します。
		プリント ヒーター	OFF/ 20 ~ 50 °C (OFF/ 68 ~ 122 °F)	————	
		アフター ヒーター	OFF/ 20 ~ 50 °C (OFF/ 68 ~ 122 °F)	————	
	ジカン セッテイ	スタンバイ	ナシ/ 0 ~ 90 min (10min 単位)	————	
		OFF 時間	ナシ/ 0 ~ 90 min (10min 単位)	————	
プリント ホウシキ (☞ P.3-12)	パス		ホスト/ハイ/ヒョウジュン/ キレイ	ヒョウジュン	プリント品質、プリント方向を 設定します。
	スキャンソクド		ホスト/ヒョウジュン/コウソク	コウソク	
	スキャンホウコウ		ホスト/ソウホウコウ/ タンホウコウ	タンホウコウ	
	ロジカルシーク		ホスト/ON/ OFF	ON	
カサネヌリ (☞ P.3-28)			ホスト/1 ~ 9	1	インクの重ね塗りをを行います。
カンソウ ジカン (☞ P.3-16)	スキャン		ホスト/0.0 ~ 19.9 sec	0 sec	インクの乾燥時間を設定します。
	プリントエンド		ホスト/0 ~ 999 sec	0 sec	
オートカット (☞ P.3-28)			ホスト/ON/ OFF	OFF	プリント後、自動でメディアを カットします。
プリフィード (☞ P.3-28)			ホスト/ON/ OFF	OFF	プリント前にメディアを前後搬送 させます。 貼り付きやすいメディアを使用す る場合、ON にしてください。
マージン (☞ P.3-17)	ヒダリ		ホスト/ -20 ~ 75mm (1mm 単位)	0 mm	メディア左右の余白を設定しま す。
	ミギ		ホスト/ -20 ~ 75mm (1mm 単位)	0 mm	
カラー パターン (☞ P.3-18)	ヒダリ		ホスト/ ON/ OFF	OFF	メディア右端 (Sb52 充填時は両 端) にカラーパターンをプリン トします。
	ミギ		ホスト/ ONx1 ~ ONx5 / OFF (Sb52 充填時)		
リフレッシュ (☞ P.3-28)			ホスト/レベル0 (リフレッシュ間 隔長い) ~ 3 (間隔短い)	レベル 3	プリント中に、インクヘッドの リフレッシュを行います。
キュウチャク (☞ P.3-28)			ホスト/ヒョウジュン/ヨワイ/ ヤヤヨワイ/ツヨイ/ OFF	ヒョウジュン	メディアの吸着する力を設定し ます。
フィードソクドレベル *2 (☞ P.3-28)			ホスト/ 10 ~ 200% 10% ..... 2mm/sec 100% ..... 20mm/sec 200% ..... 40mm/sec	100	プリント中などにメディア送り をする速度を変更します。
オート クリーニング (☞ P.3-20)	ON	カンカク	10 ~ 1000 ~ 30000 mm	————	プリントごとに行う、ヘッドの 自動クリーニング動作を設定し ます。
		タイプ	ノーマル/ソフト/ハード	————	
プリント チュウ クリーニング (☞ P.3-22)	ON	カンカク	10 ~ 1000 ~ 30000 mm	————	プリント中に行う、ヘッドの自 動クリーニング動作を設定しま す。
		タイプ	ノーマル/ソフト/ハード	————	
	OFF				
		ワイ ピング	スキャンカ イス ウ	0 ~ 9990 カイ	————
	オンドサ	0 ~ 60	————		
メディア ケンシュツ (☞ P.3-25)	ケンシュツホウホウ		セレクト/ハバ	————	メディアの検出方法を設定しま す。
	カットジケンシュツ		ナシ/リョウエッジ/ ヒダリエッジ/ミギエッジ	————	
オクリ ゲンテン (☞ P.3-28)			ON/ OFF	————	プリント原点の位置変更時、メ ディア送り方向を LED ボイン タに合わせたいときに設定す る。
MAPS (☞ P.3-26)	ON/ OFF			————	パス間のシマを軽減する設定を します。
	プリントソクド チョウセイ		-50 ~ 0 ~ +50%	————	

\*1. 本機のタイプ登録で“ホスト”を設定しているのに、RIP ソフトウェア (ホスト) 側で設定値の指定がないまたは、装置側の設定値を優先する設定にしている場合の、プリント時に使用される設定値です。

\*2. マシン設定の「マキトリ&クリダシの設定」で“ソウチセンタク”を“ON”にした場合、フィード速度は最大 150%で動作制限がかかります。

# メディア補正の設定をする

メディアの種類を交換したり、ヒーターの温度を変更したあと、メディアの送り量を補正してください。補正値が適切でないと、プリントした画像に縞が入るなど、きれいにプリントできない場合があります。

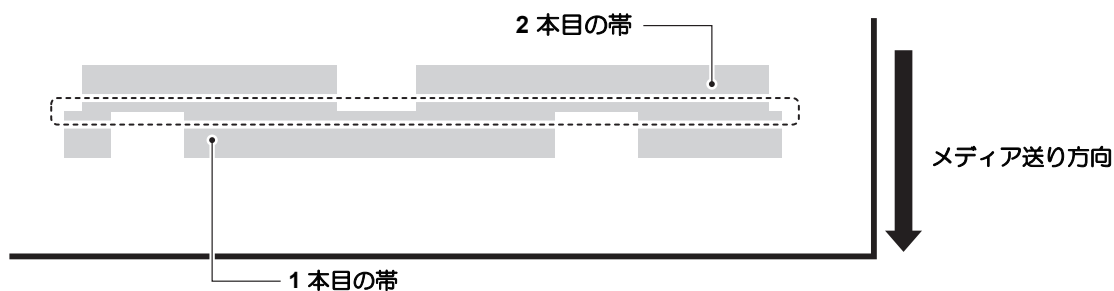
- 重要!**
- ヒーターの温度を変更した場合は、[CONSTANT] ランプが点灯し、設定した温度に達していることを確認してから補正してください。
  - ロールメディアをご使用の場合、メディア補正を終了すると、プリント原点位置までメディアが戻り、本装置背面のロールメディアにたるみが生じます。プリントを開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たるみのない状態にセットしてください。画質不良の原因になります。
  - 巻き取り装置を使用してのプリントの場合、あらかじめメディアをセットした状態でメディア補正を行ってください。

## メディア補正の設定

補正パターンをプリントして、メディア送り量の補正を行います。



- 補正パターンでは2本の帯をプリントします。
- 2本の帯の境が均等の濃さになるように調整してください。



**1** メディアをセットする (☞ P.2-6)

**2** ローカルで、**FUNCTION** キーを押す

FUNCTION  
セッテイ <ENT>

**3** **ENTER** キーを押す

セッテイ  
センタク : タイフ° 1

**4** **▲** **▼** を押して、タイプ (1~4) を選ぶ

**5** **ENTER** キーを2回押す

[1] メテ`ィア ホセイ  
サクス` カイシ : e n t

**6** **ENTER** キーを押して、補正パターンをプリントする

シハ`ラク オマチクダ`サイ  
サクス` チュウ

**7** 補正パターンを確認し、補正値を入力する

- "+" に入力すると: 2本の帯の間隔が広がる方向に移動します。
- "-" に入力すると: 2本の帯の間隔が近づく方向に移動します。
- 補正値を "30" 変更するごとに、約 0.1mm 帯が移動します。

[1] メディア ホセイ  
ホセイチ = 0

**8** **ENTER** キーを押す

- 再度、補正パターンをプリントして確認します。
- 補正の必要がある場合は、手順 7 の操作をして補正してください。

[1] メディア ホセイ  
サクシ カシ : ent

**9** 終了するとき、**END** キーを数回押す

## プリント中にメディア送りを補正したいときは

リモートモードや画像データのプリント中でもメディア送り量の補正ができます。

**1** リモートで、**FUNCTION** キーを押す

\*リモート. 1\* [#01]  
\*\*. \*\*mm

メディアオクリ ホセイ  
0

**2** **ENTER** キーを押す

メディアオクリ ホセイ  
0 ▶ 1

**3** **▲** **▼** を押して、補正量を入力する

- 補正量: -500 ~ 500
- ここで入力した値は、すぐに補正量に反映されます。

**4** **ENTER** キーを押す

- **ENTER** キーのか代わりに **END** キーを押すと、ここで補正した内容は無効となります。

メディアオクリ ホセイ  
ホソソソ : ent

**5** **ENTER** キーを押す

- 変更した値が登録されます。
- **ENTER** キーの代わりに **END** キーを押すと、ここで補正した内容は一時、有効となります。(再度メディア検出を行うか電源を OFF すると、補正値はクリアされます)

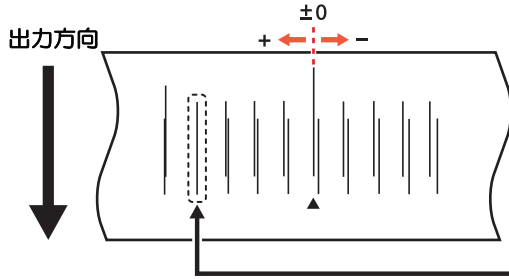
リモートモード中にメディア補正が行われたことを表します

\*リモート. 1+\* [#01]  
\*\*. \*\*mm

# ドットの位置がずれたら

プリント時の条件（メディアの厚み／インクの種類など）が変わったときは、次の操作をして双方向（Bi）プリント時のインクの落下位置を補正し、適正なプリント結果を得られるようにしてください。

## パターンプリント例



プラス方向に 0 位置から 4 本目が、直線で表示されています。  
この場合のドット位置補正値は 4.0 です。

1

メディアをセットし、プリント原点を設定する (☞ P.2-6)

・パターンプリントをするには、幅 500mm× 送り 400mm 以上の大きさのメディアが必要です。

2

ローカルで、**(FUNCTION)** キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ          <ENT>
```

3

**(ENTER)** キーを押す

```
セッテイ
センタク          : タイプ 1
```

4

**(▲)** **(▼)** を押してタイプ (1 ~ 4) を選び、**(ENTER)** キーを押す

5

**(▲)** **(▼)** を押して、**[ドットイチホセイ]** を選ぶ

```
[1]
ドット イチ ホセイ  <ent>
```

6

**(ENTER)** キーを押す

```
[1]ドット イチ ホセイ
プリント カイシ      : ent
```

7

**(ENTER)** キーを押して、パターンプリントを開始する

・複数のテストパターンをプリントします。(プリント順にパターン 1,2,3... と呼ぶ)

```
サクス` チュウ
シハ`ラク オマチクタ`サイ
```

8

**(▲)** **(▼)** を押して、パターン 1 のドット位置を補正する

・  
補正値：-40 ~ 40  
・テストパターンを確認し、往路と復路が 1 本の直線になっている位置が補正値となります。  
・補正値が -40 ~ 40 の間にない場合は、ヘッドの高さを調整後、手順 2 から操作をし直してください。  
・補正値はヘッドの高さに応じて 2 種類持つことができます。

現在のヘッドの高さを表します。  
(H)...High (厚い)  
(L)...Low (薄い)

```
ドット イチ ホセイ          (H)
パターン1                    = 0.0
```

9

**ENTER** キーを押す

10

手順 8 と同様にして、パターン 2~ のドット位置を補正し、**ENTER** キーを押す

11

終了するとき、**END** キーを数回押す

# ヒーターの設定値を変更する

お使いのインク種によって、ヒーター設定の最適値は異なります。詳しくは、P.7-4「ヒーターの温度設定値の目安」をご参照ください。

## ヒーターの温度設定を変更する

ここでは、「オンドセッテイ」と「ジカンセッテイ」の各項目の設定をします。

オンドセッテイ		プラテン内に内蔵されているプリヒーター・プリントヒーター・アフターヒーターの設定温度を変更します。
ジカンセッテイ	スタンバイ	プリント終了後から、ヒーターが予熱温度に下がり始めるまでの時間を設定します。 設定値：ナシ、0～90min（10min 単位） <ul style="list-style-type: none"><li>予熱温度はあらかじめ設定されています。変更はできません。</li><li>温度が下がった状態でデータを受信すると、自動的に設定温度まで上がってからプリントを開始します。</li><li>設定値を「ナシ」にしていると、ヒーターは予熱温度にはなりません。</li></ul>
	OFF ジカン	以下の場合にヒーターをオフにします。 <ul style="list-style-type: none"><li>スタンバイ時に設定時間以上プリントしない場合</li><li>スタンバイの設定を「ナシ」にしているとき、プリント終了後に設定時間以上プリントしない場合</li></ul> 設定値：ナシ、0～90min（10min 単位） ヒーターがオフの状態でもデータを受信すると、自動的に設定温度まで上げてからプリントします。 <ul style="list-style-type: none"><li>「ナシ」に設定すると、ヒーターはオフになりません。</li><li>「0min」に設定すると、プリント終了でオフとなります。</li></ul>

1

ローカルで、**FUNCTION** キーを押す

FUNCTION  
セッテイ <ENT>

2

**ENTER** キーを押す

セッテイ  
センタク : タイプ 1

3

**▲** **▼** を押して、タイプ (1～4) を選択する

4

**ENTER** キーを押す

[1]  
メテ`イア ホセイ <ent>

5

**▲** **▼** を押して、[ヒーター] を選択する

[1]  
ヒーター <ent>

6

**ENTER** キーを 2 回押す

・ヒーターの温度設定画面が表示されます。

PRE PRT AFT  
25 °C 25 °C 35 °C

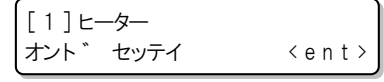
**7**     を押して、各ヒーター温度を設定する


ヒーターの選択 :   で選ぶ  
 温度の設定 :   で設定

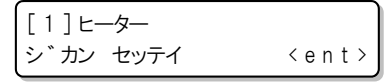


設定温度 : OFF, 20 ~ 50 °C

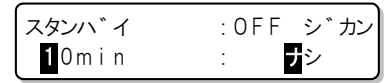
**8**  キーを押す





**9**  を押して、[シカンセッテイ]を選択する



**10**  キーを押す



**11**     を押して設定する

項目の選択 :   で選ぶ  
 時間の設定 :   で設定



設定値 : ナシ, 0 ~ 90 分  
(10 分単位)

**12**  キーを押す

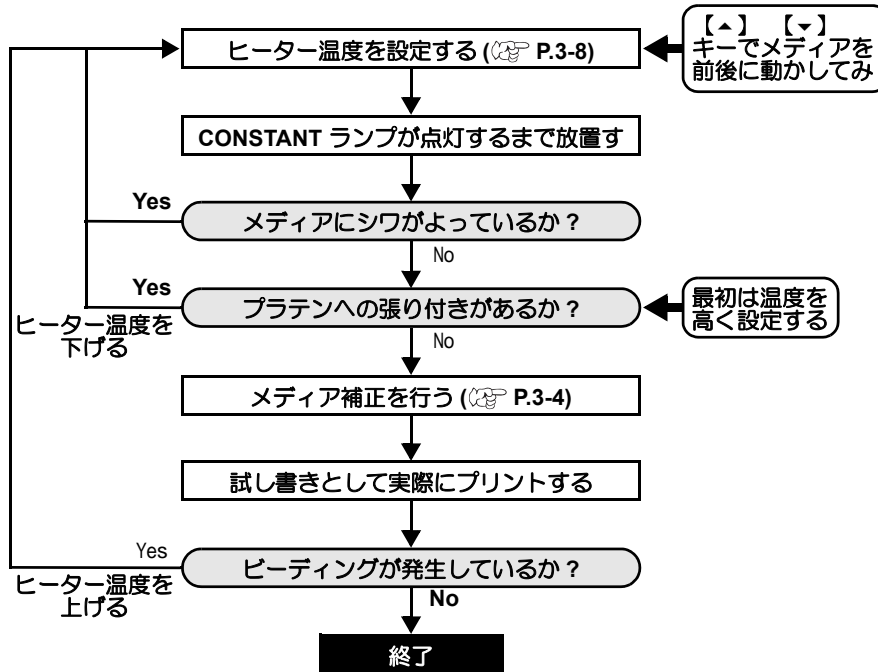
**13** 終了するとき、 キーを数回押す  
 ・ローカルに戻ります。

**重要!**

・本装置は、20 ~ 35 °C の環境で使用してください。周囲の温度条件により、設定値まで温度が上昇しない場合があります。

## 適温調整 (ソルベントインクをご使用の場合)

ヒーター温度を調整する際の適温設定について説明します。  
ヒーターの温度はメディアの種類、環境温度などにより異なります。各メディアに適した温度に設定します。  
非コートメディアやインク乾燥の遅いメディアは、インクの定着性、乾燥性をアップさせます。  
以下の方法で、確認しながら適温に設定してください。





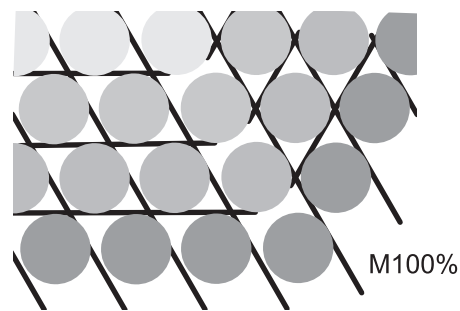
## ヒーター温度が設定温度に達していないと

ソルベントインクをご使用の場合、ヒーター温度やインクを受容量（インクリミット）が低すぎると、ビーディングやバンディングなどプリント不良になります。

ビーディングとは、隣り合ったドットが引き合ってくっつくことです。ビーディングが発生するとブツブツ状のムラになったり、パスの間隔で帯状の横ムラ（バンディング）になったりします。

### ビーディングの例

単色のマゼンタ100パーセント付近は、綺麗にプリントされています。単色の70～100パーセント付近はメディア送りムラの影響を非常に受けやすい部分です。この部分にムラが無いことから、メディアの送り補正は適正に調整されていることがわかります。

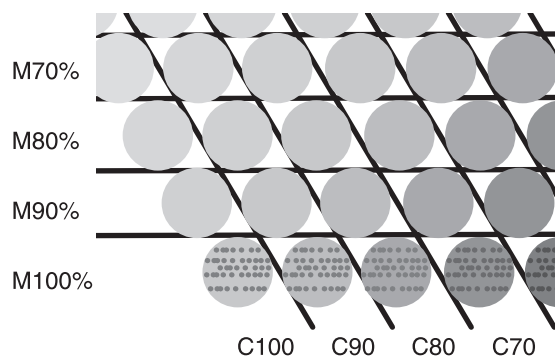


綺麗にプリントされた状態

ところが、M100% + C100% のブルー部分にはブツブツのムラと、バンディングが発生しています。これがビーディングによるバンディングです。ヒーターの温度が低かったり、メディアのインク受容量（インクリミット）が低いと、先に着弾したインク粒が定着する前に、次のインク粒が着弾し、ドットがくっついたり分布が均一でなくなり、ムラやバンディングが発生します。

ビーディングを防ぐには、ヒーターの温度を上げてメディアのインク受容量（インクリミット）を上げたり、インク量をメディアに合わせて調整したり、パス数を増やして少しずつインクを打ち込む、スキャンウェイトで時間をかせぐなどの対策をとる必要があります。

上記対策を行ってもビーディングが解消されない場合はメディアを変更してください。



バンディングが発生した状態

# プリント方式の設定をする

プリント方式の設定では、プリントに関する次の各項目の設定をします。

- ・パス : プリント時のパス (プリント品質) を設定
- ・スキャン速度 : プリント時のスキャン速度を設定
- ・スキャン方向 : プリント方向を設定
- ・ロジカルシーク : ロジカルシークの ON/OFF を設定

**重要!**

- ・プリント方式の設定では、接続しているホスト PC でお使いの RIP ソフトウェア (RasterLinkPro) からプリント時に指定した設定値に従って動作するように設定できます。
- ・RasterLinkPro 側の設定を優先させたいときは、設定値を“ホスト”にしてください。
- ・RasterLinkPro では、本機で設定する“パス/スキャンソクド/スキャンハウコウ”はそれぞれ“パス/高速印刷/印刷方向”と表示しています。
- ・ロジカルシークの設定については、RasterLinkPro 側での指定ができません。本機の設定で“ホスト”に設定した場合は、プリント時“ロジカルシーク =ON”の状態ですべてプリントされます。

## パス (プリント品質) の設定

- ローカルで、**FUNCTION** キーを押す  
FUNCTION  
セッテイ <ENT>
- ENTER** キーを押す  
セッテイ  
センタク : タイフ° 1
- ▲ ▼** を押してタイプ (1 ~ 4) を選び、**ENTER** キーを押す
- ▲ ▼** を押して、[プリントハウシキ] を選ぶ  
[1]  
フ° リント ホウシキ <ent>
- ENTER** キーを押す  
[1] フ° リント ホウシキ  
ハ° ス <ent>
- ENTER** キーを押す  
[1] フ° リント ホウシキ  
ハ° ス : ホ° スト
- ▲ ▼** を押して、パス (プリント品質) を選ぶ  
・設定値 : ホスト / ハイ / ヒョウジュン / キレイ  
[1] フ° リント ホウシキ  
ハ° ス : ハイ
- 終了するとき、**END** キーを数回押す

## 解像度による設定可能パス数

設定値	解像度 (dpi)	540 x 720 dpi	540 x 1080 dpi	720 x 1440 dpi
ハイ		4 パス	6 パス	8 パス
ヒョウジュン		8 パス	12 パス	16 パス
キレイ		16 パス	24 パス	32 パス

## スキャン速度の設定

1

P.3-12 手順 5 までの操作をする

[1] プリント ホウシキ  
ハ°ス <ent>

2

▲▼ を押して、[スキャンソクド] を選ぶ

[1] プリント ホウシキ  
スキャン ソクド° <ent>

3

ENTER キーを押す

[1] プリント ホウシキ  
スキャン ソクド° : ホスト

4

▲▼ を押して、スキャン速度を選ぶ

・設定値：ホスト/ヒョウジュン/コウソク

[1] プリント ホウシキ  
スキャン ソクド° : Eウソク

5

ENTER キーを押す

[1] プリント ホウシキ  
スキャン ソクド° <ent>










6

終了するとき、END キーを数回押す

3

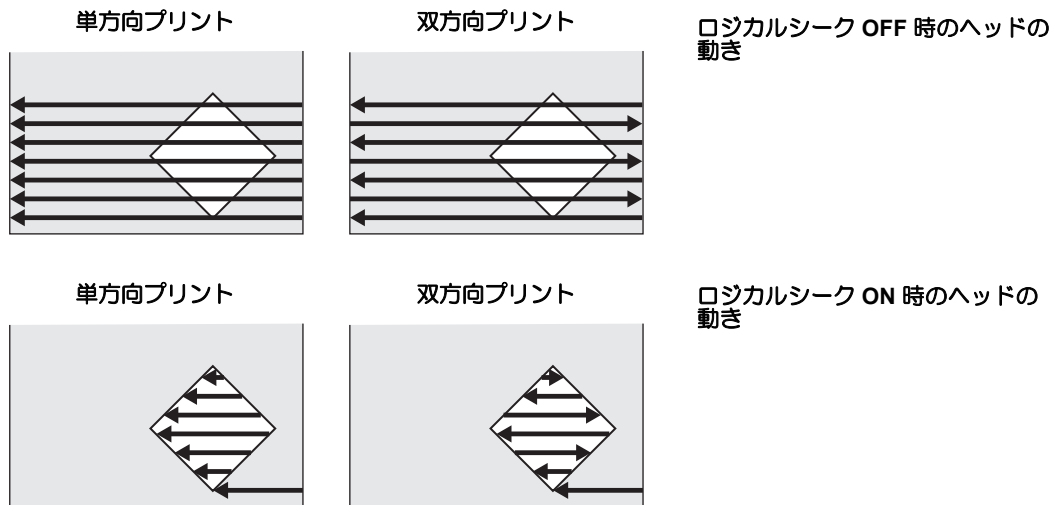
便利な使い方

## スキャン方向の設定

- 1** P.3-12 手順 5 までの操作をする  
[1] フ° リント ホウシキ  
パス <ent>
- 2**   を押して、[スキャンホウコウ] を選ぶ  
[1] フ° リント ホウシキ  
スキャン ホウコウ <ent>
- 3**  キーを押す  
[1] フ° リント ホウシキ  
スキャン ホウコウ :  ホスト
- 4**   を押して、スキャン方向を選ぶ  
・設定値：ホスト / ソウホウコウ / タンホウコウ  
[1] フ° リント ホウシキ  
スキャン ホウコウ :  シンホウコウ
- 5**  キーを押す  
[1] フ° リント ホウシキ  
スキャン ホウコウ <ent>
- 6** 終了するとき、 キーを数回押す

## ロジカルシークの設定

ロジカルシークの設定により、ヘッドの動作が変わります。



1

P.3-12 手順 5 までの操作をする

[1] プリント ホウシキ  
ハース <ent>

2

▲ ▼ を押して、[ロジカルシーク] を選ぶ

[1] プリント ホウシキ  
ロジカルシーク <ent>

3

ENTER キーを押す

[1] プリント ホウシキ  
ロジカルシーク : ホース

4

▲ ▼ を押して、設定値を選ぶ

・設定値：ホース / ON / OFF

[1] プリント ホウシキ  
ロジカルシーク : OFF

5

ENTER キーを押す

[1] プリント ホウシキ  
ロジカルシーク <ent>

6

終了するとき、END キーを数回押す

3

便利な使い方

# 乾燥時間の設定をする

乾燥時間の設定では、インクの乾燥時間に関する次の各項目の設定をします。

- ・ スキャン : スキャン毎のインク乾燥時間を設定 ( 双方向プリントの場合は、往路 / 復路のスキャン毎に設定した時間だけ一時停止する )
- ・ プリントエンド : プリント終了後のインク乾燥時間を設定




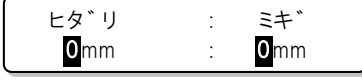
- 重要!**
- ・ RasterLinkPro 側の設定を優先させたいときは、設定値を“ホスト”にしてください。
  - ・ RasterLinkPro では、本機で設定する“スキャン”は“スキャン毎の乾燥時間”と表示しています。
  - ・ プリントエンドの設定については、RasterLinkPro 側での指定ができません。本機の設定で“ホスト”に設定した場合は、プリント時“プリントエンド =0 秒”の状態ですべてプリントされます。

<b>1</b>	ローカルで、 <b>FUNCTION</b> キーを押す	FUNCTION セッテイ <ENT>
<b>2</b>	<b>ENTER</b> キーを押す	セッテイ センタク : タイプ 1
<b>3</b>	<b>▲</b> <b>▼</b> を押してタイプ (1 ~ 4) を選び、 <b>ENTER</b> キーを押す	
<b>4</b>	<b>▲</b> <b>▼</b> を押して、[カンソウジカン] を選ぶ	[1] カンソウ シ`カン <ent>
<b>5</b>	<b>ENTER</b> キーを押す	スキャン : サクス`エント` ホスト : ホスト
<b>6</b>	<b>▲</b> <b>▼</b> <b>◀</b> <b>▶</b> を押して、乾燥時間を設定する ・ スキャン時とプリント終了後の乾燥時間を設定します。お使いの RIP で指定している乾燥時間を有効にする場合は“ホスト”を選択してください。 ・ スキャンの設定値 : ホストまたは 0.0 ~ 19.9 秒 ・ プリントエンドの設定値 : ホストまたは 0 ~ 999 秒 ・ 項目の選択 : <b>◀</b> <b>▶</b> で選ぶ ・ 時間の設定 : <b>▲</b> <b>▼</b> で設定	プリント終了後の乾燥時 スキャン時の乾燥時間 スキャン : ホスト サクス`エント` : ホスト
<b>7</b>	<b>ENTER</b> キーを押す	[1] カンソウ シ`カン <ent>
<b>8</b>	終了するとき、 <b>END</b> キーを数回押す	

# マージンの設定をする



メディアの左右の余白を設定します。  
ここでは、標準マージン 25mm に対するオフセット値を設定します。

- 重要!**
- RIP ソフトウェア側の設定を優先させたいときは、設定値を“ホスト”にしてください。
  - 付属の RIP ソフトウェア (RasterLinkPro) では、マージンの指定ができません。RasterLinkPro をお使いの場合に本機の設定で“ホスト”にすると、プリント時には左右のマージンのオフセット値 =“0mm” の状態でプリントされます。

- ローカルで、**FUNCTION** キーを押す  

- ENTER** キーを押す  

- ▲ ▼** を押してタイプ (1 ~ 4) を選び、**ENTER** キーを押す
- ▲ ▼** を押して、[ マージン ] を選ぶ  

- ENTER** キーを押す  

- ▲ ▼ ◀ ▶** を押して、左右マージンを設定する  

・メディア左右の余白を設定します。お使いの RIP で指定しているマージンを有効にする場合は“ホスト”を選択してください。  
設定値：ホストまたは -20 ~ 75mm(1mm 単位で設定)  
項目の選択 : **◀ ▶** で選ぶ  
マージンの設定 : **▲ ▼** で設定

左余白の設定	右余白の設定
ヒタリ ホスト	ミキ ホスト


- ENTER** キーを押す  

- 終了するとき、**END** キーを数回押す

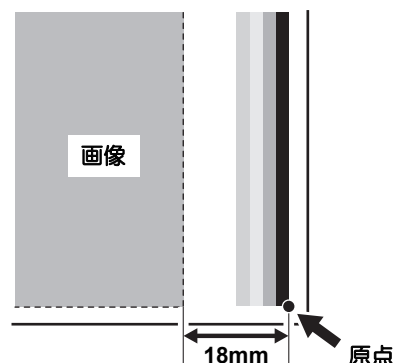


- ・メディア押さえを使ってプリントする場合、左右のマージンを -5mm 以下に設定すると、メディア押さえの上からプリントを開始することがあるのでお気をつけください。

# カラーパターンの設定をする

## 昇華転写インク以外のインクをお使いの場合

メディア右端にカラーパターンをプリントするか設定します。



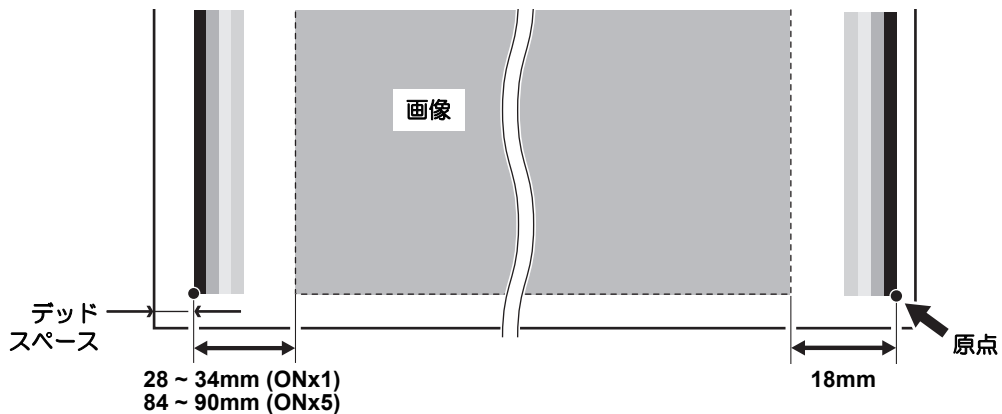
**重要!** ・ RIP ソフトウェア側の設定を優先させたいときは、設定値を“ホスト”にしてください。

- ローカルで、**(FUNCTION)** キーを押す  
FUNCTION  
セッテイ <ENT>
- (ENTER)** キーを押す  
セッテイ  
センタク : タイプ°1
- (▲)** **(▼)** を押してタイプ (1 ~ 4) を選び、**(ENTER)** キーを押す
- (▲)** **(▼)** を押して、[カラーパターン] を選ぶ  
[1]  
カラー パターン <ent>
- (ENTER)** キーを押す  
[1] カラー パターン  
セッテイ : **ホ**スト
- (▲)** **(▼)** を押して、設定値を選ぶ  
設定値 : ホストまたは ON、 OFF  
[1] カラー パターン  
セッテイ : **ON**
- (ENTER)** キーを押す  
[1]  
マージン <ent>
- 終了するとき、**(END)** キーを数回押す



## 昇華転写インクをお使いの場合

メディアの両端にカラーパターンをプリントするか設定します。



1

ローカルで、**FUNCTION** キーを押す

FUNCTION  
セッテイ <ENT>

2

**ENTER** キーを押す

セッテイ  
センタク : タイプ 1

3

**▲** **▼** を押してタイプ (1 ~ 4) を選び、**ENTER** キーを押す

4

**▲** **▼** を押して、[カラーパターン] を選ぶ

[ 1 ]  
カラー パターン <ent>

5

**ENTER** キーを押す

[ 1 ] カラー パターン  
セッテイ : **ホ**スト

6

**▲** **▼** **◀** **▶** を押して、設定値を選ぶ

左側の設定値 : HOST/ONx1 ~ ONx5/OFF

右側の設定値 : HOST/ON/OFF

- 左側 / 右側の項目を選択するときは、**◀** **▶** を押して選びます。
- 設定値を選択するときは、**▲** **▼** を押して設定します。

[ 1 ] カラー パターン  
ヒタリ: ホスト ミキ: ホスト

右側カラーパターンの設定

左側カラーパターンの設定

7

**ENTER** キーを押す

[ 1 ]  
カラー パターン <ent>

8

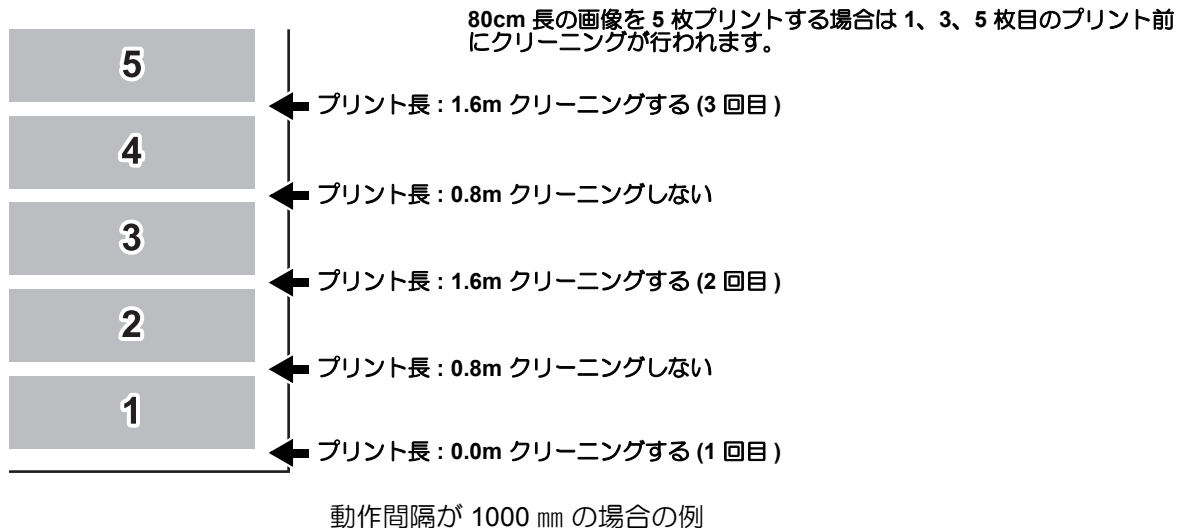
終了するとき、**END** キーを数回押す

3

便利な使い方

# オートクリーニングの設定をする

設定した分の長さだけプリントが終わると自動的にヘッドのクリーニングを実行するように設定できます。プリントが終了すると、本装置が前回ヘッドをクリーニングしてから行ったプリント長をカウントし、クリーニングが必要な場合は、自動的にクリーニングを行います。ヘッドを常に清潔に保つことで、安定した出力結果が持続します。クリーニングは、装置起動後の最初のプリント前に行い、以降は、プリントメートル単位で行います。



- 1

ローカルで、**(FUNCTION)** キーを押す

FUNCTION  
セッテイ <ENT>

---

- 2

**(ENTER)** キーを押す

セッテイ  
センチク : タイフ°1

---

- 3

**(▲)** **(▼)** を押してタイプ (1 ~ 4) を選び、**(ENTER)** キーを押す

---

- 4

**(▲)** **(▼)** を押して、[オートクリーニング] を選ぶ

[1]  
オート クリーニング\* <ent>

---

- 5

**(ENTER)** キーを押す

[1] オート クリーニング\*  
セッテイ : OFF

---

- 6

**(▲)** **(▼)** を押して、ON を選ぶ  
 ・OFF を選んだ場合は、手順 9 へ進みます。

[1] オート クリーニング\*  
セッテイ : ON

---

- 7

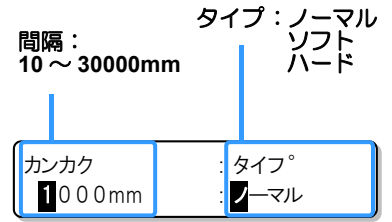
**(ENTER)** キーを押す

カンカク : タイフ°  
1000mm : ーマル

8

▲▼◀▶を押して、クリーニング間隔とクリーニングタイプを設定する

項目の選択 : ◀▶で選ぶ  
 間隔とタイプの設定 : ▲▼で設定



9

ENTER キーを押す

10

終了するとき、END キーを数回押す

**重要!**

- インクニアエンドが発生している場合、本機能は動作しません。P.1-12「インクカートリッジを交換する」を参照して、インクニアエンドを解消してください。
- ヘッド等の状態によっては、本機能を実行してもプリント不良が復旧しない場合があります。この場合は、弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。

# プリント中クリーニングの設定をする

プリント中クリーニングには次の2種類があります。

クリーニング : プリント中に行うヘッドの自動クリーニングについて設定

ワイピング : プリント中に行う自動ワイピングについて設定

## クリーニングの設定をする

プリント中、自動的にヘッドのクリーニングを行うか設定します。  
プリント中クリーニングでは、クリーニング間隔をプリントした長さで設定します。  
設定した長さをプリントすることにプリントを中断し、自動的にヘッドのクリーニングを行います。

1

ローカルで、**FUNCTION** キーを押す

FUNCTION  
セッテイ <ENT>

2

**ENTER** キーを押す

セッテイ  
センタク : タイプ 1

3

**▲** **▼** を押してタイプ (1 ~ 4) を選び、**ENTER** キーを押す

4

**▲** **▼** を押して、[プリントチュウクリーニング] を選ぶ

[1]  
フ°プリントチュウクリーニング°<ent>

5

**ENTER** キーを2回押す

[1]フ°プリントチュウ クリーニング°  
セッテイ : **OFF**

6

**▲** **▼** を押して、**ON** を選ぶ

・OFF を選んだ場合は、手順9へ進みます。

[1]フ°プリントチュウ クリーニング°  
セッテイ : **ON**

7

**ENTER** キーを押す

カンカク : タイプ°  
**1**000mm : **ノ**ーマル

8

**▲** **▼** **◀** **▶** を押して、クリーニング間隔とクリーニングタイプを設定し、**ENTER** キーを押す

項目の選択 : **◀** **▶** で選ぶ  
間隔とタイプの設定 : **▲** **▼** で設定

間隔 : 10 ~ 3000mm  
タイプ : ノーマル  
ソフト  
ハード

カンカク : タイプ°  
**1**000mm : **ノ**ーマル

9

終了するとき、**END** キーを数回押す

**重要!**

- ・インクニアエンドが発生している場合、本機能は動作しません。P.1-12「インクカートリッジを交換する」を参照して、インクニアエンドを解消してください。
- ・ヘッド等の状態によっては、本機能を実行してもプリント不良が復旧しない場合があります。この場合は、弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。

## ワイピングの設定をする

作図中に設定したスキャン回数になったら、自動的にワイピング動作を行うことにより、ノズル面でインクが結露するのを防止できます。

次のような場合は、プリント途中でしぶき・ポタ落ち・ノズル抜けが発生する場合があります。定期ワイピングの設定をして、常に快適な作図状態を維持することをお勧めします。

- ・プリントヒーターを高温に設定している
- ・打ち込みインク量を多め(高濃度、2度塗り等)に設定している

これは、プリント直後のインクがプリントヒーターで加熱され、揮発した溶剤成分がノズル面に結露してしまうことが原因です。

また、プリントヒーターの設定温度と外気温度との差が大きいほど結露しやすくなります。

1	ローカルで、 <b>FUNCTION</b> キーを押す	FUNCTION セッテイ <ENT>
2	<b>ENTER</b> キーを押す	セッテイ センタク : タイプ 1
3	<b>▲</b> <b>▼</b> を押してタイプ (1 ~ 4) を選び、 <b>ENTER</b> キーを押す	
4	<b>▲</b> <b>▼</b> を押して、 <b>[プリントチュウクリーニング]</b> を選ぶ	[1] フ° リントチュウクリーニング° <ent>
5	<b>ENTER</b> キーを押す	[1] フ° リントチュウ クリーニング° クリーニング° <ent>
6	<b>▲</b> <b>▼</b> を押して、 <b>[ワイピング]</b> を選ぶ	[1] フ° リントチュウ クリーニング° ワイピング° <ent>
7	<b>ENTER</b> キーを押す	ワイピング° スキャン カイスウ <ent>
8	<b>ENTER</b> キーを押す	ワイピング° スキャン カイスウ = 50
9	<b>▲</b> <b>▼</b> を押して、スキャン回数を設定する <ul style="list-style-type: none"> <li>・設定値 : 0 ~ 9990 回</li> <li>・ヒーターを高温 (50 °C 近辺) に設定した場合や、2 度塗り等打ち込みインク量が多い場合は、30 ~ 50 回が目安です。</li> </ul>	ワイピング° スキャン カイスウ = 40

- |    |  |  |
|----|--|--|
| 10 | <p><b>ENTER</b> キーを押す</p>  | <p>ワイピング<br/>スキャン カイスウ &lt;ent&gt;</p> |
| 11 | <p><b>▲</b> <b>▼</b> を押す<br/>                 ・オンドサの設定画面が表示されます。</p>   | <p>ワイピング<br/>オンド`サ &lt;ent&gt;</p>     |
| 12 | <p><b>ENTER</b> キーを押す</p>  | <p>ワイピング<br/>オンド`サ = 20°C</p>          |
| 13 | <p><b>▲</b> <b>▼</b> を押して、温度差を設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プリントヒーターの温度設定が外気温度よりも高く、その差が設定した温度差以上になった場合に、定期ワイピング機能が有効になります。</li> <li>・温度差を「0」に設定すると、プリントヒーターの設定温度にかかわらず、指定したスキャン回数に達すると定期ワイピング動作を行います。</li> </ul> | <p>ワイピング<br/>オンド`サ = 20°C</p>          |
| 14 | <p><b>ENTER</b> キーを押す</p>  | <p>ワイピング<br/>オンド`サ &lt;ent&gt;</p>     |
| 15 | <p>終了するとき、<b>END</b> キーを数回押す</p>   |  |

# メディア検出の設定をする

メディアをセットしたときの検出方法とメディアをカットするときの検出タイプを設定します。

- 1 ローカルで、**FUNCTION** キーを押す  
FUNCTION  
セッテイ <ENT>
- 2 **ENTER** キーを押す  
セッテイ  
センタク : タイプ°1
- 3 **▲▼**を押してタイプ(1~4)を選び、**ENTER** キーを押す
- 4 **▲▼**を押して、[メディアケンシュツ]を選ぶ  
[1]  
メデ`ィア ケンシュツ <ent>
- 5 **ENTER** キーを押す  
[1]メデ`ィア ケンシュツ  
ケンシュツ ホウホウ <ent>
- 6 **ENTER** キーを押す  
[1]メデ`ィア ケンシュツ  
ケンシュツ ホウホウ : **セ**レクト  
・メディア検出の設定画面が表示されます。
- 7 **▲▼**を押して、設定値を選ぶ  
セレクト : メディア検出時に**◀▶**を押してロールメディアかリーフメディアかを選ぶ  
ハバ : メディア検出時、キー入力はしないでメディアの幅のみ検出する  
(クランプレバーを下げると、自動的に検出を開始します。)
- 8 **ENTER** キーを押す  
[1]メデ`ィア ケンシュツ  
ケンシュツ ホウホウ <ent>
- 9 **▼**を押して、[カットジケンシュツ]を選ぶ  
[1]メデ`ィア ケンシュツ  
カット シ` ケンシュツ <ent>
- 10 **ENTER** キーを押す  
[1]メデ`ィア ケンシュツ  
ケンシュツ : **リ**ョウ エッジ
- 11 **▲▼**を押して、設定値を選ぶ  
・設定値：リョウエッジ/ヒダリエッジ/ミギエッジ/ナシ
- 12 **ENTER** キーを押す
- 13 終了するとき、**END** キーを数回押す

**重要!** ・[カットジケンシュツ]で設定値を“リョウエッジ”以外に設定すると、カット時間は短縮されますが、メディアスキューがあった場合に切り残しが発生する場合があります。

# パス間のシマを軽減する設定をする

メディア補正 (P.3-4) をしても送りシマが解消できない場合 “MAPS (Mimaki Advanced PassSystem) を有効にしてください。パスの境界を分散させることにより、送りシマが目立ちにくくなります。



- MAPS の効果は、プリント速度の設定値で変化します。あらかじめ効果の確認を行った上で使用してください。
- プリント速度を上げた場合、プリント時間は短くなりますが、MAPS の効果は弱くなります。
- プリント速度を下げた場合、プリント時間は長くなりますが、MAPS の効果が上がり送りシマが目立ちにくくなります。
- MAPS が有効になる解像度とパス数は以下の通りです。
- MAPS 無効となる条件では、MAPS-OFF・プリント速度設定無効 (±0%) で動作します。
- 印刷する画像によっては MAPS の効果が得られない場合があります。
- わずかではありますが色味の変化がみられる場合があります。

解像度 (dpi)	パス数					
	4色			6色		
	△	○	◎	△	○	◎
540x720	2	4	8, 16	—	8	16, 32
540x1080	—	6	12, 24	—	12	24, 48
720x720	—	4	8, 16	—	8	16, 32
720x1080	—	6	12, 24	—	12	24, 48
720x1440	—	8	16, 32	—	16	32, 64

◎ : 高速 / 標準速ともにプリント速度設定は ±50% の範囲で MAPS 動作が可能。  
 ○ : 高速時、プリント速度は -50 ~ -1% の範囲。標準速時、プリント速度は ±50% の範囲で MAPS 動作が可能。  
 △ : 標準速時のみプリント速度設定は -50 ~ -1% の範囲で MAPS 動作可能。

- ローカルで、**(FUNCTION)** キーを押す  
 FUNCTION  
 セッテイ <ENT>
- (ENTER)** キーを押す  
 セッテイ  
 センタク : タイフ° 1
- (ENTER)** キーを押す  
 [ 1 ]  
 メディア ホセイ <ent>
- (▲) (▼)** を押して、**[MAPS]** を選ぶ  
 [ 1 ]  
 MAPS <ent>
- (ENTER)** キーを押す  
 [ 1 ] MAPS  
 セッテイ : OFF
- (▲) (▼)** を押して、**ON/OFF** を設定する  
 • 設定値 : OFF, ON  
 [ 1 ] MAPS  
 セッテイ : ON
- (ENTER)** キーを押す  
 • OFF を選択した場合、手順 9 へ進みます。  
 [ 1 ] MAPS  
 プリント ソクト° : 0%



8

  を押して、プリント速度を変更する

- ・設定値 : -50 ~ +50%  
(+20% を入力すると、プリント速度が約 20% 向上し、  
-20% を入力するとプリント速度が約 20% 低下します。)

[ 1 ] MAPS  
プリント ソフト : 10%

9

 キーを押す

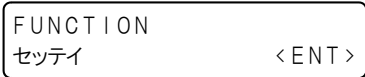

[ 1 ]  
MAPS <ent>

10

終了するとき、 キーを数回押す

# その他の設定

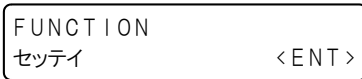
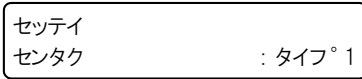
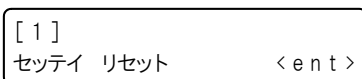
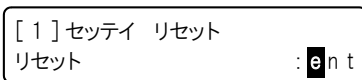
使い方に合わせて設定を変えてください。

- 1** ローカルで、**FUNCTION** キーを押す  
 FUNCTION  
セッテイ <ENT>
- 2** **ENTER** キーを押す  
 セッテイ  
センタク : タイプ° 1
- 3** **▲** **▼** を押してタイプ (1~4) を選び、**ENTER** キーを押す
- 4** **▲** **▼** を押して設定する項目を選ぶ  
・P.3-2「設定機能一覧表」を参照して選んでください。
- 5** **ENTER** キーを押す
- 6** **▲** **▼** を押して設定値を選ぶ  
・P.3-2「設定機能一覧表」を参照して選んでください。
- 7** **ENTER** キーを押す
- 8** 終了するとき、**END** キーを数回押す

**重要!** ・設定した値は、電源を“OFF”にしても保持しています。

# 設定した内容を初期状態に戻す

設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。(設定リセット)  
設定リセットはタイプ別に実行できます。

- 1 ローカルで、**FUNCTION** キーを押す  
 FUNCTION  
セッテイ <ENT>
- 2 **ENTER** キーを押す  
 セッテイ  
センタク : タイフ°1
- 3 **▲** **▼** を押してタイプ (1 ~ 4) を選び、**ENTER** キーを押す
- 4 **▲** **▼** を押して、[セッテイリセット] を選ぶ  
 [1]  
セッテイ リセット <ent>
- 5 **ENTER** キーを押す  
 [1]セッテイ リセット  
リセット : ent
- 6 **ENTER** キーを押す  
・設定を初期化します。
- 7 終了するとき、**END** キーを数回押す

# マシン設定

本装置を快適に使用するための各種設定です。  
マシン設定で設定できる内容は、次の項目です。

項目		設定値*1	内容
カンソウファン*2	ティスタイマー	0 ~ <u>10</u> ~ 240min/ レンソク	プリント終了後、乾燥ファンの回転を停止するまでの時間を設定します。
	キリカエ	ON / OFF	現在の乾燥ファンの動作状態を切り替えます。
クリダシ&マクトリ	ソウチセンタク	クリダシ:ON / OFF マクトリ:ON / OFF	重量ロールメディア (幅 1.6m 以上) をお使いになるとき、“クリダシ”と“マクトリ”の設定をONにします。
	テンションバーイチ	<u>ヒクイ</u> /タカイ	重量メディア巻取装置用のテンションバーの動作位置を設定します。
リョウメンモード	ウラメンプリント	ON / OFF	両面印刷に関する設定を行います。 P.4-2 を参照してください。
	カサネヌリ	1 ~ <u>2</u> ~ 9 カイ	
	メディアケンシュツ	OFF/ 10 ~ 10000mm	
カンソウフィード		ON / OFF	プリント終了後、メディアを乾燥させるためのフィードを行うか設定します。
カクニンフィード		ON / OFF	テストプリント後、結果を確認するためのフィード設定ができます。 ON に設定すると、 <b>ENTER</b> キーを押してメディアを元の位置に戻すための「メディアモードシフィード」の設定に移ります。
ジコクセッテイ			現在の日付と時刻を設定します。
タンイセッテイ	温度	°C (摂氏) / °F (華氏)	温度の表示単位を設定します。
	長さ	mm / inch	長さ、面積の表示単位を設定します。
スタンプセッテイ		ON / OFF	プリント終了後に、出力日時・プリント条件を出力する設定を行います。
ハイインクタンクワーニング		ON / OFF	廃インクタンクの確認メッセージを表示させるか設定します。(P.3-41)
インクキョウキュウ*3 ユウセン		<u>ザンリョウ</u> ユウコウキゲン	ダブルカートリッジ自動切替機能で、優先して使用するカートリッジを設定します。(P.3-41)
マシンメイショウ		<u>01</u> ~ 99	USB2.0 インターフェイスを使用した複数台接続時の装置認識のためのマシン名称 (マシンNo.) を設定します。
キーブザー		ON / OFF	キーを押したときのブザー音を設定します。
カンキョウ オンド		トウタツヨマタナイ トウタツヨマツ	環境温度範囲外エラー発生時の動作を設定します。(P.3-41)

\*1. お買い上げ時は、下線の設定になっています。

\*2. ハイキファンはオプションです。

\*3. 4色インクセットの場合のみ有効となります。

## カンソウファンの設定をする

ファンはプリント中は動作し、プリント終了後からは“ティンタイマー”の設定に従って動作します。

カンソウファンの設定では、次の2項目の設定ができます。

- ・ティンタイマー：プリント終了からファン動作を停止するまでの時間を設定します。
- ・キリカエ： “ON” にすれば、プリント中でなくてもファン動作を実行できます。

- 重要!**
- ・排気ファンは排気ファンユニットに含まれるオプション品となります。
  - ・排気ファンを装着している場合、排気ファンの設定はここで設定した内容に連動して動作します。

**1** ローカルで、**FUNCTION** キーを押す

FUNCTION セッテイ	<ENT>
------------------	-------

**2** **▲** **▼** を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

FUNCTION マシン セッテイ	<ENT>
----------------------	-------

**3** **ENTER** キーを2回押す

カンソウ ファン ティン タイマー	<ent>
----------------------	-------

**4** **▲** **▼** を押して、設定する項目を選ぶ

ティンタイマー：プリント終了から排気ファンが停止するまでの時間を設定  
 キリカエ：ファンを動作させたいときに選ぶ

**5** **ENTER** キーを押す

**6** **▲** **▼** を押して、設定値を選ぶ

ティンタイマー：0～240秒または連続運転  
 キリカエ：動作させるときに“ON”を選び、動作を停止させるとき“OFF”を選ぶ

**7** **ENTER** キーを押す

**8** 終了するとき、**END** キーを数回押す

## クリダシ&マキトリの設定をする

クリダシ&マキトリの設定には、重量メディア巻取装置 / 重量メディア繰出装置の使用または不使用を設定する「ソウチセンタクの設定」と、重量メディア繰出装置用のテンションバーの動作位置を設定する「テンションバー イチの設定」があります。

### ソウチセンタクの設定

重量メディア巻取装置 / 重量メディア繰出装置の使用 / 不使用を設定します。

- 重要!** ・ソウチセンタクの設定で重量メディア巻取装置および重量メディア繰出装置を OFF にするときは、各装置のテンションバーをロック位置で固定してから設定を行ってください。特に、巻取装置用のテンションバーがロックされていないと、マキトリの設定で OFF に切り替えられなくなります。

- ローカルで、**(FUNCTION)** キーを押す  
FUNCTION  
セッテイ <ENT>
- (▲)** **(▼)** を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ  
FUNCTION  
マシン セッテイ <ENT>
- (ENTER)** キーを押す  
マシン セッテイ  
カンソウ ファン <ent>
- (▲)** **(▼)** を押して、[クリダシ&マキトリ] を選ぶ  
マシン セッテイ  
クリダシ & マキトリ <ent>
- (ENTER)** キーを押す  
クリダシ & マキトリ  
ソウチ センタク <ent>
- (ENTER)** キーを押す  
クリダシ : マキトリ  
 ON ON
- (▲)** **(▼)** **(◀)** **(▶)** を押して、設定を変更する  
項目の選択 : **(◀)** **(▶)** で選ぶ  
設定の変更 : **(▲)** **(▼)** で入力
- (ENTER)** キーを押す  
クリダシ & マキトリ  
ソウチ センタク <ent>  
・続けて、テンションバーの設定をするときは、「テンションバー イチの設定」手順 6 からの操作をしてください。
- 終了するとき、**(END)** キーを数回押す

## テンションバー イチの設定

重量メディア巻取装置用テンションバーのプリント中の動作位置を設定します。

- 重要!** ・設定を変更する場合は、P.2-18「巻取テンションバーの動作位置の設定」を参照して、設定内容をよく理解してから変更してください。

1	ローカルで、 <b>FUNCTION</b> キーを押す	FUNCTION セッテイ <ENT>
2	<b>▲</b> <b>▼</b> を押して、[マシンセッテイ]を選ぶ	FUNCTION マシン セッテイ <ENT>
3	<b>ENTER</b> キーを押す	マシン セッテイ カンソウ ファン <ent>
4	<b>▲</b> <b>▼</b> を押して、[クリダシ&マクトリ]を選ぶ	マシン セッテイ クリダシ & マクトリ <ent>
5	<b>ENTER</b> キーを押す	クリダシ & マクトリ ソウチ センタク <ent>
6	<b>▲</b> <b>▼</b> を押して、[テンションバー イチ]を選ぶ	クリダシ & マクトリ テンションバー イチ <ent>
7	<b>ENTER</b> キーを押す	クリダシ & マクトリ テンションバー イチ : <b>クイ</b>
8	<b>▲</b> <b>▼</b> を押して、設定を選ぶ	
9	<b>ENTER</b> キーを押す	
10	終了するとき、 <b>END</b> キーを数回押す	

## カンソウフィードの設定をする

プリント完了後、メディアを乾燥させるためのフィードを行うか設定します。



同じデータを複数回プリントする場合、RasterLinkPro5 での指定方法によって乾燥フィードの入り方が異なります。

- RasterLinkPro5 のメイン画面で“印刷回数”を設定した場合  
⇒ 1回のプリントが終了するたびに乾燥フィードを行います。
- RasterLinkPro5 のジョブエディタで“コピー部数”を設定した場合  
⇒ 指定した部数分だけプリントが終了してから乾燥フィードを行います。  
“印刷回数”で指定するより、メディアの無駄が少なくなります。

1	ローカルで、 <b>FUNCTION</b> キーを押す	FUNCTION セッテイ <ENT>
2	<b>▲</b> <b>▼</b> を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ	FUNCTION マシン セッテイ <ENT>
3	<b>ENTER</b> キーを押す	マシン セッテイ カンソウ ファン <ent>
4	<b>▲</b> <b>▼</b> を押して、[カンソウフィード] を選ぶ	マシン セッテイ カンソウ フィード* <ent>
5	<b>ENTER</b> キーを押す	カンソウ フィード* セッテイ : <b>ON</b>
6	<b>▲</b> <b>▼</b> を押して、ON/OFF を選ぶ	
7	<b>ENTER</b> キーを押す	
8	終了するとき、 <b>END</b> キーを数回押す	



## カクニフィードの設定をする

テストプリント後に、プリント結果を確認するためにメディアのフィードを行うか設定します。

- |    |   |   |
|----|---|---|
| 1  | ローカルで、 <b>FUNCTION</b> キーを押す  | FUNCTION<br>セッテイ <ENT>                    |
| 2  | <b>▲</b> <b>▼</b> を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ  | FUNCTION<br>マシン セッテイ <ENT>                |
| 3  | <b>ENTER</b> キーを押す  | マシン セッテイ<br>カンソウ ファン <ent>                |
| 4  | <b>▲</b> <b>▼</b> を押して、[カクニフィード] を選ぶ  | マシン セッテイ<br>カクニ フィード` <ent>               |
| 5  | <b>ENTER</b> キーを押す  | カクニ フィード`<br>セッテイ : <b>ON</b>             |
| 6  | <b>▲</b> <b>▼</b> を押して、 <b>ON</b> を選ぶ<br>・[OFF] を選んだ場合は、手順 9 へ進んでください。  |   |
| 7  | [メディアモードシフィード] の設定をするとき、<br><b>ENTER</b> キーを押す  | カクニ フィード`<br>メディア モト`シ フィード` : <b>ON</b>  |
| 8  | <b>▲</b> <b>▼</b> を押して、 <b>ON/OFF</b> を選ぶ<br>・メディア戻しフィードを ON にすると、確認フィードでフィードしたメディアを少し戻します。<br>・メディアを戻したくないときは、OFF に設定してください。 | カクニ フィード`<br>メディア モト`シ フィード` : <b>OFF</b> |
| 9  | <b>ENTER</b> キーを押す  | マシン セッテイ<br>カクニ フィード` <ent>               |
| 10 | 終了するとき、 <b>END</b> キーを数回押す  |   |

## ジコクの設定をする

- 1 ローカルで、**FUNCTION** キーを押す  
FUNCTION  
セッテイ <ENT>
- 2 **▲** **▼** を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ  
FUNCTION  
マシン セッテイ <ENT>
- 3 **ENTER** キーを押す  
マシン セッテイ  
カンソウ ファン <ent>
- 4 **▲** **▼** を押して、[ジコクセッテイ] を選ぶ  
マシン セッテイ  
ジコク セッテイ <ent>
- 5 **ENTER** キーを押す  
ジコク セッテイ  
2011.10.05 15:30:00
- 6 **▲** **▼** **◀** **▶** を押して、時刻を入力する  
年月日 / 時分の選択 : **◀** **▶** で選ぶ  
年月日 / 時分の入力 : **▲** **▼** で入力
- 7 **ENTER** キーを押す  
ジコク セッテイ  
2011.10.05 15:30:00  
・入力した時刻が表示されます。
- 8 終了するとき、**END** キーを数回押す

### 重要!

- 過去の時刻設定は、現在の表示時刻より 8 時間前の時刻までしか設定できません。
- 誤って、現在の時刻より未来の時刻を設定した場合、手順 7 で次の操作をすると、前回設定した時刻に戻すことができます。
  - (1) 手順 6 で **FUNCTION** キーを押す (入力した時刻と前回設定した時刻が表示される)
  - (2) **ENTER** キーを押す
- 変更内容を戻せるのは、一つ前の変更までです。また、変更前の時刻は、経過した時間分進んでいます。

## タニイの設定をする

本装置で使用する単位を設定します。

- 1** ローカルで、**FUNCTION** キーを押す

FUNCTION  
 セッテイ <ENT>

---

- 2** **▲** **▼** を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

FUNCTION  
 マシン セッテイ <ENT>

---

- 3** **ENTER** キーを押す

マシン セッテイ  
 カンソウ ファン <ent>

---

- 4** **▲** **▼** を押して、[タニイセッテイ] を選ぶ

マシン セッテイ  
 タニイ セッテイ <ent>

---

- 5** **ENTER** キーを押す

オント<sup>°</sup> : ナカ<sup>°</sup>サ  
 °C : mm

---

- 6** **▲** **▼** **◀** **▶** を押して、単位を選ぶ

項目の選択 : **◀** **▶** で選ぶ  
 単位の設定 : **▲** **▼** で入力

---

- 7** **ENTER** キーを押す

マシン セッテイ  
 タニイ セッテイ <ent>

---

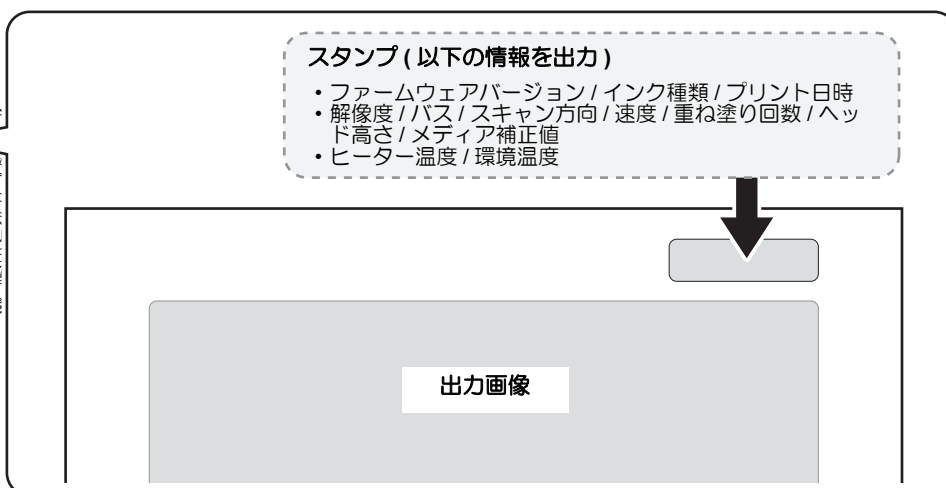
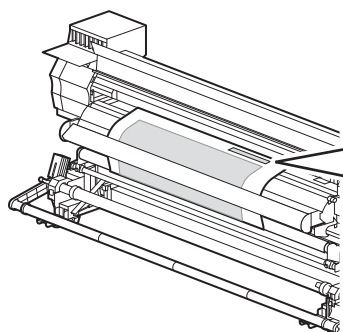
- 8** 終了するとき、**END** キーを数回押す

## スタンプの設定をする

プリント完了後に、プリント条件やプリント日時などの情報を出力するか設定します。

- 1 ローカルで、**FUNCTION** キーを押す  
FUNCTION  
セッテイ <ENT>
- 2 **▲** **▼** を押して、[マシンセッテイ]を選ぶ  
FUNCTION  
マシン セッテイ <ENT>
- 3 **ENTER** キーを押す  
マシン セッテイ  
カンソウ ファン <ent>
- 4 **▲** **▼** を押して、[スタンプセッテイ]を選ぶ  
マシン セッテイ  
スタンプ° セッテイ <ent>
- 5 **ENTER** キーを押す  
スタンプ° セッテイ  
スタンプ° : **OFF**
- 6 **▲** **▼** を押して、ON/OFF を選ぶ
- 7 **ENTER** キーを押す
- 8 終了するとき、**END** キーを数回押す

### 出力の例



## マシンメイショウの設定をする

USB2.0 インターフェイスを使用した複数台接続時の装置認識のためのマシン名称 (マシンNo.) を設定します。

- |   |  |                                    |
|---|--|------------------------------------|
| 1 | ローカルで、 <b>FUNCTION</b> キーを押す             | FUNCTION<br>セッテイ <ENT>             |
| 2 | <b>▲</b> <b>▼</b> を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ     | FUNCTION<br>マシン セッテイ <ENT>         |
| 3 | <b>ENTER</b> キーを押す                       | マシン セッテイ<br>カンソウ ファン <ent>         |
| 4 | <b>▲</b> <b>▼</b> を押して、[マシンメイショウ] を選ぶ    | マシン セッテイ<br>マシン メイショウ <ent>        |
| 5 | <b>ENTER</b> キーを押す                       | マシン メイショウ<br>JV34-0 <b>1</b> <ent> |
| 6 | <b>▲</b> <b>▼</b> を押して、マシン名称 (01~99) を選ぶ | マシン メイショウ<br>JV34-1 <b>0</b> <ent> |
| 7 | <b>ENTER</b> キーを押す                       | マシン セッテイ<br>マシン メイショウ <ent>        |
| 8 | 終了するとき、 <b>END</b> キーを数回押す               |                                    |

## キーブザーの設定をする

キーを押したときのブザー音を設定します。

- 1 ローカルで、**FUNCTION** キーを押す  
FUNCTION  
セッテイ <ENT>
- 2 **▲** **▼** を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ  
FUNCTION  
マシン セッテイ <ENT>
- 3 **ENTER** キーを押す  
マシン セッテイ  
カンソウ ファン <ent>
- 4 **▲** **▼** を押して、[キーブザー] を選ぶ  
マシン セッテイ  
キー ブザー <ent>
- 5 **ENTER** キーを押す  
キー ブザー  
セッテイ : **ON**
- 6 **▲** **▼** を押して、ON/OFF を選ぶ  
キー ブザー  
セッテイ : **OFF**
- 7 **ENTER** キーを押す  
マシン セッテイ  
キー ブザー <ent>
- 8 終了するとき、**END** キーを数回押す



- 設定を "OFF" にしても、エラー / 警告 / 動作完了等のブザー音を消すことはできません。

## カンキョウオンドの動作条件を変更する

本機を設置している場所の温度(環境温度)が使用可能範囲から外れている状態でプリントをすると、インクの吐出不良や色味が変わるなど、プリント品質に悪影響を及ぼします。  
ここでは、プリント時に環境温度が使用可能範囲から外れていた場合の動作を選択します。



- 使用可能範囲について、詳しくは P.7-3 「使用可能温度」を参照してください。
- プリント開始時に環境温度が適正範囲外になっていると、以下のエラーメッセージを表示してお知らせします。

\*\*\*\* ERROR 120 \*\*\*\*  
カンキョウオンド` ヒクイ

\*\*\*\* ERROR 121 \*\*\*\*  
カンキョウオンド` タカイ

1

ローカルで、**FUNCTION** キーを押す

FUNCTION  
セッテイ <ENT>

2

▲▼を押して、[マシンセッテイ]を選ぶ

FUNCTION  
マシン セッテイ <ENT>

3

**ENTER** キーを押す

マシン セッテイ  
カンソウ ファン <ent>

4

▲▼を押して、[カンキョウオンド]を選ぶ

マシン セッテイ  
カンキョウ オンド` <ent>

5

**ENTER** キーを押す

カンキョウ オンド`  
センタク : [ ]ウタツ ヲ マタナイ

6

▲▼を押して、設定値を選ぶ

- トウタツ ヲ マタナイ : エラーメッセージを一瞬表示した後、プリントを開始する。  
トウタツ ヲ マツ : エラーメッセージを表示した後、環境温度が適正值になるまで待つてからプリントを行う。

7

**ENTER** キーを押す

8

終了するとき、**END** キーを数回押す

3

便利な使い方

# インクの有効期限を延長する

通常は期限切れ後 2ヶ月で使用不可となるインクの有効期限を、期限切れの月から 6ヶ月延長できます。

## インクの有効期限を延長する

以下の設定・確認画面は、本機の電源を ON にしたときや、期限切れのインクカートリッジをセットしたときに表示されます。

### 重要!

- 一度延長 [YES] を設定したカートリッジは、設定の変更ができません。
- 複数の期限切れインクをセットしてから、期限延長を設定すると、複数のインクの有効期限をまとめて延長できます。
- インクの有効期限を延長して使用すると、印刷画質が低下したり、色味の変化やバンディングなど印字品質が低下する可能性があります。このことをご了解の上、インクの有効期限を延長してください。
- 初期充填では、期限切れ後 2ヶ月以上が過ぎたインクを使用することはできません。

1

右の画面を表示したら

ユウコウキケン エンチョウ ?  
YES< >NO

交互に表示



スイショウ シナイカ ヨイカ?  
YES< >NO

2

を押して、[YES] を選ぶ

- インク期限の延長をしないときは、[NO] を選んでください。この場合、インク期限が切れてから 2ヶ月すると、インクが使用できなくなります。

ユウコウキケン ヲ エンチョウシタ  
[ENT] ヲ オス

3

キーを押す

- インク期限が延長されます。

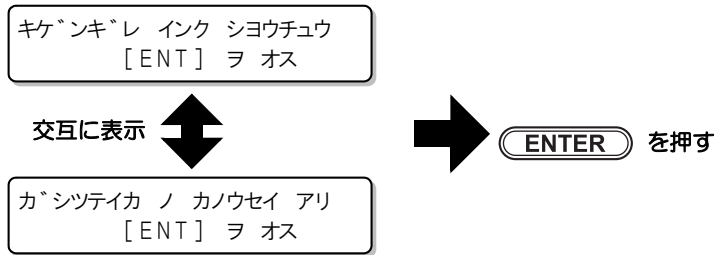


- インクの有効期限を延長した場合、インク期限切れから 6ヶ月が経過するとディスプレイに [カンゼン キゲンギレ] が表示され、セットしているインクカートリッジは使用できなくなります。速やかに新しいインクカートリッジと交換してください。
- 有効期限を延長したインクカートリッジからインクを供給しているときは、インクカートリッジの上にあるカートリッジランプが緑色に点滅してお知らせします。



## インクの有効期限を延長したカートリッジをセットすると

本機にインクの有効期限を延長したカートリッジをセットしている状態で電源をオンにしたときや、有効期限の延長を設定したカートリッジを本機にセットすると、次の画面を表示します。

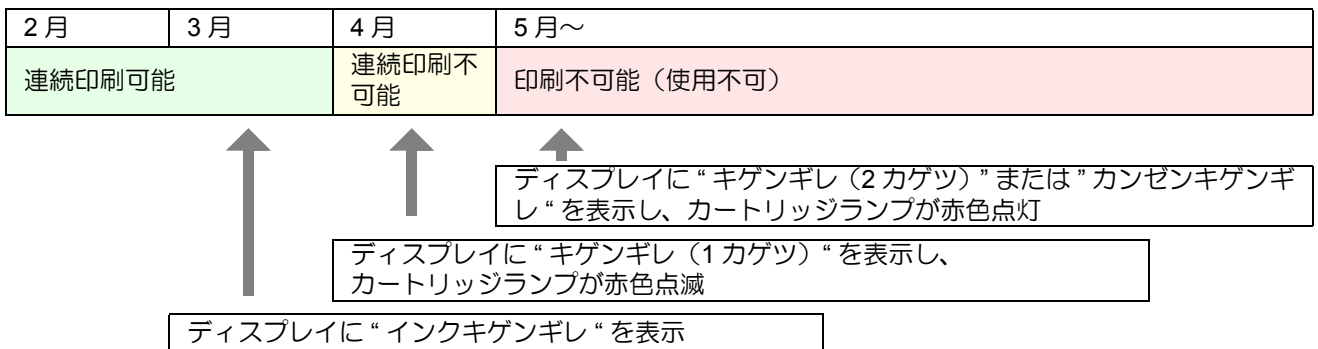


- 上の画面を交互表示しているときに **FUNCTION** キーを押すと、期限切れになっているインクの確認ができます。

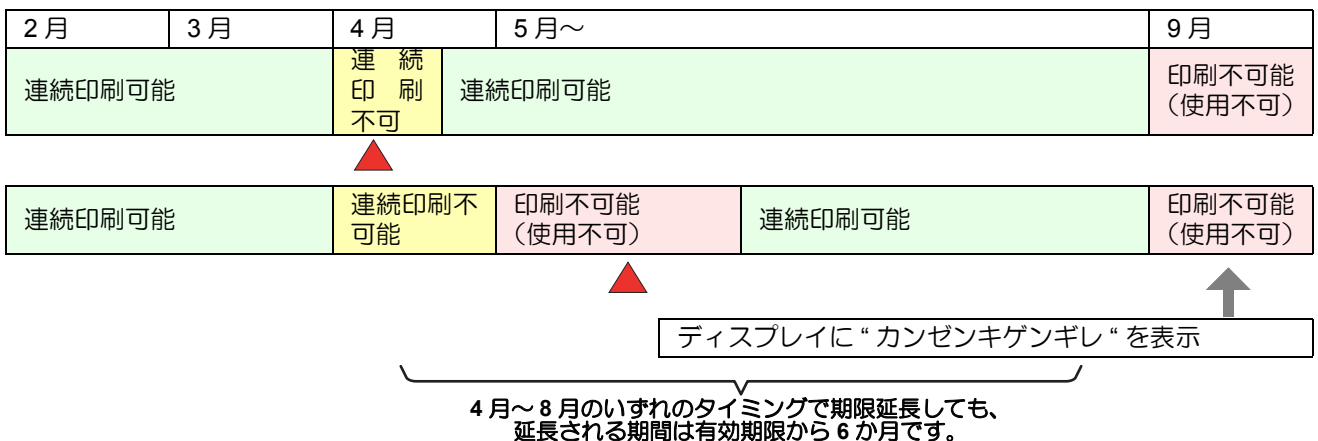
## インクの有効期限を延長したときは

(例) 2011年2月が有効期限のインクカートリッジをお使いの場合

- 期限延長をしなかった場合



- 期限延長を実行した場合 (▲で期限延長実行)



# インク供給経路の切替設定

インク供給について、ダブルカートリッジ自動切替機能で優先して使用するカートリッジの状態を選択できます。  
本設定は、4色インクセットをお使いの場合のみ有効です。

**重要!**

- ここでの設定に関わらず、有効期限が切れたインクカートリッジがセットされている場合は、期限切れのカートリッジを優先して使用します。
- オプションのバルクインクシステム (MBIS1) をお使いの場合、両方のスロットでバルクインクシステム (MBIS1) をセットしていれば、ここで行う設定が有効になります。
- 同色の供給経路にインクカートリッジとバルクインクシステム (MBIS1) が混在している場合は、次ページの設定をご参照ください。

1	ローカルで、 <b>FUNCTION</b> キーを押す	FUNCTION セッテイ <ENT>
2	<b>▲</b> <b>▼</b> を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ	FUNCTION マシン セッテイ <ENT>
3	<b>ENTER</b> キーを押す	マシン セッテイ カンソウ ファン <ent>
4	<b>▲</b> <b>▼</b> を押して、[インク キョウキュウ ユウセン] を選ぶ	マシン セッテイ インク キョウキュウ ユウセン <ent>
5	<b>ENTER</b> キーを押す	
6	<b>▲</b> <b>▼</b> を押して、優先するカートリッジの状態を選ぶ ザンリョウ : 残量が少ないインクカートリッジから供給する ユウコウキゲン : 有効期限が短いインクカートリッジから供給する	インク キョウキュウ ユウセン ユウセン : ザンリョウ
7	<b>ENTER</b> キーを押す	
8	終了するとき、 <b>END</b> キーを数回押す	

## インクカートリッジと MBIS1 を混在している場合

4色インクセットで、同色の供給経路にインクカートリッジとオプションのバルクインクシステム(MBIS1)を混在して使用している場合、優先して使用するインクを選択できます。



- 通常、同色のインク供給経路にインクカートリッジとバルクインクシステム (MBIS1) を混在して使用する場合、バルクインクシステム (MBIS1) 側のインクを優先して使用します。

**重要!**

- 本機能は 4 色インクセットをお使いの場合のみ有効です。
- インクカートリッジとバルクインクシステム (MBIS1) が混在している供給経路がない場合は、本機能は設定できません。
- 本機能で選択しているカートリッジを引き抜くか電源を入れ直すと設定は無効となります。

**1**

ローカルまたはリモートで、**ENTER** キーを押す

SS21-インク MMCCYYKK  
サンリョウ 34567899

**2**

**REMOTE** キーを押す

BULK/CART センタク  
- **B** B B

現在、供給している側を表示  
B: バルクインクシステム (MBIS1)  
C: インクカートリッジ  
-: 混在していない

**3**

**▲ ▼ ◀ ▶** を押して、供給経路と、どちらを優先するか設定する

BULK/CART センタク  
- **C** B B

経路の選択 : **◀ ▶** で選ぶ  
優先する側を設定 : **▲ ▼** で入力

**4**

**ENTER** キーを押す

- ローカルまたはリモートに戻ります。

**3**

便利な使い方

# 装置情報を確認する

本装置の装置情報を確認できます。  
確認できる装置情報は、次の項目です。

項目	内容
エラー履歴	現在までに発生したエラー、ワーニング履歴を表示します。 ▲▼を押して、発生順に発生日時(年月日時分)とエラー、ワーニング情報を切り替えて表示します。
メンテナンス履歴	メンテナンス機能を、いつ使ったかの履歴を表示します。 主に、マニュアルによる洗浄機能や、自動(定期、スリープ)での洗浄機能について表示します。
プリントモード履歴	電源 ON から現在までに行ったオンラインプリント情報(プリント条件)を表示します。(最大 50 件) ▲▼を押してプリントした順番に切り替えて表示します。
リスト	装置の設定内容をプリントします。
インクコウカンレポート	装置で使用したインクの履歴をプリントします。
バージョン	装置のバージョン情報を表示します。
シリアル&ディーラーNo.	シリアル No.、ディーラー No. を表示します。

## 情報を表示させる

1

ローカルで、**FUNCTION** キーを押す

- 本装置の設定リストをプリントしたい場合は、メディアをセットしてください。(P.2-6)

FUNCTION  
セッテイ <ENT>

2

▲▼を押して、**[ジョウホウ]**を選ぶ

FUNCTION  
シ`ョウホウ <ENT>

3

**ENTER** キーを押す

シ`ョウホウ  
エラー リレキ <ent>

4

▲▼を押して、情報の種類を選ぶ

5

**ENTER** キーを押す

- 情報を表示します。
- [リスト]を選んだ場合、装置の設定内容がプリントされます。

## 表示される情報について

表示させた情報の見方を説明します。

<p><b>エラー履歴</b></p> <p>発生年月日を表示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">                     エラー リレキ                      [01] 11.10.10 12:15                 </div> <p style="text-align: center;">◀ ◻ ◻ ▶</p> <p>エラー内容を表示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     ***** ERROR 09 *****                      HDC エラー                 </div>	<p><b>メンテナンス履歴</b></p> <p>メンテナンス内容を表示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">                     [01] 11.10.10 12:15                      キャリッジ アウト                 </div> <p><b>バージョン</b></p> <p>F/W などのバージョン情報を表示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     JV34-260                      V3.00                      MRL-III                         V1.40                 </div>
<p><b>プリントモード履歴</b></p> <p>解像度やプリント長などを表示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">                     [01] 720x1080 .12                      Bd.Vd.x1.1L: 12.34m                 </div> <p style="text-align: center;">◀ ◻ ◻ ▶</p> <p>プリント年月日を表示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     サクス モード リレキ                      [01] 11.10.10 12:15                 </div>	<p><b>シリアル&amp;ディーラーNo.</b></p> <p>シリアルNo.ディーラーNo.を表示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     S/N = *****                      D/N = *****                 </div>



# 第4章

## 両面印刷機能



この章では ...

両面印刷をするときの設定や印刷方法などを説明しています。

両面印刷をする .....	4-2
両面印刷の流れ .....	4-2
両面印刷時の印刷範囲について .....	4-3
表面を印刷する .....	4-5
両面モードの設定をする .....	4-8
裏面を印刷する .....	4-10

# 両面印刷をする

## 両面印刷の流れ

両面印刷は次のような流れで行ってください。

### 1 表面を印刷する

両面印刷をする場合は、必ず、表面から印刷してください。

- 表面に印刷したパターンを読み取って裏面の位置合わせを行うため、裏面からの印刷はできません。

### 2 表面を充分乾燥する（約 1 日）

表面の印刷が済んだら、約 1 日ほどかけて印刷物を充分に乾燥させてください。

- 表面の乾燥が充分でないと、裏面の印刷時、正しくメディアをフィードできない場合があります。

### 3 裏面を印刷する

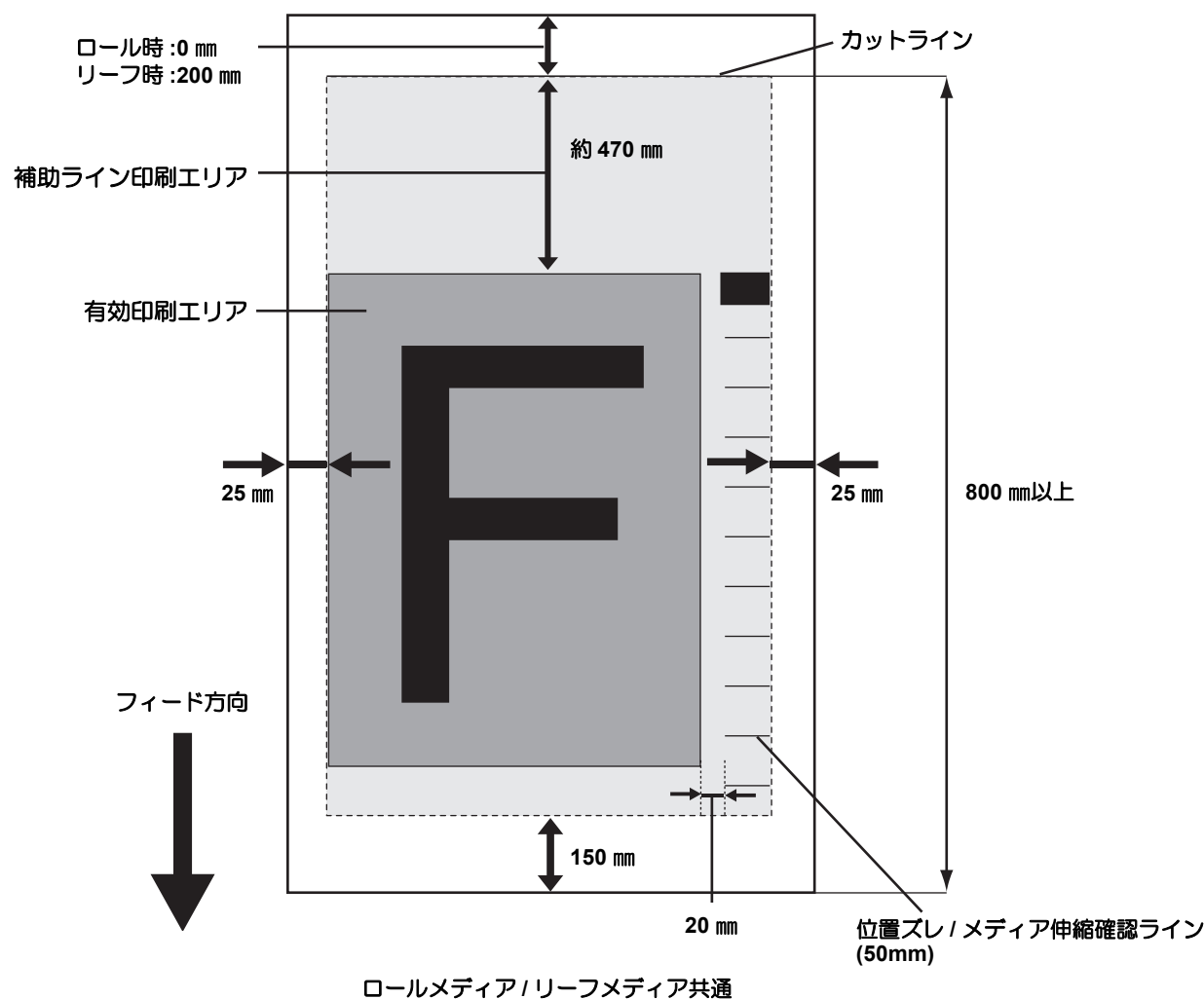
裏面の印刷を行います。



## 両面印刷時の印刷範囲について

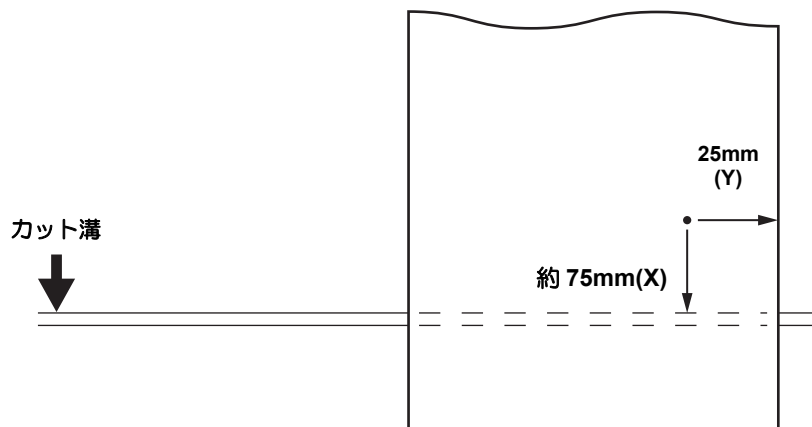
両面印刷をする場合の有効印刷エリア（データが印刷される範囲）は図の通りです。破線で囲まれた部分には、メディアのセットや、表面と裏面の位置を合わせるためのラインが印刷されます。

- 重要!**
- 両面印刷時は、右側に位置ズレ/メディア伸縮確認ライン（50mm）とマージン（20mm）が自動的に追加されます。  
そのため、データを印刷できる幅は、メディアの有効印刷幅からこれらの幅の合計（70mm）を引いた幅となります。ご注意ください。
  - 裏面印刷を行うためには、メディアの前端からカットラインまで最小でも800mmの長さが必要です。  
リーフメディアを使用する場合は特にご注意ください。（表面印刷後、メディアを切り離す場合に必要な長さについてはP.4-7を参照してください。）



## 両面印刷時の印刷開始位置について

フィード方向 (X) は、プラテン上にあるカット溝から奥側約 75mm の位置です。  
スキャン方向 (Y) は、メディア右端から 25 mm の位置です。両面印刷時、スキャン方向 (Y) の設定は変更できません。



## 表面を印刷する

印刷開始までの各操作や設定については、P.2-6「メディアをセットする」～P.2-34「ヘッドクリーニング」を参照してください。

- 重要!**
- ロールメディアをご使用の際は、本装置背面のロールメディアにたるみがないか確認してから印刷を行ってください。  
たるみがある場合は、印刷を開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たるみのない状態にしてください。たるみがあると、画質不良の原因になります。
  - 他社製の RIP ソフトウェアをお使いのときは、お使いのソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

### 1 メディアをセットする (🔧 P.2-6)

### 2 ヒーターの温度を確認する

- ヒーターパネルの CONSTANT ランプが緑色に点灯していることを確認します。

### 3 **REMOTE** キーを押す

- リモートモードに変わります。
- 現在選択しているタイプ (プリント条件) を確認できます。

*リモート . 1*	[ #01 ]
	0 . 00m

### 4 Raster Link Pro 5 を起動し、印刷する画像を選択する

- 画像の選択方法について、詳しくは、Raster Link Pro 5 のリファレンスガイド (共通編) を参照してください。

### 5 Raster Link Pro 5 で印刷設定をする

- (1) 両面印刷の欄で、[ 表面 ] を選択する
- (2) [OK] をクリックする

### 6 Raster Link Pro 5 で印刷を指定する

- 印刷する画像を右クリックして、[RIP 後印刷] 等を選択し、印刷を開始します。  
詳しくは、Raster Link Pro 5 のリファレンスガイド (共通編) を参照してください。
- また、表面の印刷時、以下の設定は固定値となります。

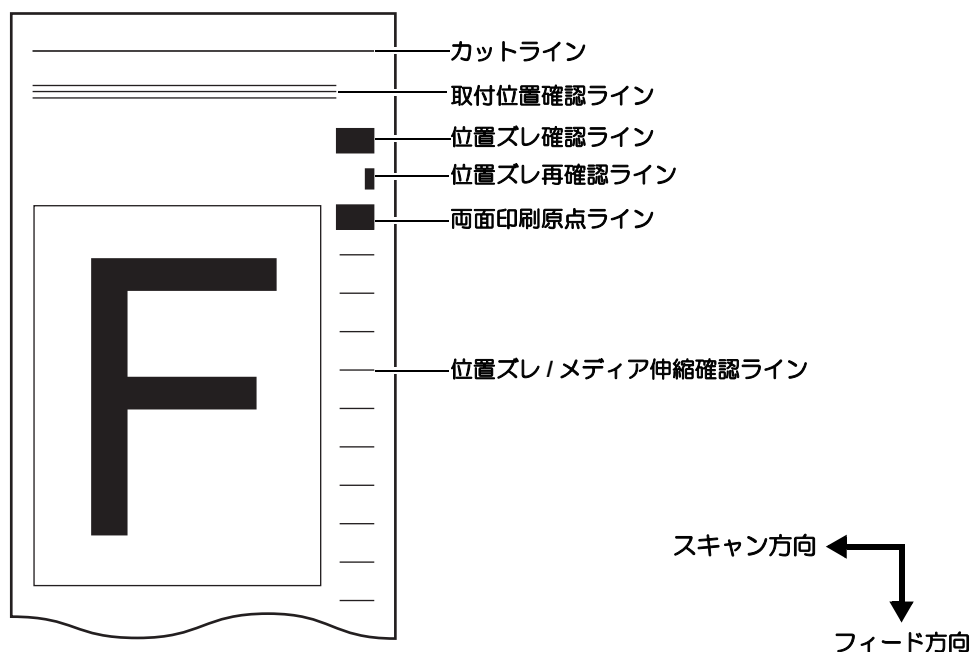
設定内容	固定値
左右マージン (有効印刷エリア内)	0mm
カラーパターン	OFF
ジョグキーによる横方向原点設定	無効
スタンプ	OFF

# 7

## 印刷結果を確認する

- 表面を印刷すると、次のラインも自動的に印刷されます。

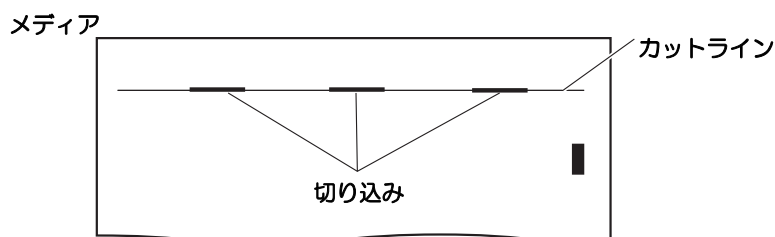
ラインの名称	説明
カットライン	裏面印刷時に、メディアをプリンタ（プラテン）に合わせるためのラインです。
取付位置確認ライン	裏面印刷でメディアの取付位置を確認するためのラインです。
位置ズレ確認ライン	表面と裏面の印刷位置のズレを確認するためのラインです。
位置ズレ再確認ライン	表面と裏面の印刷位置ズレを画像データ印刷前に確認するためのラインです。
両面印刷原点ライン	裏面印刷時のフィード方向の原点です。この原点は、本体が自動で検出します。
位置ズレ/メディア伸縮確認ライン	裏面印刷時に、表面の印刷で発生したメディアの伸縮を確認するためのラインです。 メディアの伸縮は、溶剤により発生します。



## 8

## カットラインに沿って、メディアに切り込みを入れる

- 印刷されたカットラインに沿って、メディアに数箇所、カッターなどで切り込みを入れてください。



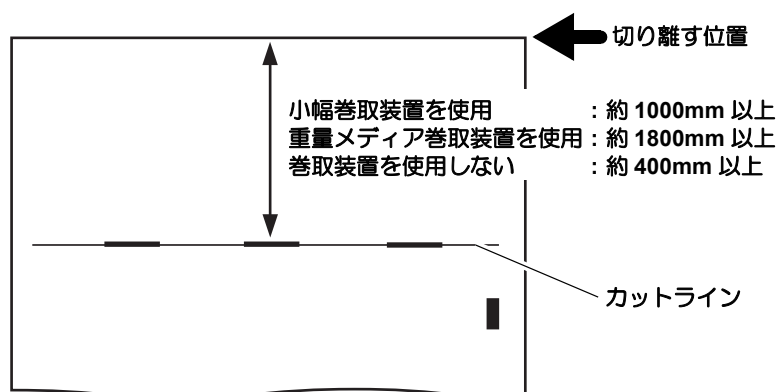
- 重要!** ・メディアの端を切断しないでください。端面が浮いてしまい、ヘッドをこする恐れがあります。

## 9

## メディアを切り離す

- メディアを切り離す位置は、次のようにしてください。

- 小幅巻取装置を使用する場合 : カットラインから約 1000mm 以上の位置で切り離す
- 大型メディア巻取装置を使用する場合 : カットラインから約 1800mm 以上の位置で切り離す
- 巻取装置を使用しない場合 : カットラインから約 400mm 以上の位置で切り離す



## 両面モードの設定をする

両面印刷をするための各種設定を行います。

設定内容	内 容
ウラメンプリントの設定	裏面へのプリントをするとき“ON”を選びます。
カサネヌリの設定	裏面印刷時の重ね塗り回数を設定します。
メディアケンシュツの設定	印刷の長さが設定値に達した時点でメディアを再検出し、スキュー等によるメディア取り付け位置のズレを修正します。

- 1** ローカルモードで、**FUNCTION** キーを押す

FUNCTION  
セッテイ <ENT>

---

- 2** **▲** **▼** を押して、[マシンセッテイ]を選ぶ

FUNCTION  
マシン セッテイ <ENT>

---

- 3** **ENTER** キーを押す

マシン セッテイ  
カンソウ ファン <ent>

---

- 4** **▲** **▼** を押して、[リョウメンモード]を選ぶ

マシン セッテイ  
リョウメン モード\* <ent>

---

- 5** **ENTER** キーを押す

リョウメン モード\*  
ウラメン サクス\* <ent>

---

- 6** **ENTER** キーを押す  
・「ウラメンプリント」の設定が選択されます。

リョウメン モード\*  
ウラメン サクス\* :OFF

---

- 7** **▲** **▼** を押して、**ON** を選ぶ  
・両面印刷をするとき、ON を選びます。

リョウメン モード\*  
ウラメン サクス\* :ON

---

- 8** **ENTER** キーを押す

リョウメン モード\*  
ウラメン サクス\* <ent>

---












- 9** **▲** **▼** を押して、[カサネヌリ]を選ぶ

リョウメン モード\*  
カサネヌリ <ent>

---

- 10** **ENTER** キーを押す  
・「カサネヌリ」の設定が選択されます。

リョウメン モード\*  
カサネヌリ :2カイ

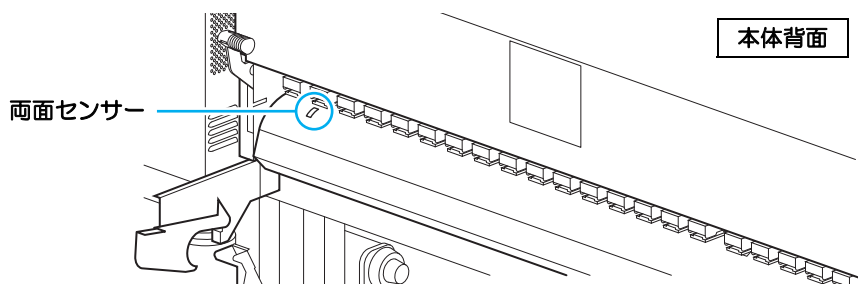
- 11**   を押して、重ね塗り回数 (1 ~ 9 回) を設定する
- ・裏面印刷時の重ね塗り回数を設定します。
-  ・透過メディアへの裏面印刷中は、ここで設定された重ね塗り回数でのみ動作します。「セッテイ」機能や、Raster Link Pro で設定した重ね塗り回数は無効となります。
- リョウメン モード`  
カサネヌリ : 4 カイ
- 
- 12**  キーを押す
- リョウメン モード`  
ウラメン サクス` <ent>
- 
- 13**   を押して、[メディアケンシュツ] を選ぶ
- リョウメン モード`  
メディア ケンシュツ <ent>
- 
- 14**  キーを押す
- ・「メディアケンシュツ」の設定が選択されます。
- リョウメン モード`  
ケンシュツ カンカク : OFF
- 
- 15**   を押して、検出間隔を設定する (OFF/10 ~ 10000mm)
- ・メディアがズれていないか、確認する間隔を設定します。
- リョウメン モード`  
ケンシュツ カンカク : 1000 mm
- 
- 16**  キーを押す
- 
- 17** 終了するとき、 キーを数回押す

## 裏面を印刷する

表面を充分乾燥させたら、裏面の印刷を行います。  
裏面印刷をするときは、表面を下（プラテン側）に向けてセットしてください。

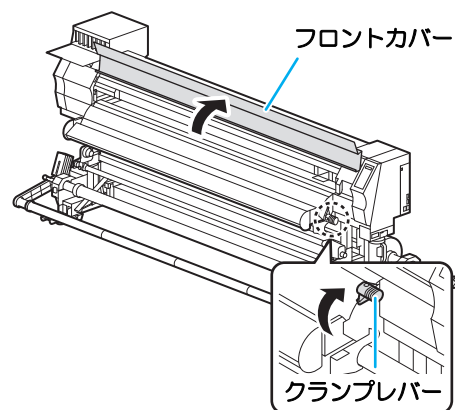
### 重要!

- **メディアを充分乾燥させてください。**  
表面の印刷後、印刷物を充分乾燥させてください（乾燥時間の目安は約1日です）。充分乾燥しないうちに裏面を印刷すると、正しくメディアをフィードできない場合があります。
- 必ず、マシン設定の両面モードの設定を行ってから、裏面の印刷をしてください。
- **裏面印刷を行う前に、メディア送り量を再度調整してください。**（P.3-4）  
送り量が調整されていないと、フィード方向の位置合わせが正常に行われません。
- 巻取装置を使用する場合は、下記の手順で表面と裏面が平行になっているかを確認してから、巻取装置へメディアをセットしてください。確認前にメディアを巻取装置にセットすると、セットのやり直しが困難になります。
- 重量メディア操出装置を使用する場合は、表面と裏面が平行になっていることを確認し、その後テンションバーを下ろしてください。確認前にテンションバーを下ろしてしまうと、メディアのセットのやり直しが困難になります。  
また、テンションバーでメディアを張ったときに、左右でメディアの張りに差があると、メディアを正しくフィードできません。そのような場合、重量メディア操出装置は使用しないでください。
- メディアは、位置ズレ/メディア伸縮確認ラインが両面センサー上を通過する位置に取り付けてください。位置ズレ/メディア伸縮確認ラインが両面センサー上を通過しない場合、裏面印刷が行えません。



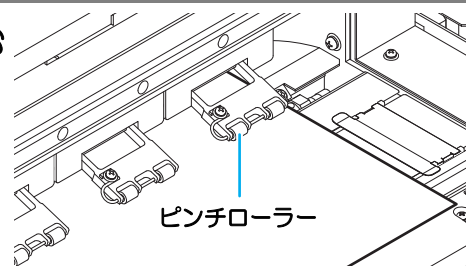
1

フロントカバーを開け、クランプレバーを上げる



2

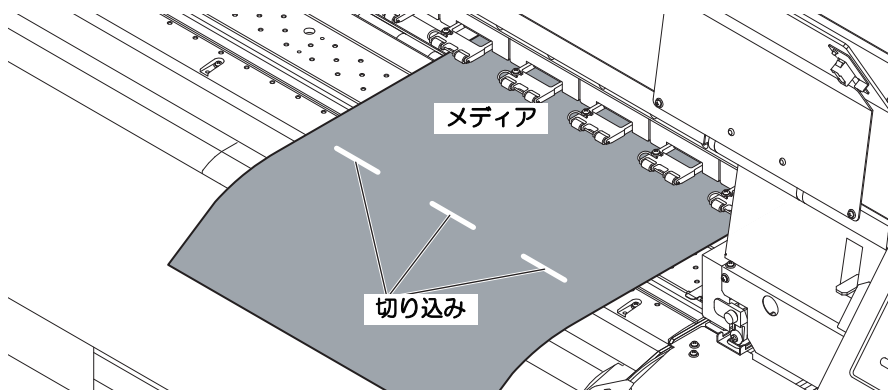
ピンチローラーとプラテンの間にメディアを差し込む





### 3 カットラインに沿って入れた切り込みが、プラテンのラインと平行になるようセットする

- プラテンのラインの内、確認しやすい任意のラインをお選びください。



### 4 クランプレバーを下げる

- メディアの検出を始めます。
- メディア検出が終了すると、メディア種類の選択画面に移行します。

### 5 メディアの種類（透過または遮光メディア）を選択する

- メディアの種類を選択すると、自動的に取り付け位置確認ラインが印刷され、LED ライトユニット（オプション）の位置までメディアがフィードされます。

ウラメン サクス` シュンビ`  
メディア : トウカ

### 6 メディアが平行にセットされているか確認する

- 表面の印刷を確認し、メディアが平行にセットされているか確認します。

取付位置確認ライン

■ 表面 ■ 裏面

○ : 平行にセットされた場合

× : 平行にセットされていない場合

### 7 メディアが平行にセットされていたら、**ENTER** キーを押す

- メディアが平行にセットされていない場合は、クランプレバーを上げ、手順 3 からの操作をやり直してください。
- 取り付け位置確認ラインは、最大 6 回まで印刷できます。メディアのセットをやり直す場合は、新しく印刷した確認ラインを使って、表面との平行を確認してください。
- 巻取装置を使用する場合は、平行を確認した後に、メディアを巻取装置にセットしてください。

### 8 Raster Link Pro 5 を起動し、印刷する画像を選択する

- 画像の選択方法について、詳しくは、Raster Link Pro 5 のリファレンスガイド（共通編）を参照してください。

# 9

## Raster Link Pro 5 の画像編集タブを選び、印刷設定を行う

- 手順 5 で選んだメディア種類に合わせて、印刷設定を行います。
- 手順 5 で透過メディアを選んだ場合  
Raster Link Pro 5 の両面印刷設定で「透過裏面」を選択します。
- 手順 5 で遮光メディアを選んだ場合  
Raster Link Pro 5 の両面印刷設定で「遮光裏面」を選択します。



**重要!** • 手順 5 で選んだメディアの種類と異なる設定をして印刷をすると、プリンタ側でエラーを表示し、印刷を行いません。

# 10

## 印刷条件タブで裏面用プロファイルを選択し、[OK] をクリックする



- 裏面印刷時に選択するプロファイルについて
- 透過メディアへの裏面印刷時は、以下のプロファイルを選択してください。  
4色インクセット :360x360, 1パス
- RasterLinkPro で透過裏面印刷を選択している場合は、上記以外のモードを選択すると、エラーを表示します。
- 遮光メディアへの裏面印刷時は、通常の印刷を行う際に使用するデバイスプロファイルを使用してください。
- 遮光メディアを選択している際に、透過メディア用プロファイル (360dpi x 360dpi) を選択すると、設定通りのサイズで印刷されません。(透過メディア用プロファイルを使用した場合、RasterLinkPro5 で印刷実行後、プリンタ側でパラメータエラーを表示し、その後の印刷を固定モード (720x720 8パス) で行います。)

# 11

## Raster Link Pro 5 で印刷を指定する

- 印刷する画像を右クリックして、[RIP 後印刷] 等を選択し、印刷を開始します。  
詳しくは、Raster Link Pro 5 のリファレンスガイド (共通編) を参照してください。
- また、裏面の印刷時、以下の設定は固定値となります。

設定内容	固定値	設定内容	固定値
左右マージン (有効印刷エリア内)	0mm	スタンプ	OFF
カラーパターン	OFF	プリフィード	OFF
ジョグキーによる横方向原点設定	無効		

# 12

## 裏面印刷のデータを受信すると、プリンタ側で位置合わせ用のライン (スキャン方向ズレ確認ライン) を印刷する

## 13 スキャン方向のズレを調整する

- ・   を押してズレを修正します。


ウラメン サクス` イチ ホセイ  
Y : + < 1.3mm > -


位置ズレ確認ライン

 表面  裏面



スキャン方向のズレがない場合（調整不要）

マイナス方向へ補正します。  
1mmのズレの場合、 キーで -1mm 調整します。

プラス方向へ補正します。  
1mmのズレの場合、 キーで +1mm 調整します。

**重要!**

- ・ メディアによっては表面のラインが裏面からは見えず、ズレを目視で確認できない場合があります。その場合、カッター等で基準となる切れ込みを入れ、確認ラインまでの距離を測定するなどして誤差をジョグキーで入力してください。

## 14 キーを押す

## 15 フィード方向のズレを調整する

- ・   を押してズレを修正します。


ウラメン サクス` イチ ホセイ  
X : + ^ 1.3mm v -


位置ズレ確認ライン

 表面  裏面



フィード方向のズレがない場合（調整不要）

マイナス方向へ補正します。  
1mmのズレの場合、 キーで -1mm 調整します。

プラス方向へ補正します。  
1mmのズレの場合、 キーで +1mm 調整します。

**重要!**

- ・ メディアによっては表面のラインが裏面からは見えず、ズレを目視で確認できない場合があります。その場合、カッター等で基準となる切れ込みを入れ、確認ラインまでの距離を測定するなどして誤差をジョグキーで入力してください。

## 16 キーを押す

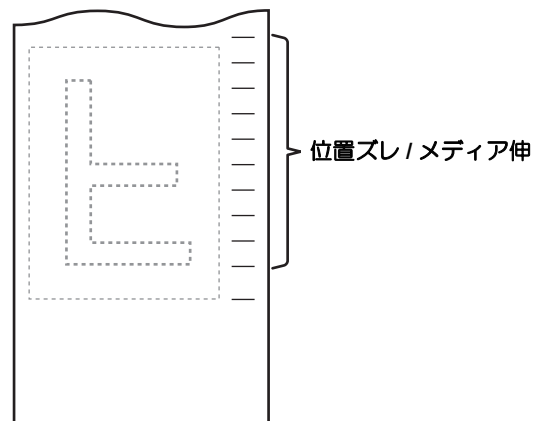
- ・ 裏面の印刷を始めます。
- ・ 透過メディア選択時は、画像データを印刷する前に「位置ズレ再確認ライン」を印刷します。
- ・ 再確認ラインを確認してもズレがある場合は、 キーを押して印刷を中断してから、手順 1 からの操作をやり直してください。

## 裏面印刷中にズレを補正する (透過メディア選択時のみ)

裏面の画像データを印刷中に、スキャン方向やフィード方向での印刷ズレを確認したときは、次のようにしてズレを補正してください。

## ● 印刷ズレの確認方法

画像データ印刷中のズレは、位置ズレ / メディア伸縮確認ラインで確認できます。



## ● 印刷ズレの補正方法

▲▼◀▶を押して、ズレの補正を修正し、ENTER キーを押してください。

スキャン方向のズレ補正 : ◀▶を押して補正

フィード方向のズレ補正 : ▲▼を押して補正

▲▼押して、フィード方向 (X) を補正

◀▶押して、スキャン方向 (Y) を補正

X : +	▲	1.0mm	▼	-
Y : +	◀	1.3mm	▶	-

➡ ENTER 押す

# 第5章 お手入れ



## この章では ...

日常行っていたくお手入れ方法やインクユニットのメンテナンスなど、本機を快適にお使いいただくために必要な項目を説明します。







日常のお手入れ.....	5-2	インクの初期充填を行う.....	5-19
お手入れ上のご注意 .....	5-2	オートメンテナンス機能.....	5-20
メンテナンス洗浄液について .....	5-2	リフレッシュ間隔を設定する .....	5-20
外装のお手入れ .....	5-3	チューブ洗浄間隔を設定する .....	5-21
プラテンの清掃 .....	5-3	クリーニング間隔を設定する .....	5-22
アフターヒーターカバー・プリヒーター		その他のメンテナンス機能.....	5-23
カバーの清掃 .....	5-3	ワイパー交換の警告時期を変更する .....	5-23
メディアセンサーの清掃 .....	5-4	ヘッド選択の設定をする .....	5-24
メディア押えの清掃 .....	5-4	メディア残量表示の設定をする .....	5-25
キャッピングステーションのメンテナンス..	5-5	廃インクタンク確認メッセージが	
ワイパーとキャップの清掃 .....	5-5	表示されたら .....	5-27
ワイパーを交換する .....	5-7	Sb52 インクのインクカラーを	
ヘッドノズルの洗浄 .....	5-8	変更したいとき .....	5-31
インク排出路の洗浄		昇華転写インクをより安定した品質で	
(PUMP チューブ洗浄 ) .....	5-10	お使いいただくために .....	5-32
長期間使用しない場合		ワーニングメッセージの表示時期を	
(ホカンセンジョウ) .....	5-12	設定する .....	5-33
ヘッド周辺の清掃 .....	5-14	カッター刃の交換 .....	5-34
ノズル詰まりが復旧しない場合.....	5-16		
インクを充填する .....	5-16		
ハイシュツ&センジョウ .....	5-17		

# 日常のお手入れ

本装置の精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、使用頻度に応じて、または定期的にお手入れをしてください。

## お手入れ上のご注意

本装置のお手入れをするとき、次の各事項にご注意ください。

	<ul style="list-style-type: none"><li>メンテナンス用洗浄液を使用する場合は、必ず付属の保護メガネを使用してください。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>インクは有機溶剤を使用しています。皮膚に直接付かないように、清掃の際は手袋を着用してください。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>本装置を、絶対に分解しないでください。感電および破損する原因になります。また、お手入れは電源スイッチをオフにし、電源ケーブルを抜いてから行ってください。思わぬ事故が発生する原因となります。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>本装置の内部に水気が入らないようにしてください。内部が濡れると、感電および破損する原因になります。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>本装置はインクの吐出安定性を確保するために、長時間ご使用(出力)されないときには、定期的に微量のインクを吐出(フラッシング)させる必要があります。</li><li>長時間使用されないときには、前面の電源スイッチのみをOFFとし、背面の主電源スイッチはON(   の状態)およびコンセントは挿入した状態にしておいてください。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>有機溶剤インクは、水やアルコールと混ぜると凝集物が発生いたします。ヘッドのノズル面やワイパー、キャップ等を水、アルコールなどで拭かないでください。ノズル詰まりや故障の原因になります。</li><li>ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。カバーの表面が変質・変形する恐れがあります。</li><li>本装置の内部に潤滑油などを注油しないでください。故障する恐れがあります。</li><li>メンテナンス用洗浄液やインクが、カバーに付着しないように注意してください。カバーの表面が変質、変形します。</li></ul>

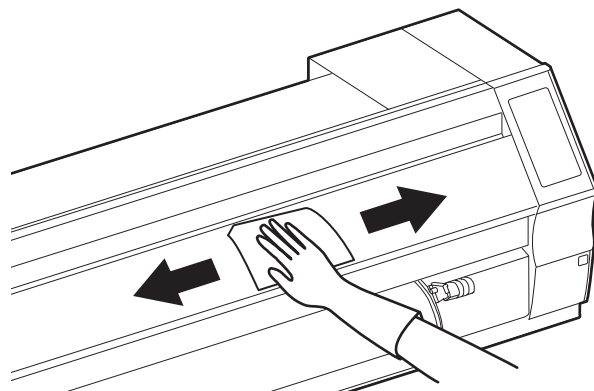
## メンテナンス洗浄液について

メンテナンス洗浄液は、お使いになるインクに対応したものをお使いください。

インクの種類	対応するメンテナンス洗浄液
SS21 ソルベントインク	メンテナンス洗浄液 (SPC-0369) MILD SOLVENT 洗浄液カートリッジ (SPC-0294) [別売]
昇華転写インク	洗浄液ボトルキット A29 (SPC-0137) [別売] 水性洗浄液カートリッジ (SPC-0259) [別売]

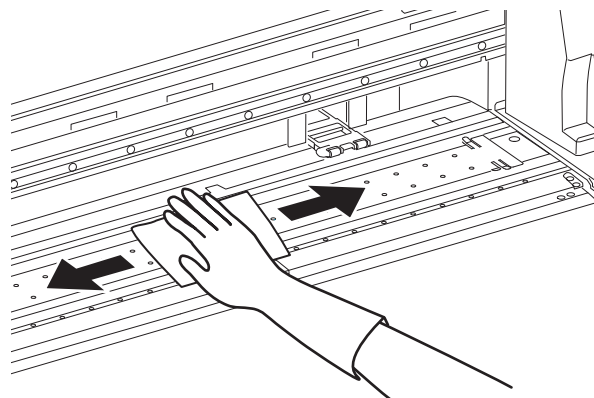
## 外装のお手入れ

本体の外装が汚れた場合は、柔らかい布に水、または水で薄めた中性洗剤を含ませ、強くしぼってから拭き取ってください。



## プラテンの清掃

プラテン上は、メディアをカットしたときの糸や紙粉等で汚れやすくなります。汚れが目立つときは、やわらかい毛のハケや乾いた布、ペーパータオルなどで汚れを拭き取ります。



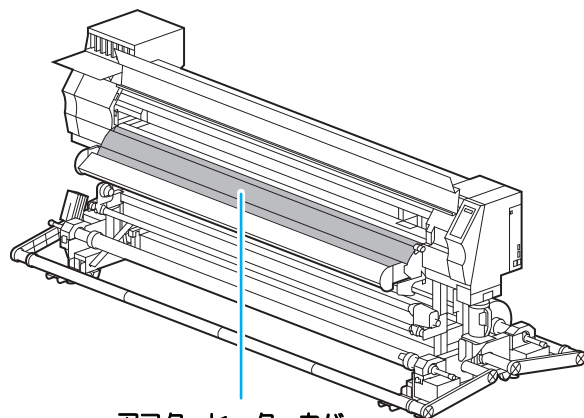
- インクが付着している場合は、メンテナンス用洗浄液をペーパータオルに含ませ、拭き取ります。

**重要!**

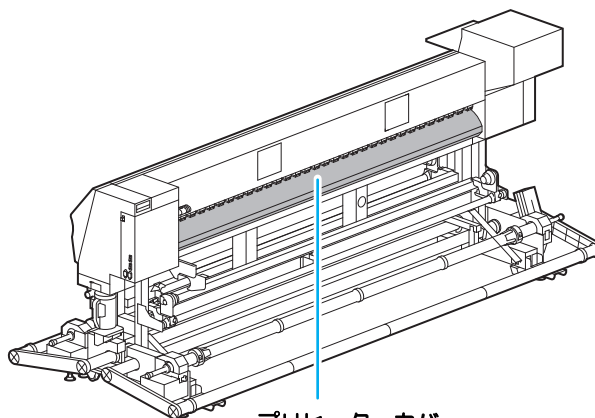
- プラテンの清掃は、プラテンの温度が十分下がった状態で行ってください。
- メディア押さえ用の溝や、用紙カット用の溝（カッターライン）などは特に汚れがたまりやすい場所です。入念な清掃をお願いします。

## アフターヒーターカバー・プリヒーターカバーの清掃

アフターヒーターカバーとプリヒーターカバーは、メディアの粉等で汚れやすくなります。汚れが目立つ場合は、柔らかい布に水、または水で薄めた中性洗剤を含ませ、強くしぼってから拭き取ってください。



アフターヒーターカバー



プリヒーターカバー

## メディアセンサーの清掃

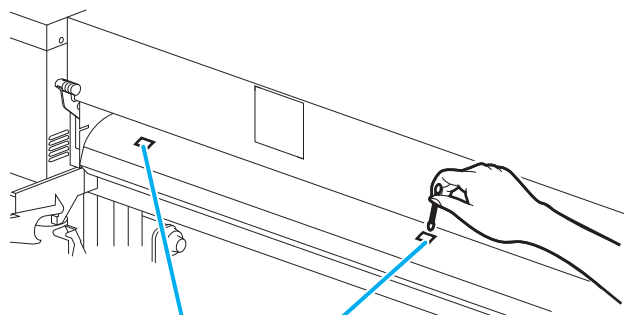
メディアセンサーは、背面側のプラテン上と、ヘッドの下面にあります。センサーにホコリ等がたまると、メディアの誤検出の原因となります。

綿棒でセンサーの表面にたまったホコリ等を取り除いてください。

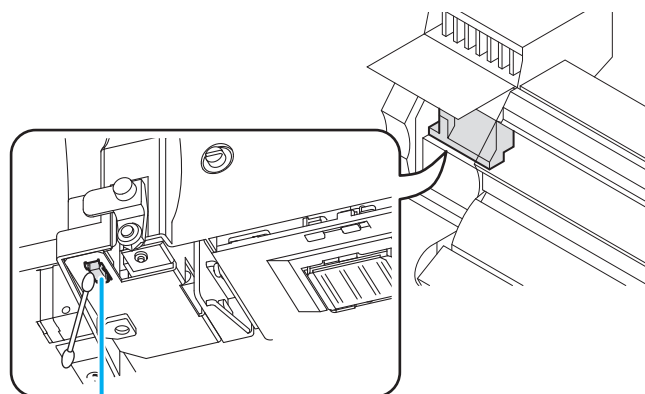
ヘッド下面のセンサーを清掃するときは、P.5-14「ヘッド周辺の清掃」手順1の操作をして、キャリッジを左端に移動させてから清掃してください。

装置背面

ヘッド下面



メディアセンサー

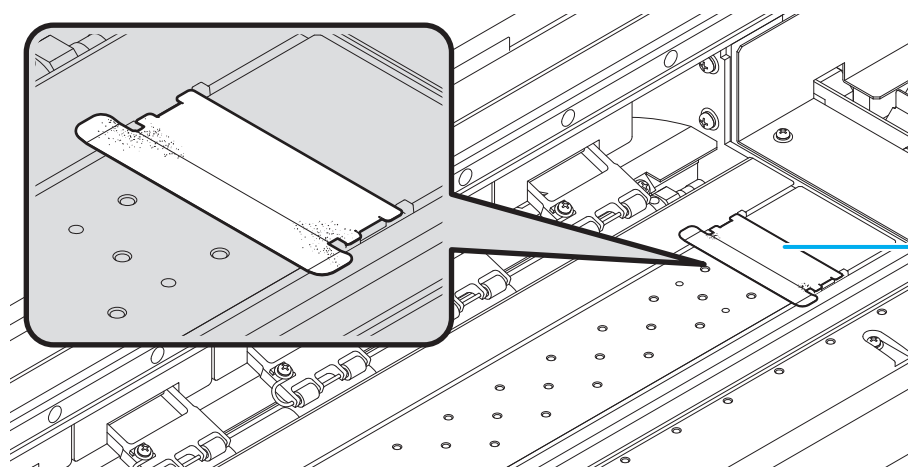


メディアセンサー

## メディア押さえの清掃

メディア押さえにカットくずやホコリ等がたまると、プリント時のメディアの搬送が正常に行えなくなったり、ホコリ等がノズルに付着して正常なプリントができなくなることがあります。

メディア押さえは、定期的に清掃してください。



メディア押さえ



# キャッピングステーションのメンテナンス

キャッピングステーションにあるインクキャップやワイパー等のメンテナンスをします。  
(ステーションメンテナンス)

インクキャップやワイパーは、それぞれ次のような働きをしています。

- ・ワイパー : ヘッドのノズルに付着したインクを拭き取る
- ・インクキャップ : ヘッドのノズルが乾燥により、目詰まりするのを防止する

本装置を使用していると、インクやホコリ等でワイパーやキャップが汚れてきます。ヘッドクリーニングを実行(☞ P.2-34)しても、ノズル抜けが解消されない場合は、洗浄キットとクリーンスティックを使用して清掃を行います。

メンテナンスに必要な道具	・メンテナンス洗浄液キット		
	・ソルベントインクをお使いの場合 : メンテナンス洗浄液キット (品番 : SPC-0369)		
	・昇華転写インクをお使いの場合 : 洗浄液ボトルキット A29 (品番 : SPC-0137)		
	・クリーンスティック (品番 : SPC-0527)	・手袋	・ゴーグル



- ・キャッピングステーションのメンテナンスを行うときは、必ず付属のゴーグルと手袋を着用して作業を行ってください。インクが目に入る場合があります。
- ・キャリッジを手でキャッピングステーションから出さないでください。キャリッジを移動させたいときは、**ST.MAINT** キーを押し、キャリッジアウトを実行してください。(☞ P.5-5 手順 1～2)

## ワイパーとキャップの清掃

画質や本装置の状態を良好に保つため、こまめに清掃されることをお勧めします。

**重要!**

- ・SS21 インクをご使用の場合、ワイパー周辺にインクが付着しやすくなります。週に2回程度(プリンタの使用頻度により異なります)、ワイパーと周辺の清掃をしてください。
- ・ワイパーの汚れ、曲がりなどがひどい場合は、新しいワイパーと交換してください。(☞ P.5-7)
- ・清掃の際は、クリーンスティックの繊維が残らないように注意してください。繊維が残っていると、プリント不良の原因になります。

1

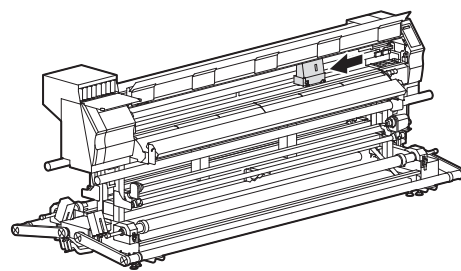
ローカルで、**ST.MAINT** キーを押す

ステーション メンテナンス  
キャリッジ アウト <ent>

2

**ENTER** キーを押す

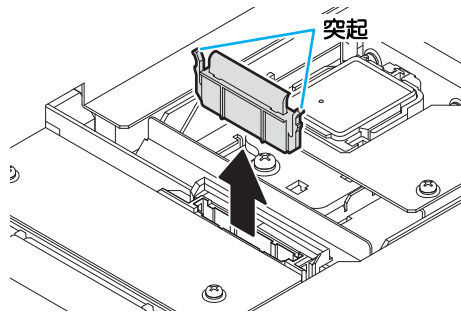
- ・キャリッジがプラテン上に移動します。



3

フロントカバーを開けて、ワイパーを取り出す

- ・ワイパー両端の突起を持ち、引き抜きます。

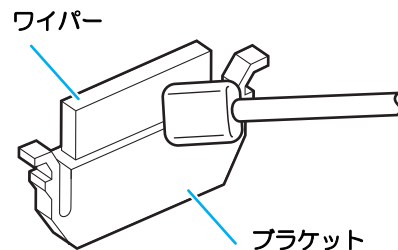


5

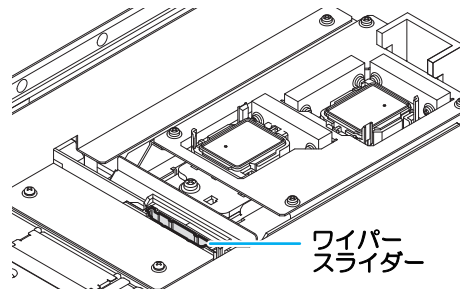
お手入れ

**4****ワイパーとブラケットを清掃する**

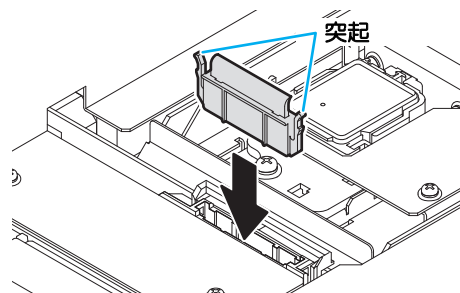
- ワイパーとブラケットに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。

**5****ワイパー-sliderを清掃する**

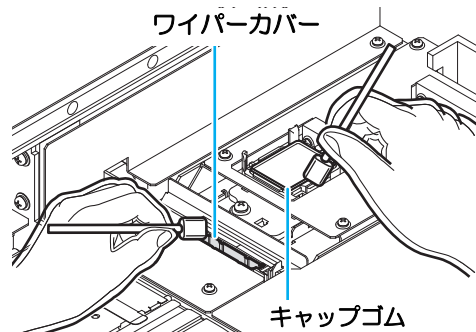
- ワイパー-sliderに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。

**6****ワイパーを元の位置に戻す**

- ワイパーの両端を持って差し込みます。

**7****キャップゴムやワイパーカバーを清掃する**

- キャップゴムやワイパーカバーに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。

**8****フロントカバーを閉じ、**ENTER** キーを押す**

- 初期動作後、ローカルに戻ります。

( カバ` オープン )  
<ENT>ヲ オシテク`サイ



\* ショキカ チュウ \*  
シハ`ラク オマチク`サイ

****ST.MAINT** を使わないでステーションメンテナンスをするには**

**ST.MAINT** キーを押さなくても、ローカルから**FUNCTION**キーを使ってステーションメンテを選ぶことができます。

ローカルで**FUNCTION**を押す

**▲ ▼**を押して[メンテナンス]を選ぶ

**ENTER** を 2 回押す

- ローカルから**ST.MAINT**を押したときと同じ状態になります。

## ワイパーを交換する

ワイパーは消耗品です。右のメッセージが表示されたら、速やかにワイパーを交換してください。  
また、スライダー下面に付着したインクの清掃をしてください。

<ローカル.1> [#01]  
!ワイパ°ーヲ コウカン シテクタ°サイ

**重要!**

- ・クリーニングワイパーは別売品です。お近くの販売店、または弊社営業所でお求めください。
- ・ワイパー交換時以外は、[ワイパーコウカン]を選択しないでください。本装置内部で管理しているワイパー使用回数がリセットしてしまいます。

**1**

ローカルで、**(ST.MAINT)** キーを押す

ステーション メンテナンス  
キャリッジ° アウト <ent>

**2**

**(▲)** **(▼)** を押して、[ワイパーコウカン]を選ぶ

ステーション メンテナンス  
ワイパ°ー コウカン <ent>

**3**

**(ENTER)** キーを押す

- ・キャリッジがプラテン上に移動します。

ステーション メンテナンス  
シュウリョウ :ent

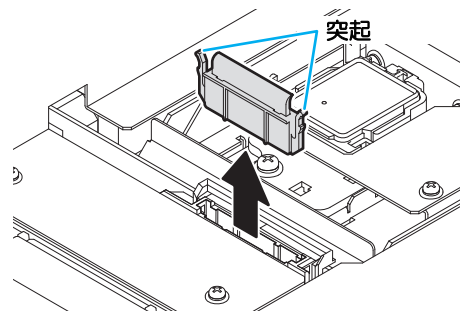
**重要!**

- ・交換作業が終了するまで、ディスプレイには[シュウリョウ :ent]が表示されます。手順5までの作業が完了しフロントカバーを閉じてから**(ENTER)** キーを押してください。交換作業が終了する前に**(ENTER)** キーを押すと、キャリッジが元の位置に戻ります。

**4**

フロントカバーを開けて、ワイパーを取り出す

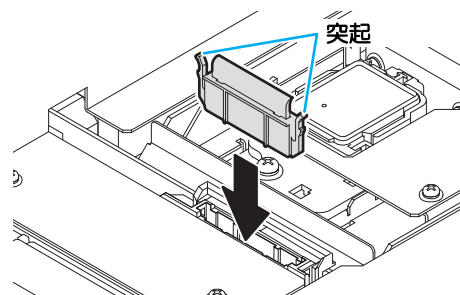
- ・ワイパー両端の突起を持ち、引き抜きます。



**5**

新しいワイパーを差し込む

- ・ワイパー両端の突起を持ち、差し込みます。



**6**

フロントカバーを閉じ、**(ENTER)** キーを押す

- ・初期動作後、ローカルに戻ります。

(カバー オープン)  
<ENT>ヲ オンテクタ°サイ



\* ショキカ チュウ \*  
シハ°ラク オマチクタ°サイ

**5**

お  
手  
入  
れ

## ヘッドノズルの洗浄

インクの凝固によるインク詰まりのを防止するため、ヘッドノズルの洗浄を行います。

事前を確認 してください	<p>[ニアエンド]、[インクエンド]は表示していませんか？</p> <ul style="list-style-type: none"><li>洗浄動作の際に、洗浄液やインクの吸引を行います。このとき、インクエンドまたはニアエンドを検出していると、洗浄動作が行えなくなります。</li><li>インクエンド等、未検出のカートリッジに交換してください。</li></ul>
-----------------	--

**1** ローカルで、**ST.MAINT** キーを押す

ステーション メンテナンス  
キャリッジ アウト <ent>

**2** **▲** **▼** を押して、[ノズルセンジョウ]を選ぶ

ステーション メンテナンス  
ノズル センジョウ <ent>

**3** **ENTER** キーを押す

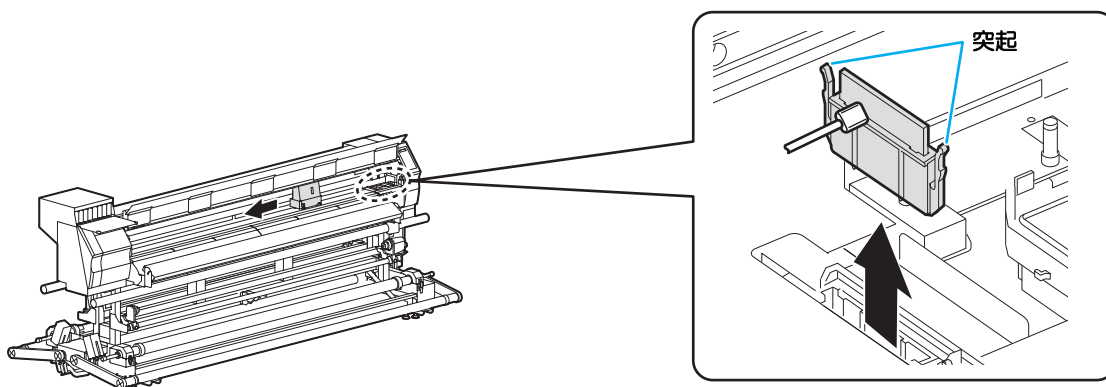
ワイパー クリーニング  
シュウリョウ(ツギへ) :ent

・キャリッジがプラテン上に移動します。

**重要!** ・ワイパーのクリーニングが終了するまで、ディスプレイには[シュウリョウ(ツギへ) :ent]が表示されます。手順4の作業が完了してから**ENTER** キーを押してください。クリーニングが終了する前に**ENTER** キーを押すと、次の洗浄手順に移行します。

**4** ワイパーとブラケットを清掃する

- (1) フロントカバーを開け、ワイパー両端の突起を持って引き抜く
- (2) クリーンスティックにメンテナンス洗浄液を含ませて清掃する (昇華転写インク : SPC-0137、ソルベントインク : SPC-0369)
- (3) ワイパー両端の突起を持ち、元の位置に差し込む



**5** **ENTER** キーを押す

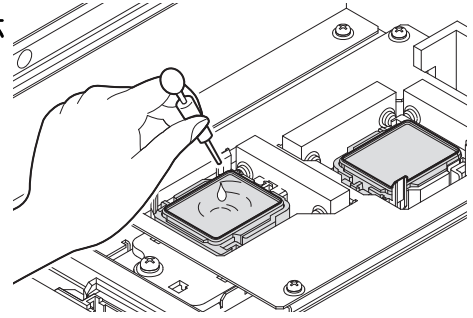
センジョウエキヲミタス  
シュウリョウ(ツギへ) :ent

**重要!** ・洗浄液を満たすまで、ディスプレイには[シュウリョウ(ツギへ) :ent]が表示されません。手順6の作業が完了しフロントカバーを閉じてから**ENTER** キーを押してください。洗浄液を満たす前に**ENTER** キーを押すと、キャリッジが元の位置に戻ります。

6

スポイトにメンテナンス洗浄液をとり、キャップ一杯になるまで満たす

- キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。



7

フロントカバーを閉め、**ENTER** キーを押す

ステーション メンテナンス  
ホウチ シ`カン : 1min

8

**▲** **▼** を押して、洗浄液の放置時間を設定する

設定値:1 ~ 99 分 (1分単位)

ステーション メンテナンス  
ホウチ シ`カン : 2min

9

**ENTER** キーを押す

- キャップに満たした洗浄液を吸引します。
- 手順 8 で設定した時間だけ、右の画面を表示します。
- 放置時間が過ぎると、ローカルに戻ります。

\* ショキカ チュウ \*  
シハ`ラク オマチクタ`サイ



< ローカル: 1 >

**重要!**

- この洗浄を何回か実行してもノズル抜けが解消されない場合は、「ノズル詰まりが復旧しない場合」(P.5-16) と [ハイシュツ&センジョウ] (P.5-17) を実行してください。それでも解消されない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡 (サービスコール) ください。
- 本装置にメンテナンス洗浄液が充填されていない場合は次のようにしてください。
  - (1) 手順 5 までの操作をする
  - (2) スポイトでメンテナンス洗浄液をとり、キャップ一杯になるまで満たす
  - (3) 手順 7 からの操作をする

## インク排出路の洗浄 (PUMP チューブ洗浄)

インク排出路内でのインクの凝固によるインク詰まりを防止するため、定期的にインク排出路の洗浄をしてください。



- 次のメッセージが表示された場合、廃インクタンクを確認し、状況に応じて P.5-27 「廃インクタンク確認メッセージが表示されたら」を参照して操作をしてください。

\*ハイインクタンク ヲ カクニン\*  
ケイゾク > コウカン

\*ハイインクタンク ヲ カクニン\*  
コウカン :ent

1

ローカルで、**ST.MAINT** キーを押す

ステーション メンテナンス  
キャリッジ アウト <ent>

2

**▲** **▼** を押して、**[PUMP チューブセンシヨウ]** を選ぶ

ステーション メンテナンス  
PUMP チューブ センシヨウ <ent>

3

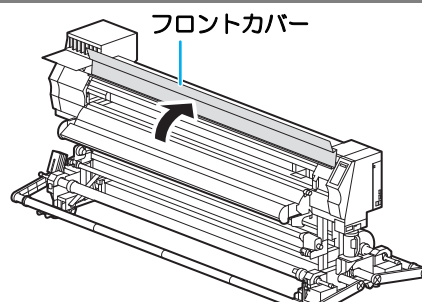
**ENTER** キーを押す

- キャリッジがプラテン上に移動します。
- 空吸引動作を洗浄の作業が終わるまで繰り返し行います。

ステーション メンテナンス  
シュウリョウ :ent

4

フロントカバーを開ける



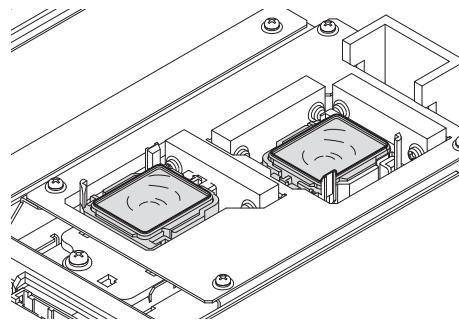
5

**FUNCTION** キーを押し、メンテナンス洗浄液を流す

- **FUNCTION** キーを押すと、メンテナンス洗浄液が流れます。
- **FUNCTION** キーを1回押すとメンテナンス洗浄液が流れ、約3秒すると自動的に止まります。
- また、洗浄液が流れている間に再度 **FUNCTION** キーを押すと、洗浄液は止まります。
- 空吸引が停止している間に数回 **FUNCTION** キーを押し、洗浄液を流してください。



- メンテナンス洗浄液はスポイトを使って流すこともできます。



# 6

フロントカバーを閉じ、**ENTER** キーを押す

・30 秒間空吸引を実行した後、ローカルに戻ります。

\* ショキカ チュウ \*  
シハ`ラク オマチクタ`サイ



<ローカル: 1>

**重要!**

- ・本装置にメンテナンス洗浄液が充填されていない場合は次のようにしてください。
- (1) 手順 4 までの操作をする
- (2) スポイトでメンテナンス洗浄液をとり、キャップ一杯になるまで満たす
- (3) 手順 6 の操作をする



## 長期間使用しない場合 (ホカンセンジョウ)

1 週間以上使用しない場合は、保管洗浄機能を使用し、ヘッドのノズルとインクの排路をクリーニングしてください。その後、本装置を保管してください。

事前に確認  
してください

【ニアエンド】、【インクエンド】は表示していませんか？

- ・洗浄動作の際に、洗浄液やインクの吸引を行います。  
このとき、インクエンドまたはニアエンドを検出していると、洗浄動作が行えなくなります。
- ・インクエンド等、未検出のカートリッジに交換してください。



- ・次のメッセージが表示された場合、廃インクタンクを確認し、状況に応じて P.5-27 「廃インクタンク確認メッセージが表示されたら」を参照して操作をしてください。

\*ハイインクタンク ヲ カクニ\*  
ケイゾク < > コウカン

\*ハイインクタンク ヲ カクニ\*  
コウカン :ent

1

ローカルで、**ST.MAINT** キーを押す

ステーション メンテナンス  
キャリッジ アウト <ent>

2

▲ ▼ を押して、【ホカンセンジョウ】を選ぶ

ステーション メンテナンス  
ホカン センジョウ <ent>

3

**ENTER** キーを押す

- ・キャリッジがプラテン上に移動します。

ワイパー クリーニング\*  
シュウリョウ(ツギヘ) :ent

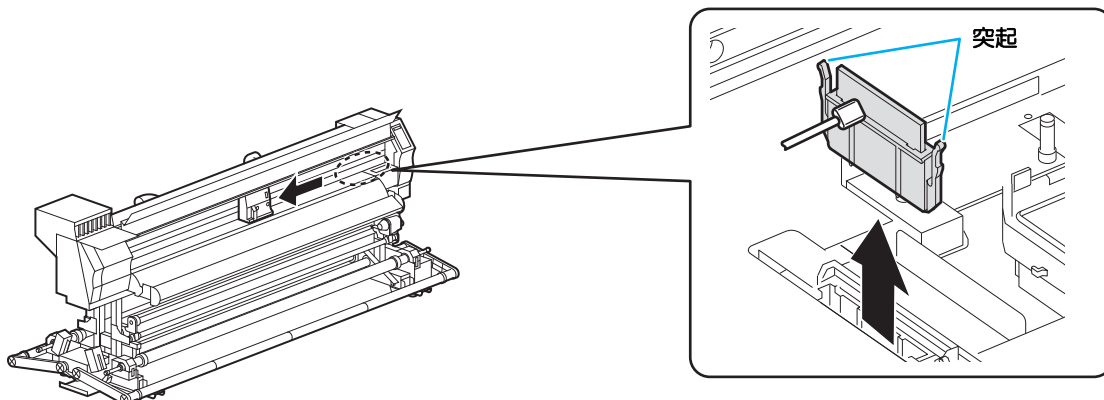
**重要!**

- ・ワイパーとブラケットの清掃が終了するまで、ディスプレイには【シュウリョウ(ツギヘ) :ent】が表示されます。手順 4 の作業が完了してから **ENTER** キーを押してください。クリーニングが終了する前に **ENTER** キーを押すと、次の洗浄手順に移行します。

4

ワイパーとブラケットを清掃する

- (1) フロントカバーを開け、ワイパー両端の突起を持って引き抜く
- (2) クリーンスティックにメンテナンス洗浄液を含ませて清掃する (昇華転写インク : SPC-0137、ソルベントインク : SPC-0369)
- (3) ワイパー両端の突起を持ち、元の位置に差し込む





5

**ENTER** キーを押す

センシ ヨウエキ ヲ ミタス  
シュウリョウ(ツギヘ) :ent

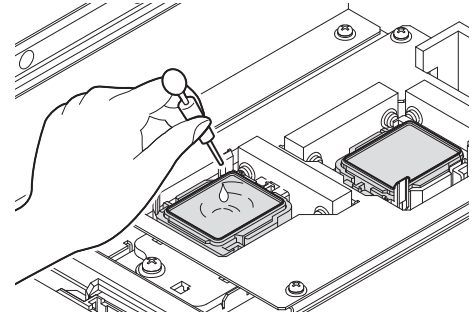
**重要!**

- ・洗浄液を満たすまで、ディスプレイには[シュウリョウ(ツギヘ) :ent]が表示されま  
す。手順6の作業が完了しフロントカバーを閉じてから**ENTER**キーを押してくださ  
い。洗浄液を満たす前に**ENTER**キーを押すと、キャリッジが元の位置に戻ります。

6

スポイトにメンテナンス洗浄液をとり、キャップ  
一杯になるまで満たす

- ・キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。



7

フロントカバーを閉め、**ENTER** キーを押す

ステーション メンテナンス  
ホウチ シ`カン : 1min

8

**▲** **▼** を押して、洗浄液の放置時間を設定する

- ・設定値 :1 ~ 99 分 (1分単位)

ステーション メンテナンス  
ホウチ シ`カン : 2min

9

**ENTER** キーを押す

- ・ノズルの洗浄を実行します。
- ・ノズルの洗浄が終了すると、ヘッドがプラテン上に移動します。

\* ショキカ チュウ \*  
シ`ラク オマチクタ`サイ

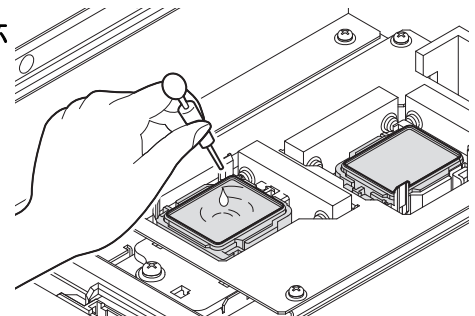
10

フロントカバーを開ける

11

スポイトにメンテナンス洗浄液をとり、キャップ一杯  
になるまで満たす

- ・キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。



12

フロントカバーを閉じ、**ENTER** キーを押す

- ・初期動作後、ローカルに戻ります。

\* ショキカ チュウ \*  
シ`ラク オマチクタ`サイ

5

お  
手  
入  
れ

# ヘッド周辺の清掃

ヘッドそのものは非常に微細なメカニズムを採用しておりますので、お手入れの際には十分な注意が必要です。スライダ下部、ヘッド周辺にゲル状になったインクや、ホコリが付着することがありますので、クリーンスティックなどでこすり落としてください。その際、ヘッドのノズル部分は絶対にこすらないようにしてください。

清掃に必要な道具	・ クリーンスティック	・ 手袋	・ ゴーグル
----------	-------------	------	--------



- ・ 清掃を行うときは、必ず付属のゴーグルと手袋を着用して作業を行ってください。インクが目に入る場合があります。
- ・ インクは有機溶剤を使用しています。皮膚や目に入った場合は、直ちに水で十分に洗い流してください。

## 1

### メンテナンスメニューの[キャリッジメンテナンス]を選ぶ

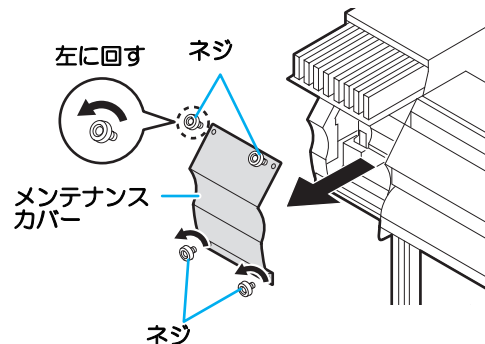
- (1) ローカルで、**FUNCTION** キーを押す
- (2) **▲** **▼** を押して [メンテナンス] を選び、**ENTER** キーを押す
- (3) **▲** **▼** を押して [キャリッジメンテナンス] を選び、**ENTER** キーを押す
- (4) **ENTER** キーを押す
  - ・ キャリッジが、本装置の左端まで移動します。

## 2

### メンテナンスカバーを外す

- (1) メンテナンスカバーを止めている4つのネジを左に回して取り除く
- (2) メンテナンスカバーを外す

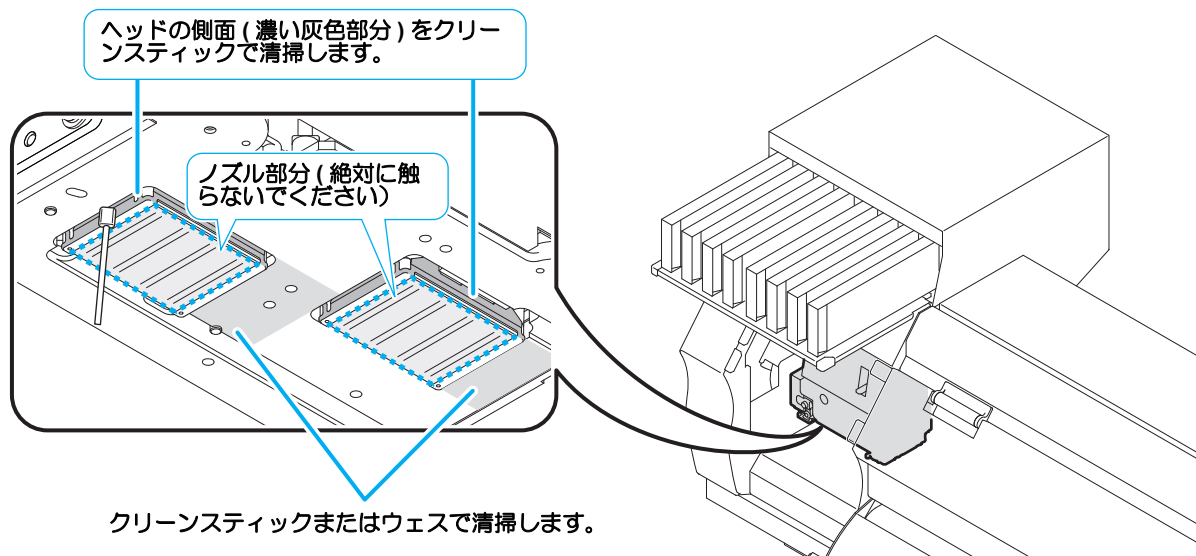
- ・ メンテナンスカバーが開けづらい場合は、付属のドライバーを使って開けてください。



## 3

### ヘッドの側面などに付着したインクをクリーンスティックで拭き取る

- ・ ノズル部分は、絶対にこすらないでください。



## 4

### 清掃が終了したら、**ENTER** キーを押す

カバー シメテクタ<sup>®</sup> サイ

**5**メンテナンスカバーを閉じ、**ENTER** キーを押す

( カバー オープン )  
<ENT>ヲ オシテクダサイ



\* ショキカ チュウ \*  
シハラク オマチクダサイ

- ・初期動作後、ローカルに戻ります。

**重要!**

- ・SS21 インクをご使用の場合、ヘッド周辺にインクが付着しやすくなります。週に2回程度(プリンタの使用頻度により異なります)、ヘッド周辺の清掃をしてください。

# ノズル詰まりが復旧しない場合

ヘッドクリーニング (☞ P.2-34) やヘッドノズルの洗浄 (☞ P.5-8) をしても、ノズル詰まりが改善しない場合、次の2機能を実行してください。

インクシュウテン	• インクの充填動作を行い、ノズル詰まりを解消します。
ノズルセンジョウ	• ヘッドノズルを洗浄します。(☞ P.5-8)

## インクを充填する

1

メンテナンスメニューの[ヘッドメンテナンス]を選ぶ

- (1) ローカルで、**FUNCTION** キーを押す
- (2) **▲** **▼** を押して [メンテナンス] を選び、**ENTER** キーを押す
- (3) **▲** **▼** を押して [ヘッドメンテナンス] を選ぶ
- (4) **ENTER** キーを押す

2

**ENTER** キーを押す

- 自動的にインク充填を開始します。
- インク充填が終わると、右の表示に戻ります。

インク シュウテン チュウ  
00:00



ヘッド`メンテナンス  
インク シュウテン <ent>

3

終了するとき、**END** キーを数回押す

# ハイシュツ&センジョウ

ヘッド、ダンパー、チューブのインクを排出して、洗浄を実行します。

**重要!**

- この機能をお使いになるには、専用の洗浄液 (P.5-2「メンテナンス洗浄液について」) が必要です。また、再充填するためのインクが残っているか確認してから作業を行ってください。
- 次のメッセージが表示された場合、廃インクタンクを確認し、状況に応じて P.5-27「廃インクタンク確認メッセージが表示されたら」を参照して操作をしてください。

\*ハイインクタンク ヲ カクニン\*  
ケイゾク < > コウカン

\*ハイインクタンク ヲ カクニン\*  
コウカン :ent

## 1 メンテナンスメニューの [ヘッドメンテナンス] を選ぶ

- ローカルで、**(FUNCTION)** キーを押す
- (▲)** **(▼)** を押して [メンテナンス] を選び、**(ENTER)** キーを押す
- (▲)** **(▼)** を押して [ヘッドメンテナンス] を選ぶ
- (ENTER)** キーを押す

## 2 **(▲)** **(▼)** を押して、[ハイシュツ&センジョウ] を選ぶ

メンテナンス  
ハイシュツ&センジョウ <ent>

## 3 **(ENTER)** キーを押す

インク カートリッジ ヲ ハスス  
MMCC YYKK

## 4 インクカートリッジを外す

- ヘッドやチューブに残ったインクが廃インクタンクに排出されます。
- 排出が終わると、右の画面を表示します。

\* ハイシュツ チュウ \*  
00:00



センジョウ エキ ヲ セット スル  
1234 5678

## 5 インクステーションに洗浄液カートリッジをセットする

- 洗浄液の吸引を始めます。
- 吸引が終わると、右の画面を表示します。

\* キュウイン チュウ \*  
00:00



センジョウ エキ ヲ ハスス  
1234 5678

## 6 洗浄液カートリッジを外す

- ヘッドやチューブに残った洗浄液が廃インクタンクに排出されます。
- 排出が終わると、右の画面を表示します。

\* ハイシュツ チュウ \*  
00:00



センジョウ エキ ヲ セット スル  
1234 5678

## 7 インクステーションに洗浄液カートリッジをセットする

- 洗浄液の吸引を始めます。
- 吸引が終わると、右の画面を表示します。

\* キュウイン チュウ \*  
00:00



センジョウ エキ ヲ ハスス  
1234 5678

5

お  
手  
入  
れ

8

## 洗浄液カートリッジを外す


- ヘッドやチューブに残った洗浄液が廃インクタンクに排出されます。
- 排出が終わると、右の画面を表示します。

\* ハイシュツ チュウ \*

00:00



シ`ョウキョウニ オウシ`テ センタク  
END< >サイセンシ`ョウ

- 廃インクタンクの状態を確認して、洗浄を終了するか、再洗浄するかを選んでください。
- 再洗浄する場合はを押して、手順5に戻ります。

9

を押す

10

終了するとき、キーを数回押す

# インクの初期充填を行う

**重要!**

- 本機に有効期限を延長 (☞ P.3-42) したインクカートリッジをセットしている場合は、初期充填はできません。有効期限内のインクカートリッジと交換してから初期充填を行ってください。

**1**

## 本装置の電源をオンにする

- 電源をオンにすると [BOOT] を表示し、続けてファームウェアのバージョンを表示します。

BOOT

JV34-260

V\*.\*\*

シハ`ラク オマチクタ`サイ

**2**

## ▲▼を押して、充填するインクタイプを選択する

- ◀ REMOTE ▶ キーを押すと、カートリッジの状態が確認できます。(☞ P.6-5)

インクタイプ°

SS21 Sol

**3**

## ▲▼を押して、充填するインクセット（充填色）を選択する

- お客様の操作で、現在お使いのインクセットから他のインクセットへ変更することはできません。
- インクセットの変更は、弊社営業所へお申し付けください。

SS21 インクセット

4-Color (MMCCYYKK)

**4**

## ENTER キーを押す

SS21-4Colorインク ヲ セット

-----

**5**

## インクステーションにインクカートリッジをセットする

- インクカートリッジをセットすると、自動的に充填が始まります。
- インクステーションには、それぞれ差し込むインク色が決まっています。インクステーション下にあるカートリッジのラベルに合わせ、インクカートリッジをセットしてください。

SS21-4Colorインク ヲ セット

--C- Y-KK

シ`ユウテン チュウ

00:00



- お使いになるインクセットによって、インクカートリッジのセット順異なります。詳しくは P.7-4 「インクカートリッジのセット順」をご参照ください。

**6**

## インク充填が終了すると、ローカルに戻る

<ローカル. 1>

[ #01 ]

ハ`ハ` : \*\*\*\*mm



- 初期充填後にプリントしたとき、カスレやヌケがある場合は、ヘッドクリーニング (☞ P.2-34) またはインク充填 (☞ P.5-16) をしてください。

## 手順 5 でインクの充填ができないとき

インクニアエンドやインクエンド、その他各種インクエラーが発生している場合は、インクの充填を開始しなくなります。

「インクの初期充填を行う」手順 5 でインクの充填が始まらない場合

- ◀ END ▶ キーを押すと、手順 2 の画面に戻る
- ◀ REMOTE ▶ キーを押して、インクカートリッジの状況を確認する
- インクエラーなどを解消し (☞ P.6-5)、手順 2 から操作し直す

**5**

お  
手  
入  
れ

# オートメンテナンス機能

本機を快適にお使いになるため、自動的に各種メンテナンスを行うように設定できます。  
ここでは、各種自動メンテナンスの実行間隔を設定します。  
定期的に自動メンテナンスを行うことにより、インク詰まりなどのトラブルを防止することができます。  
(オートメンテナンス機能)  
オートメンテナンス機能には、以下の項目があります。

- 重要!**
- お使いになるインク種類によって、メンテナンス間隔（初期値）が異なります。詳しくは P.7-4 「オートメンテナンス機能のメンテナンス間隔」をご参照ください。
  - 手動で各種メンテナンスを行った場合、手動メンテナンス終了後、オートメンテナンス機能で設定した時間が経過したら自動的に各種メンテナンスを開始します。

機能名	説明
リフレッシュ	リフレッシュを実行するまでの間隔を設定します。
チューブセンジョウ	ポンプチューブ洗浄を実行するまでの間隔を設定します。
クリーニング	クリーニングタイプと、実行するまでの間隔を設定します。

- 重要!**
- 右のメッセージが表示されている場合、オートメンテナンス機能で設定した動作は実行されません。必要に応じて P.5-28 の操作をしてください。
  - 装置前面の電源スイッチをオフにする場合は、廃インクタンクの確認をしてください。

<ローカル. 1> [ #01 ]  
!ハイ インクタンク

## リフレッシュ間隔を設定する

ノズル詰まり防止のため、ノズルから若干のインクを吐出する間隔を設定します。

### 1 メンテナンスメニューの [ オートメンテナンス ] を選ぶ

- (1) ローカルで、**FUNCTION** キーを押す
- (2) **▲** **▼** を押して [ メンテナンス ] を選び、**ENTER** キーを押す
- (3) **▲** **▼** を押して [ オートメンテナンス ] を選ぶ

### 2 **ENTER** キーを押す

オートメンテナンス  
リフレッシュ <ent>

### 3 **ENTER** キーを押す

オートメンテナンス  
リフレッシュ カンカク = 1h

### 4 **▲** **▼** を押して、リフレッシュ間隔を設定する

• 設定値：OFF, 1 ~ 168 時間

オートメンテナンス  
リフレッシュ カンカク = 10h

### 5 **ENTER** キーを押す

オートメンテナンス  
リフレッシュ <ent>

### 6 終了するとき、**END** キーを数回押す



## チューブ洗浄間隔を設定する

メンテナンス洗浄液を使用してキャップとポンプチューブ洗浄を実行するまでの間隔を設定します。

### 1 メンテナンスメニューの [オートメンテナンス] を選ぶ

- (1) ローカルで、**FUNCTION** キーを押す
- (2) **▲** **▼** を押して [メンテナンス] を選び、**ENTER** キーを押す
- (3) **▲** **▼** を押して [オートメンテナンス] を選ぶ
- (4) **ENTER** キーを押す

### 2 **▲** **▼** を押して、[PUMP チューブセンジョウ] を選ぶ

オートメンテナンス  
PUMPチューブ`センシ`ヨウ<ent>

### 3 **ENTER** キーを押す

オートメンテナンス  
センシ`ヨウ カンカク = **1**h

### 4 **▲** **▼** を押して、チューブ洗浄を行う間隔を設定する

・設定値：OFF,1～168時間

オートメンテナンス  
センシ`ヨウ カンカク = **4**h

### 5 **ENTER** キーを押す

オートメンテナンス  
チューブ`センシ`ヨウ <ent>

### 6 終了するとき、**END** キーを数回押す

## クリーニング間隔を設定する

メンテナンス洗浄液が終わってしまった時に、ポンプチューブ洗浄の代わりに使う機能です。クリーニングタイプと、クリーニングを実行するまでの間隔を設定します。

1

メンテナンスメニューの[オートメンテナンス]を選ぶ

- (1) ローカルモードで、**FUNCTION**キーを押す
- (2) **▲** **▼**を押して[メンテナンス]を選び、**ENTER**キーを押す
- (3) **▲** **▼**を押して[オートメンテナンス]を選ぶ
- (4) **ENTER**キーを押す

2

**▲** **▼**を押して、[クリーニング]を選ぶ

オートメンテナンス  
クリーニング° <ent>

3

**ENTER**キーを押す

オートメンテナンス  
クリーニング° カンカク = 1h

4

**▲** **▼**を押して、クリーニングを行う間隔を設定する

オートメンテナンス  
クリーニング° カンカク = 4h

・設定値：OFF,1～168時間

5

**ENTER**キーを押す

・クリーニングタイプの選択画面が表示されます。

オートメンテナンス  
クリーニング° タイフ° : 1ノーマル

6

**▲** **▼**を押して、クリーニングタイプを選ぶ

・設定値：ノーマル、ソフト、ハード

オートメンテナンス  
クリーニング° タイフ° : 2フト

7

**ENTER**キーを押す

オートメンテナンス  
クリーニング° カンカク = 4h

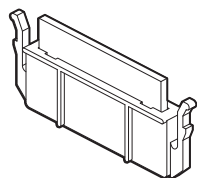
8

終了するとき、**END**キーを数回押す

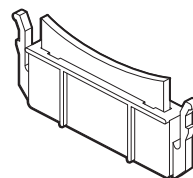
## ワイパー交換の警告時期を変更する

ワイパーは消耗品です。ホコリの多い環境などでは、ヘッドが汚れやすくなります。また、曲がったり摩耗したワイパーではクリーニング効果が得られません。ワイパーレベルを設定して、環境によってワイパー交換時期の警告を標準より早期に促します。

正常なワイパー



変形したワイパー



10/10	標準のワイピング回数でワイパー交換の警告を表示します。(初期値)
9/10	標準の 9/10 回のワイピング回数でワイパー交換の警告を表示します。
8/10	標準の 8/10 回のワイピング回数でワイパー交換の警告を表示します。
⋮	
1/10	標準の 1/10 回のワイピング回数でワイパー交換の警告を表示します。

### 1 メンテナンスメニューの【ワイパーレベル】を選ぶ

- (1) ローカルで、**FUNCTION** キーを押す
- (2) **▲** **▼** を押して【メンテナンス】を選び、**ENTER** キーを押す
- (3) **▲** **▼** を押して【ワイパーレベル】を選ぶ

### 2 **ENTER** キーを押す

ワイパー レベル  
レベル : 10/10

### 3 **▲** **▼** を押して、ワイパーレベルを設定する ・設定値 : 1/10 ~ 10/10

ワイパー レベル  
レベル : 9/10

### 4 **ENTER** キーを押す

メンテナンス  
ワイパー レベル <ent>

### 5 終了するとき、**END** キーを数回押す

## ヘッド選択の設定をする

プリント時に使用するヘッドを選択することができます。  
ノズル詰まりが解消しないなどで一方のヘッドが使用できない場合など、ノズルが詰まっているヘッドを使用しないように設定できます。

- 重要!**
- ヘッド選択の適用範囲は、プリント(テストプリントを含む)とフラッシングまでとなります。充填等の機能は、全ヘッドを対象とします。
  - 2つのヘッドを両方使用してプリントするときに比べ、片一方のヘッドのみを使用してプリントすると、プリントの速度は1/2に低下します。

### 1 メンテナンスメニューの[ヘッドセンタク]を選ぶ

- (1) ローカルで、**FUNCTION**キーを押す
- (2) **▲** **▼**を押して[メンテナンス]を選び、**ENTER**キーを押す
- (3) **▲** **▼**を押して[ヘッドセンタク]を選ぶ

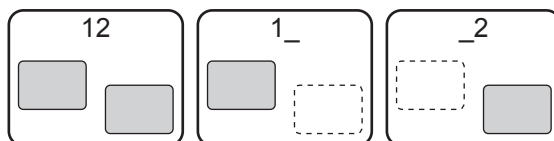
### 2 **ENTER**キーを押す

ヘッド` センタク  
センタク : 12

### 3 **▲** **▼**を押して、使用するヘッドを選ぶ

ヘッド` センタク  
センタク : 1\_

- 設定値: 12 (両方のヘッドを使用)
- 1\_ (ヘッド1のみ使用)
- \_2 (ヘッド2のみ使用)



### 4 **ENTER**キーを押す

メンテナンス  
ヘッド` センタク <ent>

### 5 終了するとき、**END**キーを数回押す

## メディア残量表示の設定をする

メディア残量表示の設定をします。

メディア残量表示を ON にすると	リモートでメディア残量が表示されます。 (ただし、リーフメディアを使用した場合は、プリント長を表示します。)
メディア残量表示を OFF にすると	リモートでメディア残量は表示されません。



- プリント、JOG キーによるフィード量が、メディア残量に反映されます。
- メディア長 (残量初期値) はロールメディア検出時に入力します。(P.2-24)
- ここで行う設定は、設定終了後にメディア検出を行わないと有効になりません。

### 1

メンテナンスメニューの [メディア ザンリョウ] を選ぶ

- (1) ローカルで、**FUNCTION** キーを押す
- (2) **▲** **▼** を押して [メンテナンス] を選び、**ENTER** キーを押す
- (3) **▲** **▼** を押して [メディア ザンリョウ] を選ぶ
- (4) **ENTER** キーを押す

### 2

**▲** **▼** を押して、ON/OFF を選ぶ

メディア ザンリョウ  
セッテイ : **OFF**

### 3

**ENTER** キーを押す

メンテナンス  
メディア ザンリョウ <ent>

### 4

終了するとき、**END** キーを数回押す

## メディア残量をプリントする

現在のメディア残量をプリントすることができます。



- メディア残量表示の設定を“ON”にしてください。
- メディア交換時には、今現在お使いのメディアに残量をプリントしておくことをお勧めします。あらかじめメディア残量をプリントしておけば、交換したメディアを再度使うとき、メディア検出後のメディア残量入力画面 (P.2-24) で正確な数値を入力できます。

1

ローカルで、 を押す

- 原点設定モードになります。

ケンテン セッテイ  
0.0

2

を押して、LED ポインタの光点を変更したい位置へ合わせる

- でキャリッジとメディアを移動させて選びます。
- 原点を変更しない場合は、 を押さずに手順3へ進んでください。

- ここで **ENTER** キーを押すと、原点が変更されローカルに戻ります。

ケンテン セッテイ  
0.0 0.0  
原点位置 (長さ) 原点位置 (幅)

3

**REMOTE** キーを押す

- を押すと、手順2の画面に戻ります。
- **END** キーを押すと、ローカルに戻ります。

メディア サンリョウ サクス`  
<ENT>

4

**ENTER** キーを押す

- メディア残量のプリントを開始します。
- プリントが終わると、ローカルに戻ります。

**重要!**

- 原点を変更してプリントすると、以降のデータのプリントをするときもここで設定した原点が有効になります。

## 廃インクタンク確認メッセージが表示されたら

ヘッドクリーニングなどで使用したインクは、本装置の右下にある廃インクタンクにたまります。本装置では、インクの排出量を累積カウントし、一定の量になったら確認を促すメッセージを表示します。（廃インクタンク交換の目安としてお使いください。）

### インク充填などを実行するときにメッセージが表示されたら

インク充填やヘッドクリーニング、PUMP チューブ洗浄など、廃インクタンクを使用する機能を実行するとき、廃インクタンクの状態によって廃インクタンクの確認を促すメッセージを表示します。

#### ● 廃インクタンクがニアフルの場合

右のメッセージが表示される

\*ハイインクタンク ㊦ カクニン\*  
ケイゾク < > コウカン

1

#### 廃インクタンクの状態を確認する

- ・ 廃インクタンクが一杯に近い場合
  - (1) 廃インクタンクを交換 (㊦ P.5-29) する
  - (2) **ENTER** キーを押して "コウカン" を選択する（インク排出量をリセットする）
- ・ 廃インクタンクに余裕がある場合
  - (1) **◀** を押して "ケイゾク" を選択する（インク排出量をリセットしない）
- ・ この場合、ローカルにもどると、28 ページの「ローカルでの確認メッセージ」のメッセージが表示されます。

#### ● 廃インクタンクがフルの場合

右のメッセージが表示される

\*ハイインクタンク ㊦ カクニン\*  
コウカン : e n t

1

#### 廃インクタンクを交換 (㊦ P.5-29) し、**ENTER** キーを押す

- ・ インク排出量のリセットを行います。

**重要!**

- ・ 廃インクタンクがニアフルまたはフルのとき、上の操作で "コウカン" を選んだ場合は、必ず廃インクタンクの交換 (㊦ P.5-29) をしてください。交換しないでそのままお使いになると、確認メッセージが表示されないうちに廃インクがあふれることがあります。
- ・ ステーションメンテナンスのノズルセンジョウ、PUMP チューブセンジョウ、ホカンセンジョウをしたときに排出した廃インクは、本装置で累積カウントされません。これらの操作をする前後は、必ず廃インクタンクの状態を確認してください。

5

お手入れ

## ローカルでの確認メッセージ

右のメッセージが表示される

<ローカル.1> [ #01 ]  
!ハイ インクタンク

1

廃インクタンクを確認し、必要に応じて廃インクタンクの交換をする (☞ P.5-29)

## 廃インクタンクの確認メッセージを表示させたくないとき

廃インクタンクの確認メッセージを表示させないように設定できます。

1

マシンセッテイメニューの [ハイインク ワーニング] を選ぶ

- (1) ローカルで、**FUNCTION** キーを押す
- (2) **▲** **▼** を押して [マシンセッテイ] を選び、**ENTER** キーを押す
- (3) **▲** **▼** を押して [ハイインク ワーニング] を選ぶ
- (4) **ENTER** キーを押す

2

**▲** **▼** を押して、**OFF** を選ぶ

ハイインク ワーニング\*  
セッテイ : **OFF**

3

**ENTER** キーを押す

マシン セッテイ  
ハイインク ワーニング\* <ent>

4

終了するとき、**END** キーを数回押す

**重要!**

- ・ 廃インクタンクワーニングの設定を "OFF" にすると、確認メッセージは表示されなくなります。必ず廃インクタンク内のインク残量を目視で確認するようにしてください。

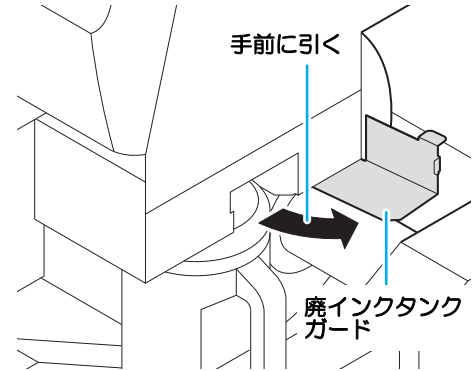


## 廃インクタンクを交換する

右のメッセージが表示されたら、速やかに廃インクタンクを確認し、状況に応じて交換してください。

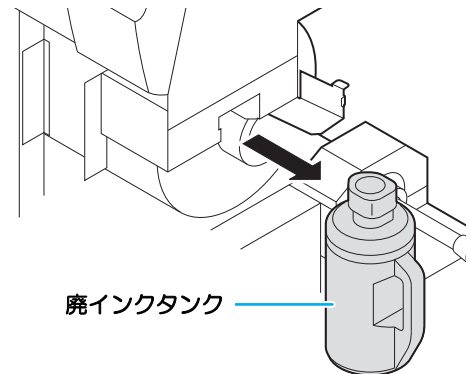
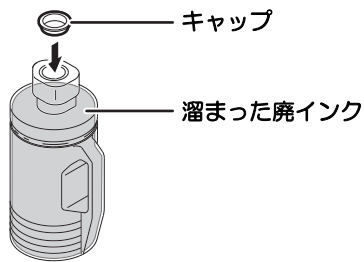
<ローカル. 1> [#01]  
!ハイ インクタンク

### 1 廃インクタンクガードを手前に開く



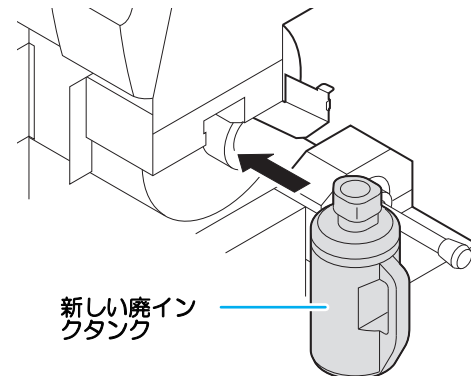
### 2 廃インクタンクの取っ手を持ち、手前に引いて取り出す

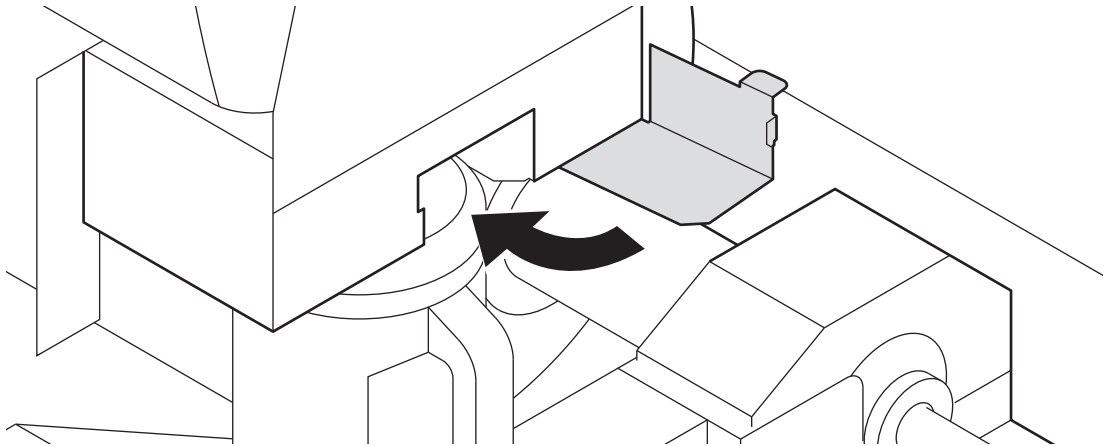
・取り出した廃インクタンクにキャップをはめてください。



### 3 廃インクタンクを交換する

- (1) 新しい廃インクタンク (SPC-0117) を用意する
- (2) 廃インクタンクの取っ手を持ち、差し込む



**4****廃インクタンクガードを閉じる****5****メンテナンスメニューの[ハイインクタンクコウカン]を選ぶ**

- (1) ローカルで、**FUNCTION** キーを押す
- (2) **▲** **▼** を押して [メンテナンス] を選び、**ENTER** キーを押す
- (3) **▲** **▼** を押して [ハイインクタンクコウカン] を選ぶ

**6****ENTER** キーを押す

- 本装置で管理しているインク排出量のリセットを行い、メッセージを解除します。

ハイインクタンク コウカン コウカン	:ent
-----------------------	------

**7****終了するとき、END キーを数回押す**

## Sb52 インクのインクカラーを変更したいとき

Sb52 インクのインクカラーを変更したいときは、次のようにしてください。



次のような場合は、サービスマンによる作業が必要です。弊社サービスまたは販売店にお問い合わせください。

- ・「4色モデル」から「6色モデル」にするなどインクセットを変更したい場合は
- ・SS21 インクから Sb52 インクに変更するなどインク種類を変更したい場合

### 1

装置に残っているインクの「排出」とヘッドやチューブの「洗浄」を行う

- ・P.5-17「ハイシュツ&センジョウ」を参照してください。

### 2

インクの充填を行う

- ・P.5-19「インクの初期充填を行う」を参照してください。

**重要!**

- ・洗浄を行うには、専用の洗浄液カートリッジ(別売)が8本必要です  
現在お使いのインク種類に合った洗浄液カートリッジを使って洗浄を行ってください。

インクの種類	洗浄液の種類
ソルベントインク (SS21)	MILD SOLVENT 洗浄液カートリッジ (SPC-0294)
昇華転写インク (Sb52)	水性洗浄液カートリッジ (SPC-0259)

## 昇華転写インクをより安定した品質でお使いいただくために

昇華転写インクをお使いのとき、装置を放置した後に印刷を行うと色材の沈降が原因で色味の変化が生じることがあります。

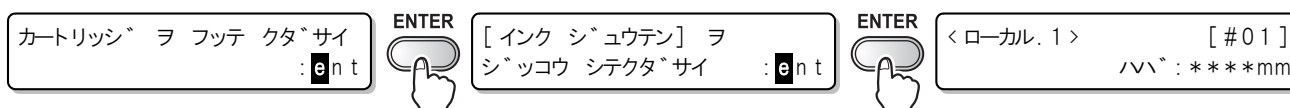
定期的にインクカートリッジを振るまたはインク充填を行うことにより、状況が緩和されます。(インク充填を行う前にも、インクカートリッジを振る必要があります。)

本機では、インクカートリッジを振るまたはインク充填を行う時期になると、ディスプレイにメッセージ(色材沈降予防ワーニング)を表示してお知らせします。

### ● インクカートリッジを振る時期がきた場合



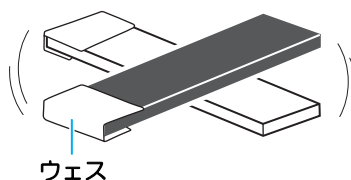
### ● インク充填を行う時期がきた場合



- この表示は、ローカルモードになっているとき、またはリモートモードからローカルモードに切り替えたときに表示されます。プリントを中断したり、連続プリントを妨げることはありませんが、リモートモード中には表示されないため、プリントの合間に **(REMOTE)** キーを押してローカルモードに切り替えることをお勧めします。

## インクカートリッジの振り方

インクカートリッジの長手方向を両手で持ち、インクを流すように左右交互に傾け、20回ほど繰り返します。



### 重要!

- インクカートリッジを強く振りすぎると、内部のパックを傷つけ、インク漏れの原因となる恐れがありますのでお気をつけください。
- 新品カートリッジの場合は、袋から出す前に振ってください。
- 使用中のカートリッジの場合は、必ず手袋を着用の上、差し込み口側にウェスなどを押し当てて振ってください。
- インク残量が少ない場合は、十分に攪拌できない可能性があるため、カートリッジが縦になるくらいまで傾けてください。

## ワーニングメッセージの表示時期を設定する

本装置を設定している環境に合わせて、色材沈降予防ワーニングを表示させる時期を設定してください。



- ・初期状態でメッセージの表示時期は、72 時間に設定されています。

### 1

メンテナンスメニューの [オートメンテナンス] を選ぶ

- (1) ローカルで、**FUNCTION** キーを押す
- (2) **▲** **▼** を押して [メンテナンス] を選び、**ENTER** キーを押す
- (3) **▲** **▼** を押して [オートメンテナンス] を選ぶ
- (4) **ENTER** キーを押す

### 2

**▲** **▼** を押して、[Sub-INK ワーニング] を選ぶ

```
オートメンテナンス
Sub-INK ワーニング` <ent>
```

### 3

**ENTER** キーを押す

```
オートメンテナンス
Sub-INK ワーニング` = 72h
```

### 4

**▲** **▼** を押して、動作時間を設定する

- ・設定値：OFF (無効), 12 ~ 120 時間

```
オートメンテナンス
Sub-INK ワーニング` = 84h
```

### 5

**ENTER** キーを押す

```
オートメンテナンス
Sub-INK ワーニング` <ent>
```

### 6

終了するとき、**END** キーを数回押す

# カッター刃の交換

カッター刃は消耗品です。切れ味が悪くなってきたら、新しいカッター刃 (SPA-0107) に交換してください。



- 刃先は鋭利です。ケガをしないようご注意ください。
- カッター刃は、子供の手の届かないところに保管してください。また、使用済みのカッター刃は、地域の条例に従い廃棄してください。

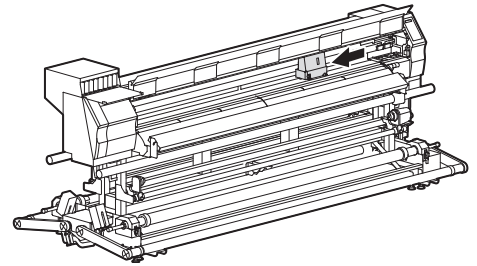


- カッター刃の下に用紙を敷いておくと、刃先が落ちた時に拾いやすくなります。

1

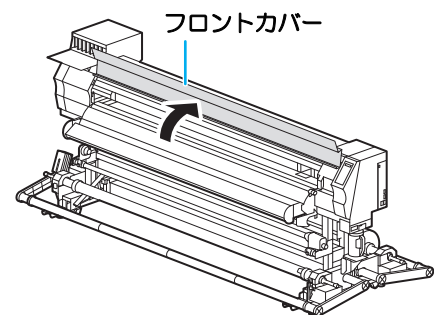
**ST.MAINTE** キーを押し、**ENTER** キーを押し

- キャリッジがプラテン上に移動します。



2

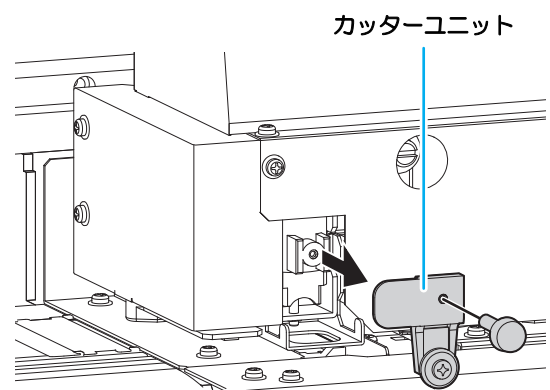
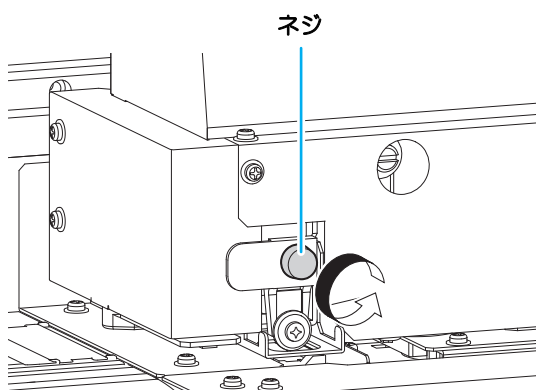
フロントカバーを開ける



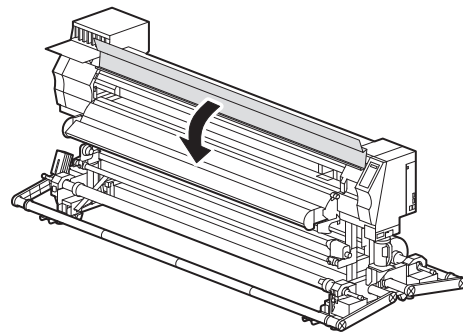
3

キャリッジ横のカッターユニットを交換する

- (1) カッターユニットのネジを緩める
- (2) カッターユニットを取り外す
- (3) 新しいカッターユニットを取り付ける
- (4) カッターユニットのネジを締めて、カッターユニットを固定する



**4** フロントカバーを閉じる



**5** **ENTER** キーを押す  
 ・ローカルに戻ります。





# 第6章 困ったときは



## この章では ...

故障かな?と思ったときの対処方法や、ディスプレイに表示するエラー番号の解消方法などを説明をしています。

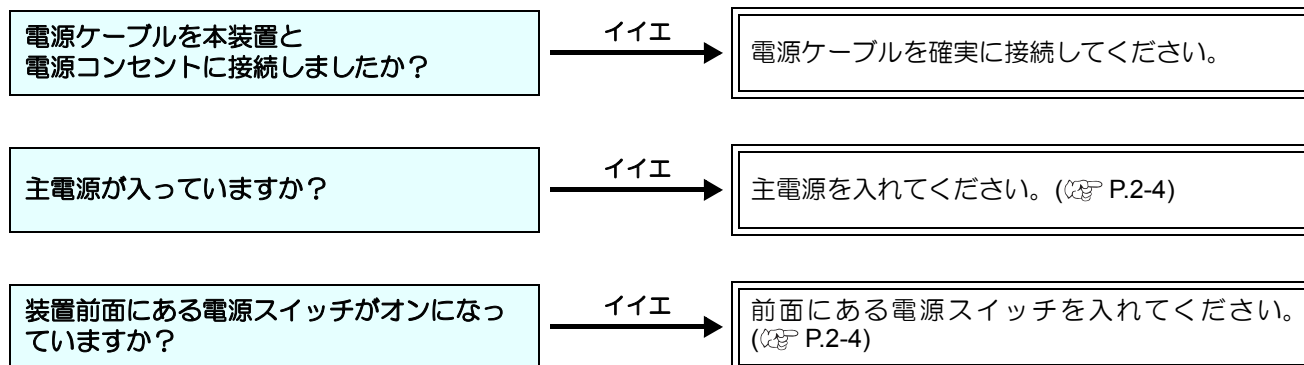
故障?と思う前に.....	6-2
電源が入らない .....	6-2
プリントできない .....	6-2
メディア詰まり/メディアが汚れる .....	6-3
[HEAT] ランプ,[CONSTANT] ランプが点灯しない .....	6-3
画質不良が発生したときは .....	6-4
ノズル詰まりを解消したいとき .....	6-4
カートリッジ異常が発生したら .....	6-5
メッセージを表示するトラブル .....	6-6
ワーニングメッセージ .....	6-6
エラーメッセージ .....	6-9

# 故障？と思う前に

故障？と思う前にもう一度確認してください。対処しても正常に戻らない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

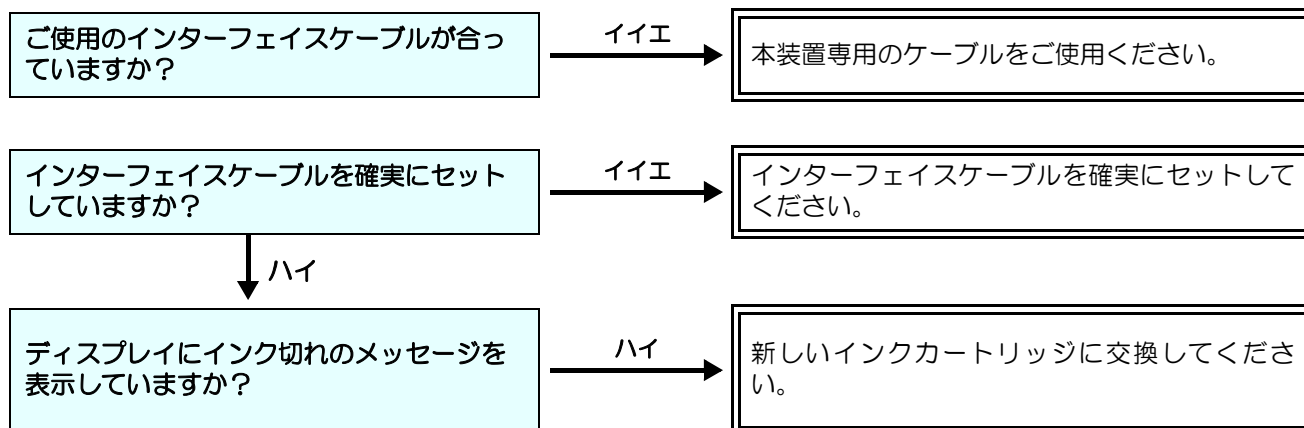
## 電源が入らない

電源が入らない場合の原因の多くは、電源やコンピュータのケーブル接続ミスによるものです。接続が適正かもう一度確認してください。



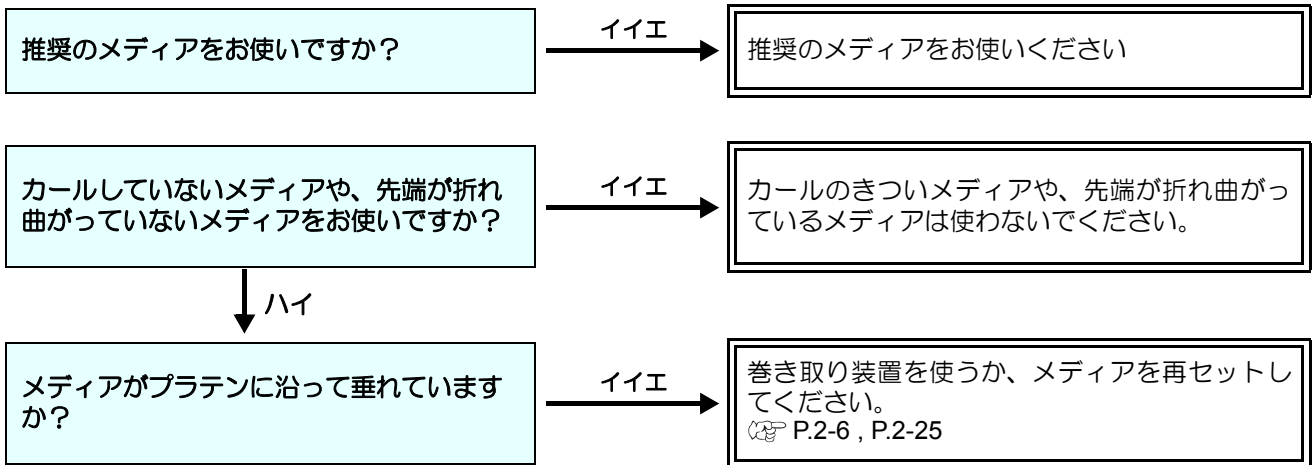
## プリントできない

プリントができない場合は、データが適正に本装置に送られていない場合があります。また、プリント機能に不良がある場合や、メディアのセット方法に問題がある場合などが考えられます。



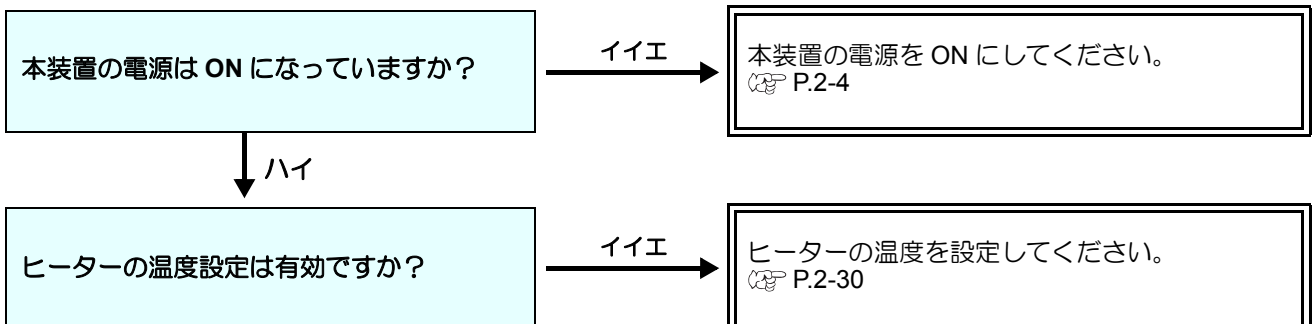
## メディア詰まり / メディアが汚れる

メディア詰まりやメディアの汚れは、ご使用のメディアやセット方法に問題があるなどが考えられます。



## [HEAT] ランプ, [CONSTANT] ランプが点灯しない

基本操作を確認してください。



## 画質不良が発生したときは

ここでは、プリント品質に問題があるときの対処方法を説明します。症状に従って対処してください。対処しても改善しない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

現象	対処方法
白スジ/カスレ/色の濃いスジが発生する(ヘッド移動方向)	(1) ヘッドクリーニングを行ってください。☞ P.2-34 (2) ステーション内部のメンテナンスをしてください。☞ P.5-5 (3) 「メディア補正」機能を実行してください。☞ P.3-4 (4) メディア押さえの上などヘッドが通過する部分に、紙片などのゴミが付着している場合は、ゴミを取り除いてください。
文字が用紙送り方向に2重、3重にブレる	(1) 「メディア補正」機能を実行してください。☞ P.3-4
往復印字でズレが発生する	(1) 「ドット位置補正」機能を実行してください。☞ P.3-6
プリント中にインク滴が落ちる	(1) ワイパーを清掃してください。☞ P.5-5 (2) インクキャップのクリーニングをしてください。☞ P.5-5 (3) ヘッドの周辺を清掃してください。☞ P.5-14 (4) ヘッドクリーニングの[ノーマル]を実行してください。☞ P.2-34 (5) 症状が改善されないときは、プリント中クリーニングの「ワイピング」の設定を行ってください。☞ P.3-23

## ノズル詰まりを解消したいとき

P.2-34 の操作でヘッドのクリーニングをしてもノズル詰まりが解消しない場合は、次の3つの項目を確認してください。

- P.5-16 の操作をして、インクの充填をしてください。
- P.5-8 の操作をして、ヘッドノズルの洗浄をしてください。
- P.5-24 の操作をして、ヘッド選択をしてください。(2ヘッド中1ヘッドが正常な場合)

## カートリッジ異常が発生したら

インクカートリッジに異常が発生したら、ワーニングメッセージを表示します。プリント、クリーニング等、インク吐出に関する動作は全てできなくなります。速やかに新しいインクカートリッジに交換してください。

- 重要!** ・カートリッジ異常を表示したまま長時間放置しないでください。ノズル詰まりの防止機能が動作しなくなります。  
ノズルが詰まった場合、サービスマンによる修理が必要になります。

### カートリッジ異常の詳細を表示する

次の操作をして、カートリッジ異常の内容を確認できます。

**1** ローカルモードで、**ENTER** キーを押す

SS21-インク	MMCCYYKK
サンリョウ	34567899

**2** **ENTER** キーを押す

ヒシ ユンセイ インク
---C---

- ・複数のカートリッジ異常が発生している場合、**ENTER** キーまたは、**◀▶** を押すと、順番に表示します。

# メッセージを表示するトラブル

何らかの異常が発生すると、ブザーが鳴りディスプレイにメッセージを表示します。メッセージの内容によって対処してください。

## ワーニングメッセージ

表示	原因	対処方法
カバ <sup>°</sup> ーヲ シメテタ <sup>°</sup> サイ	フロントカバーまたはメンテナンスカバーが開いている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>フロントカバー、メンテナンスカバーを確認してください。</li> <li>カバーを閉めても、再度表示する場合は弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。</li> </ul>
* メテ <sup>°</sup> ィアカ <sup>°</sup> アリマセン *	メディアがセットされていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>メディアをセットしてください。</li> </ul>
!ハ <sup>°</sup> ッテリー コウカン シテタ <sup>°</sup> サイ	内部時計の電池切れを検出した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。</li> </ul>
<ローカル.1> [#01] !ワイハ <sup>°</sup> ーヲ コウカン シテタ <sup>°</sup> サイ	キャッピングステーションのワイパー交換時期 (ワイピング回数が規定値に達した。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワイパーを交換してください。 (☎ P.5-7)</li> </ul>
<ローカル.1> [#01] !テストサクス <sup>°</sup> ヲ シテタ <sup>°</sup> サイ	放置時間が長い場合、ノズルの復旧が見込めない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>テストプリントを行い、ノズル抜けを確認します。</li> <li>ノズル抜けがある場合はクリーニングを行なってください。(☎ P.2-34)</li> <li>ノズル抜けがひどい場合は、P.5-8「ヘッドノズルの洗浄」の操作をしてください。</li> </ul>
PRE PRT AFT タ <sup>°</sup> ンセン **°C **°C	メディアヒーターが断線している。 (この例ではプリヒーターが断線)	<ul style="list-style-type: none"> <li>弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。</li> </ul>
PRE PRT AFT サーミスタ **°C **°C	メディアヒーターのサーミスタ異常が発生している。 (この例ではプリヒーターのサーミスタ異常)	
<ローカル.1> [#01] ニアエント <sup>°</sup> MMCC----	1 供給経路あたりのインクが少なくなった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>表示しているカラーに対応する供給経路のカートリッジを交換してください。</li> <li>そのままでも(インクエンドが発生するまで)プリント可能ですが、1 ファイルプリント終了毎にローカルモードへ移行します。</li> </ul>
*リモート.1* [#01] ニアエント <sup>°</sup> MMCC----		
<ローカル.1> [#01] インクエント <sup>°</sup> ----YYKK	1 供給経路あたりのインクが終わった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>表示しているカラーに対応する供給経路のカートリッジを交換してください。</li> </ul>
*リモート.1* [#01] インクエント <sup>°</sup> ----YYKK		
<ローカル.1> [#01] カートリッジ <sup>°</sup> ----YYKK	1 供給経路あたりのカートリッジ起因による供給不可がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>表示しているカラーに対応する供給経路のカートリッジを確認してください。</li> </ul>
*リモート.1* [#01] カートリッジ <sup>°</sup> ----YYKK		
<ローカル.1> [#01] カートリッジ <sup>°</sup> サイセット	インクの残量が多いカートリッジを挿入した直後に、ニアエンドを検出した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>挿入したカートリッジを抜いて再挿入してください。再度表示される場合は、弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。</li> </ul>

表示	原因	対処方法																																												
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     &lt;ローカル.1&gt; !CAR [#01]                 </div>	装填したインクカートリッジに問題がある。 (他のワーニングと重複した場合は、"<ローカル.1>!CAR/WASH" となり、[#**] は消去されます。)	・ガイダンス機能でワーニング詳細を表示して内容を確認してください。																																												
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     *リモート.1* !CAR [#01]                 </div>			<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     &lt;ローカル.1&gt; !WASH [#01]                 </div>	装填したメンテナンス洗浄液カートリッジに問題がある。 (他のワーニングと重複した場合は、"<ローカル.1>!CAR/WASH" となり、[#**] は消去されます。)	・メンテナンス洗浄液カートリッジが正しくセットされているか確認してください。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     *リモート.1* !WASH [#01]                 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     インク ニア エント MMCC ----                 </div>	インクカートリッジのインクが少なくなった。	・ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     インク エント ---- YYKK                 </div>	インクカートリッジのインクがなくなった。	・ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     ヒシ`ンセイ インク ---- YYKK                 </div>	インクカートリッジがミマキ純正品でない。	・ワーニングが発生しているカートリッジをミマキ純正品に交換してください。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     インク IC イシ`ヨウ ---- YYKK                 </div>	インクカートリッジの IC チップが正常に読み込めない。	・ワーニングが発生しているカートリッジを再挿入してください。 ワーニングが解消しない場合は弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     インク シュルイ ---- ----                 </div>	インクカートリッジのインク種類が充填してあるインクと異なる。	・ワーニングが発生しているカートリッジのインク種類を確認してください。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     インク カラー ---- ----                 </div>	インクカートリッジのインクカラーが充填してあるインクと異なる。	・ワーニングが発生しているカートリッジのインクカラーを確認してください。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     カートリッジ` イシ`ヨウ ---- ----                 </div>	装填したインクカートリッジが異常	・ワーニングが発生しているカートリッジを確認してください。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     カートリッジ` ナシ ---- ----                 </div>	インクカートリッジがスロットに挿入されていない。	・ワーニングが発生しているスロットにカートリッジを挿入してください。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     カートリッジ` キレ ---- ----                 </div>	インクカートリッジの使用有効期限が切れている。	・ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。 そのままでも(使用期限翌月までは)使用可能です。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     キゲン` キレ (1カゲ`ツ) ---- ----                 </div>	インクカートリッジの使用有効期限が切れている(期限切れから1ヶ月経過)。	・赤 LED が点滅します。ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。 そのままでも(使用期限翌々月までは)使用可能です。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     キゲン` キレ (2カゲ`ツ) ---- ----                 </div>	インクカートリッジの使用有効期限が切れている(期限切れから2ヶ月経過)。	・ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     キゲン`キレ インク ショウチュウ ---- ----                 </div>	インクの有効期限を延長して使用している。	・インクカートリッジを交換してください。 (☎ P.1-12)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     カンセ`ン キゲン`キレ ---- ----                 </div>	インクの有効期限を延長し、カートリッジに記載している有効期限より6ヶ月経過した。	・インクカートリッジを交換してください。 (☎ P.1-12)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     サ`ンリョウ 0 ---- ----                 </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     &lt;ローカル.1&gt; !WASH [#01]                 </div>	装填したメンテナンス洗浄液カートリッジに問題がある。 (他のワーニングと重複した場合は、"<ローカル.1>!CAR/WASH" となり、[#**] は消去されます。)	・メンテナンス洗浄液カートリッジが正しくセットされているか確認してください。																																												
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     *リモート.1* !WASH [#01]                 </div>			<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     インク ニア エント MMCC ----                 </div>	インクカートリッジのインクが少なくなった。	・ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     インク エント ---- YYKK                 </div>	インクカートリッジのインクがなくなった。	・ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     ヒシ`ンセイ インク ---- YYKK                 </div>	インクカートリッジがミマキ純正品でない。	・ワーニングが発生しているカートリッジをミマキ純正品に交換してください。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     インク IC イシ`ヨウ ---- YYKK                 </div>	インクカートリッジの IC チップが正常に読み込めない。	・ワーニングが発生しているカートリッジを再挿入してください。 ワーニングが解消しない場合は弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     インク シュルイ ---- ----                 </div>	インクカートリッジのインク種類が充填してあるインクと異なる。	・ワーニングが発生しているカートリッジのインク種類を確認してください。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     インク カラー ---- ----                 </div>	インクカートリッジのインクカラーが充填してあるインクと異なる。	・ワーニングが発生しているカートリッジのインクカラーを確認してください。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     カートリッジ` イシ`ヨウ ---- ----                 </div>	装填したインクカートリッジが異常	・ワーニングが発生しているカートリッジを確認してください。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     カートリッジ` ナシ ---- ----                 </div>	インクカートリッジがスロットに挿入されていない。	・ワーニングが発生しているスロットにカートリッジを挿入してください。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     カートリッジ` キレ ---- ----                 </div>	インクカートリッジの使用有効期限が切れている。	・ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。 そのままでも(使用期限翌月までは)使用可能です。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     キゲン` キレ (1カゲ`ツ) ---- ----                 </div>	インクカートリッジの使用有効期限が切れている(期限切れから1ヶ月経過)。	・赤 LED が点滅します。ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。 そのままでも(使用期限翌々月までは)使用可能です。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     キゲン` キレ (2カゲ`ツ) ---- ----                 </div>	インクカートリッジの使用有効期限が切れている(期限切れから2ヶ月経過)。	・ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     キゲン`キレ インク ショウチュウ ---- ----                 </div>	インクの有効期限を延長して使用している。	・インクカートリッジを交換してください。 (☎ P.1-12)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     カンセ`ン キゲン`キレ ---- ----                 </div>	インクの有効期限を延長し、カートリッジに記載している有効期限より6ヶ月経過した。	・インクカートリッジを交換してください。 (☎ P.1-12)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     サ`ンリョウ 0 ---- ----                 </div>	インクカートリッジの残量が0	・ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     インク ニア エント MMCC ----                 </div>	インクカートリッジのインクが少なくなった。	・ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。																																												
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     インク エント ---- YYKK                 </div>	インクカートリッジのインクがなくなった。	・ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。																																												
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     ヒシ`ンセイ インク ---- YYKK                 </div>	インクカートリッジがミマキ純正品でない。	・ワーニングが発生しているカートリッジをミマキ純正品に交換してください。																																												
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     インク IC イシ`ヨウ ---- YYKK                 </div>	インクカートリッジの IC チップが正常に読み込めない。	・ワーニングが発生しているカートリッジを再挿入してください。 ワーニングが解消しない場合は弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。																																												
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     インク シュルイ ---- ----                 </div>	インクカートリッジのインク種類が充填してあるインクと異なる。	・ワーニングが発生しているカートリッジのインク種類を確認してください。																																												
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     インク カラー ---- ----                 </div>	インクカートリッジのインクカラーが充填してあるインクと異なる。	・ワーニングが発生しているカートリッジのインクカラーを確認してください。																																												
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     カートリッジ` イシ`ヨウ ---- ----                 </div>	装填したインクカートリッジが異常	・ワーニングが発生しているカートリッジを確認してください。																																												
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     カートリッジ` ナシ ---- ----                 </div>	インクカートリッジがスロットに挿入されていない。	・ワーニングが発生しているスロットにカートリッジを挿入してください。																																												
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     カートリッジ` キレ ---- ----                 </div>	インクカートリッジの使用有効期限が切れている。	・ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。 そのままでも(使用期限翌月までは)使用可能です。																																												
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     キゲン` キレ (1カゲ`ツ) ---- ----                 </div>	インクカートリッジの使用有効期限が切れている(期限切れから1ヶ月経過)。	・赤 LED が点滅します。ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。 そのままでも(使用期限翌々月までは)使用可能です。																																												
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     キゲン` キレ (2カゲ`ツ) ---- ----                 </div>	インクカートリッジの使用有効期限が切れている(期限切れから2ヶ月経過)。	・ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。																																												
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     キゲン`キレ インク ショウチュウ ---- ----                 </div>	インクの有効期限を延長して使用している。	・インクカートリッジを交換してください。 (☎ P.1-12)																																												
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     カンセ`ン キゲン`キレ ---- ----                 </div>	インクの有効期限を延長し、カートリッジに記載している有効期限より6ヶ月経過した。	・インクカートリッジを交換してください。 (☎ P.1-12)																																												
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     サ`ンリョウ 0 ---- ----                 </div>	インクカートリッジの残量が0	・ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。																																												

表示	原因	対処方法
!ハイ インクタンク	廃インクタンクがフル間近。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 廃インクタンクを交換し、[メンテナンス]-[ハイインクタンク コウカン]を実行してください。(参照 P.5-29)</li> </ul>
!センシ`ヨウ エキ エント`	洗浄カートリッジエンドを検出した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• メンテナンス洗浄カートリッジを交換してください。</li> </ul>
!センシ`ヨウ カートリッジ` ナシ	洗浄カートリッジが挿入されていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• メンテナンス洗浄カートリッジを挿入してください。</li> </ul>
!センシ`ヨウ カートリッジ`イシ`ヨウ	洗浄カートリッジに異常がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• メンテナンス洗浄カートリッジを確認してください。</li> </ul>
!マキトリ カハ`ー OPEN	重量メディア巻取装置のカバーが開いている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 重量メディア巻取装置のカバーを閉めてください。</li> <li>• カバーを閉めても表示する場合は、弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。</li> </ul>
!マキトリ LIMIT ケンシュツ	重量メディア巻取装置の制御リミットセンサーを検出した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 巻取側のテンションバーの位置を下げてください。下げても表示する場合は、弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。</li> </ul>
!マキトリ イシ`ヨウ	重量メディア巻取装置の巻き取り状態に異常が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• メディアが重量メディア巻取装置に正しく巻き取られているか確認してください。</li> <li>• メディアを巻き取っている紙管が空回りしていないか確認してください。</li> </ul>
!クリタ`シ カハ`ー OPEN	重量メディア繰出装置のカバーが開いている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 重量メディア繰出装置のカバーを閉めてください。</li> <li>• カバーを閉めても表示する場合は、弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。</li> </ul>
!クリタ`シ LIMIT ケンシュツ	重量メディア繰出装置の制御リミットセンサーを検出した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 繰出側のテンションバーの位置を下げてください。下げても表示する場合は、弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。</li> </ul>
!クリタ`シ イシ`ヨウ	重量メディア繰出装置の繰り出し状態に異常が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• メディアが重量メディア繰出装置に正しくセットされているか確認してください。</li> <li>• メディアが空回りしていないか確認してください。</li> </ul>



## エラーメッセージ

エラーメッセージを表示する場合は、下の表に従って、エラーを取り除いてください。  
それでもメッセージを表示する場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

表示	原因	対処方法
***** ERROR 01 ***** MAIN ROM	制御基板に異常が発生した。 (ROM)	<ul style="list-style-type: none"> <li>一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。</li> </ul>
***** ERROR 02 ***** MAIN RAM	制御基板に異常が発生した。 (RAM)	
***** ERROR 03 ***** POWER +5V	制御基板に異常が発生した。 (電源電圧 +5V)	
***** ERROR 03 ***** POWER +24V	制御基板に異常が発生した。 (電源電圧 +24V)	
***** ERROR 03 ***** POWER +42V	制御基板に異常が発生した。 (電源電圧 +42V)	
***** ERROR 04 ***** フラッシュ ROM	制御基板に異常が発生した。 (パラメーター ROM)	
***** ERROR 06 ***** SD-RAM	制御基板に異常が発生した。 (SDRAM)	
***** ERROR 07 ***** ヘッド (----)	ヘッドの接続に異常を検出した。(異常な温度を検出)	
***** ERROR 07 ***** テンアツ (----)	ヘッドの接続に異常を検出した。(異常な電圧を検出)	
***** ERROR 08 ***** リニアエンコーダー: センサー	リニアエンコーダーの検出で異常が発生した。 (カウントできない)	
***** ERROR 08 ***** リニアエンコーダー: ホウコウ	リニアエンコーダーの検出で異常が発生した。 (取り付け方向の異常)	
***** ERROR 08 ***** リニアエンコーダー: カウント	リニアエンコーダーの検出で異常が発生した。 (読み出しカウント数異常)	
***** ERROR 09 ***** FPGA エラー	制御基板に異常が発生した。 (FPGA PDC)	
***** ERROR 09 ***** FPGA PRAM BUSY	制御基板に異常が発生した。 (FPGA PDC)	
***** ERROR 09 ***** HDC エラー (----)	制御基板に異常が発生した。 (FPGA HDC)	
illegal IPT           xxx xxxxxxxxxxxxxxxx	CPU 不正割り込みが発生した。	
Prg Err TK=xxx ASSRT [xxxx] [xxxx] [xxxx]	プログラムエラーが警告された。	

表示	原因	対処方法
***** ERROR 10 ***** コマンドエラー	コマンドデータ以外のデータを受信した。	• インターフェイスクーブルを確実に接続してください。 規格に適合したインターフェイスクーブルを使用してください。
***** ERROR 10 ***** コマンド“(オモテメンサクス)”	本機が表面印刷できない状態の場合に発生。	• 本機の状態を確認してください。
***** ERROR 10 ***** コマンド“(ウラメンサクス)”	裏面印刷を ON に設定しているのに、裏面以外のデータを受信した。	• 印刷データの設定を再度確認してください。
***** ERROR 11 ***** パラメーターエラー	数値範囲外のパラメーターを受信した。	• 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
***** ERROR 16 ***** MRL コマンド	受信データが、装置で設定したコマンド体系と異なる。	• 本装置に対応したコマンド体系のデータを送信してください。
***** ERROR 25 ***** FULL-SPEED	USB2.0 接続で Host コンピュータと I/F ボードとの通信にエラーが発生した。 (Full-Speed モード接続)	• Host PC が USB2.0 インタフェースに対応しているか確認してください。 (そのまま使用できますが、Hi-Speed モード接続を推奨します。)
***** ERROR 34 ***** ミサクスデータアリ	受信済みで未プリントのデータがあるのに、ファンクション機能の設定を変更しようとしている。	• 受信済みのデータを全てプリントするか、データクリアを実行してから、設定機能を変更してください。
***** ERROR 40 ***** モーターアラーム X	X モーターに過大な負荷がかかった。	• 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
***** ERROR 41 ***** モーターアラーム Y	Y モーターに過大な負荷がかかった。	
***** ERROR 42 ***** X オーバーカレント	X モーターの過電流エラーを検出した。	• 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
***** ERROR 43 ***** Y オーバーカレント	Y モーターの過電流エラーを検出した。	
***** ERROR 45 ***** キャッピング：パラメーター	キャッピング制御に異常が発生した。(パラメーター調整値不正)	
***** ERROR 46 ***** ワイパー	ワイパー制御に異常が発生した。	
***** ERROR 50 ***** メディアケンシュツ	用紙を検出できなかった。 メディアのセット位置、使用メディアが不適當。	• メディアを正しくセットしても、エラーを表示する場合は弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
***** ERROR 50 ***** メディアセットイチ	メディアのセット位置が不適正のため、メディア検出が完了しなかった。	• メディアを正しい位置にセットし直してください。(P.2-9、P.2-26)
***** ERROR 51 ***** Y ケンテン	Y 原点検出ができなかった。	• 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
***** ERROR 64 ***** マキトリテンアツ	重量メディア巻取装置の制御系に異常が発生した。	
***** ERROR 64 ***** クリタシテンアツ	重量メディア繰出装置の制御系に異常が発生した。	

表示	原因	対処方法
***** ERROR 65 ***** マキトリ テンションハ`ー	重量メディア巻取装置の制御系に異常が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>メディアを正しくセットしてもエラーを表示する場合は、一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。</li> <li>再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。</li> </ul>
***** ERROR 66 ***** クリタ`シ テンションハ`ー	重量メディア繰出装置の制御系に異常が発生した。	
***** ERROR 67 ***** マキトリ ユニット 00	重量メディア巻取装置に異常が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>重量メディア巻取装置の接続を確認してください。</li> <li>正しく接続してもエラーを表示する場合は、一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。</li> <li>それでもエラーを表示する場合は、弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。</li> </ul>
***** ERROR 67 ***** マキトリ ユニット 01	重量メディア巻取装置が接続されていない。	
***** ERROR 67 ***** マキトリ ユニット 02	重量メディア巻取装置の接続先が間違えている。	
***** ERROR 67 ***** マキトリ ユニット 04	重量メディア巻取装置に異常が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。</li> <li>再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。</li> </ul>
***** ERROR 67 ***** クリタ`シ ユニット 00	重量メディア繰出装置に異常が発生した。	
***** ERROR 67 ***** クリタ`シ ユニット 01	重量メディア繰出装置が接続されていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。</li> <li>再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。</li> </ul>
***** ERROR 67 ***** クリタ`シ ユニット 02	重量メディア繰出装置の接続先が間違えている。	
***** ERROR 67 ***** クリタ`シ ユニット 04	重量メディア繰出装置に異常が発生した。	
**** ERROR 120 **** カンキョウオント` ヒクイ	環境温度が使用可能温度範囲外 (低い) になっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>設置環境の温度を調整してください。 ( P.3-41)</li> </ul>
**** ERROR 121 **** カンキョウオント` タカイ	環境温度が使用可能温度範囲外 (高い) になっている。	
**** ERROR 144 **** カートリッジ` セット!	カートリッジが挿入されていないスロットがある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>カートリッジをセットしてください。</li> </ul>
**** ERROR 200 **** ヘット` メモリー (----)	ヘッドユニットメモリーに異常が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。</li> <li>再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。</li> </ul>
**** ERROR 202 **** ソウチ コウセイ	ヘッドが接続されていない ヘッドスライダ`基板異常	

表示	原因	対処方法
**** ERROR 203 **** SDRAM サイズ*	装置に必要なサイズの SD-RAM が搭載されていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。</li> <li>再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。</li> <li>(使用可能な SDRAM が存在する場合は、そのまま起動できますが、解像度によってはプリントスピードが低下します。)</li> </ul>
**** ERROR 205 **** 42V HEAD Voltage	ヘッド電圧の異常を検出した。	
**** ERROR 207 **** XXXXXXXXXXXX	ディスプレイ下段に印字している波形の異常を検出した。	
**** ERROR 208 **** CHECK MAIN PCB ID XX	メイン基板の機種 ID が違います。 (XX は ID コード)	
**** ERROR 211 **** ヒーター オント* (--/--/--)	メディアヒーターの温度異常を検出した。	
**** ERROR 250 **** Y サ*ヒョウ	スキャン動作時に異常を検出した。	
**** ERROR 251 **** システム エラー	システムエラーが発生	

# 第7章 付録



この章では ...

本機の仕様一覧表や、機能の一覧表を記載しています。

仕様 .....	7-2
本体仕様 .....	7-2
インク仕様 .....	7-3
インク種によるセットの違いについて .....	7-4
ヒーターの温度設定値の目安 .....	7-4
インクカートリッジのセット順 .....	7-4
オートメンテナンス機能のメンテナンス間隔 .....	7-4
お問い合わせシート .....	7-5
警告ラベルについて .....	7-6
機能フローチャート .....	7-8

## 本体仕様

項目		JV34-260
プリントヘッド部	方式	オンデマンドピエゾヘッド
	仕様	2ヘッド
プリントモード (スキャン x フィード)		720 x 540dpi / 540 または 720 x 720dpi / 540 x 900dpi / 540 または 720 x 1080dpi / 720 x 1440dpi / 1440 x 1440dpi
使用可能インク	専用溶剤インク	SS21 インク : 4色 (Y,M,C,K) 6色 (Y,M,C,K,Lc,Lm)
	専用水性インク	昇華転写インク : 4色 (Y,M,B,K) 6色 (Y,M,B,K,LBI,Lm) 6色 (Y,M,BB,K,LBB,Lm)
インク供給		インクカートリッジからのチューブ供給 インクカートリッジ交換方式: 2カートリッジ/1色によるトグル切換供給
インク容量	専用溶剤インク	6色搭載時: 440cc カートリッジ各色 1本 (M,C のみ 2本) 4色搭載時: 440cc カートリッジ各色 2本
	専用水性インク	6色搭載時: 440cc カートリッジ各色 1本 (M,B のみ 2本) 4色搭載時: 440cc カートリッジ各色 2本
使用可能メディア	専用溶剤インク	ターボリン、FF、塩ビフィルム
	専用水性インク	フォトペーパー、合成紙、転写紙
最大プリント範囲		2632mm
ロールメディア サイズ	最大幅	2642mm
	最小幅	210mm
	厚さ	1.0mm 以下
	ロール外径	Φ180mm 以下 (小幅巻取装置使用時) Φ250mm 以下 (重量メディア巻取装置使用時)
	ロール重量 *1	25kg 以下 (小幅巻取装置使用時) 100kg 以下 (重量メディア巻取装置使用時)
	紙管内径	2インチまたは3インチ
	プリント面	ロール外側面
巻終わり処理		紙管にテープ止め、または弱粘着
リーフメディア サイズ	最大幅	2642mm
	最小幅	210mm
プリントマージン	リーフメディア	左右: 25.0mm (デフォルト値) 前: 40.0mm 後: 100mm
	ロールメディア	左右: 25.0mm (デフォルト値) 前: 40.0mm 後: 100mm
距離精度	絶対精度	±0.3mm または指定距離の ±0.3% の大きい方
	再現性	±0.2mm または指定距離の ±0.1% の大きい方
直角度		±0.5mm / 1000mm
メディアスキュー		5mm 以下 / 10m
ヘッド高さ調整		Lレンジ: 2.0mm/3.0mm 2段階調整 Hレンジ: 3.0mm/4.0mm 2段階調整
メディア裁断		ヘッド部カッターによる Y 方向カット, 裁断精度 (段差) 0.5mm 以下
排紙		ロール巻き取り装置標準 (内巻き / 外巻き 切り替え可能)
廃インクタンク		ボトル式 (2000cc)
インターフェイス		USB 2.0
コマンド		MRL- III
騒音	待機時	58dB 以下 (FAST-A, 前後左右 1m)
	動作連続音	65dB 以下
	動作不連続音	70dB 以下
適合規格		VCCI-classA, FCC ClassA, ETL, CE マーキング (EMC 指令、低電圧指令、機械指令), CB レポート, RoHS 対応

項目		JV34-260
電源仕様		AC100 ~ 120±10%, AC220 ~ 240±10%, 50/60Hz±1Hz, 15A ×2 以下
消費電力*2		1440 W ×2 以下
設置環境	使用可能温度	20 °C ~ 35 °C
	相対湿度	35 ~ 65% Rh (結露なきこと)
	精度保証温度	20 °C ~ 25 °C
	温度勾配	±10 °C / h 以下
	粉塵	オフィス相当
	最高動作高度	2000 m
重量		470 kg
外形寸法	幅	3650 mm
	奥行き	1302mm
	高さ	1425 mm

\*1. ただしロールの左右を保持した時、ロールがたわまないこと。

\*2. 本体とヒーターを含む。

## インク仕様

項目		ソルベントインクをご使用の場合	水性インクをご使用の場合
形態		専用ソルベントインクカートリッジ	専用昇華転写インクカートリッジ
色		ブラックインクカートリッジ シアンインクカートリッジ マゼンタインクカートリッジ イエローインクカートリッジ ライトシアンインクカートリッジ ライトマゼンタインクカートリッジ	ブラックインクカートリッジ ブルーインクカートリッジ マゼンタインクカートリッジ イエローインクカートリッジ ライトブルーインクカートリッジ ライトマゼンタインクカートリッジ ティープブラックインクカートリッジ (Sb53)
インク容量		220cc / 440cc カートリッジ	
有効期限		SS21 インク 製造日より 1 年間 (常温)	昇華転写インク 製造日より 1 年間 (常温)
保存温度	保存時	0 ~ 25 °C (1 日の平均気温) ・容器は密閉した状態で保管すること。	10 ~ 35 °C (1 日の平均気温) ・容器は密閉した状態で保管すること。 ・乾燥した換気の良い冷暗所に保管すること。
	輸送時	-20 ~ 60 °C ・-20 °C より低温になる場所、60 °C より高温になる場所は避けること。	0 ~ 40 °C ・0 °C より低温になる場所、40 °C より高温になる場所は避けること。

### 重要!

●インクカートリッジを分解したり、インクを詰め替えないでください。

●インクは、寒い場所で長時間放置すると凍結する場合があります。

- ・ソルベントインクをお使いの場合、万一インクが凍結したときは、室温 (25 °C) で 3 時間以上かけて解凍してから使用してください。
- ・水性インクをお使いの場合、インクが凍結すると変質して使用できなくなります。インクが凍結しない環境で保管してください。

# インク種によるセットの違いについて

ご使用になるインク種によって、設定値やインクカートリッジのセット順が異なります。

## ヒーターの温度設定値の目安

ソルベントインクをご使用の場合、ご使用になるインク種によって Pre ヒーター・Print ヒーター・After ヒーターの最適値が変わります。

インクの種類	SS21 インク
メディアの種類	全メディア
Pre ヒーターの設定	35℃
Print ヒーターの設定	35℃
After ヒーターの設定	50℃

**重要!**

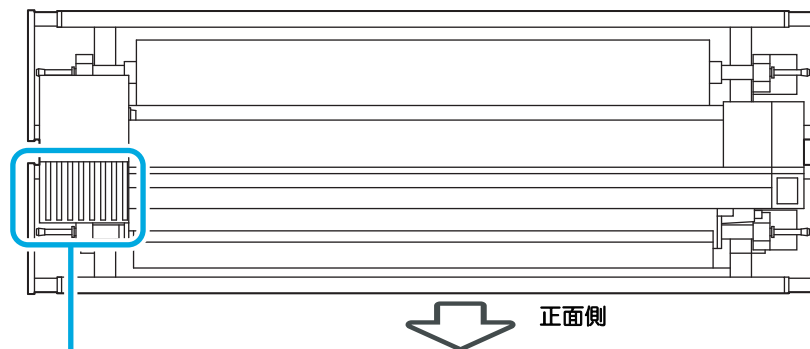
- ・メディアの状態により、適温に調整してください。
- ・水性インクをご使用の場合、温度設定の目安は必要ありません。

## インクカートリッジのセット順

お使いになるインクセットによって、インクステーションにセットするインクカートリッジの順番が異なります。



- ・インクステーション下にあるカートリッジのラベルに合わせ、インクカートリッジをセットしてください。



4色モデル (SS21/Sb52/sb53) :



6色モデル (SS21/Sb52/sb53) :



## オートメンテナンス機能のメンテナンス間隔

オートメンテナンス機能で設定されているメンテナンス間隔の初期値は、お使いのインク種によって異なります。

機能名	初期値	
	SS21 インク	Sb52 / Sb53 インク
リフレッシュのメンテナンス間隔	4h	4h
チューブセンジョウのメンテナンス間隔	48h	48h
クリーニングのメンテナンス間隔	OFF	OFF



# お問い合わせシート

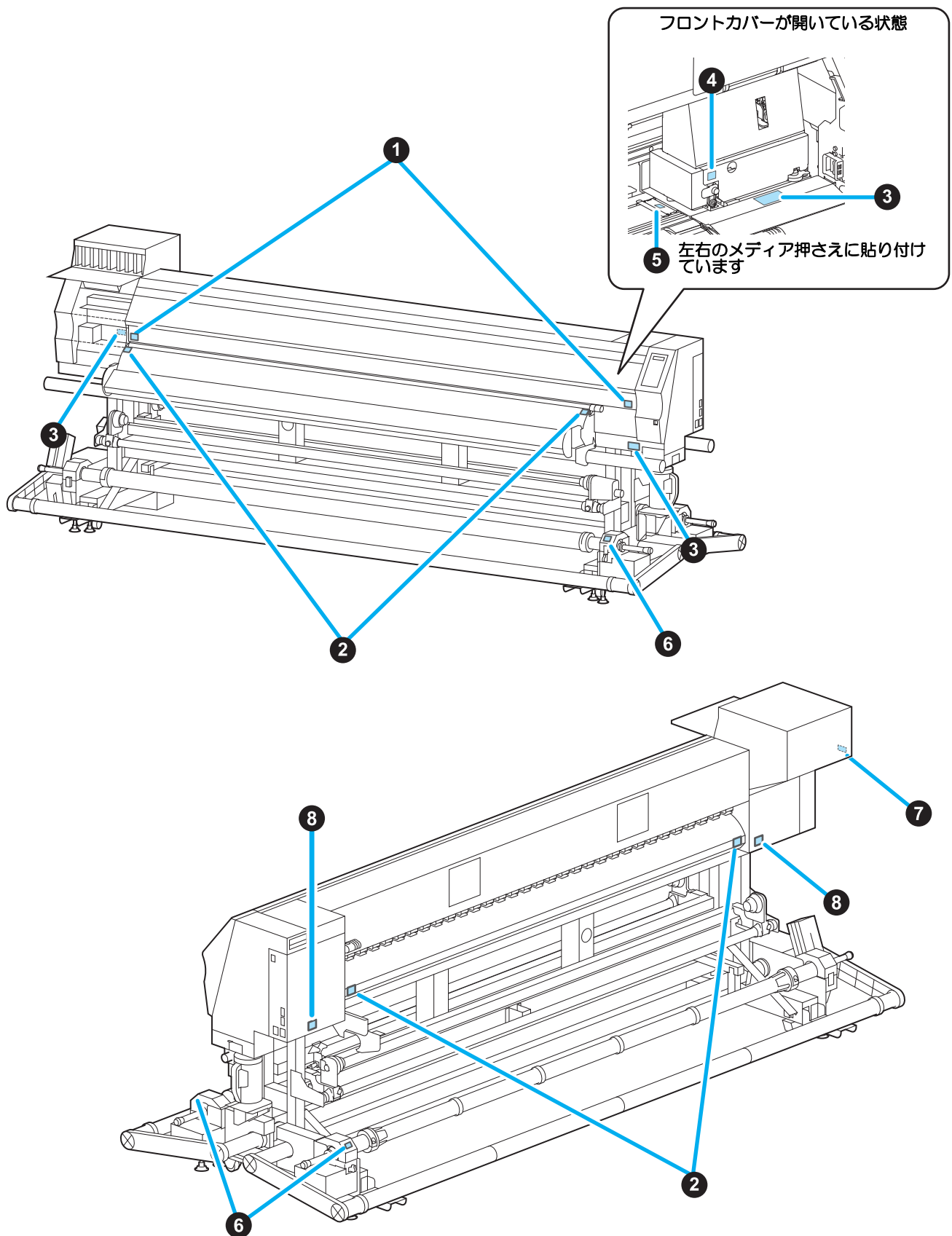
プリンタの故障、異常動作については、このシートをお使いください。  
下記の必要事項をご記入の上、弊社営業所まで FAX でお送りください。



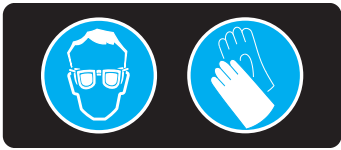





御社名	
ご担当者名	
お電話番号	
プリンタ機種名	
お使いの OS	
マシン情報 <sup>*1</sup>	
エラーメッセージ	
お問い合わせ内容	

\*1. 「第 3 章 便利な使い方」の、「装置情報を確認する」をご覧ください。 (P.3-46)

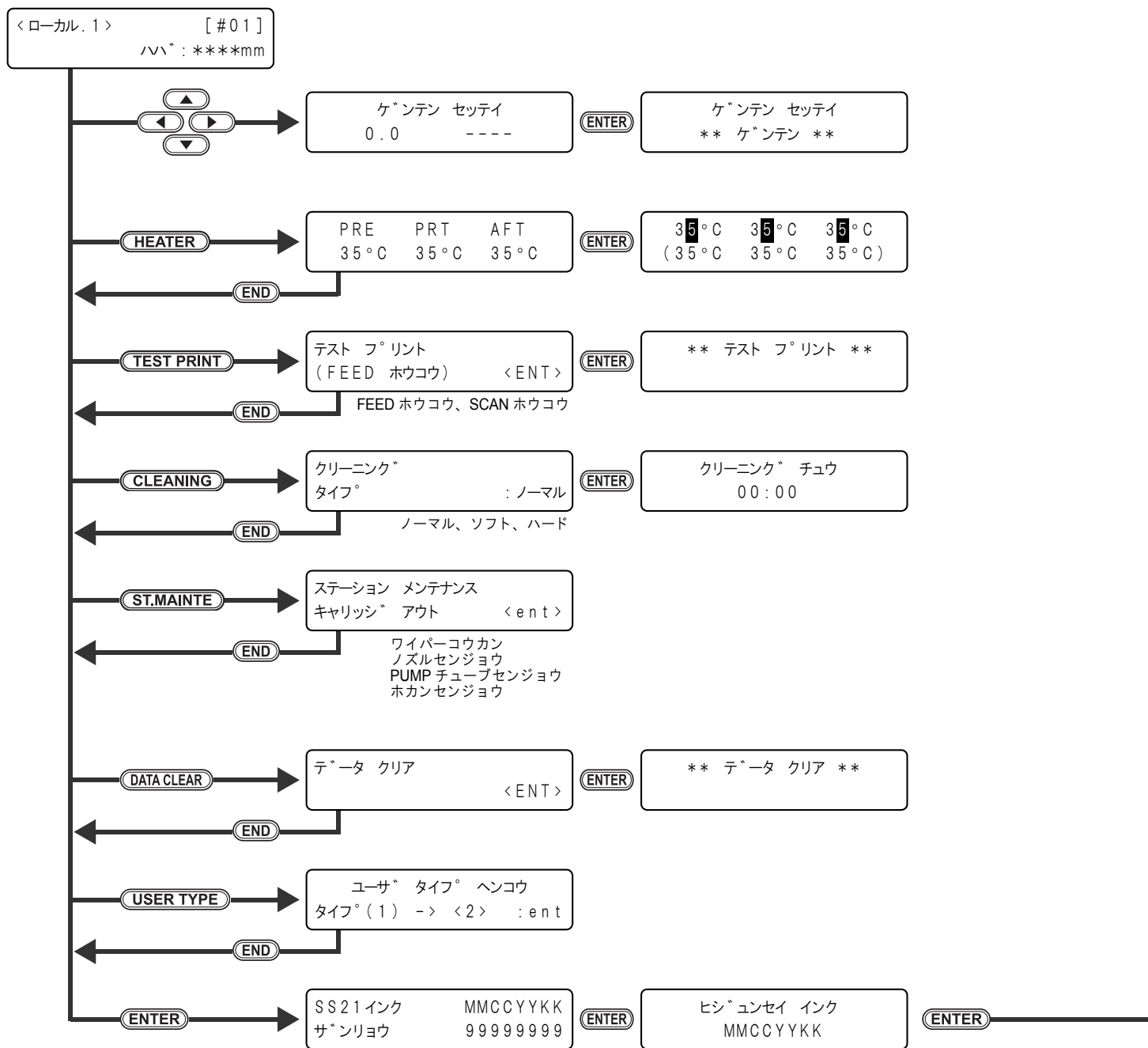
# 警告ラベルについて

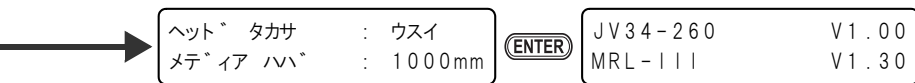
本装置には、下記の警告ラベルが貼ってあります。警告ラベルの内容を十分理解してください。  
なお、警告ラベルが汚れて読めなくなったり剥がれた場合は、新しい警告ラベルを販売店または弊社営業所にてお買い求めください。

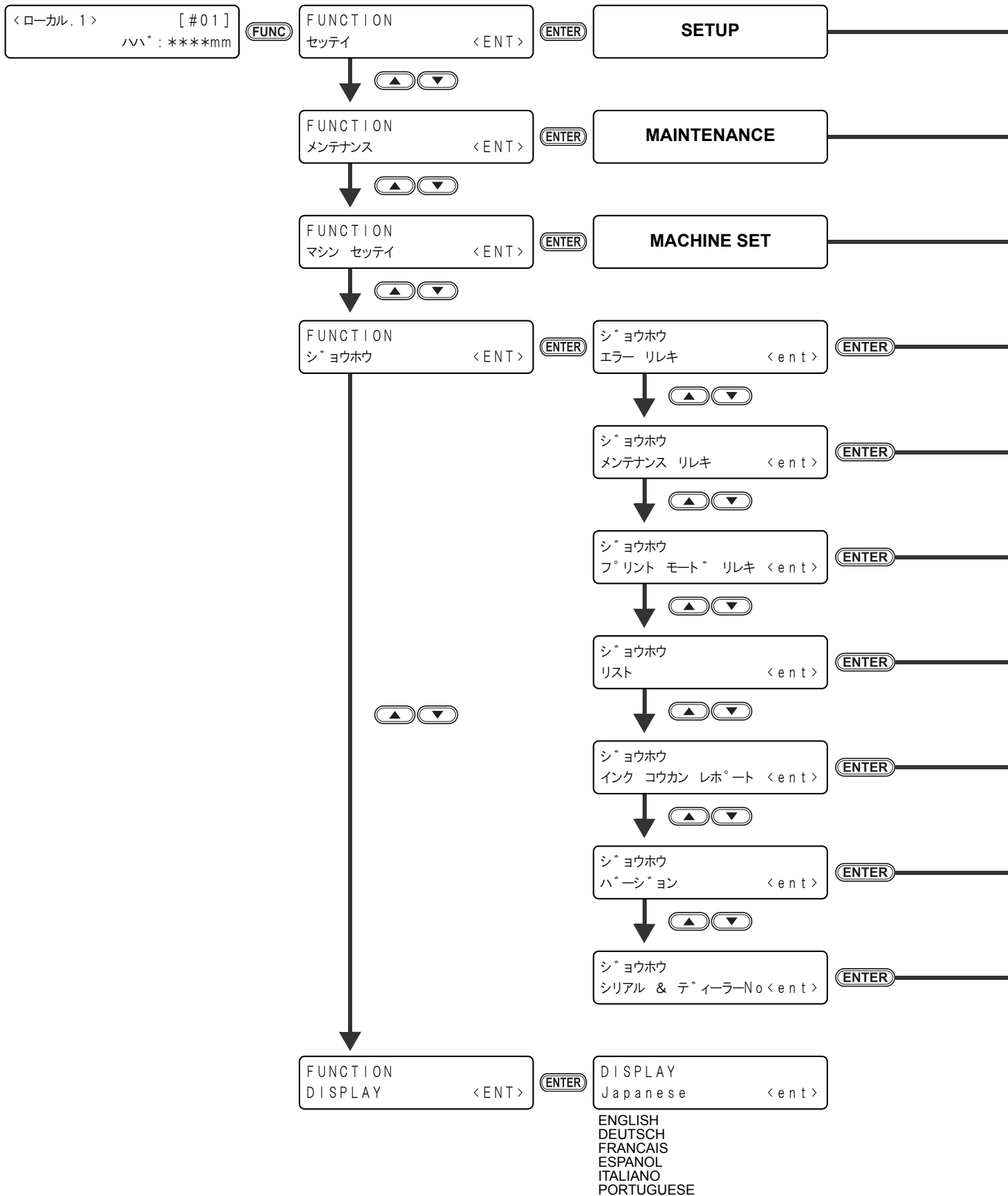


No.	注文番号	ラベル
1	M907833	
2	M903239	
3	M903330	
4	M903405	
5	M906144	
6	M907834	
7	M906222	
8	M907935	

# 機能フローチャート







→ P.7-12 へ進む

→ P.7-18 へ進む

→ P.7-22 へ進む

エラー リレキ  
スベテ <ent>

ENTER

エラー リレキ  
[01] 11.03.01 23:30

◀ ▶

\*\*\*\*\* ERROR 09 \*\*\*\*\*  
HDC ERROR (----)

[01] 11.03.03 08:18  
>> キャリッジ アウト

[01] 720x1080 .12  
Bd.Vd.x1.1L: 12.34m

ENTER

プリント モード リレキ  
[01] 11.03.03 08:18

リスト  
\*\* プリント チュウ \*\*

インク コウカン レポート  
カラー センタク : Black

ENTER

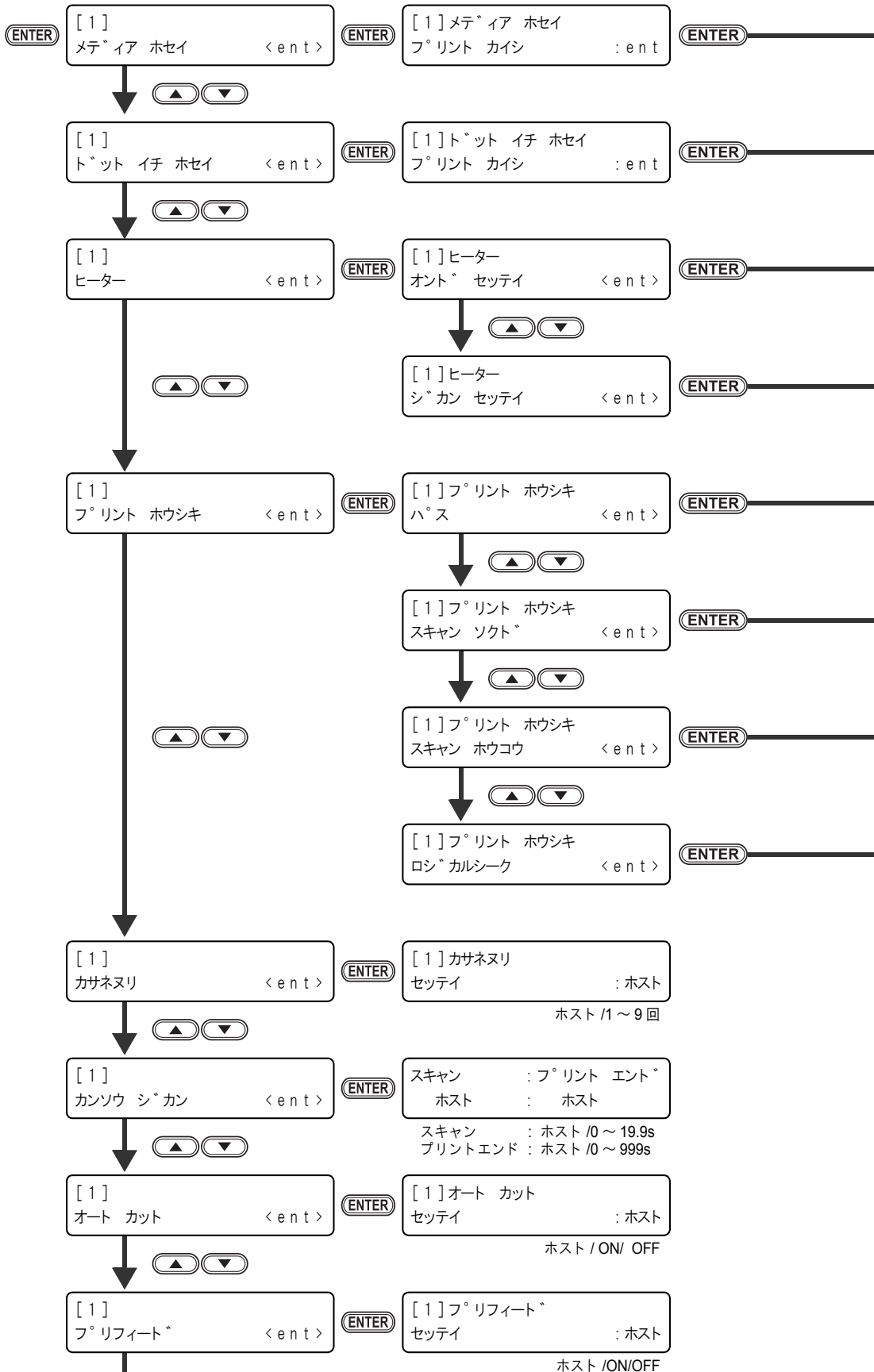
インク コウカン レポート  
プリント カイシ <ent>

JV34-260 V1.00  
MRL-111 V1.00

S/N = 00000000  
D/N = 00000000

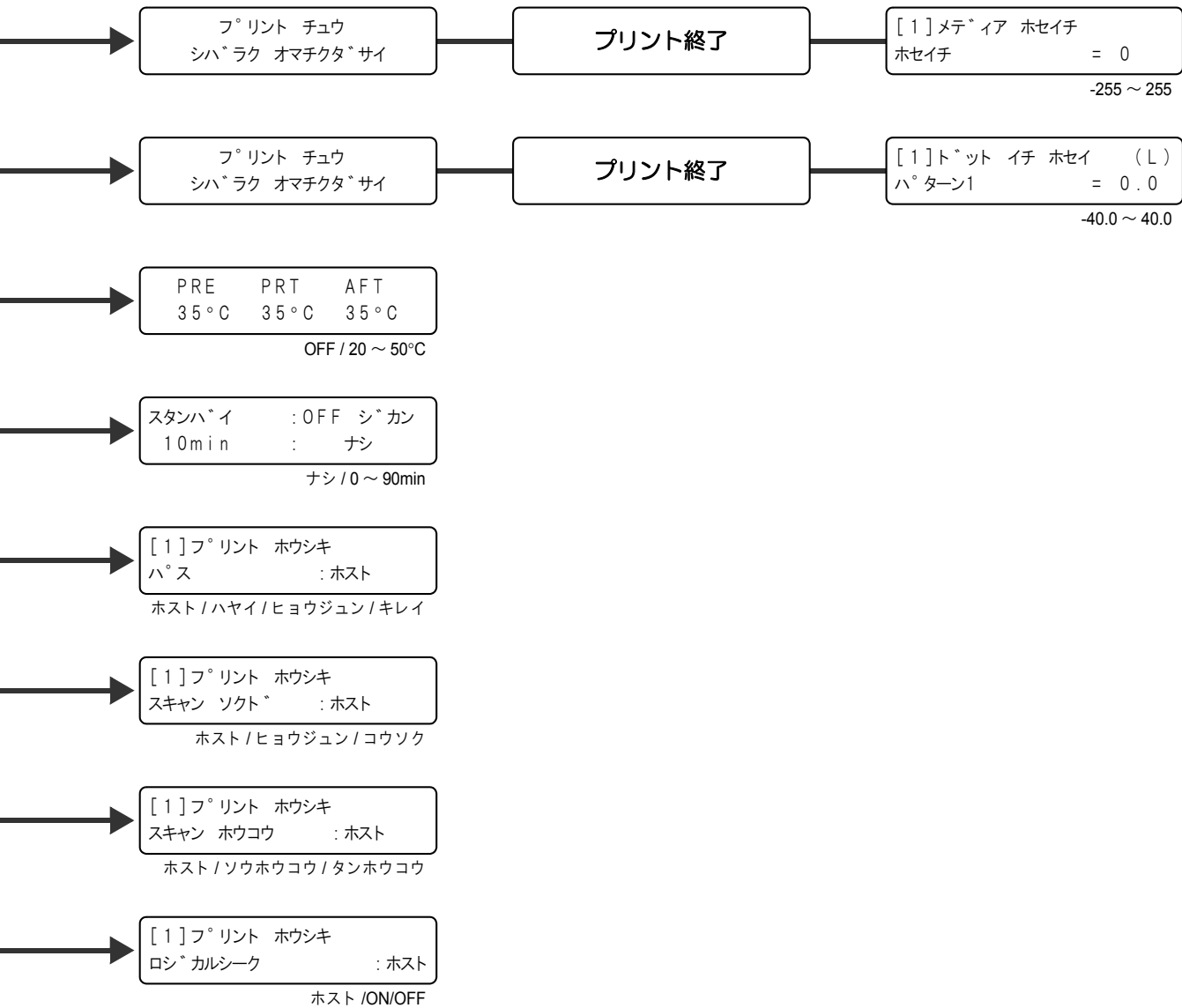
# SETUP

セッテイ  
センタク : タイプ 1

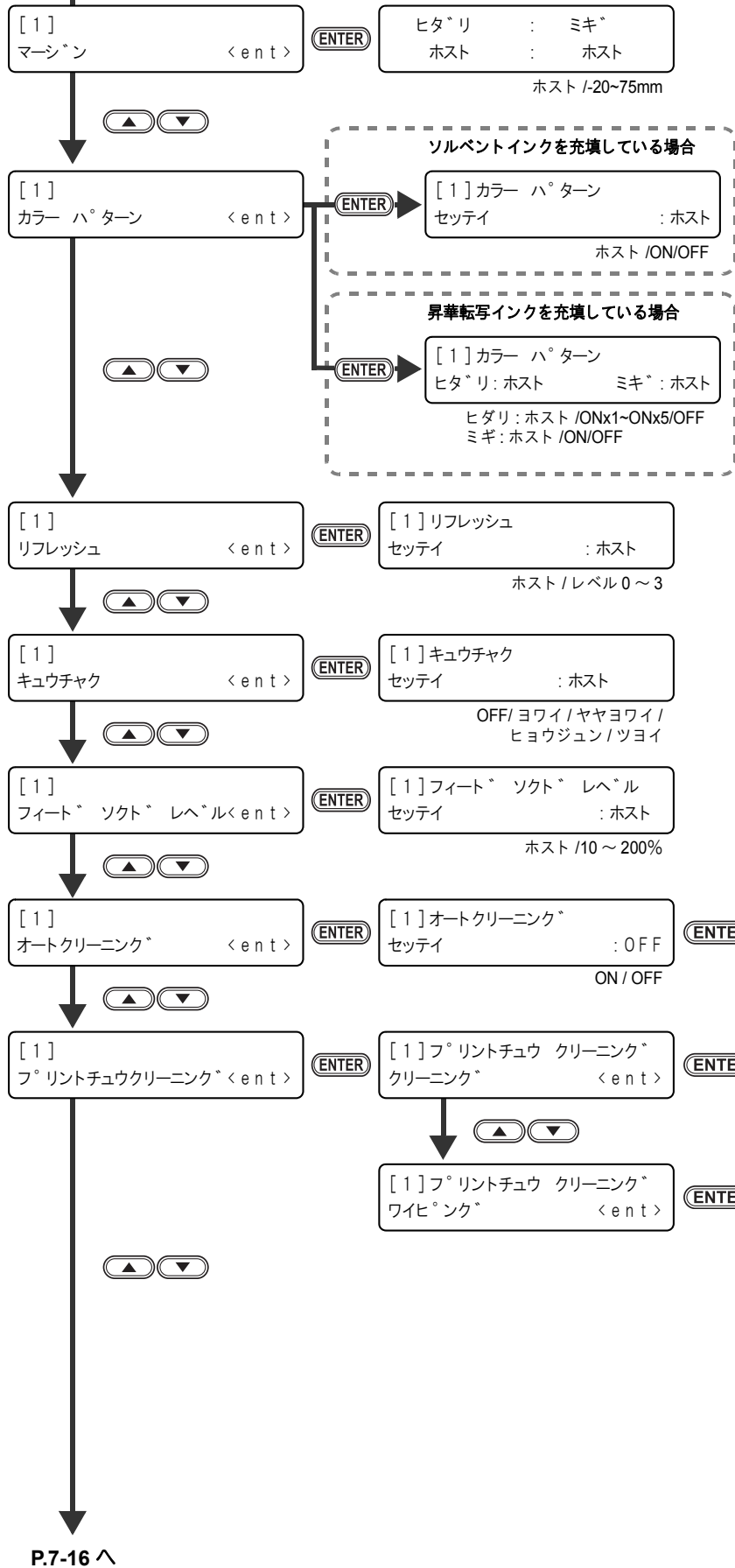


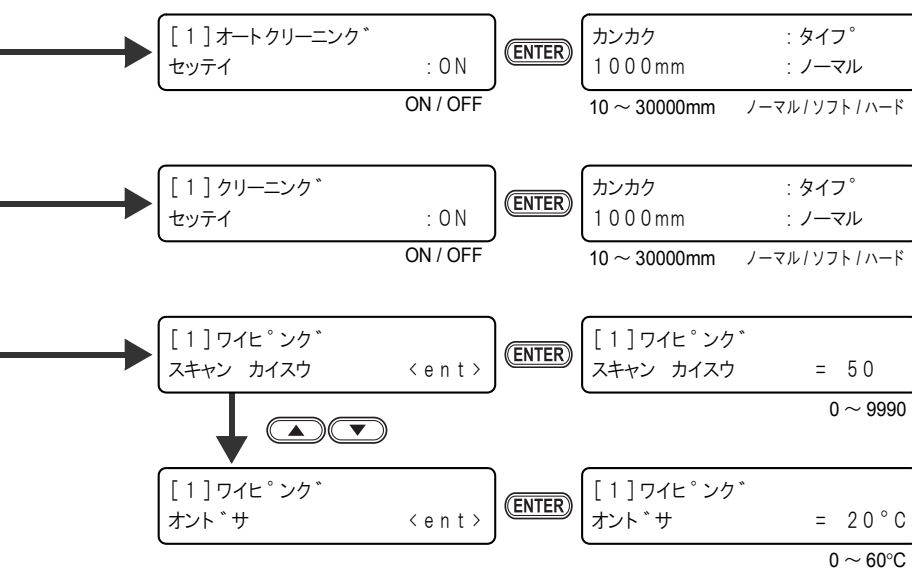
P.7-14 へ



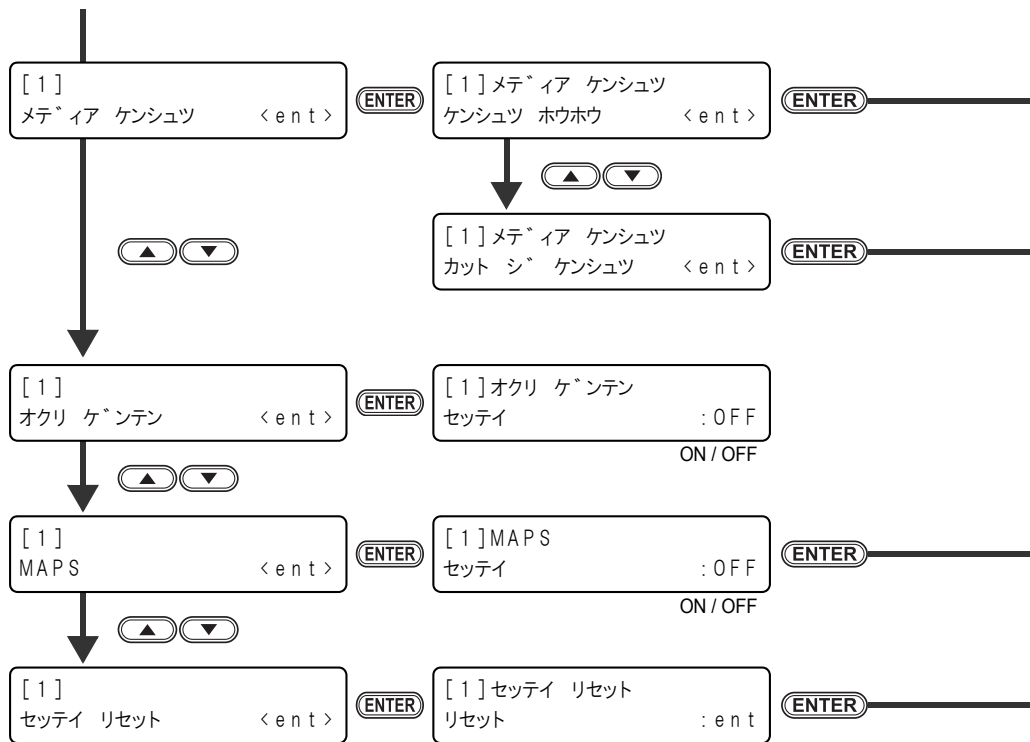


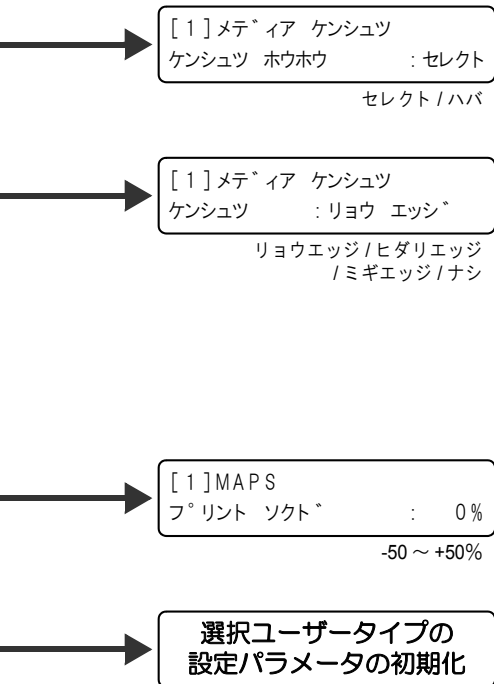
P.7-12 から





P.7-14 から





**MAINTENANCE**

メンテナンス  
ステーション メンテナンス <ent>

ENTER

ステーション メンテナンス  
キャリッジ アウト <ent>

ENTER

ステーション メンテナンス  
シュウリョウ :ent

ENTER



ステーション メンテナンス  
ワイパー コウカン <ent>

ENTER

ステーション メンテナンス  
シュウリョウ :ent

ENTER



ステーション メンテナンス  
ノズル センシヨウ <ent>

ENTER

ワイパー クリーニング  
シュウリョウ(ツキヘ) :ent

ENTER



ステーション メンテナンス  
PUMPチューブ センシヨウ <ent>

ENTER

ステーション メンテナンス  
シュウリョウ :ent

ENTER



ステーション メンテナンス  
ホカン センシヨウ <ent>

ENTER

ワイパー クリーニング  
シュウリョウ(ツキヘ) :ent

ENTER

メンテナンス  
キャリッジ メンテナンス <ent>

ENTER

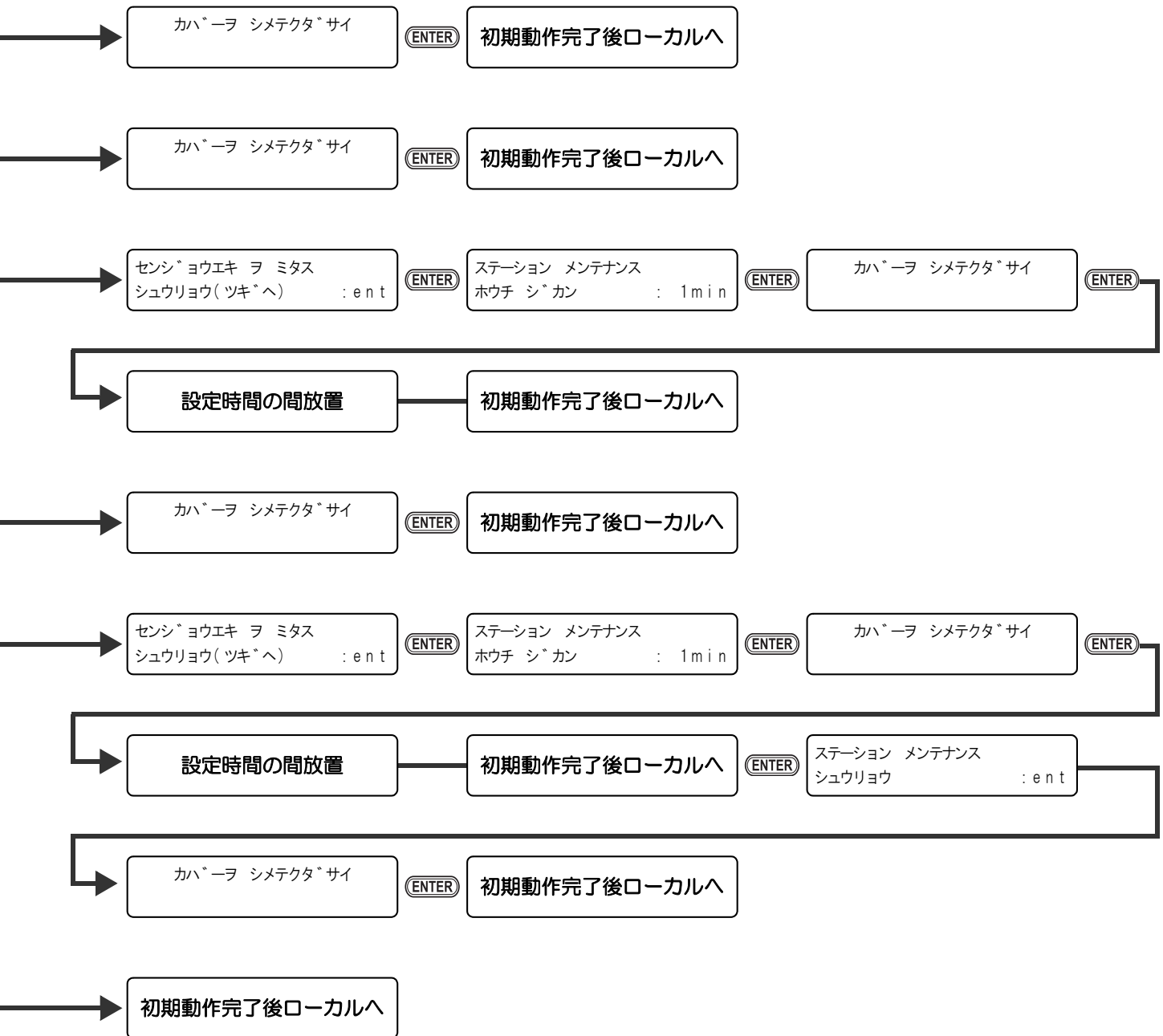
キャリッジ メンテナンス  
シュウリョウ :ent

ENTER

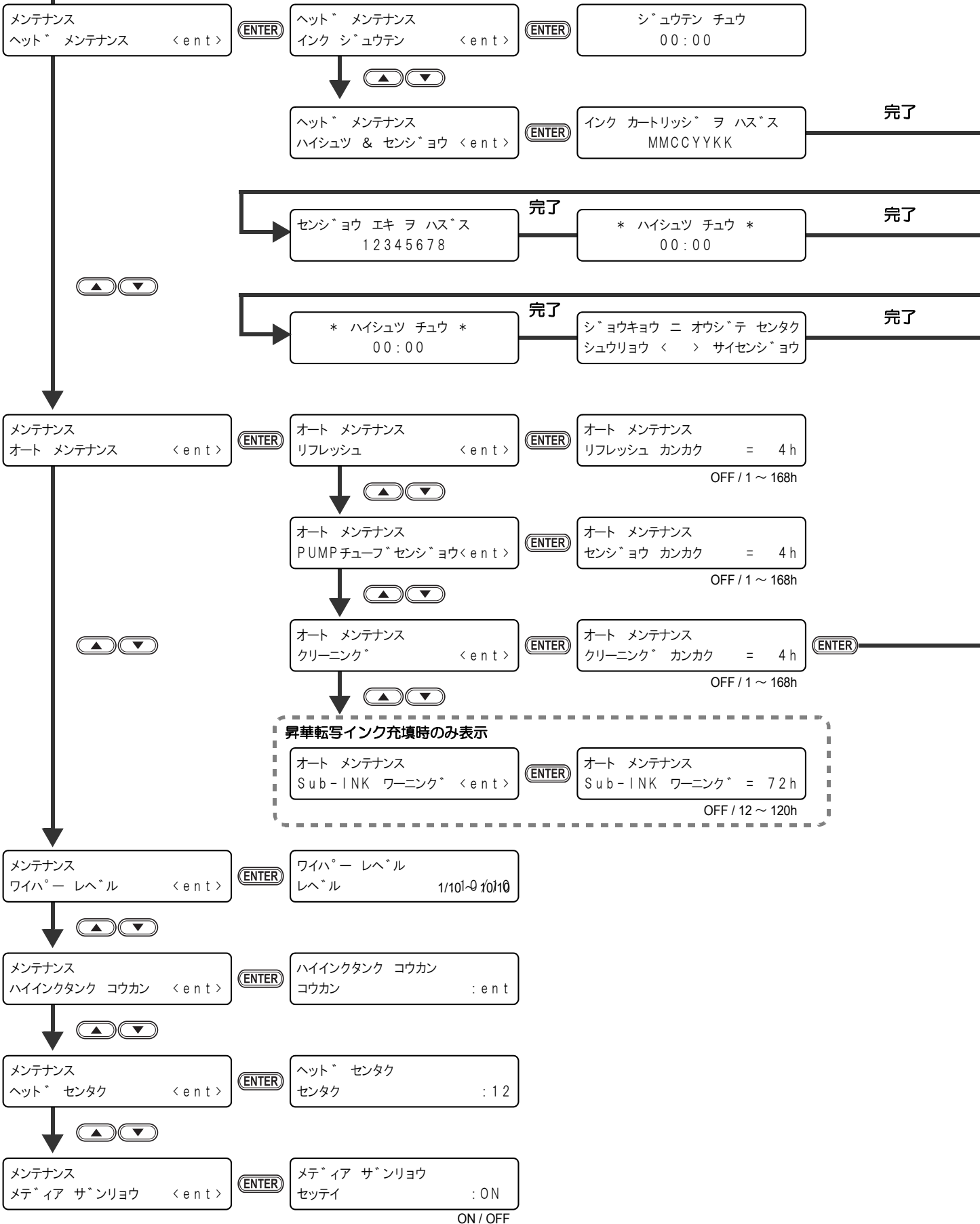
カバー シメテクタサイ

ENTER

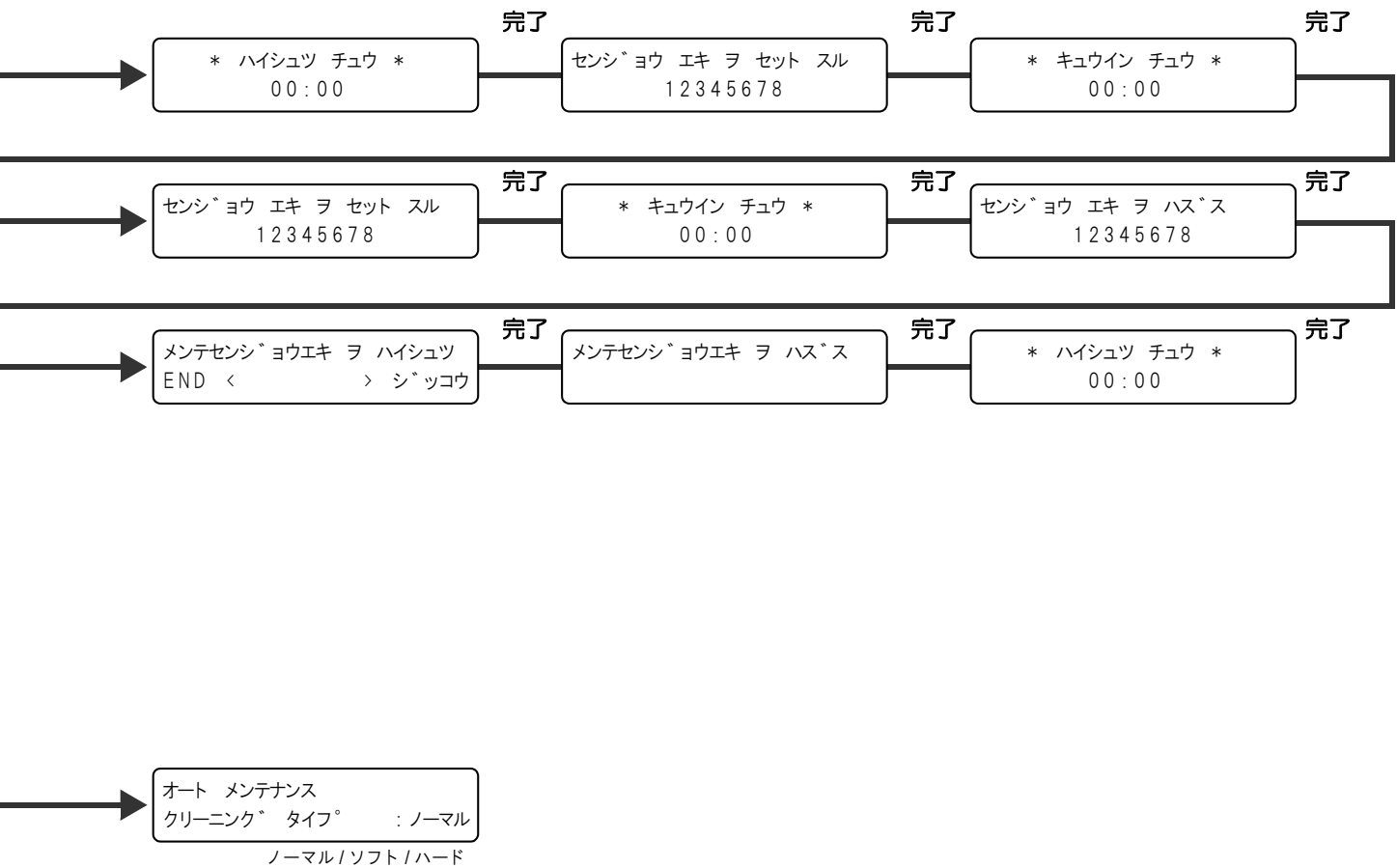


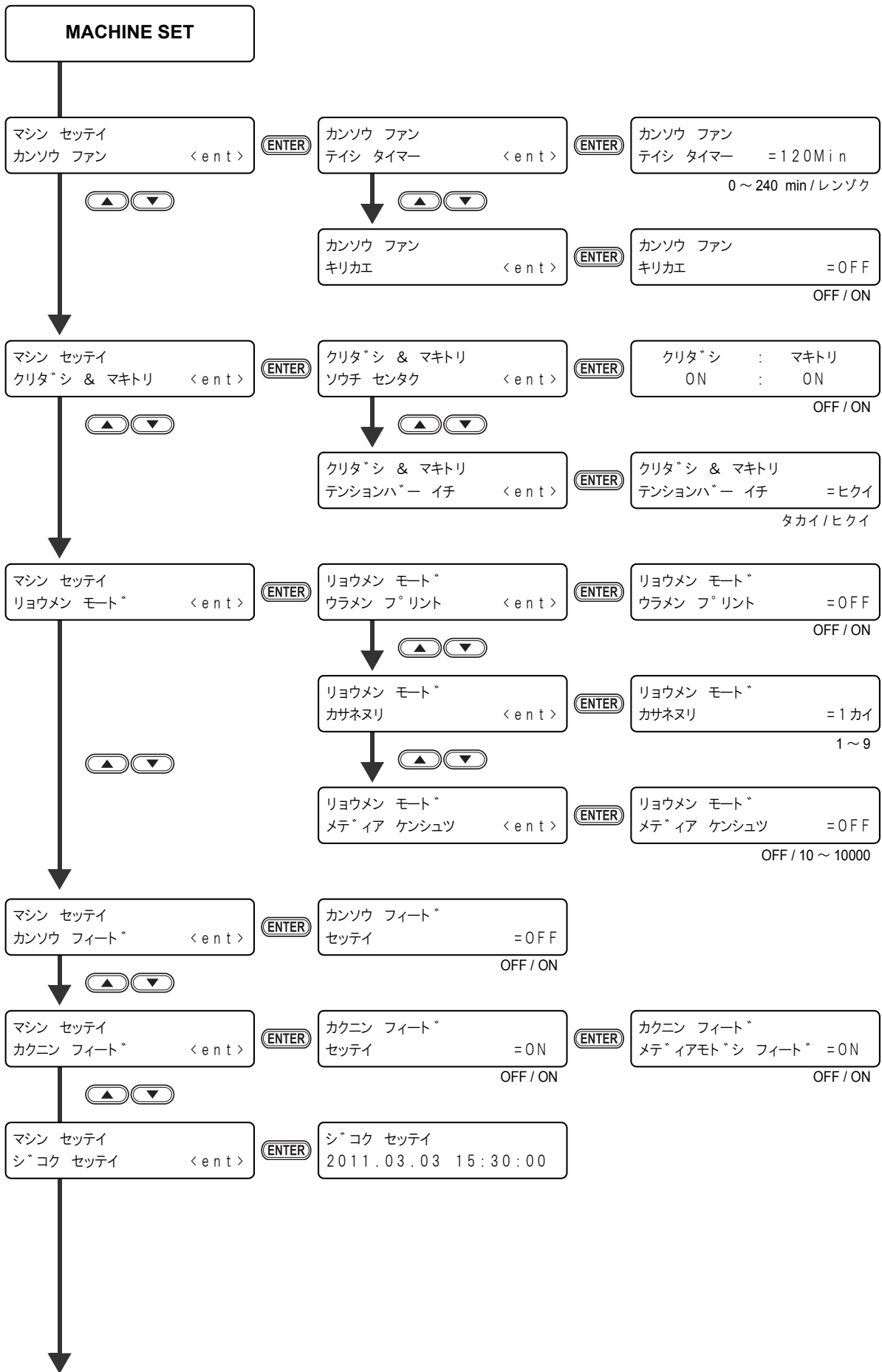


P.7-18 から



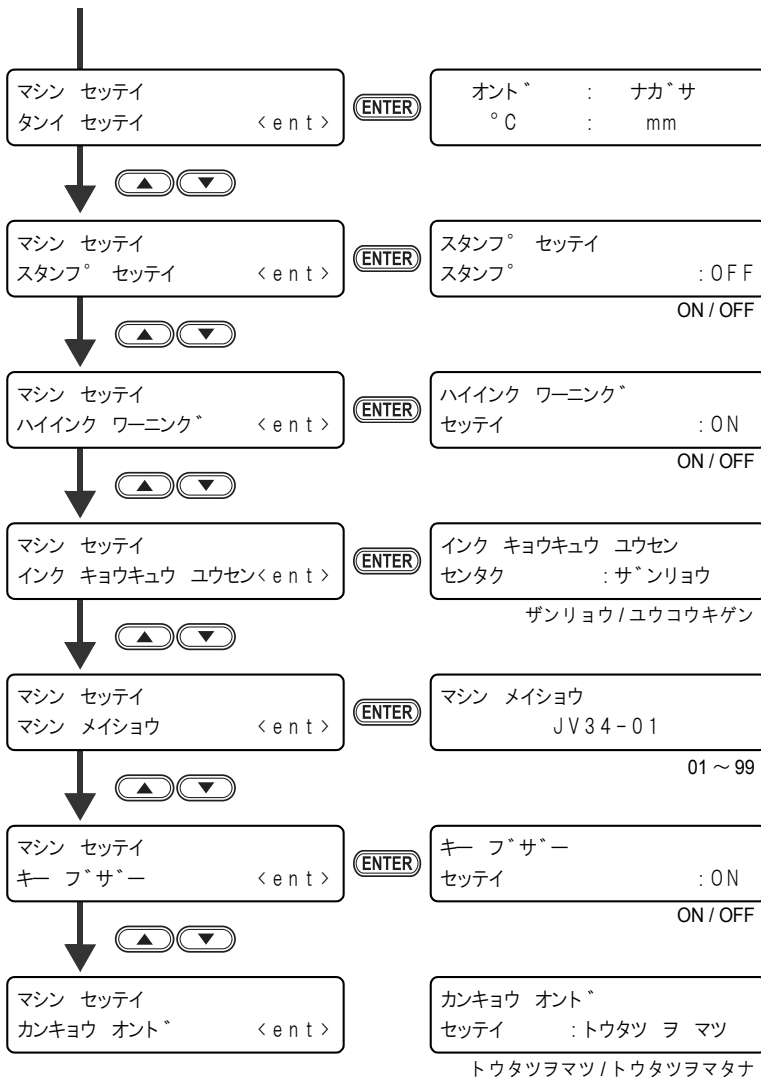






P.7-23 へ

## P.7-22 から



# 索引

<b>L</b>	
LED ポインタ	2-28
<b>M</b>	
MAPS	3-3, 3-26
<b>P</b>	
PUMP チューブ洗浄	5-10
<b>U</b>	
USB2.0 インターフェイスクーブル	1-10
<b>あ</b>	
安全にお使いいただくために	vii
ご注意とお願い	ix
使用上の警告と注意	viii
使用上のご注意	viii
設置上のご注意	x
<b>い</b>	
位置ズレ/メディア伸縮確認 ライン	4-6
位置ズレ/メディア伸縮確認ライン	4-3
インクカートリッジ取り扱い上のご注意	1-13
インクコウカンレポート	3-46
インクの初期充填を行う	5-19
インクの有効期限を延長する	3-42
インクを充填する	5-16
<b>え</b>	
エラーメッセージ	6-9
<b>お</b>	
オートカット	2-37
お問い合わせシート	7-5
<b>か</b>	
外装のお手入れ	5-3
各部の名称とはたらきについて	
キャリッジ	1-8
操作パネル	1-6
装置前面	1-4
装置背面/側面	1-5
ヒーター	1-7
メディアセンサー	1-7
画質不良が発生したときは	6-4
カッター刃とカット溝	1-8
カッター刃の交換	5-34

カットライン	4-3, 4-6, 4-11
カンキョウオンドの動作条件	3-41
カンソウフィード	3-34

<b>き</b>	
キープザー	3-40
キャッピングステーション	1-9
キャッピングステーションのメンテナンス	
インク排出路の洗浄	5-10
長期間使用しない場合	5-12
ヘッドノズルの洗浄	5-8
ワイパーとキャップの清掃	5-5
ワイパーを交換する	5-7

<b>く</b>	
クリーニング間隔	3-21, 3-22
クリーニングタイプ	3-21, 3-22

<b>け</b>	
警告ラベル	7-6
原点	
原点設定位置の目安	2-29

<b>こ</b>	
故障?と思う前に	6-2
カートリッジ異常が発生したら	6-5
画質不良が発生したときは	6-4
作図できない	6-2
電源が入らない	6-2
ノズル詰まりを解消したいとき	6-4
メディアが汚れる	6-3
メディア詰まり	6-3
ご注意	v

<b>さ</b>	
作業の流れ	2-3
作図結果	2-33
作図方式	
スキャン方向の設定	3-13, 3-14
ロジカルシークの設定	3-15
作図を開始する	2-35
作図を中止する	2-36

<b>し</b>	
ジコク	3-36
受信障害	v
仕様	
インク仕様	7-3
本体仕様	7-2
使用可能メディアサイズ	1-14
使用環境温度	1-2

情報を表示させる .....	3-42, 3-46
初期状態 .....	3-29

## す

スキャン方向ズレ確認ライン .....	4-12
スキャン方向ズレ再確認ライン .....	4-13
スタンプ .....	3-38
スリープ設定	
クリーニング間隔 .....	5-22
リフレッシュ間隔 .....	5-20

## せ

設置場所について .....	1-2
設定リセット .....	3-29

## そ

装置情報を確認する .....	3-42
-----------------	------

## た

タンイ .....	3-37
-----------	------

## て

データクリア .....	2-36
データを作図する .....	2-35
テストプリントに関する注意事項 .....	2-32
電源ケーブル .....	1-11
電源を入れる .....	2-4
電源を切る .....	2-5
電源を切るときのご注意 .....	2-5
電波障害自主規制 .....	v

## と

ドットの位置がずれたら .....	3-6
取扱説明書について .....	vi
取付位置確認ライン .....	4-6, 4-11
トルクリミッタ .....	2-25

## に

ニアフル .....	5-27
日常のお手入れ	
お手入れ上のご注意 .....	5-2

## は

廃インクタンク確認メッセージ .....	5-27
廃インクタンクを交換する .....	5-29
ハイキファン .....	3-31
キリカエ .....	3-31
ティスタイマー .....	3-31

ハイシュツ&センジョウ .....	5-17
パス間のシマを軽減する .....	3-26
パターン作図 .....	3-6

## ひ

ヒーター	
適温調整 .....	3-10
ヒーター温度が設定温度に達していないと .....	3-11
ヒーターの温度設定を変更する .....	2-30
ヒーターの温度を確認する .....	2-31
ヒーターの準備をする .....	2-30
ヒーターの設定値を変更する .....	3-8
ピーディング .....	3-11
標準マージン .....	3-17
ピンチローラーとフィードローラー .....	1-9

## ふ

ファンクションモード .....	1-15
プラテンの清掃 .....	5-3
フル .....	5-27

## へ

ヘッドギャップを調整する .....	2-6
ヘッドクリーニング .....	2-34
ヘッドクリーニングについて .....	2-34

## ほ

ホカンセンジョウ .....	5-12
補正パターン .....	3-4
本装置の移動 .....	1-3
本装置のご紹介 .....	vii

## ま

マーク表示 .....	vii
巻き取り装置について .....	2-25
マシン設定 .....	3-30
マシンメイショウ .....	3-39
マニュアルカット .....	2-37

## め

メディア	
メディアをカットする .....	2-37
メディア押えの清掃 .....	5-4
メディア残量入力 .....	2-24
メディア残量表示 .....	5-25
メディア取り扱い上の注意 .....	1-14
メディア補正の設定 .....	3-4
メンテナンス洗浄液 .....	5-2

---

 ゆ
 

---

ユーザータイプ	
設定機能一覧 .....	3-2
タイプ登録 .....	3-2
タイプ登録の例 .....	3-2
登録できる設定内容 .....	2-2
ユーザータイプを使用する .....	2-2

---

 り
 

---

リーフメディアをセットする .....	2-26
リモートモード .....	1-15
両面印刷 .....	4-2
印刷開始位置 .....	4-4
印刷範囲 .....	4-3
裏面印刷中にズレを補正する .....	4-14
ウラメンサクズ .....	4-8
裏面を印刷する .....	4-10
表面を印刷する .....	4-5
カサネヌリ .....	4-8
メディアケンシュツ .....	4-8
両面モードの設定 .....	4-8
両面印刷原点ライン .....	4-6

---

 ろ
 

---

ローカルモード .....	1-15
ロールメディアをセットする .....	2-9

---

 わ
 

---

ワーニングメッセージ .....	6-6
ワイパー交換の警告時期 .....	5-23
ワイパーレベル .....	5-23

## **JV34-260 取扱説明書**

---

---

2013 年 8 月

発行者 株式会社ミマキエンジニアリング  
発行所 株式会社ミマキエンジニアリング  
〒 389-0512  
長野県東御市滋野乙 2182-3

---

---

